

## 日本の文学

堀尾幸平

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本の文学の歴史をふまえながら、代表的な文学作品を紹介し、観賞する。若い世代の文学への関心が薄らいでいるといわれる今、文学への興味と関心を喚起したい。

### 【授業計画】

1. 明治期の文学  
坪内逍遙、二葉亭四迷  
三輪弘忠、巖谷小波  
押川春浪、立川文庫
2. 大正期の文学  
小川未明、鈴木三重吉  
『赤い鳥』、『少年倶楽部』  
千葉省三、浜田廣介  
少女小説、少年詩、童謡
3. 昭和期の文学  
プロレタリア文学、佐藤紅緑  
佐々木邦、江戸川乱歩  
宮澤賢治、新美南吉、坪田譲治  
いぬいとみこ、松谷みよ子、  
中川李枝子、灰谷健次郎
4. 平成期の文学
5. 創作

### 【評価方法】

定期試験、レポート、出席状況等によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本児童文学論(堀尾幸平著 中日文化 2,200円)

### 【参考書籍】

授業中に適宜紹介する。

## 英米の文学

小野迪雄

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

文学作品にはそれぞれの国の文化が反映している。主に20世紀の英米の文学の思潮をたどりながら、伝統的な英国文学や移民の国として新しい文化を作った米国文学を中心に考察する。

### 【授業計画】

本年度はアメリカ文学を中心に講義をする。アメリカは移民の国として、先進国の中では非常に遅い出発をした国であるが、それだけに歴史の古い国にみられる伝統に欠ける面があるものの、他の先進国にみられない文学の活力や著しい特徴がある。アメリカの文学作品には、どんな特質や問題があるのか考えていく。時間の制約上、個々の作品を細かく扱うことが難しいので、中心は作品を生みだした社会的背景や文学思潮におく。話の展開の中でイギリス文学や日本文学にもふれる。

### 【評価方法】

レポートや受講態度を加味するが、評価の中心は定期試験による。

### 【テキスト】

未定。必要に応じてプリントを配布する。

### 【参考書籍】

授業時に紹介する。

## 中国の文学

寺尾 剛

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国の歴史と文化は古くかつ深い。日本はその影響を大きく受けてきたが、特に文学は顕著であった。中国の代表的な文学作品を紹介し、鑑賞する。

＜主なテーマ＞

- ・花木蘭（ムーラン）の物語－中国女性は強い？
- ・王昭君の物語－国際結婚、是か？否か？
- ・西施の物語－中国最大の美人は？
- ・孟姜女の物語－万里の長城と女性悲話
- ・詩仙・李白－酒仙、大いに酒を歌う
- ・詩聖・杜甫－戦争と文学と
- ・南宋最大の詩人・陸游－夫婦と嫁姑戦争
- ・蘇軾－豚の角煮（東坡肉）の自家争い
- ・封神演義はどこまで実話？－中国小説の魅力
- ・中国笑話選－下ネタは下品か？
- ・孔子－中国人の知恵と格言
- ・魯迅・周作人兄弟と日本との深い関係  
など

### 【評価方法】

平常点と試験。

### 【テキスト】

未定（主としてプリント）。

## 情報と社会

梅田敏文

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代社会は情報化社会といわれ、さまざまな情報が送受信されている。日常生活や経済社会の中で「情報」がいかにかわり、有効な活用はどうあるべきかについて考察する。

### 【授業計画】

- 第1講 ガイダンス
- 第2講 e－ビジネスの進展
- 第3講 社会の情報システム（事例1）
- 第4講 社会の情報システム（事例2）
- 第5講 社会の情報システム（事例3）
- 第6講 データと情報
- 第7講 インターネット
- 第8講 機械とコンピュータ
- 第9講 システムの概念
- 第10講 情報システムの構築
- 第11講 情報化社会の課題
- 第12講 まとめ

### 【評価方法】

出席点40%、レポート60%で評価する。

### 【テキスト】

プリントを適宜、配布する。



# 情報と社会

沖野皓一

1~4年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

現代社会は情報化社会といわれ、さまざまな情報が送受信されている。日常生活や経済社会の中で「情報」がいかにかわり、有効な活用はどうあるべきかについて考察する。

## 【授業計画】

- 第1~2回 歴史に見る情報と社会  
情報と文化との関係を軸に、人間社会の歴史を概観する。
- 第3回 情報がモノを造る  
モノの生産が、必要性・実用性から嗜好に重点を置くようになってから、生産システムも大きく変わった。いわゆる情報化社会の生産と消費の関係について
- 第4~10回 情報の氾濫がもたらすもの  
次々と繰り出される扇情的な情報や、人々の行動を先取りするような情報の氾濫の結果、私たちはかえって情報への関心を失い、情報喪失の状態に陥りかねない。情報過剰の現状について
- 第11回以降 主体性確保のために  
ニューメディアは多チャンネルの実現による情報の多元性を売り物にしているが、私たちにとって重要なのは、本当に必要な情報を発信・選択できる双方向性であろう。市民の側からの情報発信、メディアアクセスの現状と可能性について

## 【評価方法】

出席状況・試験の成績などによって総合的に行う。

## 【参考書籍】

講義の中で、その都度紹介する。

# ジェンダーと社会1

國信潤子

1~4年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

現代社会において女性と男性の社会的関係は変容しつつある。男女がともに社会参画をして初めて社会における平等が確保できる。この視点から現代社会におけるジェンダー(社会・文化的性)のさまざまな問題を指摘し、検討する。

この講座では開発援助という面での国際交流をジェンダーの視点から学ぶ。今日、開発援助が政府及び民間組織によって推進されている。地球規模で物資、情報が流通する現代、先進産業国と非産業国の格差の拡大は顕著である。産業化重視の開発が今、限界にきている。資源有限時代に南北社会対立は深刻化している。この対立関係の解消は可能なのか、21世紀にむけて国際関係でジェンダーに配慮することの意味は何なのかについて考える。開発協力は現在政府間協力、民間組織両者によって推進されている。本講座では開発協力の第一線でジェンダー配慮を理解しつつ活躍する専門家数名を客員講師として招き、多面的考察を行う。開発とは何か、ジェンダー視点で考えるとどのようなことかをまず考え、次いで「開発とジェンダー、理論と実践」(日本福祉大学生江明先生)、「農業にみるイスラム女性の役割」(名古屋大学国際開発研究科 星山幸子先生)、「開発と保健」(アジア保健研修所理事長 川原啓美医師、林かぐみ先生)、「開発と性暴力」(アジア女性資料センター代表 松井やより先生)、「日本における外国人労働者」(名古屋カトリック国際協力委員会 野上幸恵先生)により、各領域における国際開発協力についてジェンダー視点から考察を行う。実践に裏打ちされた国際開発協力理論とは、南北社会対立とは何かについて学生諸氏が学習し、今自分にできる国際協力とは何かを共に考えてゆきたい。

## 【評価方法】

期末レポート、出席状況、履修態度などの総合評価。

## 【テキスト】

なし、随時配布資料あり

## ジェンダーと社会2

中島美幸 山下智恵子

オムニバス 1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

本講座では、ジェンダーの視点で文学作品を分析することによって、〈女/男〉規範がどのようにテキストに織り込まれているかを読み解き、さらに、テキストがどれほど現実の女と男の生を規定してきたかを検証する。それとともに、ジェンダーの呪縛から解放されたいとして、新たな文学表現を試みる作家・作品をできるだけ多く提示する。(オムニバス方式)

(中島美幸兼任講師)「女性の表現」の観点から日本文学を歴史的に跡づける。なかでも、近代以降の女性表現については、他国の女性文学との比較もまじえつつ、読み解いていく。

(山下智恵子兼任講師) 現代の文学作品を中心に、家族、母娘などの人間関係をジェンダーの視点から検証する。

### 【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
  - 第2回 〈ことば〉とジェンダー
  - 第3回 〈書く女〉の登場①
  - 第4回 〈書く女〉の登場②
  - 第5回 女性を描く男性作家のまなざし①
  - 第6回 女性を描く男性作家のまなざし②
  - 第7回 母と娘の物語①
  - 第8回 母と娘の物語②
  - 第9回 家族の物語
  - 第10回 文学の政治性
  - 第11回 文学と映像文化
  - 第12回 まとめ
- \*第8、9回は山下智恵子担当。他は中島美幸担当。

### 【評価方法】

毎回の簡単な感想と、学期末のレポートを総合して評価する。

### 【テキスト】

教科書は使用せず、随時、プリントを配布する。

### 【参考書籍】

毎回の講義の際に紹介する。

## 日本国憲法

大嶽 浩

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本国憲法について、その成立の経過や明治憲法との比較を通じ、現行憲法の内容と主要な問題点を講義する。憲法問題における具体的事例にもふれる。

### 【授業計画】

- ＜前期＞
  1. 憲法と理想
  2. 憲法と法律
  3. 憲法と憲法典
  4. 国民の司法参加
  5. 憲法の最高法規性 (A)
  6. 憲法の改正
- ＜後期＞
  1. 憲法と理想
  2. 憲法と法律
  3. 憲法と憲法典
  4. 憲法の最高法規性 (B)
  5. 直接効力説
  6. 憲法裁判所
  7. 公共の福祉と義務
  8. 人権アラカルト
  9. 戦争と平和

### 【評価方法】

＜前期＞授業内小テストとレポートによる評価。  
＜後期＞試験による評価。場合によっては、レポートの追加。

### 【テキスト】

使用せず。プリントを配布。



## 郷土の歴史と文化

秦達之

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

東海地方は、戦国乱世の時代に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を生んだ土地である。この歴史的風土をふまえ、愛知県を中心に郷土の歴史と文化を講義する。

愛知県は、“三大英傑”以後、一見平穏無事で、パツとしないかみえる。しかし、よくみれば、東西の文化を巧みに織りこんで、波瀾にも富み、歴史上重要な地歩を築いてきた。講義は、尾張と三河とのちがいに留意しつつ、隣県の三重・岐阜・静岡にも時には視野を拡げ、受験時の暗記の歴史から、考え、愉しみ、生きるための歴史へと飛翔することを目指す。

### 【授業計画】

一回一話の読み切り、いや、語り切りで、さまざまなテーマ、内容を取上げる。通史ではないので、時代の前後を往き來する。その時代を生きた人びとの鼓動が聞こえてくるようなものになりたいが、果してうまくいきますか、どうか？

内容は、「伊勢湾の漂流民たち」「三河加茂一揆」「村方騒動と兼帯庄屋」「東海地方の山車（だし）」「渡辺華山とその周辺」「お札降りとええじゃないか」「尾張の洋学者たち」「尾張藩草莽隊（そうもうたい）」「モルフィと廃娯運動」「新聞記者・市川房枝」「シーメンス事件と太田三次郎海軍大佐」その他。私自身の研究と共に、他の地道な研究成果も積極的に取上げたい。

こちらで一時間毎の史料を用意し、それにもとづいて講義する。必要に応じてビデオ、スライドも使用。質疑応答の時間を設けるか、感想を書いて貰うか、受講者の声を聞く工夫をしたい（受講者もぜひご協力を）。

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績などによるが、毎時間最後に感想を書いて貰い、それも評価に繰入れることも考慮中（授業を批判したからといって、評価が低くなるわけではない。念のため）。

### 【参考書籍】

愛知県の百年（塩沢君夫、斎藤勇、近藤哲生共著 山川出版社）

愛知県の歴史（塚本学、新井喜久夫著 山川出版社）

## 都市と環境

谷口武

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代の都市は生活と文化の面では便利であり、快適であるが、街の緑や空気汚染など、自然環境には恵まれているとはいえない。都市をとりまく自然環境の問題を中心に講義する。

### 【授業計画】

- 第1講 概論1：自然環境とは
- 第2講 概論1：自然環境と人間
- 第3講 各論1：農耕の発見による生活形態の変化
- 第4講 各論2：　　〃
- 第5講 各論3：産業革命と都市形成の促進
- 第6講 各論4：　　〃
- 第7講 各論5：現代都市生活の高度化
- 第8講 各論6：　　〃
- 第9講 各論7：都市巨大化と自然環境
- 第10講 各論8：　　〃
- 第11講 各論9：都市環境の改善
- 第12講 各論10：　　〃
- 第13講 単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【参考書籍】

都市の論理（藤田弘夫著 中央公論社）

なにが環境の危機を招いたか（バリー・コモナー著 講談社）

## メディアと文化

大西 誠

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報化社会の進展と技術の発達でさまざまなメディアが新しい文化を生み、伝達する。文化の創造と伝達にかかわるメディアのあり方を考察する。

各回の講義では、現代社会の中で、忘れられているメディアそのものと周縁状況との関係性に目を向けながら、メディアとは何か、文化とは何か？を具体的にとりあげていく。特に下記のジャンルに関する物語性に言及したい。

- ・ 絵画・美術
- ・ 写真
- ・ テレビ
- ・ 出版
- ・ 日用品

その他、スポーツやマンガなどにも領域を広げたい。

### 【授業計画】

各回「読み切り」形式で、テーマとなるメディアや事象とそれに関わった人物・集団などをとりあげ、講義する。

### 【評価方法】

出席状況、小テスト（数回）と課題レポート

### 【テキスト】

なし。

### 【受講上の注意】

自主性、想像力が要求される。歴史に関心のない者は不可。私語厳禁。

## メディアと文化

鎌田基子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報化社会の発達と技術の進歩でさまざまなメディアが新しい文化を生み、伝達する。文化の創造の伝達とメディアの関わりを考察する。

### 【授業計画】

- 第1回 どこからどこまでがメディアなのか？
- 第2回 伝達技術と表現手段
- ・ 新しい伝達技術が成熟するとき
- 第3回～6回 「編集」という創造
- ・ 怪物の作り方
  - ・ テーマとコンセプト
  - ・ 人の流れと思考の奥行き
  - ・ 発想の手順
  - ・ WORK SHOP  
フォトストーリー  
コラージュ  
店内レイアウト  
雑誌の企画
- 第7回～10回 現代美術はなぜ分かりにくいのか？
- ・ 作品が持つ言語
  - ・ 素材の力、場の力
  - ・ 感覚解放訓練
  - ・ 作家の生活（ゲスト講師による講演）
  - ・ WORK SHOP  
即席インスタレーション
- 第11回～12回 社会が生んだ表現
- ・ 表現の自由と人権
  - ・ 芸術が果たす役割
- 第13回 「見る」「聞く」行為について

### 【評価方法】

出席状況、レポート等による。



## 国際情勢

富江良治

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

国際化の時代とか、地球は一つなどといいながら、つい身近なことにとらわれて、視野を広げる努力を怠りがちです。世界では何が起きているのか、その背景には何があるのか、どの方向へ進むと考えられるのか。こうした問題意識と関心を持った人間が育つよう、つぎつぎと起こる新しい動きを手掛かりに分かりやすく、面白く解きほぐしていきます。世界歴史の最先端にふれる興奮と緊張を味わえれば、です。

### 【授業計画】

日々報じられる新聞の国際記事、解説や特集面、テレビのニュース番組、ドキュメンタリーなどのコピーやビデオを用意し、教室で放映または配布して説明します。発生する出来事の中から興味を引くとみられるものを優先します。したがって政治、経済、社会、文化といった体系的な進め方には必ずしもなりません。

### 【評価方法】

原則として筆記試験によります。出席状況や意見発表とか質問、問題提起、私語、遅刻など受講態度も参考にします。

### 【テキスト】

特にありません。

### 【参考書籍】

そのつど、必要に応じて知らせます。

## 生活と福祉

山口みほ

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人間らしい生活を営むには、今日では福祉は避けられない問題である。しかし、「福祉とは何か」、「福祉はいかにあるべきか」は難しい課題である。障害者福祉や老人介護など、現代的な問題を視野に入れて福祉について学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1講 オリエンテーション：社会福祉とは
- 第2講 生活問題と社会福祉
- 第3講 児童福祉
- 第4講 老人福祉(1)
- 第5講 老人福祉(2)
- 第6講 障害者福祉(1)
- 第7講 障害者福祉(2)
- 第8講 医療福祉
- 第9講 公的扶助
- 第10講 地域福祉
- 第11講 その他の領域における福祉活動
- 第12講 社会福祉の課題と展望
- 第13講 試験

### 【評価方法】

出席状況と試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

新版現代の社会福祉（竹中哲夫他編著 みらい）

### 【参考書籍】

講義中に紹介する。

# こころの世界

植村勝彦

1～4年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

極度の精神的緊張や不安をはらむ高度情報社会の時代にヒトのこころや行動の仕組みについて改めて熟考することは、将来をより豊かに生きてゆくためにも意義深いと思われる。本講義は心理学的観点から人間を理解することをめざす。

人間の社会的な場面での行動を研究するのが社会心理学であるが、それを「実験」という方法によって明らかにしようとする「実験社会心理学」で得られた興味深い知見を数多く紹介することで、心理学の面白さを味わってもらうことにしたい。

## 【授業計画】

- 第1講 社会心理学とは何か
- 第2講 同調行動のメカニズム
- 第3講 実験室のナチズム
- 第4講 模擬監獄実験
- 第5講 冷淡な傍観者
- 第6講 社会的手抜き
- 第7講 認知的不協和理論
- 第8講 対人交渉：要請と承諾
- 第9講 類は友を呼ぶ
- 第10講 相互魅力のゲイン・ロス効果
- 第11講 情動二要因理論
- 第12講 偽薬効果と逆偽薬効果
- 第13講 実験社会心理学における倫理的問題

## 【評価方法】

学期末の単位認定試験の成績で評価する。

## 【テキスト】

社会心理学ショート・ショート－実験でとく心の謎－  
(岡本浩一著 新曜社)

# こころの世界

吉崎一人

1～4年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

人間の意識的、無意識の情報処理について、心理学からせまる。

## 【授業計画】

1. 知覚の世界 (1) 視覚
2. 知覚の世界 (2) 聴覚
3. 記憶の世界 (1) 二つの箱の謎
4. 記憶の世界 (2) 情報の精緻化
5. 記憶の世界 (3) 歪む記憶
6. 無意識の情報処理 (1) 潜在記憶
7. 無意識の情報処理 (2) 注意と自動的処理
8. 日常生活での情報処理 (1) 顔、人物に関する情報処理
9. 日常生活での情報処理 (2) 推論過程
10. 脳と心の世界 (1)
11. 脳と心の世界 (2)
12. 脳と心の世界 (3)
13. テスト

## 【評価方法】

1回以上の心理学実験への参加、並びに調査(アンケート)への回答をノルマとする。

テストと実験、調査への参加を総合的に評価する。

## 【テキスト】

使用しない。毎回A4の用紙を配布する。



## こころの世界

斎藤和志

1~4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

極度の精神的緊張や不安をはらむ高度情報社会の時代にヒトのこころや行動の仕組みについて改めて熟考することは、将来をより豊かに生きてゆくためにも意義深いと思われる。本講義は心理学的観点から人間を理解することをめざす。

心理学（特に、社会心理学的な立場から）のテーマを取り上げ解説する予定であるが、その時々興味・関心に応じた話題も取り上げていきたい。

### 【授業計画】

1. 序章：心理学入門
2. ものの見え方、見方の心理（その1）
3. ものの見え方、見方の心理（その2）
4. 欲望と喜怒哀楽の心理（その1）
5. 欲望と喜怒哀楽の心理（その2）
6. 学ぶこと、考えることの心理（その1）
7. 学ぶこと、考えることの心理（その2）
8. 自己をとらえる心理（その1）
9. 自己をとらえる心理（その2）
10. 人間関係の心理（その1）
11. 人間関係の心理（その2）
12. 人間関係の心理（その3）
13. 試験

### 【評価方法】

試験による。

### 【参考書籍】

図説心理学入門（斎藤勇編 誠信書房）

## ことばの世界

松本雄子

1~4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日常生活において、ことばによるコミュニケーションは、言語的な意味だけでなく、社会的な意味においても行っている。

ことばによる社会的な意味のちがいを地域、社会的階層、性差、年齢などを軸にして考えてみたい。

### 【授業計画】

前期は、コミュニケーションの基礎概念や理論を中心に講義する。地域、社会的階層、性別、年齢によるコミュニケーションの違い等に焦点をあてる。

後期は、前期に学んだ概念や理論をもとに、実際にグループで簡単な調査をし、発表してもらう。過去の調査研究や、様々な調査方法等を説明しながら、授業時間も使って調査を進める。

### 【評価方法】

前期はテスト。後期は、グループ研究の成績によって評価する。

### 【テキスト】

特になし。必要に応じてプリントを配付する。

## ことばの世界

山本雅子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日常生活において、ことばによるコミュニケーションは、言語的な意味だけでなく、社会的な意味においても行っている。

ことばによる社会的な意味のちがいを地域、社会的階層、性差、年齢などを軸にして考えてみたい。

### 【授業計画】

- 第1回 ウチとソト①
- 第2回 ウチとソト②
- 第3回 ことばと心的距離
- 第4回 職業とことば①
- 第5回 職業とことば②
- 第6回 性差とことば①
- 第7回 性差とことば②
- 第8回 世代差とことば①
- 第9回 世代差とことば②
- 第10回 名古屋方言と東京方言①
- 第11回 名古屋方言と東京方言②
- 第12回 ことばのはたらき

### 【評価方法】

出席状況・プレゼンテーション・レポートなどによる。

### 【テキスト】

身の回りの“日本語”。日常生活で見聞きする“日本語”に対してたえずアンテナをはっておくこと。

## ビジネスの世界

藤井正志

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

21世紀を迎え、いわゆる日本型雇用システムや商慣習は崩壊しつつあるが、ビジネスの世界には、企業を維持・発展させるための企業の倫理や厳しい現実がある。企業での経験をふまえ、ビジネス世界の現実を講義する。

### 【授業計画】

- 第1講 社会人の心構え(組織人としての意識)
  - 第2講 〃 (組織内のコミュニケーション)
  - 第3講 〃 (海外でのビジネス)
  - 第4講 〃 (異文化とのコミュニケーション)
  - 第5講 主要業種の特徴(銀行・証券・保険)
  - 第6講 〃 (商社・マスコミ)
  - 第7講 〃 (製造業・公務員)
  - 第8講 〃 (シンクタンク他)
  - 第9講 経済金融用語・解説(日本版ビッグバン)
  - 第10講 〃 (グローバル・スタンダード)
  - 第11講 〃 (コホート・ガバナンス)
  - 第12講 〃 (デリバティブ)
- 経済金融用語・解説で取上げるテーマは、変更されることがあります。

### 【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用しない。



## ビジネスの世界

真田幸光

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

21世紀を迎え、いわゆる日本型雇用システムや商慣習は崩壊しつつあるが、ビジネスの世界には、企業を維持・発展させるための企業の倫理や厳しい現実がある。企業での経験をふまえ、ビジネス世界の現実を講義する。

### 【授業計画】

- 第1回 年間計画指示・オリエンテーション
- 第2回 「働く」ことの意義
- 第3回 日本経済概況
- 第4回 米国経済概況
- 第5回 欧州経済概況
- 第6回 アジア経済概況
- 第7回 国際金融ビジネス
- 第8回 国内金融ビジネス
- 第9回 商社ビジネス
- 第10回 製造業ビジネス
- 第11回 通信とビジネス
- 第12回 試験
- 第13回 試験解説

### 【評価方法】

単位認定試験の成績による。

### 【テキスト】

授業中に配布する。

## メンタルヘルス

江口昇勇

1～4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれる。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもある。講義では臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考える。

### 【授業計画】

- 1) 事例からこころの不思議と健康を考えること、事例の取り扱いについて。
- 2) 児童期のメンタルヘルス児童期の発達課題と精神病理
- 3) ヒステリー性失失歩を呈した少年の事例から
- 4) 思春期のメンタルヘルス；思春期の発達課題、性衝動との出会い－グリム童話「かえるの王様」より－
- 5) 箱庭療法により思春期危機を乗り越えた事例
- 6) 青年期におけるメンタルヘルス；同一性拡散の危機
- 7) 夢分析における同一性獲得の事例
- 8) 影の問題、影への気づき－自分の内なる黒い兄弟の存在、二重人格－
- 9) 共依存の精神病理、虐待、いじめ、ダブルバインドの深層グリム童話「猫とねずみとおともだち」から
- 10) 女性性と母性性獲得の困難さ－グレート・マザーとの直面化－
- 11) 成人期のメンタルヘルス；自分を引き受けるということ－ガン告知を引き受けるまで－
- 12) 老年期のメンタルヘルス；「障害者元型と個性化－自己実現の厳しい道－
- 13) まとめ

### 【評価方法】

レポート課題の成績で評価する。課題レポート以外にも講義に関するレポートやコメントを自発的に提出する受講生が毎年いるが、それらは積極的な受講の態度として評価し、内容のレベルが高いものは講義で紹介する。また受講態度の悪さは当然、成績評価に直結する。

### 【テキスト】

授業において、随時、資料を配布する。

### 【参考書籍】

なし。

# メンタルヘルス

二宮 昭

1～4年 後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれます。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもあります。臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考えます。

## 【授業計画】

1. 健常と障害（正常と異常）ということについて
  - 1) 健常（正常）とは？ 障害（異常）とは？
  - 2) 「障害者」とは？
  - 3) 「障害者」の受け入れ
2. 「こころ」と「からだ」
  - 1) 世界を捉える場としての「からだ」
  - 2) 現代における「こころ」と「からだ」の問題－「からだ」から切り離されてしまった「こころ」
  - 3) 臨床心理学的視点からの「からだ」の捉え直し
3. 現代人とストレス
  - 1) ストレスとは？
  - 2) ストレスの処理－リラクゼーション

授業は通常の講義形式で行うが、場合によっては実際のリラクゼーションのやり方などの体験実習を行うこともある。

## 【評価方法】

出席状況およびレポートによる。

## 【テキスト】

使用しない。適時参考資料を配付する。

# メンタルヘルス

西出隆紀

1～4年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれます。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもあります。臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考えます。

## 【授業計画】

- |          |   |
|----------|---|
| 第1回      | 心の正常と異常   |
| 第2～3回    | 心の発達と精神的健康  |
| 第4回      | 自分を見つめる   |
| 第5回～10回  | 青年期の心の問題<br>家族関係と不登校<br>食の病理－拒食と過食<br>思春期妄想症<br>対人恐怖<br>強迫神経症<br>パニック発作<br>感情の障害<br>精神分裂病 |
| 第11回～13回 | 心の援助・治療   |

## 【評価方法】

成績は出欠を考慮してテストで評価する。テストは手書きのノートのみ持ち込み可（コピーを持ち込んだ場合は失格）とするので、毎回出席しないとテストの時に慌てることになる。

## 【テキスト】

使用テキストなし。講義中に参考文献を紹介。



## メンタルヘルス

古井 景

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれます。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもあります。臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考えます。

### 【授業計画】

資料配付により講義をすすめていきます。

力動精神医学の立場から、心の働き（自我機能）に目を向け、“心の健康と不健康”について学んでいきます。また、世界保健機関（WHO）の作成した疾病分類「ICD-10」第V章「精神および行動の障害」、および、アメリカ精神医学会の疾病分類「DSM-IV」を紹介し、これに力動精神医学的理解を加えていきます。

#### I. 精神力動

自我の構造モデルと自我機能・防衛機制

人格構造

情緒発達理論

#### II. 精神症状学

意識の障害

記憶の障害

幻覚・妄想

精神運動障害

#### III. ICD-10・DSM-IV

薬物依存障害

精神分裂病、分裂病様障害および妄想性障害

気分（感情）障害

不安障害、身体表現性障害、解離性障害

摂食障害

適応障害

人格障害

#### IV. その他

### 【評価方法】

学期末の試験、または、レポートによって判定します。

### 【テキスト】

使用せず、参考図書はその都度提示します。

## 暮らしの経済

森下 允之

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生活に密着した経済学の入門。特に今や経済社会もグローバル化しており、国際経済の流れや仕組みにもふれ、日常化している経済用語を解説する。

### 【授業計画】

第1講 国民所得統計

第2講 バブル崩壊と平成不況

第3講 財政の現状と課題

第4講 金融の基礎知識（銀行、金融市場）

第5講 同上（金融政策、金融自由化）

第6講 貿易と国際収支

第7講 為替相場

第8講 世界各国、地域の経済（アジア、中東）

第9講 同上（ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ）

第10講 アジア通貨危機

第11講 欧州統一通貨ユーロ

第12講 地域経済統合vsグローバリズム

第13講 単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況、小テスト、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

教材はプリントを配布する。復習のためときどき「小テストを行う。

## 暮らしの経済

村上貴美子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生活に密着した経済学の入門。特に今や経済社会もグローバル化しており、国際経済の流れや仕組みにもふれ、日常化している経済用語を解説する。

### 【授業計画】

- 第1回 最近の経済状況と用語解説  
生活と経済の関わり
- 第2回 消費者の権利と意思決定
- 第3回 価値観と消費の多様化
- 第4回 生活を取りまく環境変化
- 第5回 本当の「豊かさ」とは何だろうか
- 第6回 「労働」と言う言葉はなぜキライですか
- 第7回 教育と経済
- 第8回 サービスとはタダ（無料）のことでしょか
- 第9回 余暇の為に働く
- 第10回 住宅とまちづくり
- 第11回 国際化と生活
- 第12回 未来を考える

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【参考書籍】

生活の経済学（井原哲夫著 東洋経済新報社）  
賢い消費者—アメリカの消費者教育の教科書  
（J.Gボニス、R.ボニスター共著 小林紀之・宮原佑弘  
監訳 家政教育社）

## 外国の言語と文化1

角田達朗

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国語の初歩を学ぶとともに中国の風土・歴史・文化について理解を深める。

### 【授業計画】

近年、中国映画は国際的な賞を獲得する作品が続出し、注目を集めている。この授業では、中国映画の中から、主として現代小説を原作とする作品を、題材の年代順に鑑賞することによって、中国の近現代史についての理解を深めて行く。中国の近現代は、辛亥革命・抗日戦争・文化大革命などに象徴される動乱の時代であった。中国映画がこのような動乱の時代をいかに描いているかを、映像表現についての分析も織りまぜながら検証する。

同時に、映画の中の「生きた中国語」に触れることを通じて、中国語に親しみ、言語についての理解を深める契機とした。

- 第1～2回 張芸謀『紅いコーリャン』  
（原作 莫言『紅高粱一族』）
- 第3～4回 張芸謀『菊豆（チュイトウ）』  
（原作 劉恒『菊豆』）
- 第5～6回 陳凱歌『黄色い大地』  
（原作 柯蘭『深谷回声』）
- 第7～9回 謝晋『芙蓉鎮』  
（原作 古華『芙蓉鎮』）
- 第10～11回 陳凱歌『子供たちの王様』  
（原作 阿城『孩子王』）
- 第12～13回 孫周『心の香り』  
（原作なし）

### 【評価方法】

レポート

\*受講状況によっては、試験に変更することもある。

### 【テキスト】

なし。

\*授業時に鑑賞する映画が、テキストに相当する。

### 【参考書籍】

随時紹介する。



## 外国の言語と文化 1

張 勤

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国語の初歩を学ぶとともに中国の風土・歴史・文化について理解を深める。

### 【授業計画】

- 第1回 現代中国と現代中国語とは  
中国語初歩コーナー：声をかけたいとき
- 第2回 中国語の方言と少数民族の言葉  
中国語初歩コーナー：感謝をしたいとき
- 第3回 中国語の挨拶  
中国語初歩コーナー：何かを聞きたいとき
- 第4回 中国人の名前  
中国語初歩コーナー：好きな気持ちを表したいとき
- 第5回 食べ物と中国語  
中国語初歩コーナー：いやな気持ちを示したいとき
- 第6回 中国語の言葉遊び  
中国語初歩コーナー：言い方が分からないとき
- 第7回 中国語と日本語の違い  
中国語初歩コーナー：何かしてもらいたいとき
- 第8回 中国語の歴史  
中国語初歩コーナー：何かさせてもらいたいとき
- 第9回 中国語の文学  
中国語初歩コーナー：私はそう思わないよと言いたいとき
- 第10回 中国語の文字  
中国語初歩コーナー：信じられない気持ちを表したいとき
- 第11回 中国語の外来語  
中国語初歩コーナー：そうしようと提案したいとき
- 第12回 中国語の現実  
中国語初歩コーナー：そうしたいと言いたいとき

### 【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

講義中に指示する。

### 【参考書籍】

講義中に指示する。

## 外国の言語と文化 2

尹 大辰

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

韓国・朝鮮語の初歩を学ぶとともに、朝鮮半島の風土・歴史・文化について理解を深める。

### 【授業計画】

- 第1回 訓民正音について
- 第2回 ハングルの文字と発音（1）
- 第3回 ハングルの文字と発音（2）
- 第4回 基本的な日常会話（1）
- 第5回 基本的な日常会話（2）
- 第6回 基本的な日常会話（3）
- 第7回 言語と文化（1）－衣・食・住
- 第8回 言語と文化（2）－社会的構造
- 第9回 言語と文化（3）－漢字語比較
- 第10回 朝鮮半島の歴史と文化
- 第11回 朝鮮通信使の意義
- 第12回 まとめ－言語表現から見た文化比較

### 【評価方法】

期末試験とレポート、出席率を加味して評価する。

### 【テキスト】

ムクゲと桜－日韓異文化コミュニケーション－（窪田守弘著 銀河文庫）  
韓国・朝鮮語の教材はプリントを用意する。

### 【参考書籍】

韓国（金両基監修 新潮社）  
韓国と日本の比較文化論（金渙著 明石書店）

## 外国の言語と文化 3

杉本一直

1~4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ロシア語の初歩を学ぶとともに、ロシアの風土・歴史・文化について理解を深める。

### 【授業計画】

みなさん、知っていますか？日本の大学になかでロシア語を学ぶことができるところは本当に少ないですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- a. キリル文字と発音
- b. 大きな声であいさつしよう
- c. 買い物に行ってみよう
- d. 乗り物に乗ろう
- f. おなががすいたら…
- g. 自分について話してみよう

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

「パスポートロシア語辞典」(白水社)

## 外国の言語と文化 3

丹邊文彦

1~4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ロシア語の初歩を学ぶとともに、ロシアの風土・歴史・文化について理解を深める。

1. ロシア語文字への習熟
2. ロシア語発音およびリズム感の養成
3. テキスト(本文)朗読の習慣づけ
4. ロシア民謡などの鑑賞により、風土・歴史・文化を理解させる

### 【授業計画】

(前期)

第1回 年間計画ガイダンス

第2~5回 下記教科書を使用してロシア語の初歩的の文法、表現、語いを習得させる

第6回 筆記体

第7~12回 5回までの学習をさらに断続・発展させる  
期末試験実施

(後期)

第1~7回 『ロシア語へのパスポート』(白水社)終了

第8~12回 Potapova “Learning Russian”(絶版のためプリント使用)のテキストの講読、日常表現の暗誦

期末試験実施

### 【評価方法】

期末試験成績、日常点(ことに朗読を重視)、出席点の総合評価。

### 【テキスト】

(前期)『ロシア語へのパスポート』(白水社)

(後期)同上テキストの継続; “Learning Russian”の講読

### 【参考書籍】

東郷正延『ロシア語のすすめ』(講談社現代新書95)



## 外国の言語と文化 4

藤井たぎる

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ドイツ語の初歩を学ぶとともに、ドイツの風土・歴史・文化について理解を深める。

### 【授業計画】

ドイツ・オーストリアの生活文化とその言語。現代のドイツ・オーストリア事情の一端を紹介しながら、ドイツ・オーストリアのいろいろな「顔」を発見してもらう。具体的には下記のような日常的なテーマをもとに、ドイツ・オーストリアの事情を日本のそれと比較しながら、両者の類似性と差異をみてゆく。また初歩的なドイツ語会話の練習もあわせておこないたい。

- 1) ドイツ・オーストリアの風土
- 2) ドイツ・オーストリアの近現代史
- 3) ドイツ・オーストリアのマス・メディア
- 4) ドイツ・オーストリアの衣食住
- 5) ドイツ・オーストリアの消費生活
- 6) ドイツ・オーストリアの芸術文化

講義形式ではあるが、授業中にいろいろ意見を求め、各自の考えるところを発言してもらう。必要に応じてプリントを配布する。

### 【評価方法】

筆記試験。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配布する。

## 外国の言語と文化 5

清水ベアトリックス

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ヨーロッパ文明の発祥の国フランスについての理解を深めることはヨーロッパ文化を理解するうえで重要である。フランス語とフランス文化の概要を学ぶことにより、フランスへの関心と理解への動機づけとしたい。

#### 前期

このコースは、受講者の興味を考慮に入れ授業内容を考えたい。現代フランス社会と日常使用されているフランス語を学ぶとともに、担当講師（フランス人）の在日体験談を交え、フランス・日本両国を言語・文化の面から比較検討する。

とにかく、下記のテーマで行う。

- フランスの地理
- フランスの建国
- フランス国民の起源
- フランスの社会問題
- フランスの家族
- 教育制度
- フランスとヨーロッパ
- フランス人と余暇など。

#### 後期

前期と同じ。

### 【授業計画】

毎回、担当教員が指定したテキストの章について議論し、テレビや新聞で報道されたフランスに関する時事問題の中で特に学生の関心を引くようなものを選んで、解説したい。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題（テキストや映画についての感想文）、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

変貌するフランス（西永良成 日本放送出版協会）

## 外国の言語と文化 6

木下 登

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

スペイン語の初歩を学ぶとともに、スペインの風土・歴史・文化について理解を深める。

### 【授業計画】

1. スペイン語とスペイン語圏の世界
2. スペインの歴史と文化の特色
3. スペイン語を学びましょう
4. アルファベット、音節、アクセント
5. 名詞の性数、定冠詞と不定冠詞
6. 人称代名詞、serとestar動詞、hay
7. 否定文、疑問文、関係詞、感嘆文
8. 形容詞（性数の一致）、指示形容詞、所有形容詞
9. 動詞（直説法現在）
10. 再帰動詞
11. 動詞（直説法現在完了）、過去分詞と現在分詞
12. 動詞（直説法過去：点過去と線過去）
13. 動詞（直説法未来と過去未来）
14. 動詞（直説法大過去）
15. 動詞（命令法）、無人称文
16. まとめ

### 【評価方法】

筆記試験に出席状況を加味して評価。

### 【テキスト】

授業中に指示します。

## 文章表現論

加藤孝男

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「自分にしか書けないことを誰にもわかるように書く」ことを目標にして、文章表現に必要な基本的事項を実践例をふまえながら学習する。

### 【授業計画】

- 第1講 はじめに  
2～3 日記について  
4～6 名文を読む  
7～8 表現のレトリック  
9～10 芸術的表現の手法  
11～12 表現の実践  
13～14 まとめ

### 【評価方法】

試験と提出物（表現の実践）との両方で評価します。また、出席・平常点も重視。

### 【テキスト】

第一回目の講義で指示します。



## 文章表現論

青木 健

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「自分にしか書けないことを誰にもわかるように書く」ことを目標にして、文章表現に必要な基本的事項を実践例をふまえながら学習する。

### 【授業計画】

第1回 人は言葉の織物である。(伝達と表現Ⅰ)

第2回 現実という言葉の織物である。(伝達と表現Ⅱ)

第3回～6回

例文をテキストに、文章の構成、話法、リズム、形容など具体的に講義。

第7回～12回

課題を3回提出し、短文(2～5枚、400字詰)を書かせ、そこから文章表現についての共通の問題点を抽出する。

### 【評価方法】

出席状況、3回の提出原稿などを基準として評価する。

### 【テキスト】

当方にて用意します。参考書籍は授業中に数冊指示します。

## 比較文化

文 嬉眞

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

世界にはさまざまな国家や民族があり、多様な文化が存在する。文化人類学的な見地から外国の文化や伝統・風俗を学ぶ。

### 【授業計画】

本講義では、主に「日本の文化」に焦点を当て考えることにする。特に、外国人(見る側)が日本という異文化(見られる側の文化)と直接接触した際、どのように評価(表現方法)・認識したかを考察し、その考察からなぜそのような評価・認識があらわれるかを分析する。そして、得られた分析によって外国人(見る側)がもつ「文化」を再分析する。すなわち、外国人(見る側)が「異文化」(見られる側の文化)を見るまなざしに関して考察することによって、自文化(見る側の文化)を再認識するだろう。

1. 異文化(異民族)との理解・誤解に関する一般的な概論
2. 異文化交流史における本講義の位置付け
3. 前近代の外国人(見る側)における「日本認識」および外国人(見る側)がもつ「文化」に関する考察
4. 近・現代の外国人(見る側)における「日本認識」および外国人(見る側)がもつ「文化」に関する考察

### 【評価方法】

1. 出席、受講態度、講義時の課題等で全体の50%を評価する。
2. 学期末レポートで残る50%を評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

### 【参考書籍】

授業中に指示する。

## 比較文化

田所光男

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

世界にはさまざまな国家や民族があり、多様な文化が存在する。文化人類学的な見地から外国の文化や伝統・風俗を学ぶ。

### 【授業計画】

ワインとか料理、香水にモード、もう少しアカデミック(?)にルーブルとかオルセー...皆さんのフランス・イメージはどうでしょうか。この授業では、異文化・異民族との関係の中にあるフランスを眺めて行きます。恐らくこれまでのフランス・イメージとはかなり違うフランスの姿にぶつかることになると思います。フランスを少し再発見してみる、ことができるのではないのでしょうか。また、フランスばかりではなく、現代世界に生じている様々な文化摩擦・民族衝突の問題を理解して行くために必要な、いくらかの知的枠組みを自分の中に取り入れることも可能だと思います。

具体的には、まず、異文化・異民族の接触・交渉・衝突についての概論を行います(5回)。次に、フランスの内部にある異文化接触の問題として、ユダヤ人、特に、ジェノサイド以降の、戦後生まれの世代の動向に注目します(4回)。最後に、フランス人による非ヨーロッパ世界の表象を検討します。特に、南太平洋のタヒチを取り上げる予定です(4回)。

こうした検討を通して、同化、植民地化、移民、ヨーロッパ中心主義、反ヨーロッパ主義、文化相対主義、普遍主義、差異への権利、多文化主義など、様々な問題を考えて行きます。

### 【評価方法】

授業への積極的な参加、及びレポート(大小二回を予定しています)。

### 【テキスト】

異文化への視線(佐々木英昭編著 名古屋大学出版会)  
その他、適宜プリントを配布します。

## 現代芸術 1

天野節子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代芸術としての「書道」の意義と意味を問い、名筆の鑑賞と書写の実技をする。

### 【授業計画】

第1回 年間の授業計画として使用する教本の鑑賞の方法を説明する。

第2回～10回  
書写の重要なポイントの説明をしながら実技をする。一人一人について添作指導をする。

第11回～最終回  
課題に有名な作家又は詩人等の美しい文章等を各自に表現をして作品を作成させる。

### 【評価方法】

出席状況・平常点・課題などによる。

### 【テキスト】

ペン字テキスト・基本編・実務編・応用編(氏田菫軒著 書道教育社)



# 現代芸術 1

森美恵子

1～4年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

現代芸術としての「書道」の意義と意味を問い、名筆の鑑賞と書写の実技をする。

## 【授業計画】

楷書・行書・草書の古法帖を拡大臨書コピーし、その手本に基づき書作した清書作品を提出する。

仮名は、若菜帖の全臨にて習得する。

書写中心であるが、中国の書論に則り、古法帖の概略等も講ずる。

## 【評価方法】

授業内で提出する平素の成績物及び出席状況等にて総合的に評価する。

## 【テキスト】

書の鑑賞と学び方 (上田桑鳩 教育図書研究会)  
若菜帖 (鳩居堂)

# 現代芸術 1

小川晃治

1～4年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

現代芸術としての「書道」の意義と意味を問い、名筆の鑑賞と書写の実技をする。

各時代に於ける日本の書美の変相を、他の美術と文学と対比、関連させて探求させる。そして現代社会の中にあつて、書のあり方、価値感を考察し、また生活の中に於ける書文化の諸相を観る。漢字から「かな」を創造した日本人の美意識を追求する。

- 他の美術、文学を対比して、書の美学を学ぶ。
- 基本的書技を実習する。楷、行、草、篆、隸書、かなの六体を実習する。
- 日本の三筆、三蹟の古筆の鑑賞、臨書をする。
- 基本的なかなの実技と、古筆を鑑賞する。
- 漢字の細字の実技の実習をする。王羲之の蘭亭叙を臨書させる。
- 和漢の書道史を通じ、書の美の概要を学ぶ。
- 奈良、平安時代の文学、書に於ける、漢字の意義、かなの創成、大成を通じ、上代文化の成立を学ぶ。
- 鎌倉時代に於ける禅文化を墨跡にふれ、貴族文化と武家文化の対比をさせる。
- 室町、桃山時代の絵画、建築、工芸と書芸の動向を観る。また現代社会に於ける美の淵源を探る。
- 江戸時代に於ける庶民文化隆盛の中の美と、和様、唐様の書の諸相を学ぶ。
- 現代社会に於ける、文字、書文化の社会生活の中での意義を考えさせる。

## 【授業計画】

講義、実技を一日の時間内に進める。前後期共通の為、各時代の書美、他の美術、文学の対比についての講義は概論とする。現代社会に於ける書美と、日本人の美意識を探求することを基準として進める。

## 【評価方法】

レポート三種、実技作品、学習態度、出欠状況などによる。

## 【テキスト】

担当者の小文、古典法帖。

## 現代芸術 2

志水博子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代芸術としての「音楽」の意義と意味を問い、名曲を鑑賞し、歌唱をする。

### 【授業計画】

- 第1回 世界の名演奏家によるオペラのビデオ鑑賞
- 第2回 声の出るしくみ 講義と演習
- 第3回 やさしい曲で楽しくハーモニー演習
- 第4回 外国の歌曲を原語でうたう
- 第5回 名演奏家の演奏をビデオ鑑賞
- 第6回 名演奏家の演奏をビデオ鑑賞
- 第7回 実技演奏発表のリハーサル
- 第8回 (選曲や演奏法のアドバイス)
- 第9回 混声合唱練習
- 第10回 混声合唱練習
- 第11回 演奏会形式による実技発表
- 第12回 演奏会形式による実技発表

### 【評価方法】

出席状況、実技演奏—各自の得意とする楽器又は歌唱例、独唱、アンサンブル、連弾、カラオケ等。

### 【テキスト】

プリント配布。

## 現代芸術 2

浅田まり子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代芸術としての「音楽」の意義と意味を問い、名曲を鑑賞し、歌唱をする。

### 【授業計画】

- 第1講～第4講
  - a. 音や曲の聴き分けや効用について
  - b. 発声のしくみと呼吸法
  - c. 音楽理論を活用して読譜し、歌詞の言葉やフレーズを考えながらユニゾンで歌唱
- 第5講～第8講
  - a. リズムの把握と音によるイメージトレーニング
  - b. 腹筋のトレーニング
  - c. 和声、形式などを理解しながら合唱し、グループレッスン
- 第9講～第12講
  - a. 名曲の歴史的背景からの解釈と表現
  - b. 声を楽器として育てるトレーニング
  - c. 表現の工夫や創作をして個人またはグループで演奏を発表(楽器を含む)

毎回、それぞれの講義では、鑑賞、発声、歌唱に重点をおいて進めていく。

### 【評価方法】

実技、課題レポート、出席状況などで評価。

### 【テキスト】

MUSIK (浅田まり子編 カワイ出版)



## 現代芸術 3

横山萬里

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代芸術としての「美術」の意義と意味を問い、名画を鑑賞し、作品を作る。

### 【授業計画】

国宝に指定されている古い絵画あるいは日本の伝統的な絵巻のなかから鳥獣人物戯画をとりあげて日本画の表現、色彩方法を講義する。

また、授業の中で名古屋市内の美術館を訪問し、古画現代画にふれる。

- ・日本画の特徴
- ・鳥獣人物戯画の説明
- ・鳥獣人物戯画における線の強弱と動き
- ・日本画の模写について
- ・日本画の鑑賞

博物館入場料 600円程

美術館入場料 500円程

筆ペン 500円

費用 計 1,600円程度

### 【評価方法】

出席状況と感想文レポート（6回提出）を総合的に評価。

### 【テキスト】

日本の絵巻6「鳥獣人物戯画」

コピーした図を見る。

### 【参考書籍】

なし。

## 現代芸術 3

川口 晃

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代芸術としての「美術」の意義と意味を問い、名画を鑑賞し、作品を作る。特に現代美術には様々な分野がある。絵画・彫刻・工芸・デザイン・書・鑑賞のほかに、最近では映像・コンピューター・建築・環境・都市計画などまでも美術の分野として考えられるようになった。

本講ではそれらの造形美術の概観、実技（課題制作）を通して基礎的な絵画表現・工芸表現・デザイン表現などの創造的能力を養う。（テキストは使用せず。）

〈前期〉

#### ●課題1. 紙による立体造形

われわれの身のまわりには様々な素材があるが、その中でも一番身近で何気なく使っている「紙」から立体造形作品をつくる。

#### ●課題2. 直定規とコンパスを使った平面構成

単紙な構成道具である「直定規とコンパス」を使って画面を平面構成する。

〈後期〉

#### ●課題1. 風景写生

キャンパス内の建物および植物などを、忠実に写生する。

#### ●課題2. 切絵からパズルへ

幾何学的な基本形態である、正方形、長方形、正三角形、円の色紙を直線または曲線で切り、各部品を再構成することによって、具象的な形態をつくる。

#### ●課題3. 一切文字

正方形の紙を何回折ってもよいが、一回だけ直線で切る。（その直線に並行にある幅を持たせて切る。）それを広げるとアルファベット、数字、カタカナの全部および漢字の一部ができる。

### 【授業計画】

各週とも机間巡視・プロセスのチェックにより、個別に指導・助言をする。

### 【評価方法】

各課題の制作過程・成果、出欠席、受講態度等により総合して評価する。

## 女性学・男性学

伊藤公雄

集中 1~4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代日本社会におけるジェンダー問題について、おもに男性学の視点から考察を加える。

はじめに ジェンダー論入門

1. 女性問題の発展
2. 現代日本の女性問題
3. 男性問題の時代
4. 作られる「男らしさ」「女らしさ」
5. 体験的主夫論／働く主夫の生活と意見
6. ニッポンのお父さん／男性の育児をめぐる
7. 男性学と男性運動の展開
8. 試験

<参考図書> 伊藤公雄・牟田和恵編『ジェンダーで学ぶ社会学』（世界思想社）

### 【授業計画】

講義を中心に、ビデオ教材なども使用しつつ進める予定である。

### 【評価方法】

試験によって成績評価を行う。

### 【テキスト】

男性学入門（伊藤公雄 作品社 1,680円）

## 女性学・男性学

伊田久美子

集中 1~4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「フェミニスト」といえば、かつての日本では「女にやさしい男」のことだと思われていたが、今日では「男を敵視する怖い女」というパターン化された偏見のイメージがつきまとっている。この講義では多様に発展し、ゆたかな可能性を持つフェミニズムの実像を概観し、今日の私たちにとって身近な諸問題に触れながら、フェミニズムの意義を明らかにしたい。

フェミニズムの起源

リベラル・フェミニズム

社会主義女性解放論

ラディカル・フェミニズム

マルクス主義フェミニズム

家事労働論

エコロジカル・フェミニズム

その他の様々なフェミニズム

国連を中心とする女性問題への取組とフェミニズム

開発と女性問題

女性の人権

日本のフェミニズム

### 【授業計画】

毎回配布するプリント等により講義、解説する。ビデオ教材を随時使用する。

### 【評価方法】

最終授業時の筆記試験により評価する。

### 【テキスト】

フェミニズム入門（大越愛子 ちくま新書）

### 【参考書籍】

ワードマップ・フェミニズム（江原由美子、金井淑子編 新曜社）



## 女性学・男性学

井深淳子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

男女についての定説化した知識、それによって作り出された役割、人格の内部に及ぶ性別化の影響とその結果生まれる病理などについて、さまざまな事例や理論を紹介し検討する。

本授業を通して、私達の生活を、女性学・男性学から点検し、そこに「どういう困難があり、どういう課題があるのかを具体的に知ること」をめざす。

### 【授業計画】

- 第1回 はじめに
- 第2～4回 家族問題
- 第5～7回 女性が働き続けることについて
- 第8～10回 子育て
- 第11～13回 現代の病巣

### 【評価方法】

期末試験、講義時に行う課題や、受講態度等、総合的に評価する。

### 【テキスト】

学んでみたい女性学（中田照子他著 ミネルヴァ書房）

テキストとともに、講義中に適宜配布する関連資料を用いてすすめる。

## エコロジー

大島光昭

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

今や地球規模で自然の環境破壊が進んでいる。自然を保護し、環境を守る観点から地球のエコロジーを考える。

エコロジーとは、生物とそれをとりまく外界すなわち環境との関係についての総合科学である。生物の生存は均衡のとれた有機的および無機的環境の上に成り立っており、均衡の崩壊は人類を含む生物界の未来を危うくする。人類の生活および生産活動はこれらの均衡を乱して多くの生物の生存を脅かしつつあり、地球の未来にさまざまな問題を投げかけている。それらの状況について解説するとともに、今後どうあるべきかについて問題提起を行う。

### 【授業計画】

- 地球環境と生物
  - 生態学的遷移と地質学的遷移
  - 物質の循環
  - 進化と適応
  - 生物の繁殖戦略
- 自然環境の保護と育成
  - 陸地環境
  - 水域環境
  - 流域圏環境
- 化石燃料と環境
  - 地球の温暖化
  - 酸性雨
  - 光化学オキシダント
  - 浮遊粉塵
- 化学物質と環境
  - オゾン層の破壊
  - 生物濃縮と生態系の攪乱
  - ヒトの健康被害

### 【評価方法】

出席状況と試験成績をもとに評価する。

### 【参考書籍】

環境白書（環境庁編）

## 伝統文化

林 和利

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

国際化が進み、さまざまな異文化にふれる機会も多くなったが、日本の伝統文化にも目を向けることが大切だ。伝統文化の中でも芸能・演劇を中心に講義する。舞楽・能・狂言・歌舞伎・文楽など、実際の舞台をビデオ等で確認しつつ、その歴史や演技・作品などについて講じる。

### 【授業計画】

1. 授業の目的と方針を提示。
2. 日本芸能演劇史概説。
3. 芸能の発生について
4. 神楽について
5. 舞楽について
6. 能について
7. 狂言について
8. 歌舞伎について
9. 文楽について

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験により総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本文化論序説（林和利著 青山社）

## アジアの生活と文化

楊 衛平

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本は生活も文化もアジアの影響を強く受けている。特に日本と歴史的にも関係の深い近隣の国を中心にアジアの生活と文化を講義する。

### 【授業計画】

1. 中国の少数民族の構成
2. 仏教と道教の相異
3. 中国の年中行事
4. 南北食文化の比較
5. 中医学と西洋医学
6. 気の文化（気功）
7. 飲茶の文化と歴史
8. 伝統武術と健康
9. 少数民族の音楽
10. 少数民族の服装
11. 中国人の姓の色々
12. 中国の名勝物語
13. 中国人と日本人の考え方の相異

### 【評価方法】

出席状況とレポートによって総合的に評価する。

### 【テキスト】

プリント配布。



## 生命の科学

富田 武

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

動物の生命の誕生、生体を構成する物質や生殖と遺伝の仕組みなど、動物の生命の維持のメカニズムについて学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1講 生命の科学序説
- 第2講 生命誕生と進化
- 第3講 動物細胞の分化
- 第4講 動物体を構成する物質
- 第5講 動物の生殖と発生
- 第6講 動物の遺伝（1）
- 第7講 動物の遺伝（2）
- 第8講 動物の生命維持（1）
- 第9講 動物の生命維持（2）
- 第10講 脳の進化、成長、老化
- 第11講 動物の生殖現象操作
- 第12講 動物の遺伝現象操作
- 第13講 単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験で総合的に評価する。

### 【参考書籍】

生命科学への誘い（大島泰郎他編 東京化学同人）  
生物小事典（丘英通、岩波洋造監修 三省堂）

## 食品の科学

千葉善根

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

基礎的な科学と食品の科学との関わり、食品のもつ機能や性質、貯蔵などを学び、食品と酵素の関係や化学物質としての理解を深め、多様化した食生活や加工食品の氾濫の中で生活に役立つ講義をする。

### 【授業計画】

1. 現代食生活の問題点  
食生活の変化と食糧資源について。
2. 糖質と食品  
デンプンの機能と利用、食物せんい、最近の甘味料について。
3. たんぱく質と食品  
変性と加工・調理との関係、加工食品と食物性たんぱく質の利用。
4. 脂質と食品  
脂肪の性質と脂肪酸、油脂の劣化、乳化と乳化食品。
5. 無機質と食品  
骨粗鬆症等。
6. ビタミン  
食品加工・調理との関係、生物学的触媒としての働き。
7. 発酵食品  
食品と酵素・微生物との関係。

### 【評価方法】

定期試験にて評価。

### 【テキスト】

使用しない（プリント配布）。

## 生活の化学

八代 有

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

健康で豊かな生活を維持していくには、化学の知識と活用は必要不可欠からざるものである。身近な生活に必要な化学の知識と関係について事例をあげて学ぶ。

### 【授業計画】

1. 栄養のバランスと健康増進を考える
2. 食品成分の化学と食品の安全性
3. ビタミンの化学的性質と病気のしくみ
4. 生活習慣の改善と疾病予防
5. 薬についての正しい認識
6. 薬が生体に影響を与える因子
7. 尿はからだの健康情報源
8. 食べ物および体内における酵素の働き
9. 話題となった環境公害
10. 生活のなかでの不思議

### 【評価方法】

テストおよび出席状況により総合的に判定する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず、プリントを適宜配布する。

## 生き物の世界 1

服部 一三

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

地球上には多種多様な植物が生存しているが、これらの植物は食物連鎖の基本を成すものである。植物の生物界における位置付けや植物の成育地について紹介し、植物と人間との関わりについて認識を深める。

### 【授業計画】

- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 第1回     | 1. 生物界の分類                     |
|         | 2. 生物の進化                      |
| 第2～6回   | 3. 植物と人の関わり                   |
|         | 1) 農耕の始まり                     |
|         | 2) 世界の農耕文化                    |
|         | 3) 日本農耕文化の起源と発展               |
|         | 4. 人が手を加えた植物—作物               |
|         | 1) 作物とは？                      |
|         | 2) 世界の作物の起源                   |
| 第7～8回   | 5. 作物改良の原理と方法                 |
|         | 1) 作物改良の原理                    |
|         | (1) メンデルの法則—遺伝学               |
|         | (2) 遺伝の物質的基礎                  |
| 第9回     | 2) 作物の改良方法                    |
| 第10回    |                               |
| 第11～12回 | 6. バイオテクノロジー—                 |
|         | 1) バイオテクノロジーとは？               |
|         | 2) 作物の改良とバイオテクノロジー—           |
|         | (1) 細胞・組織培養                   |
|         | (2) 遺伝子操作                     |
|         | (3) バイオテクノロジーで得られた作物をいかに考えるか？ |
|         | (1) 倫理                        |
|         | (2) 安全性                       |

### 【評価方法】

受講資格についてはあえて問わないが、成績評価には出席点を重視し、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【参考書籍】

下記の書籍を参考書籍として使用するが、テキストなどを作成して講義を進めるので、特に買い求める必要はない。

平田豊著『生物的自然と人間』開成出版



## 生き物の世界 2

石崎宏矩

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

身近に見られる昆虫や鳥などの生態のメカニズムを解説し、生命の進化について学び、動物への関心といたわりを深めたい。

### 【授業計画】

次のような項目について講義する。○カイコはどのようにしてクワシか食べないのか○モンシロチョウの雄はどのようにして雌を見分けるか○生物がもっている時計（生物時計）とはどういうものか、時差ボケはどうして起こるか○モンシロチョウの蛹はどのようにして寒い冬をのりこえるか○アヒルのひなは生まれて初めて見た生き物を親として認識し、終生変わらない（刷り込み）。刷り込みの起こる機構は？○生命が地球上に生まれてから40億年、さまざまな生物はどのようにして進化してきたのか、DNAの性質、遺伝子の突然変異、自然淘汰とは。

他に、NHKスペシャル「生命－40億年はるかな旅」他のVTRを放映し、解説を加える。

全体として、生物の進化、近未来における地球上の生命－人間を含めて－の危機について、正しく理解してもらえらるようにつとめる。

### 【評価方法】

出欠、レポート、期末試験によって総合評価する。欠席した時は、友人のノートを書かせてもらって、内容を理解しておくこと。試験問題が、たまたま欠席した日の授業内容だったからといって白紙であれば、特に区別はしない。

### 【テキスト】

なし。

### 【参考書籍】

随時、授業で指示する。図書館に備えつけてあるので、自主的に勉強してほしい。

## 人類と宇宙

安野志津子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

宇宙観の始まり、星の生と死、地球の生成と進化など、日進月歩の宇宙の科学の課題をふまえつつ、人類にとつての宇宙についても考察する。

### 【授業計画】

－地球のまわり、太陽系、銀河系を知り、宇宙を身近に引き寄せるために－

1. 宇宙モデルの変遷
2. 太陽系を探る
3. 星の世界
4. 銀河から宇宙へ
5. 宇宙の歴史と進化
6. 宇宙の始めと未来

毎回プリントを配布し、講義を主とするがその内容を中心としたOHP、ビデオ等も利用する。また、講義に関連した質問を出してもらい次回に解答する。なお、随時ホットな話題も取り入れたい。

### 【評価方法】

基本的には、期末テスト（配布プリント、ノート持ち込み可）によるが、出席状況も考慮して判定する。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考書籍】

- (1) 宇宙論のすべて 池内 了（新書館）
- (2) 図解雑学 天文学 二間瀬敏史（ナツメ社）
- (3) 星と宇宙の物理学読本 並木雅俊（丸善）
- (4) 図解 SPACE ATLAS 宇宙のすべてがわかる本 三品隆司・河島信樹（PHP）
- (5) 見えてきた宇宙の神秘 野本陽代（草思社）
- (6) 太陽 －その素顔と地球環境との関わり－ ケネス.R.ラング著 渡辺 堯/桜井邦朋訳（シュプリンガー・フェアラーク東京）
- (7) 理科年表 国立天文台編（丸善）

## 数学の世界

仁科浩二郎

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

我々は日常、知らず知らず近代数学の成果を利用して  
いる。ここでは初歩的、あるいは基本的な数学の各手法  
を解説して概念を理解させたあと、各手法について応用  
例を挙げて、改めてこれらの恩恵を実感する。例として  
は、計算機における2進法の利用、極限值、微分の概念、  
対数の利用、保険計算における確率などがある。

### 【授業計画】

第1回 当講義の目的と計画の提示

第2～11回

以下の各項目に1～2回をかけて解説し、実際に例  
題を解く。

第12回 まとめ

いろいろな単位と換算

2進法とその利点

グラフの利用

極限値の精神

微分という操作

文字と式の活用

確率

対数を使う利点

平均の手順

### 【評価方法】

毎回、小プリントを配布して当日の課題を提示し、解  
説によって授業の最後に答を提出できるようにする。

### 【テキスト】

プリントを毎回配る。

## 生命の倫理

加藤太喜子

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代の医学の進歩と発達によって今や人間の生命の誕  
生も医学よりも倫理の問題になった。現代社会が抱えて  
いる「生命」を倫理や哲学の面から考察する。この「誕  
生」という場面では、人工生殖技術にまつわる倫理的問  
題から人工妊娠中絶にまつわる倫理的問題まで、様々な  
問題が広がっている。代理母・出生前診断といった技術  
を通して、私たちが本当に考えるべきは何かを共に探っ  
て行きたい。

### 【授業計画】

次の主な項目に従って授業を展開する。

1. オリエンテーション
2. 人工授精
3. 体外受精
4. 代理母
5. 人工妊娠中絶
6. 出生前診断
7. 優生思想とは
8. よりよい自己決定権へ
9. まとめ

### 【評価方法】

授業への積極的参加を重視し、レポートを課す。

### 【テキスト】

なし。適宜資料を配布する。

### 【参考書籍】

『生命誕生をめぐるバイオエシックス』（金城清子著  
日本評論社）

『生命観を問いなおす』（森岡正博著 ちくま新書）

『出生前診断』（佐藤孝道著 有斐閣選書1634）

『死の選択』（森下直貴著 窓社）



## 健康と医学

阪 正和

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本はますます高齢化社会に入り、人生80年の時代になった。しかし、長生きするための健康は自分で管理し、自立自助によって初めて達成される。健康を保ち、命を守り育てるにはどうすればよいか。医学の立場から、病気と健康について講義する。

### 【授業計画】

出生前からの健康をめざして

- 1) 健康とは何か  
健康の定義 健康管理 生命の尊さ
- 2) 母と子の絆  
母子相互作用 児童虐待
- 3) 子どもの心と身体  
子どもの特徴 発育・発達 しつけ（基本的生活習慣）
- 4) 女性の健康  
思春期への対応 ピル 更年期
- 5) 生活習慣病（成人病）とは  
その予防は幼児期から KYB運動
- 6) アレルギーの話題  
アレルギーと免疫 アレルギー病（気管支喘息など）
- 7) 食物と健康  
母乳と人工乳 離乳 幼児食 食中毒
- 8) 歯の健康  
歯の生理 虫歯と歯周病 高齢者と歯
- 9) 嗜好品と健康  
アルコール タバコ
- 10) セクシュアリティに関わる問題  
性感染症（クラミジア感染症・B型肝炎）性教育
- 11) 高齢社会の健康問題  
ライフスタイルへの介入 介護 死を考える
- 12) インフォームド・コンセントとは  
3大要素 ムンテラとの違い 診療情報の提供

### 【評価方法】

主に筆記試験によるが、時々講義の感想を提出させ評価の参考にする。

### 【テキスト】

健康と保健の科学（坂口他著 日本小児医事出版社）

## 健康とくすり

永井 一

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代は飽食の時代といわれ、運動不足やストレス過多のため薬品の助けがなければ健康の維持が難しい。薬品についての正しい知識を学び、薬品への依存性や副作用について理解を深める。

### 【授業計画】

- 第1回 受講生に「病気とくすりについて、今最も知りたいこと」をアンケート調査後、くすりとは何か、創薬の歴史から新薬開発まで解説
- 第2～3回 くすりの基礎知識について、くすりのしくみと生体内運命、くすりの効くメカニズムと受容体など2回にわたり解説
- 第4回 くすりの正しい知識をイラスト入りの質問形式でわかりやすく教える
- 第5～6回 繁用される一般用医薬品（OTC）500種と医師がよく処方する医療用医薬品200種を薬効別に解説
- 第7回 頭痛、生理痛の原因と治療薬のメカニズム
- 第8回 受講生の多くが苦しむアトピー性皮膚炎や花粉症の発症メカニズムとくすりの効き方
- 第9回 病気の早期発見に役立つ成人病検査値の見かたと最新の画像診断法
- 第10～13回 検診で見つかる生活習慣病を中心に、高血圧、ガン、糖尿病、エイズなどの発症原因、予防法と現在開発中の治療薬を含めた治療薬の作用機序

### 【評価方法】

配布したプリントからテーマを出題し、レポートの内容で成績評価する。

### 【テキスト】

家庭でも保存、利用できるようなA3大の両面プリントを毎回配布し（21枚）、講義する。

# ライフサイクルと健康

松田秀子

1～4年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

人間は年齢に伴い体型も変化し、健康も害しやすくなる。ライフサイクルに合せた運動と健康の維持について身近な問題をとりあげて講義する。

## 【授業計画】

1. ライフサイクルと健康とは
2. 姿勢
3. プロポーション（理想と現実）
4. 身体意識
5. 肥満とやせ
6. 隠れ肥満
7. 体脂肪
8. 体脂肪を正しく落とす方法
9. 筋肉と運動神経
10. 健康づくりのための運動
11. Walking
12. 学生の性意識
13. 性意識と性行動
14. 性への理解（避妊法）
15. 人間と性

## 【評価方法】

出席状況とレポートによって評価する。

## 【テキスト】

使用せず。

必要に応じて参考資料を配付し、参考書籍を指示する。

# スポーツ基礎

杉山 和 山本啓子 松田秀子 寺田邦昭 門間 博

1～4年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

各種スポーツ（テニス、ゴルフ、バドミントン）をはじめ、ストレッチ体操、トレーニングなどの運動の基礎技術を習得することを目標として行う。

## 【授業計画】

曜日	限	担当者	種 目	
月	2	杉山	テニス	バドミントン
	3	寺田	バドミントン	ゴルフ
		杉山	テニス	バドミントン
	4	寺田	バドミントン	ゴルフ
火	1	松田	テニス	ゴルフ
	2	松田	テニス	ゴルフ
	3	山本	卓球	バレーボール
		松田	バドミントン	ゴルフ
4	山本	卓球	バレーボール	
水	2	門間	バドミントン	テニス
	3	門間	バドミントン	テニス
		山本	卓球	バレーボール
	4	門間	バドミントン	テニス
山本		卓球	バレーボール	
木	2	杉山	テニス	バドミントン
	3	門間	ソフトボール	テニス
	4	門間	ソフトボール	テニス
金	2	杉山	テニス	バドミントン
	3	杉山	テニス	バレーボール
	4	杉山	テニス	バレーボール

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・原則として、半期間に2種目を行います。（天候によって種目を変更する場合があります。）
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

## 【評価方法】

70点－（欠席回数×2÷授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点



## スポーツ応用

杉山 和

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

曜日	限	種目	
月	2	ゴルフ	・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
	3	ゴルフ	
木	2	ゴルフ	・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
金	2	バレーボール	
	3	バドミントン	
	4	バドミントン	

[ゴルフ]

1. ガイダンス
2. グリップ、スタンス、アドレス
- 3～6. アイアン練習 (ショート・ミドルアイアン)
- 7～8. ウッド練習 (1、3ウッド)
9. 学外のゴルフ練習場にて練習
- 10～12. PW、SW、パッティング練習
- 13～14. ショートコース (グラウンドにて)
15. 学外のゴルフ練習場にて練習

[バレーボール]

1. ガイダンス
2. ボールに慣れる、構え、動きの基本姿勢
3. サーブの種類と打ち方
- 4～6. パス、トス、レシーブ、スパイク、ブロック
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ゲーム

[バドミントン]

1. ガイダンス
- 2～3. 歴史的ゲームの追体験、ラケットワーク
4. ストローク練習 (アンダーハンドを中心に)
5. ストローク練習 (サイドハンドを中心に)
6. ストローク練習 (オーバーヘッドを中心に)
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点 - (欠席回数 × 2 / 授業実施回数 × 70点) = 出席点  
30点 = 実技点

## スポーツ応用

杉山 和

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈スキー・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

〈内容〉

1. 期日  
実習 平成13年2月25日(日)～3月1日(木)  
4泊5日の予定  
第1回説明会 平成12年11月1日(水) 5限目  
第2回説明会 平成13年1月10日(水) 5限目
2. 場所 長野県 信州菅平高原スキー場
3. 宿泊所 福美津屋旅館
4. 実習費 約40,000円  
(宿泊費・交通費・食事代・保険料・雑費)
5. その他の費用  
リフト券代 約12,000円 (レベルによって異なる)  
レンタルスキー (板、ブーツ、ストック) 6,500円  
レンタルウェア 4,000円  
小物 (帽子、手袋、ゴーグル) 1,500円
6. 定員 約40名
7. オプション企画 (1日体験)  
スノーボード (レンタル、講習費) 6,000円  
ヘリスキー (ヘリコプターの搭乗費) 5,500円  
スキー検定 (検定料) 3,000円  
\*定員に大きく満たない場合は中止になります。  
\*実習費及びその他の費用に関しての料金は、11年度のものであります、変更になる場合があります。  
\*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

## スポーツ応用

杉山 和

1～4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈スクーバダイビング・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 《内容》

##### 1. 期日

プール実習 平成12年8月24日(木)～30日(水)

海洋実習 平成12年9月4日(月)～7日(木)

3泊4日

第1回説明会 平成12年5月24日(水)5限目

第2回説明会 平成12年7月22日(土)午前中

##### 2. 場所

プール実習 ロコダイバーズ 室内プール(一社)

海洋実習 沖縄県 伊江島

##### 3. 諸経費

実習費 約50,000円(講習費、テキスト代、申請料)

用具代 約50,000円(重器材レンタル代、個人器材)

海洋実習費 約40,000円(交通費、宿泊費)

その他 約30,000円(ウェットスーツ)希望者のみ

##### 4. 定員 約20名

\* 諸経費については、11年度のものでありますので変更になる場合があります。

\* 説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

## スポーツ応用

杉山 和

1～4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈ボウリング・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 《内容》

##### 1. 期日

実習 平成12年8月17日(木)・18日(金)・

19日(土)・21日(月)・

22日(火)・23日(水)

計6日間 午前のみ

第1回説明会 平成12年5月24日(水)5限目

第2回説明会 平成12年7月5日(水)5限目

##### 2. 場所 星が丘ボウル

##### 3. 実習費 約7,000円

##### 4. 募集人数 約40名

\* 最終説明会にて、現金で徴収します。

\* 実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

\* 説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。



## スポーツ応用

山本啓子

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

曜日	限	種目
火	3	バドミントン
	4	バドミントン
水	3	バドミントン
	4	バドミントン

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[バドミントン]

1. ガイダンス
2. 歴史的ゲームの追体験
3. ラケットワーク
4. ストローク練習 (アンダーハンドを中心に)
5. ストローク練習 (サイドハンドを中心に)
6. ストローク練習 (オーバーヘッドを中心に)
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム (フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点－(欠席回数×2/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点

## スポーツ応用

松田秀子

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

曜日	限	種目
火	1	バドミントン
	2	バドミントン
	3	テニス

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[バドミントン]

1. ガイダンス
2. 歴史的ゲームの追体験
3. ラケットワーク
4. ストローク練習 (アンダーハンドを中心に)
5. ストローク練習 (サイドハンドを中心に)
6. ストローク練習 (オーバーヘッドを中心に)
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム (フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

[テニス]

1. ガイダンス
2. ボールとラケットに慣れる
3. グランドストローク (フォアハンドを中心に)
4. グランドストローク (バックハンドを中心に)
5. サービス、レシーブ
6. ボレー、スマッシュ
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム (フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点－(欠席回数×2/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点

## スポーツ応用

松田秀子

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈スケート・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 《内容》

#### 1. 期日 (実習)

実習 平成13年2月8日(木)・9日(金)・

10日(土)・13日(火)・

14日(水)・15日(木)

6日間 午前のみ

第1回説明会 平成12年11月1日(水) 5限目

第2回説明会 平成13年1月10日(水) 5限目

#### 2. 場所 名古屋スポーツセンター (大須)

#### 3. 実習費 約7,200円

#### 4. 定員 約40名

\*最終説明会にて、現金徴収します。

\*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

### 【評価方法】

#### 1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

## スポーツ応用

松田秀子

1～4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈マリンスポーツ・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 《内容》

#### 1. 期日

実習 平成12年8月7日(月)～10日(木)

3泊4日

第1回説明会 平成12年5月24日(水) 5限目

第2回説明会 平成12年7月5日(水) 5限目

#### 2. 場所 ヤマハマリーナ浜名湖 静岡県

#### 3. 実習種目

ウェイクボード、ボードセーリング、

セーリングクルザー等

#### 4. 実習費 約74,000円

#### 5. 定員 約20名

\*履修決定後、銀行振込にて徴収します。

\*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

### 【評価方法】

#### 1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。



## スポーツ応用

寺田邦昭

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

曜日	限	種目
月	3	テニス
	4	テニス

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[テニス]

1. ガイダンス
2. ボールとラケットに慣れる
3. グランドストローク (フォアハンドを中心に)
4. グランドストローク (バックハンドを中心に)
5. サービス、レシーブ
6. ボレー、スマッシュ
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム (フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点－(欠席回数×2/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点

## スポーツ応用

門間博

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

### 【授業計画】

曜日	限	種目
水	2	ソフトボール
	3	サッカー
	4	サッカー
木	2	バドミントン
	4	バドミントン

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[ソフトボール]

1. ガイダンス
2. キャッチボールの基本、練習、ゲーム
- 3～5. バッティングの基本、練習、ゲーム
- 6～8. 守備の基本、練習、ゲーム
- 9～11. リーグ戦 1
- 12～15. リーグ戦 2、まとめ(記録整理・レポート)

[サッカー]

1. ガイダンス
2. 個人技能の確認
- 3～5. ボールコントロールの正確性、巧みに運ぶための基本技術、基本技術を生かしたミニゲーム
- 6～7. 個人技能をもとにチーム編成をし、ミニゲーム
- 8～10. ミニゲームのリーグ戦
- 11～15. リーグ戦、まとめ(記録整理・レポート)

[バドミントン]

1. ガイダンス
- 2～4. 各種ストローク、各種フライト、サービス練習
- 5～7. シングルス、ダブルスの試合方法の理解
- 8～11. シングルス、ダブルスの戦術の理解と練習
- 12～15. リーグ戦、まとめ(記録整理・レポート)

### 【評価方法】

70点－(欠席回数×2/授業実施回数×70点)＝出席点  
30点＝実技点

# スポーツ文化論

勝部篤美

1～4年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的・社会的事実から論証し、さらにスポーツの生成・発展・衰退に関する諸要因（政治・経済・産業・社会・教育・科学・宗教・地理的環境等）について考え、現代社会における「人間性復権」への道程を展望する。

## 【授業計画】

1. スポーツは遊びから出発する
2. スポーツは技能を追求する
3. スポーツは競争と協力の両面をもつ
4. スポーツはフェアプレイの精神によって成り立つ
5. スポーツは自己実現を志向させる
6. スポーツは舞踊とともに祭礼と結びついていた
7. スポーツには富と閑暇が関係する
8. スポーツは社会生活と関係が深い
9. スポーツには教育が関係する
10. スポーツには政治が関係する
11. スポーツには科学が関係する
12. スポーツは地理的環境に影響されることが大きい
13. スポーツには民族性が反映される
14. スポーツには商業主義がつきまとう
15. スポーツにはジャーナリズムがつきまとう
16. スポーツはガス抜き装置としての役割を果たす
17. スポーツのルールは法の体系に似た構造をもつ
18. スポーツは「強いもの」から「弱いもの」へと対象を上げつつある
19. スポーツは「強いこと」から「美しいこと」へと対象を上げつつある
20. スポーツは今や人間性の復権へ向って進む
21. スポーツの生成・発展・衰退の過程は、文化の場合と同じである

## 【評価方法】

単位認定試験の成績によって評価する。

## 【テキスト】

使用せず。参考図書は授業のとき指示する。

# スポーツ文化論

松田秀子

1～4年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的・社会的事実から論証し、さらにスポーツの生成・発展・衰退に関する諸要因（政治・経済・産業・社会・教育・科学・宗教・地理的環境等）について考え、現代社会における「人間性復権」への道程を展望する。

## 【授業計画】

1. スポーツは遊びから出発する
2. スポーツは技能を追求する
3. スポーツは競争と協力の両面をもつ
4. スポーツはフェアプレーの精神によって成り立つ
5. スポーツは自己実現を志向させる
6. スポーツ舞踊とともに祭礼と結びついていた
7. スポーツには富と閑暇が関係する
8. スポーツは社会生活と関係が深い
9. スポーツには教育が関係する
10. スポーツには政治が関係する
11. スポーツには科学が関係する
12. スポーツには地理的環境に影響されることが大きい
13. スポーツには民族性が反映される
14. スポーツには商業主義がつきまとう
15. スポーツにはジャーナリズムがつきまとう
16. スポーツはガス抜き装置としての役割を果たす
17. スポーツのルールは法の体系に似た構造をもつ
18. スポーツは「強いもの」から「弱いもの」へと対象を上げつつある
19. スポーツは「強いこと」から「美しいこと」へと対象を上げつつある
20. スポーツは今や人間性の復権へ向って進む
21. スポーツの生成・発展・衰退の過程は、文化の場合と同じである

## 【評価方法】

出席状況とレポートによって評価する。

## 【テキスト】

使用せず。

必要に応じて参考資料を配付し、参考書籍を指示する。



## 西洋史

山澤啓造

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

(第二次世界大戦までのアメリカ史)

アメリカ合衆国は、最古の共和国・最古の現代民主主義国家・最古の成文憲法をもつ国である。西洋史の授業は、この合衆国の歴史を政治・外交中心に第二次世界大戦まで学ぼうとするものである。

### 【授業計画】

テキストにしたがい、次の順序で学ぶ。

- ①アメリカを知るための基礎知識などを考察する。
- ②新大陸発見、人種・民族・移民、アメリカ独立革命、アメリカ合衆国の成立を考察した後、第二次世界大戦までの著名な10名ほどのアメリカ大統領の略歴と、その間の合衆国の政治・外交の要点を考究する(序章、第一章～第十七章)。最もアメリカ人らしいアメリカ人であるベンジャミン・フランクリンやマニフェスト・デスティニーなどにも文章中で触れる。テキストに沿って授業を進めるので、予習することが望ましい。学生の質問や討議を歓迎する。

### 【評価方法】

定期試験と出席などで評価する。

### 【テキスト】

西洋史…アメリカ史点描…(山澤啓造、平成10年、改訂増補版、自費出版)

## 日本史

岩口和正

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

私たちの日常生活はもとより、社会全体を秩序づけているもののひとつに、年号や暦といった時間まつわる文化があります。この点では、過ぎ去った歴史時代も例外ではありません。人々の日々の暮らしや政治や社会のあり方を理解する上で、このような時間の文化・制度についての知識が必要となるゆえんです。他方、この分野ほど近代と前近代の相違の大きい領域も少なく、そのため、とりわけて前近代のそれについて誤解されることもしばしばです。そこで、講義では前近代の時間の制度を概観し、その背景となる政治文化について考えます。

中国における年号制度の成立

日本における年号制度の成立

日本における年号制度の変質

辛酉革命・甲子革命説について

日本近代における太陽暦の採用の意義

太陽太陰暦のしくみ

日本における太陽太陰暦の沿革

年号・暦と政治

### 【授業計画】

参考史料はプリントとして配布し、講義はこれらの史料を解説しながら進めます。

### 【評価方法】

学期末テストによって成績評価をおこないます。

### 【テキスト】

教科書：使用しません。

### 【参考書籍】

授業の中で紹介します。

## 異文化交流論

関根久雄

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

20世紀後半期は「開発の時代」と呼ぶにふさわしい時代であった。アメリカの覇権に基づくその時代においていわゆる「途上国」と呼ばれる国々には画一的に近代化（西洋化）を指向する開発戦略を推進してきたが、それらはその目標を実現するどころか、現在も深刻な貧困、飢餓、文化的アイデンティティの喪失に苦しんでいる。

授業では、「異文化世界とは何か」という問いかけからはじめ、現代世界における人間の文化の姿をさまざまな民族例などから紹介・解説し、異文化交流のあるべき方向性について考える機会とする。

### 【授業計画】

講義形式でおこなうが、必要に応じて「異文化」に関わるビデオなどの視聴覚教材を援用する。

- 第1回：「異文化世界」への導入：文化相対主義とは
- 第2回：現代世界と民族社会①：アフリカ牧畜民
- 第3回：現代世界と民族社会②：マレーシアの農耕民
- 第4回：現代世界と民族社会③：アマゾンのヤノマミ族
- 第5回：現代世界と民族社会④：南太平洋と非核問題
- 第6回：国家と「異文化」①：多文化・多言語主義
- 第7～8回：国家と「異文化」②：国語とマイノリティ
- 第9回：異文化交流の形態①：海外協力の現場から
- 第10回：異文化交流の形態②：国内活動の事例から
- 第11～12回：「異文化交流」の肯定性と否定性
- 第13回：単位認定試験

なお、上記の各講義テーマは予定であり、変更する場合もありうる。

### 【評価方法】

期末に試験を実施する。その他、出席状況、授業態度小レポートに取り組む姿勢なども評価の参考にする。

### 【テキスト】

とくに指定しない。必要に応じて授業中にプリントを配布する。

## ポピュラー文化論

文 嬉眞

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「なぜ文化が大衆化するのか」を基本にして考える。第一に、江戸時代に視点をおき、当時の日本社会における文化の「大衆化」の徴候を考え、その文化が大衆へ浸透していく諸要因や過程を考察してみる。第二に、近・現代における「近代化」・「都市化」・「情報化」が「大衆文化」や「ポピュラー文化」に及ぼす影響およびそれを受け容れる民衆の心理状態、生活様式、人間関係などがどのように変化していくのかを追究する。最後に、現在われわれの周囲に見られる文化の諸相から「文化的多様化」を考え、各自検討する。

### 【授業計画】

- 第1回 本講義における「文化」とは
- 第2～4回 江戸時代における文化の「大衆化」の過程および諸要因
- 第5～6回 戦前の日本社会における「大衆文化」
- 第7～8回 戦後の日本社会における「大衆文化」
- 第9回 「都市化」・「情報化」がもたらした社会での「大衆文化」とは
- 第10回 「大衆文化」と「ポピュラー文化」とは
- 第11～12回 今の文化現象からみる日本の社会や人間関係および「文化」の行方

### 【評価方法】

1. 出席、受講態度、講義時の課題等で全体の50%を評価する。
2. 定期試験またはレポート（未定）で残る50%を評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

### 【参考書籍】

授業中に指示する。



## 文化人類学

三木 誠

1・2年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人間とその他の生物との本質的な違いの一つは、言語を媒体とした文化形成の有無である。文化は地球上の生物で人間だけが持つものであり、人間は無意識のうちに自身の生まれ育った文化から様々な影響を受けている。文化人類学という学問は、このような文化を切り口として、人間という存在の普遍性と多様性を追求していく学問である。授業では、世界中の社会に見られる様々な文化的事象を解説し、できるだけ数多くの事例を交えながら、人間の持つ文化の魅力や不可解さを伝えていきたいと考えている。

### 【授業計画】

以下のようなテーマで講義を行う。それぞれのテーマを総合的に理解するのに不可欠な概念や用語の解説と、テキスト、プリント等を利用した事例研究が主になる。異文化に対する興味や好奇心を喚起するためにVTR資料なども活用する。

- 文化
- 性差
- 婚姻
- 家族
- 交換
- 宗教
- 性
- エスニシティー
- 異文化解題

### 【評価方法】

あらかじめ問題を公開したレポート形式の簡単な試験により評価する。異文化に対する興味を養うことを主眼とするので、暗記等は必要ないが、ノートはとること。

### 【テキスト】

文化人類学への誘い（水谷他編 みらい）

### 【参考書籍】

授業中に指示する。

## 現代思想

大野波矢登

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

今世紀の英米で展開されてきた倫理学の諸理論（功利主義、直覚主義、情緒主義、等）を中心に、近代以降の西洋倫理思想の歴史を概説する。そして、それらの理論によって与えられた議論の類型や概念装置を理解するとともに、今日のわれわれを取り巻く現実、特に医療、環境、情報、科学技術といった領域で提起されている課題について倫理的視点から考察する。

なお、授業はすべて講義形式で行う。

### 【授業計画】

- 第1回：現代世界が抱える課題と、それに対する倫理的アプローチとは
- 第2回：西洋倫理学の基本概念
- 第3回：功利主義の思想
- 第4回：20世紀の倫理思想（1）－伝統的功利主義に対する批判と見直し
- 第5回：20世紀の倫理思想（2）－応用倫理学との接点
- 第6～7回：環境倫理
- 第8～9回：生命倫理と医の倫理
- 第10～11回：情報倫理
- 第12回：科学的技術の倫理（医療技術、情報通信技術については第8～11回でも取り上げる）
- 第13回：単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績をもとに評価する。

### 【テキスト】

技術と人間の倫理（加藤尚武著 NHKライブラリー）

## 視覚芸術論

海上宏美

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

近現代以降の多様な視覚芸術を二次元・三次元・四次元という視座から捉え、それぞれの次元における視覚の位置とそこから発生する問題系を現代芸術全般を参照しつつ理解していく。随時、ビデオ等を用い、画像や映像を鑑賞する。

### 【授業計画】

第1講～第4講

二次元における視覚芸術（絵画を中心に～平面、キュビズム、写真、網膜的絵画）

第5講～第8講

三次元における視覚芸術（インスタレーションを中心に～彫刻、モダニズム、メディア・アート）

第9講～第12講

四次元における視覚芸術（劇場を中心に～スペクタクル、パフォーマンス、ボディ・イメージ）

最終的に課題レポートを提出してもらう。

### 【評価方法】

出席状況と課題レポートの成績によって評価。

### 【参考書籍】

授業中に指示。

## 文献入門

菅野育子

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「文献」を広く捉え、様々な学問分野において有効な情報源となり得る各種情報メディアをとりあげる。

各情報メディアについてその定義、歴史、特徴をわかりやすく解説し、その利用方法や探し方についても具体例をとりまぜて紹介する。

### 【授業計画】

- 1 文献とは
- 2 文献の定義、歴史、特徴
  2. 1 本・図書
  2. 2 雑誌
  2. 3 新聞
  2. 4 地図
  2. 5 絵画
  2. 6 楽譜
  2. 7 テレビジョン
  2. 8 インターネット
  2. 9 データベース
- 3 文献の利用方法
- 4 文献の探し方

### 【評価方法】

レポートによって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。



## メディア表現

村主千賀

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

メディアとは、知的活動もしくは芸術活動の成果の「表れ」に対する一つのとらえ方であり、その生成過程は「表現」という側面から見るができる。そこで、様々な技術革新によってメディアにもたらされた「表現」の多様性、可能性について、情報伝達における表現者と受容者の関係なども含めて考察する。

### 【授業計画】

第1～3回

0 (初回) 授業について

1 「表現」とは：「表現」という語からの考察

2 「メディア」とは：

メディアのとらえ方；『メディアの階層』を参考に

第4～6回

3 メディア表現への歴史的アプローチ：概説

3-1 メディアの物理的、技術的側面から

3-2 表現の目的、用途に関する側面から

第7～8回

4 様々なメディア表現：概説、鑑賞

芸術作品、文学作品、学術的メディアetc.

第9～11回

5 メディア表現とその受容：プロセスを中心に

5-1 表現と意図

5-2 表現者と受容者

第12回

6 「表現」をめぐる諸問題と法律…著作権等について

### 【評価方法】

課題小レポート、期末レポート。

### 【テキスト】

特に指定しないが、参考文献等はその都度提示、紹介。

## 統計学入門

野上康子

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

本講義は、客観的なデータを通して世の中の現象を見る眼を養うことを目的とする。講義と平行して、グラフを描く、電卓を用いて計算するなどの作業も行う。

受講する際には、平方根( $\sqrt{\quad}$ )の計算ができる電卓を持参すること。

### 【授業計画】

1. 身近な統計の例

2. 変数の種類

3. さまざまな分布

4. 代表値

5. 散布度

6. 正規分布と標準得点

7. 偏差値

8. 2つの変数の関係

9. 相関係数とその解釈

10. 回帰分析

11. 母集団と標本

12. ランダムサンプリング

### 【評価方法】

出席状況と各回の課題、単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

未定。

### 【参考書籍】

統計でウソをつく法—数式を使わない統計学入門

(ダレル・ハフ著 高木秀玄訳 講談社)

統計のはなし—基礎・応用・娯楽

(大村平著 日科技連)

## 脳の働き

富田 武

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人間の精神活動の中核としての脳の構造と、その進化の過程を学び、本能と理性、感情と行動など高度の精神活動の発現と制御の機構を考える。

### 【授業計画】

- 第1講 精神活動の中核を求めて
- 第2講 脳の進化と発達
- 第3講 脳と神経細胞の構築
- 第4講 興奮と抑制
- 第5講 大脳皮質の分業体制
- 第6講 感覚と姿勢運動の制御
- 第7講 喜び、意欲し、言語する脳
- 第8講 利き手、利き脳、大脳辺縁系
- 第9講 本能をうみだし、怒る脳
- 第10講 内臓の統御と、学習、記憶をする脳
- 第11講 睡眠、夢、意識の狭間
- 第12講 行動を操る脳
- 第13講 単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績で総合的に評価する。

### 【テキスト】

脳の話（時実利彦著 岩波書店）

### 【参考書籍】

脳の不思議（伊藤正男著 岩波書店）

脳のしくみと不思議（鈴木智子著 日本文芸社）

## 遺伝子の世界

堀田康雄

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

総ての生物は遺伝子を基本単位としている。遺伝子が生命の中心となっている機構。但し遺伝子だけでは生命現象は現れない。同じセットの遺伝子を持っていても、1卵性双生児が同一ではなく、人間が一生同じ遺伝子をもつのに赤ん坊・子供・青年・成人・老人と変化するのは等生物の一生を遺伝子の立場から考えて行く。

我々の身の周りの生物には無性生殖をするものと、有性生殖をするものがある。有性生殖では半数体配偶子と2倍体個体が存在し、世代交代という現象がある。親から子に遺伝情報が伝えられるが、「子が親に似るわけ・似ないわけ」はどれだけ明らかになっているか。人為的に遺伝子セットを変える事が可能になっている現状とその時来を考える。

人の社会は無限と思える変化に富み、職業・毎日の生活もバラエティと希望に満ちている。但し「愛が無ければ何をしても空しい」とも言う。愛はどこから生まれるのか？愛の本質は何か？愛は遺伝子と文化の交流であり、国際化・情報の増加につれて、急速に育ったり、変化したり、変形する。その文化を産み出す源も遺伝子に求められる。そしてDNAに魂はあるのか？という問が発生する。身近に遺伝子を感じ取れる授業を試みる。

### 【授業計画】

基礎的の語句は英語を併記し、日米両語での理解を深めるビデオ・スライド・OHPの利用を試み、レポート・質問を利用して、連絡を保つ。

### 【評価方法】

レポートと期末テストを行う。質問・意見提出を歓迎し評価対象とする。E-メール利用も可。

### 【テキスト】

特に定めない。

### 【参考書籍】

安田徳一：人のための遺伝学。裳華房

田中一郎：よくわかる遺伝学。サイエンス社

ダイヤモンド：セックスはなぜ楽しいか。草思社



# Practical English 1 A

横関美津紀

1年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

本講義では、パラグラフ・リーディングを中心に英文の読解力を向上させることを目的とする。

パラグラフは読み物の最小構成単位と考えられ、ひとつの main idea とそれを support する details のいくつかの文から構成されている。漠然と英文を和訳するのではなく、パラグラフの構成パターンを知り、main idea がどこにあるかを意識的に把握することは、英文を能動的に読む力の養成につながると考えられる。

## 【授業計画】

前期は、パラグラフの構成要素となる基本事項について毎週1つの Unit を学習する予定である。また、副教材等を用いた課題にも取り組む。

1. Getting the Main Idea
2. Phrase Reading
3. Paragraph Reading
4. Time Order
5. Process & Direction
6. Space Order
7. Facts & Examples
8. Definition
9. Classification
10. Comparison & Contrast
11. Analogy
12. Reasons, Causes & Effects
13. Reading Selections
14. 学生が各自で用意した素材を使用する

## 【評価方法】

出席状況・平常点・課題・試験等を総合的に評価する。

## 【テキスト】

パラグラフ・リーディング (橋本光郎他著 朝日出版社)

*The Road Ahead* (Bill Gates, Eichosya-Penguin Readers)

Practical English 1Aは、週2回コースの授業である。その両方の授業に出席し、その平均で評価ができる。

# Practical English 1 B

横関美津紀

1年 後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

本講義では、パラグラフ・リーディングを中心に英文の読解力を向上させることを目的とする。

パラグラフは読み物の最小構成単位と考えられ、ひとつの main idea とそれを support する details のいくつかの文から構成されている。漠然と英文を和訳するのではなく、パラグラフの構成パターンを知り、main idea がどこにあるかを意識的に把握することは、英文を能動的に読む力の養成につながると考えられる。

## 【授業計画】

後期は、前期で学習した事項を、様々な題材の英文を読むことで実践する。最終的な目標は、情報の入手にとどまることなく、読み物を通して自分の考えが深まる楽しさを見出せるようにしたい。そこで、文学作品を読む機会も持ちたいと考えている。

1. Introduction: An English-Speaking World
2. Heroic Failures
3. Has Courtesy Become Uncommon?
4. Joyriding
5. Motorway Madness
6. The Calculated Risk
7. The Search for Perfection
8. Promotion for Women
9. Here's Looking at You
10. The Office of Tomorrow
11. Take the Chunnel
12. Time for an Extension
13. Cats and Dogs
14. The Noble Art of Brain Damage

## 【評価方法】

出席状況・平常点・課題・試験等を総合的に評価する。

## 【テキスト】

ケンブリッジ アクティブ・リーディング (D. A. Chamberlin 他編著 朝日出版社)

Practical English 1Bは、週2回コースの授業である。その両方の授業に出席し、その平均で評価ができる。

## Practical English 2 A

山田 豊

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

TOEICや英検等の資格テストにも含まれる、リーディングの部分で点数を向上すべく、読む力をつけるために、音読、速読、内容の理解、文法知識を中心とした授業。発音等も重視する。

### 【授業計画】

1回目にプリントを配付し、目的や授業担当者の意図を説明し、テキストの利用のしかた、予習・復習等の要求の程度、授業の進め方や、速度について伝える。

2回目以降は受講する学生が音読したり、テープ等を使い通常の講読のような部分も当然あるが、一定の時間内に読み、理解することがPracticalであるためには不可欠であろうと考えている。ミニテストの様なことも練習したい。その時は英検等の実際のテストの一部を使う予定。

### 【評価方法】

出席やクラスでのパフォーマンス、ミニテスト及び最後のテストを点数化し、金曜限の授業と合算して、2単位の科目として成績を出す。

### 【テキスト】

- ・ Reading Structure & Strategy (2)  
Macmillan Language House
- ・ 英和辞典は必ず持って来るように。

Practical English 2Aは、週2回コースの授業である。山田先生（水曜日2限）、天野先生（金曜日1限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

## Practical English 2 B

山田 豊

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

TOEICや英検等の資格テストにも含まれる、リーディングの部分で点数を向上すべく、読む力をつけるために、音読、速読、内容の理解、文法知識を中心とした授業。発音等も重視する。

### 【授業計画】

1回目にプリントを配付し、目的や授業担当者の意図を説明し、テキストの利用のしかた、予習・復習等の要求の程度、授業の進め方や、速度について伝える。

2回目以降は受講する学生が音読したり、テープ等を使い通常の講読のような部分も当然あるが、一定の時間内に読み、理解することがPracticalであるためには不可欠であろうと考えている。ミニテストの様なことも練習したい。その時は英検等の実際のテストの一部を使う予定。

### 【評価方法】

出席やクラスでのパフォーマンス、ミニテスト及び最後のテストを点数化し、金曜限の授業と合算して、2単位の科目として成績を出す。

### 【テキスト】

Practical English 2Bは、週2回コースの授業である。山田先生（水曜日2限）、天野先生（金曜日1限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。



## Practical English 2 A・2 B

天野純子

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

資格試験（英検2級、準1級、TOEIC）に対応すべく、文法、イディオム、リーディング、リスニングの練習を問題集に沿って進めていく。

### 【授業計画】

文法、イディオム、読解問題を選択し、時間をはかって解答。その後解説を行なう。宿題を毎回出す予定。

### 【評価方法】

出席、各学期末試験により総合評価する。

### 【テキスト】

授業時に指示。プリント。

## Practical English 3 A・B

ジョアン・M. ウッドマン キース・イズリー ハリー・T. ノリス  
テリー・ワコルツ ダグラス・L. ドイル ベヴァリー・F・M. カレン

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course is available to all English Department students. Preference will be given to 1st year students.

This course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural.

Emphasis will be predominantly on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills including vocabulary, comprehension, and grammar will also be cultivated.

Teachers from The United Kingdom, North America, Canada, and Australia will be teaching this course, providing a well-rounded perspective of contemporary themes.

The course will be graded and students will sit a placement test. (see student handbook for more detailed information).

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers.

### 【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:

ATTENDANCE

CLASS PARTICIPATION/EFFORT

HOMEWORK AND ASSIGNMENTS

END OF SEMESTER REPORT

### 【Textbooks】

To be announced

Practical English 3A・Bは、週2回コースの授業である。月曜日5限、木曜日5限の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

## Practical English 4 A・B

ポール・C. リンガー ジョアン・M. ウッドマン ハリー・T.  
ノリス ジョナサン・E. ロング ベヴァリー・F・M. カレン

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course is available to all English Department students. Preference will be given to 1st year students.

This course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural.

Emphasis will be on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills including vocabulary, comprehension, and grammar will also be cultivated.

Teachers from The United Kingdom, The USA, Canada, and Australia will be teaching this course, providing a well-rounded perspective of the contemporary themes found in the text.

The course will be graded and students will sit a placement test. (see student handbook for more detailed information).

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers.

Examples of such themes include the following:

GENDER STEREOTYPES AND WORK  
THE AFFECT OF FOOD ON MOOD  
VACATION SPOTS AROUND THE WORLD  
STAYING HEALTHY  
UNEXPLAINED PHENOMENA  
OUTDOOR LEISURE ACTIVITIES

### 【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:

CLASS PARTICIPATION/EFFORT  
HOMEWORK AND ASSIGNMENTS  
END OF SEMESTER REPORT

### 【Textbooks】

To be announced

Practical English 4A・Bは、週2回コースの授業である。火曜日5限、金曜日5限の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

## Rapid Reading 1

山田 豊

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

英文を読んで内容を理解する力をつけてもらうのが主目的だが、概して時間がかかりすぎる傾向が強い。近年の活字離れの風潮の結果であろうが、1ページ読むのに1時間もかかっているのは、果して読んだと言えるのだろうか。時間という要素も加味して英読を練習する。速度の目安として、もしくは音読に不可欠の要素である発音を無視できないので、テープも活用する。

### 【授業計画】

一回目の授業でプリントを配付し、授業担当者の意図や、細かい授業の進め方、予習もしくは復習のしかたや、答える順番等について説明する。

二回目から開始する。

### 【評価方法】

出席、クラスでのパフォーマンス、テストの結果を考慮する。

### 【テキスト】

New Century Readers (Book 3か4)  
Macmillan Language House  
英和辞典を必ず持って来て下さい。



# Rapid Reading 1

太田晶子

1年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

できるだけ多くの英文を読むことによって、著者の意図を適確に読みとる訓練を行う。

## 【授業計画】

- 第1回～2回 リーディングの基礎
- 第3回～6回 Unit 1 Ecology
- 第7回～9回 Unit 2 Communication
- 第10回～13回 Unit 3 Japanese Communication

## 【評価方法】

出席、授業態度、定期試験を同等に評価する。

## 【テキスト】

JACETリーディングの総合演習 (Interactive Reading)  
(大学英語教育学会教材研究会 朝日出版 ¥1,900)

# Rapid Reading 1

山田久美子

1年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

読みやすく興味深い内容のエッセイや新聞の記事を読む。英文を訳することよりも内容を理解することに重点を置く。また、授業の前半には、カセット・テープやビデオなどの視聴覚教材を利用し、日常のさまざまな場面や海外旅行へ行った時などに必要な英会話表現を学習する。

## 【授業計画】

前期

1. Leo after Work
2. London's Millennium
3. New York: East Harlem is the Hispanic Capital
4. The Japanese and Mono
5. Hello! I am Agnes
6. Lottery Just a Waste of Money
7. A Comedy of Delight
8. Electronic Mass and Temporal Collectivity
9. Why Faces?
10. Fire at Tokai Plant

## 【評価方法】

出席状況、定期試験により評価する。

## 【テキスト】

*Surfing Cultural Waves* 清水義和、北山長貴、山田久美子 他編著 文化書房博文社 ¥2,000

## Rapid Reading 2

山田 豊

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

英文を読んで内容を理解する力をつけてもらうのが主目的だが、概して時間がかかりすぎる傾向が強い。近年の活字離れの風潮の結果であろうが、1ページ読むのに1時間もかかっているのは、果して読んだと言えるのだろうか。時間という要素も加味して英読を練習する。速度の目安として、もしくは音読に不可欠の要素である発音を無視できないので、テープも活用する。

### 【授業計画】

一回目の授業でプリントを配付し、授業担当者の意図や、細かい授業の進め方、予習もしくは復習のしかたや、答える順番等について説明する。

二回目から開始する。

### 【評価方法】

出席、クラスでのパフォーマンス、テストの結果を考慮する。

### 【テキスト】

同じシリーズの1ランク上のテキストを使う予定だが、前期で終わらなかった場合は同じものを使用する可能性もある。望ましくない事態であるが。

## Rapid Reading 2

太田 晶子

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

できるだけ多くの英文を読むことによって、著者の意図を適当に読みとる訓練を行う。

### 【授業計画】

第1回～2回 ビデオ鑑賞

第3回～8回 Unit 4 Culture

第9回～13回 Unit 5 Language

### 【評価方法】

出席、授業態度、定期試験を同等に評価する。

### 【テキスト】

JACETリーディングの総合演習 (Interactive Reading)  
(大学英語教育学会教材研究会 朝日出版社 ¥1,900)



## Rapid Reading 2

山田久美子

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

読みやすく興味深い内容のエッセイや新聞の記事を読む。英文を訳することよりも内容を理解することに重点を置く。また、授業の前半には、カセット・テープやビデオなどの視聴覚教材を利用し、日常のさまざまな場面や海外旅行へ行った時などに必要な英会話表現を学習する。

### 【授業計画】

1. ET
2. One to One
3. Safety and "Anzen"
4. Japan Faces Farming Reforms
5. Evergreen
6. Picking a Movie can be a Major Production
7. Japanese TV Program Situations Today
8. Many Teens are Severely Sleep-deprived
9. Born to be Wild
10. Record Demand Expected for Champagne

### 【評価方法】

出席状況、定期試験により評価する。

### 【テキスト】

*Surfing Cultural Waves* 清水義和、北山長貴、山田久美子 他編著 文化書房博文社 ¥2,000

## Rapid Reading 3 (金曜3限)

森本素世子

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

今世紀とくに戦後、日本社会は多方面にわたりアメリカの影響を受けてきた。それゆえ、アメリカの抱える問題は、多くの点で日本と無関係ではありえない。こうしたことを念頭に、アメリカの現代社会をさまざまな視点から考察した本エッセイを題材に、日本の将来の姿も考えながら英語の読解力を養っていきたい。

### 【授業計画】

下記のテキストを適宜、質疑応答を加えながら精読する。各自の予習を前提にテキストを読み進めるが、ただ字面だけを追うのではなく、パラフレーズを通して筆者の意図するところを読み取り、それに対する自らの意見も述べてもらいたい。

Introduction P.1~P.4

Chapter 1

Chapter 2

Chapter 3

Chapter 4

### 【評価方法】

定期試験および授業時の発表・参加度と出欠で評価する。

### 【テキスト】

*Looking at the USA Today* (Joan McConnell 金星堂)

## Rapid Reading 3 (金曜 4限)

森本素世子

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

今世紀、科学・技術は大きく進歩し、人びとはよりよい生活を享受することができるようになったと言われる。それでは、人びとの心もよりよい変化を見、なんのわだかまりもなく平和に暮らしてきたといえるのだろうか。そこで、差別とは何か、を問う本エッセイを題材に、人間の差別意識の根源にあるものを考えながら英語の読解力を養っていききたい。

### 【授業計画】

下記のテキストを適宜、質疑応答を加えながら精読する。各自の予習を前提にテキストを読み進めるが、ただ字面だけを追うのではなく、パラフレーズを通して筆者の意図するところを読み取り、それに対する自らの意見も述べてもらいたい。P.1～P.41

### 【評価方法】

定期試験および授業時の発表・参加度と出欠で評価する。

### 【テキスト】

BLACK LIKE ME (J.H.GRIFFIN 篠崎書林)

## Rapid Reading 4 (金曜 3限)

森本素世子

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

今世紀とくに戦後、日本社会は多方面にわたりアメリカの影響を受けてきた。それゆえ、アメリカの抱える問題は、多くの点で日本と無関係ではありえない。こうしたことを念頭に、アメリカの現代社会をさまざまな視点から考察した本エッセイを題材に、日本の将来の姿も考えながら英語の読解力を養っていききたい。

### 【授業計画】

下記のテキストを適宜、質疑応答を加えながら精読する。各自の予習を前提にテキストを読み進めるが、ただ字面だけを追うのではなく、パラフレーズを通して筆者の意図するところを読み取り、それに対する自らの意見も述べてもらいたい。

Chapter 5 P.42

Chapter 6

Chapter 7

Chapter 8

### 【評価方法】

定期試験および授業時の発表・参加度と出欠で評価する。

### 【テキスト】

Looking at the USA Today (Joan McConnell 金星堂)



## Rapid Reading 4 (金曜4限)

森本素世子

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

今世紀、科学・技術は大きく進歩し、人びとはよりよい生活を享受することができるようになったと言われる。それでは、人びとの心もよりよい変化を見、なんのわだかまりもなく平和に暮らしてきたといえるのだろうか。そこで、差別とは何か、を問う本エッセイを題材に、人間の差別意識の根源にあるものを考えながら英語の読解力を養っていききたい。

### 【授業計画】

下記のテキストを適宜、質疑応答を加えながら精読する。各自の予習を前提にテキストを読み進めるが、ただ字面だけを追うのではなく、パラフレーズを通して筆者の意図するところを読み取り、それに対する自らの意見も述べてもらいたい。P.42～P.95

### 【評価方法】

定期試験および授業時の発表・参加度と出欠で評価する。

### 【テキスト】

BLACK LIKE ME (J.H.GRIFFIN 篠崎書林)

## Rapid Reading 3・4

松本一喜

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

1. “Words to Remember”を一年間かけて講読する。テキストは、J.F.ケネディ、マザー・テレサ、チャップリン等のスピーチを集めたものである。口語で書かれたものであるので内容は深遠ながらも平易なスタイルのものとなっている。

2. 授業では、①準拠テープのリスニング及びシャドウイング、②テキストのリーディング、③和訳等を学生の参加によって行なう。講師の側からの一方的講義とはならない。リスニングやスピーキングの習熟も兼ねたリーディングの授業と考えてもらえればよい。

3. 授業は、5～6人のグループに分かれてのグループ学習という体裁をとる。各グループ内でリーディングや和訳の発表を行なうので予習が行なわれていないと辛い授業になる。

4. 必要に応じ、テキストに関連する映画等を視聴する。英語の学習のみならず、偉人の魂にも触れてみたいからである。

### 【授業計画】

年間を通じほぼテキストをカバーするつもりです。前期・後期の一回目の授業で計画予定を掲示するつもりです。

### 【評価方法】

単位の取得条件は、1. 3分の2以上の出席率、遅刻は3分の1の欠席としてカウントする。2. 3回のレポート(各期)の提出。3. 試験で60点以上を取ることの3点をクリアすることとする。成績は、試験結果を2分の1、出席率・レポートを2分の1の割合で考慮する。

### 【テキスト】

“Words to Remember” 桐原書店

## 英語コミュニケーション

ハリー・T. ノリス

1年 前・後期 選択 2単位

### 【Course Content】

This course aims to improve the students' ability to talk confidently about their ideas and feelings using English.

An emphasis will be put on developing the students' confidence to deal with situations in which they may need to use English. Group work activities and games will often be used and many cultural points will be discussed.

Teaching materials will include videos, short stories, songs, poems and other media.

### 【Schedule】

Students will be expected to write a diary of their day to day life.

### 【Assessment】

Assessment will be based on class work, homework, speaking and listening ability and a diary.

### 【Textbooks】

None.

### 【References】

Active participation in class will be essential.

## 英語コミュニケーション

ジョアン・M. ウッドマン

1年 前・後期 選択 2単位

### 【Course Content】

The aim of this course is to improve the student's ability to talk confidently about themselves, their family, their leisure activities, their likes and dislikes etc., in English. The majority of class time will be spent doing things which will promote English oral communication.

Pair work activities, videos and games will frequently be used. Cultural issues will be highlighted and discussed.

The students will be required to keep a shared diary in English, which will account for 40% of their grade.

### 【Assessment】

Shared Diary-40%

Class activities/reports-40%

Conversation Test-20%

### 【Textbooks】

None.



## 中国語基礎会話 1 A

曹 述燮

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

始めて中国語に接する学生を対象に、楽しく、やさしく、中国語への入門ができる道案内をする。中国語の子母音と声調による音声の成り立ち、その音節のローマ字表記法、正しい発音等の中国語学習の基礎知識を習得した後、簡単な構文が理解できる実力を養成する。

### 【授業計画】

教科の進行中に中国語の読み方を身につける練習をおこなう。時に応じてビデオ教材を併用する予定。

第1回-2回：中国語学習の基礎としての声調と母音

第3回-5回：中国語学習の基礎としての子音・鼻音と声調文化

第6回-7回：中国語の慣用的挨拶語句と基礎構文

第8回-10回：中国語による自己紹介

第11回-12回：基本会話と中国人の生活習慣

第13回-14回：慣用表現と中国社会

### 【評価方法】

期末のテストと授業中の学習成果テストを総合して判定する。そして語学ははじめが肝心。基礎を築き上げるまでは出席不可欠。

### 【テキスト】

中国語初級読本（金丸邦三・王延平共編 白水社）

中国語基礎会話1Aは、週2回コースの授業である。曹先生（水曜日3限）、郭先生（金曜日4限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

## 中国語基礎会話 1 A

郭 伏良

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国人の日常生活によく使われる会話、しかもきわめて初歩的な会話を授業の内容とする。いわゆる中国語の会話の基礎である。これを履修することによって、中国人と簡単なコミュニケーションができることを期待している。

### 【授業計画】

正しい発音の徹底的な訓練から授業をスタートする。講義の内容には中国語の会話のみではなく、中国語会話の独特な表現様式やコミュニケーション習慣なども含まれる。説明の後、かならず置き換えなどのような練習問題をする時間を設ける。練習問題には、習った単語や慣用表現などが繰り返して出てくるので、その練習問題をやることによって中国語の会話表現をマスターすることができるように狙っている。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

＜30天漢語通＞ 初級編 華語教学出版社

中国語基礎会話1Aは、週2回コースの授業である。曹先生（水曜日3限）、郭先生（金曜日4限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

## 中国語基礎会話 1 B

曹 述燮

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国語学習の基礎知識を習得して簡単な構文が理解できる実力を持っている学生を対象に、中国語の会話を楽しみながら中国の社会と文化に接することができる授業をめざす。

### 【授業計画】

中国語の学習をととして自然に中国社会とその文化がしたしめるように心がけ、授業ごとに身近なトピックを取りあげていく。

第1回～2回：中国の祝日

第3回～4回：中国人の家庭生活

第5回～7回：中国での大学生生活

第8回～10回：中国人の故事成語

第11回～12回：中国の年中行事

第13回～14回：中国人作家の詩

### 【評価方法】

期末のテストと授業中の学習成果テストを総合して判定する。そして語学ははじめが肝心。基礎を築き上げるまでは出席不可欠。

### 【テキスト】

中国語初級読本（金丸邦三・王延平共編 白水社）

中国語基礎会話1Bは、週2回コースの授業である。曹先生（水曜日3限）、郭先生（金曜日4限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

## 中国語基礎会話 1 B

郭 伏良

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国人の日常生活によく使われる会話、しかも初歩から中級に入るぐらいのレベルの会話を授業の内容とする。すなわち中国語の会話の基本をこの授業で教える。これを履修することによって、中国人とある程度のコミュニケーションができると期待している。

### 【授業計画】

正しい発音の徹底的な訓練から授業をスタートする。講義の内容には中国語の会話のみではなく、中国語会話の独特な表現様式やコミュニケーション習慣なども含まれる。説明の後、かならず置き換えなどのような練習問題をやる時間を設ける。練習問題には、習った単語や慣用表現などが繰り返して出てくるので、その練習問題をやることによって中国語の会話表現をマスターすることができる。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

《30天漢語通》 中級編 華語教学出版社

中国語基礎会話1Bは、週2回コースの授業である。曹先生（水曜日3限）、郭先生（金曜日4限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。



## 中国語会話 1 A

馮 富 榮

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国人の実際の日常生活によく使われる表現を題材にして授業を進める。短期間で、学生たちの会話能力を最大限に引き伸ばすために、一方的な講義という形ではなく、中国語で学生たちとコミュニケーションを取りながら授業を進める予定である。

### 【授業計画】

以下のステップを踏んで、授業を展開する予定である。

- ① まず常用表現について、統語論と語用論の両方から説明する。つまり文法現象のみでなく、中国語の表現習慣と日本語の表現習慣の違いについても説明を加える。
- ② 読む練習を繰り返し行う。初歩から正しい発音を身につけるように徹底的に訓練を行う。
- ③ 本文の内容をめぐって学生と中国語で会話をする。
- ④ 単語リストを配って、置き換え練習などをする。それによって学生たちの会話の応用能力を高める。
- ⑤ 時間の許す時は、本文の内容と関連する場面を設定して、学生をグループに分けて、会話の練習を行う。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

未定。

中国語会話1Aは、週2回コースの授業である。馮先生（火曜日5限）、郭先生（木曜日5限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

### 【参考書籍】

《30天漢語通》 初級編 華語数学出版社

## 中国語会話 1 A

郭 伏 良

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国人の実際の日常生活によく使われる表現を題材にして授業を進める。短期間で、学生たちの会話能力を最大限に引き伸ばすために、一方的な講義という形ではなく、中国語で学生たちとコミュニケーションを取りながら授業を進める予定である。

### 【授業計画】

以下のステップを踏んで、授業を展開する予定である。

- ① まず常用表現について、統語論と語用論の両方から説明する。つまり文法現象のみでなく、中国語の表現習慣と日本語の表現習慣の違いについても説明を加える。
- ② 読む練習を繰り返し行う。初歩から正しい発音を身につけるよう徹底的に訓練を行う。
- ③ 本文の内容をめぐって学生と中国語で会話をする。
- ④ 単語リストを配って、置き換え練習などをする。それによって学生たちの会話の応用能力を高める。
- ⑤ 時間の許す時は、本文の内容と関連する場面を設定して、学生をグループに分けて、会話の練習を行う。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

未定。

中国語会話1Aは、週2回コースの授業である。馮先生（火曜日5限）、郭先生（木曜日5限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

### 【参考書籍】

《30天漢語通》 初級編 華語教学出版社

## 中国語会話 1 B

馮富榮

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国語会話1Aの授業の延長として考えてよい。1Aと比べると、授業の内容はやや上のレベルになるが、やはり中国人の日常生活によく使われる表現を題材にして授業を進める。また中国語1Aと同じように、学生たちの会話能力を最大限に引き伸ばすために、一方的な講義という形でなく、中国語で学生たちとコミュニケーションを取りながら授業を進める予定である。

### 【授業計画】

以下のステップを踏んで、授業を展開する予定である。

- ⑥ まず常用表現について、統語論と語用論の両方から説明する。つまり文法現象のみでなく、中国語の表現習慣と日本語の表現習慣の違いについても説明を加える。
- ⑦ 読む練習を繰り返し行う。初歩から正しい発音を身につけるよう徹底的に訓練を行う。
- ⑧ 本文の内容をめぐって学生と中国語で会話をする。
- ⑨ 単語リストを配って、置き換え練習などをする。それによって学生たちの会話の応用能力を高める。
- ⑩ 時間の許す時は、本文の内容と関連する場面を設定して、学生をグループに分けて、会話の練習を行う。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

未定。

中国語会話1Bは、週2回コースの授業である。馮先生（火曜日5限）、郭先生（木曜日5限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

### 【参考書籍】

《30天漢語通》 中級編 華語教学出版社

## 中国語会話 1 B

郭伏良

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中国語会話1Aの授業の延長として考えてよい。会話1Aと比べると、授業の内容はやや上のレベルになるが、やはり中国人の実際の日常生活によく使われる表現を題材にして授業を進める。また中国語会話1Aと同じように、学生たちの会話能力を最大限に引き伸ばすために、一方的な講義という形ではなく、中国語で学生たちとコミュニケーションを取りながら授業を進める予定である。

### 【授業計画】

以下のステップを踏んで、授業を展開する予定である。

- ⑥ まず常用表現について、統語論と語用論の両方から説明する。つまり文法現象のみでなく、中国語の表現習慣と日本語の表現習慣の違いについても説明を加える。
- ⑦ 読む練習を繰り返し行う。初歩から正しい発音を身につけるよう徹底的に訓練を行う。
- ⑧ 本文の内容をめぐって学生と中国語で会話をする。
- ⑨ 単語リストを配って、置き換え練習などをする。それによって学生たちの会話の応用能力を高める。
- ⑩ 時間の許す時は、本文の内容と関連する場面を設定して、学生をグループに分けて、会話の練習を行う。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

未定。

中国語会話1Bは、週2回コースの授業である。馮先生（火曜日5限）、郭先生（木曜日5限）の両方の授業に出席し、その平均で評価がでる。

### 【参考書籍】

《30天漢語通》 中級編 華語教学出版社



# 中国語コミュニケーション1

丁秀山

1年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

初めて中国語を学ぼうとする学生のために、中国語の十から十までを詳しく説明し、短かいやさしい表現でしかも普段よく使われる日常会話を学びます。中国語の発音・表記システムを身につけ、中国語の構造や語彙もマスターします。中国語を通して、中国人の生活や風俗習慣などに触れ、中国事情を多少理解できるようにします。

## 【授業計画】

1. 拼音・声調
2. 発音
3. 挨拶語
4. さまざまな文型と表現方法
5. ヒアリング
6. 会話の練習

## 【評価方法】

普段の勉強意欲を重視。

## 【テキスト】

中国語初級テキスト

『生活の中の基礎会話』丁秀山・坂井田ひとみ著  
(金星堂)

## 【参考書籍】

中国語百問百答 (丁秀山著 東方書店)

# 中国語コミュニケーション2

丁秀山

1年 後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

初めて中国語を学ぼうとする学生のために、中国語の十から十までを詳しく説明し、短いやさしい表現でしかも普段よく使われる日常会話を学びます。中国語の発音・表記システムを身につけ、中国語の構造や語彙もマスターします。中国語を通して、中国人の生活や風俗習慣などに触れ、中国事情を多少理解できるようにします。

## 【授業計画】

1. 拼音、声調
2. 発音
3. 挨拶語
4. さまざまな文型と表現方法
5. ヒアリング
6. 会話の練習

## 【評価方法】

普段の勉強意欲を重視。

## 【テキスト】

中国語初級テキスト

『生活の中の基礎会話』丁秀山・坂井田ひとみ著 (金星堂)

## 【参考書籍】

中国語百問百答 (丁秀山著 東方書店)

## 中国語コミュニケーション3

丁秀山

1年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日常会話を習得するという見地から、まず挨拶語から入り、生活の中で必要な常用表現を、正確な発音と文型を中心に、短くてやさしい文で普段よく使われる日常表現を学んでいきます。

### 【授業計画】

1. 拼音・声調
2. 発音
3. 挨拶語
4. さまざまな文型と表現方法
5. ヒアリング
6. 会話の練習

### 【評価方法】

普段の勉強意欲を重視。

### 【テキスト】

シリーズ中国語テキスト I 『中国語基礎講座』（丁秀山著 光生館）

### 【参考書籍】

中国語百問百答（丁秀山著 光生館）

## 中国語コミュニケーション4

丁秀山

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日常会話を習得するという見地から、まず挨拶語から入り、生活の中で必要な常用表現を、正確な発音と文型を中心に、短くてやさしい文で普段よく使われる日常表現を学んでいきます。

### 【授業計画】

1. 拼音、声調
2. 発音
3. 挨拶語
4. さまざまな文型と表現方法
5. ヒアリング
6. 会話の練習

### 【評価方法】

普段の勉強意欲を重視。

### 【テキスト】

シリーズ中国語テキスト I 『中国語基礎講座』（丁秀山著 光生館）

### 【参考書籍】

中国語百問百答（丁秀山著 光生館）



## 中国語読解 1・2

郭伏良

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

この授業では、主として中国の社会と文化を表現する文章を読む。目的は、学生の中国語の読む力を伸ばすことにあるが、より具体的に言うと、①読むスピードを上げること、②中国語への理解を深めること、そして③中国語の表現を習得することである。

### 【授業計画】

授業を二つの段階に分けて進めていく。

第一段階では、中国語の文章を細かく読むことからスタートする。細かく読むということは、文章に出ている慣用表現や新しい単語の使い方などを詳しく説明しながら読んでいく。すなわち時間をかけて一つの文書をじっくり読む。ここでは、中国語に対する徹底的な理解を求める。

第二段階では、概略的に中国語の文章を読む。つまり、文章に出ている新しい単語や新しい表現などを一々細かくやらず、そのかわりに、文章の大体の意味を掴めばよいことである。

この二段階の授業を経て中国語を速く読み、速く理解することができるようになる。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

《閲読理解》 北京語言学院出版社

## 中国語読解 3・4

郭伏良

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

この授業では、主として中国人の価値観や風俗習慣などを表現する文章を読む。目的は、学生の中国語の読む力を伸ばすことにあるが、より具体的に言うと、①読むスピードを上げること、②中国語への理解を深めること、そして③中国語の表現を習得することである。

### 【授業計画】

授業を二つの段階に分けて進めていく。

第一段階では、中国語の文章を細かく読むことからスタートする。細かく読むということは、文章に出ている慣用表現や新しい単語の使い方などを詳しく説明しながら読んでいく。すなわち時間をかけて一つの文章をじっくり読む。ここでは、中国語に対する徹底的な理解を求める。

第二段階では、概略的に中国語の文章を読む。つまり、文章に出ている新しい単語や新しい表現などを一々細かくやらず、そのかわりに、文章の大体の意味を掴めばよいことである。

この二段階の授業を経て中国語を速く読み、速く理解することができるようになる。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

《中国家常》 北京語言学院出版社

## 情報処理基礎技術 a・b

原 伸之

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

パソコン活用の要である「ワープロ」「表計算」「データベース」の習得をめざす。また、パソコンのしくみ、ソフトウェアの機能およびソフトウェアをとりまく諸問題についても学習する。

1. コンピュータの活用-I
  - 1) Windows-98の理解
  - 2) ワープロ「Word」の実習
    - ①基礎編（入力・編集）
    - ②応用編（作表・計算）
  - 3) コンピュータのしくみ
  - 4) ソフトウェアの機能
  - 5) システムの概念
  - 6) プログラミング
    - ①アルゴリズムの理解
    - ②フローチャートによる演習
2. コンピュータの活用-II
  - 1) 表計算「Excel」の実習
    - ①基礎編（入力・編集）
    - ②応用編-1（グラフ作成・編集）
    - ③応用編-2（データベース作成・抽出・集計）
  - 2) データベース「Access」
    - ①データベースの考え方
    - ②基礎編（入力・抽出・出力）
    - ③応用編（関数・集計）
  - 3) ソフトウェアをとりまく課題
  - 4) 日本の情報サービス産業

### 【授業計画】

配布されたプリントに基づいて、講義・実習を行う。Word、Excel、Accessの実習では、基本を習得して演習に取り組む方法で、理解を深めたい。講義では、テクニカル・タームの説明から始めて正しく理解するように努める。

### 【評価方法】

Word、Excel、Accessの実習では、その理解度を確認するために小テストを実施し、期末テストの評価とを合わせた総合評価を行う。

## 情報処理基礎技術 a・b

梅田敏文

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

パソコンのハードウェア、ソフトウェア、ネットワークの基本的な知識を習得すると共に、WORD、POWERPOINT、EXCELの基礎知識と操作を学習する。

### 【授業計画】

- (前期)
1. ガイダンスとマシンの機能
  2. Windows98の操作
  3. WORDの操作
  4. NETWORK
  5. POWERPOINTの操作
  6. まとめ
- (後期)
1. ガイダンスとEXCEL概説
  2. データ入力とワークシート操作
  3. 式の作成
  4. 相対セルと絶対セル参照
  5. データの書式設定
  6. 関数
  7. グラフ作成
  8. エラー分析
  9. まとめ

### 【評価方法】

ひとつのテーマが終了した時点でミニテストを実施する(2-3回)。出席点40%、ミニテストその他60%で評価する。

### 【テキスト】

最初に全体のプリントを配布する。  
授業の途中に適宜、資料を配布する。



## 情報処理基礎技術 a・b

三和義秀 川澄未来子

1年(2年) 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

アプリケーション・ソフトウェアやインターネットなどのネットワーク・ツールを上手く使いこなし、コンピュータを問題解決の技法や思考方法をひろげるメディアとして活用できる技術を身に付ける。

(a：前期)

第1回 情報、データ、情報処理とは何か

第2回 コンピュータの歴史、人間とコンピュータ

第3回 キーボード操作

第4回から5回 インターネットの基本操作

第6回 情報の表現：10進数、2進数、8進数、16進数、文字符号

第7回 オペレーティング・システム、コンピュータ・プログラム

第8回～10回 日本語・英文ワープロMS-Wordの操作

第11回～13回 表計算ソフトExcelの操作

(b：後期)

第1回から第2回 統計処理入門

第3回から第5回 Excelを使った統計処理

第6回から第7回 ホームページの作成

第8回から第9回 プレゼンテーションとPowerPointの基本操作

第10回から第13回 Visual Basicによるプログラミング

### 【評価方法】

定期試験、レポート及び出欠席にて総合評価する。特に出席回数を重視する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

下記の科目は、本年度開講しません。

哲学的人間論

タナトロジー（死生学）

現代人権論

こども・教育・社会

ボランティア論

市民社会論

知的所有権

メディアカルサイエンス

Practical English 1 C

Practical English 1 D

Practical English 2 G

Practical English 1 E

Practical English 2 H

Practical English 1 F

Practical English 3 C

Practical English 1 G

Practical English 3 D

Practical English 1 H

Practical English 3 E

Practical English 2 C

Practical English 3 F

Practical English 2 D

Practical English 3 G

Practical English 2 E

Practical English 3 H

Practical English 2 F

Practical English 4 C



Practical English 4 D

中国語基礎会話 1 G

Practical English 4 E

中国語基礎会話 1 H

Practical English 4 F

中国語会話 1 C

Practical English 4 G

中国語会話 1 D

Practical English 4 H

中国語基礎会話 1 C

中国語基礎会話 1 D

中国語基礎会話 1 E

中国語基礎会話 1 F

## 英語 A a・b

太田晶子

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

実用的な英語の運用能力の強化と並行して、アメリカの短編をじっくり読む楽しみを共有したい。

通り一遍の挨拶や道案内が英語でできるだけではつまらない。その先に続く話ができてこそ、真の相互理解に向けての第一歩が始まる。「その先」の話題を提供したい。毎回授業の始めには、リスニングの練習を行い、続いて短編を読む。

テキストをじっくりと読み進むことにより、基礎的な力の底上げをはかる。文字を追って日本語に訳すだけでなく、原文だからこそ楽しめる読み方をしたい。

時には、ビデオを利用して、世の中の動きにも目を向ける。

アメリカの社会や文化の一端に触れ、理解を深める一助としてほしい。

### 【授業計画】

毎回授業の前半にリスニング練習に取り組み（15分）、採点后、必要に応じて簡単な解説を行う。

短編は、指名された学生が順次英文を読みながら和訳していく。

### 【評価方法】

出席、授業態度、定期試験を同等に評価する。

### 【テキスト】

未定。

## 英語 A a・b

千葉洋子

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現在アメリカで起きているup-to-dateなトピックを扱ったテキストを使用して、ある程度まとまった量の英文をよみこなすことで、読解力・語い力の増強を目指します。

- 1 SHAME ON YOU!
- 2 BAD BREATH
- 3 THE RACE GAME
- 4 BATTLE OF THE SEXES
- 5 MARIJUANA AS MEDICINE
- 6 CHANCE GLANCE ROMANCE
- 7 McMOUSE?
- 8 BLOOD SPORT
- 9 GANGSTA RAP
- 10 LIFE IN THE LEXUS LANE
- 11 TURNABOUT'S FAIR PLAY
- 12 SCARFACE
- 13 THE LAST OF THE BEATS
- 14 AND THE GOOD NEWS IS!
- 15 UFO-MANIA
- 16 OUR POOR SCHOOLS

### 【授業計画】

予習がしてあることを前提として、学生を順次指名して読解させ、その後教師が解説する。

### 【評価方法】

学期末テスト、出席状況、授業態度等を総合的に判断して成績評価をする。

### 【テキスト】

南雲堂（Jim Knudsen著 American Dream, American Reality 1800円）



## 英語 B a ・ b

天野純子

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

「時代のマスメディア」に対応すべくニュース英語に取り組む。テキストは、ABC放送のニュース番組“World News Tonight”の最新ニュースから成り、学習者の興味、意欲が高まるよう工夫されている。テレビニュース英語の特徴をつかみ、1つ1つのトピックについて理解を深めていくことを目標とする。

2週で1つのTopicを終了させる予定

1. Bagpipers from Tokyo
2. Star Wars Fans
3. Kosovo: One Story
4. Beavergate
5. Report from Littleton
6. Exercises TV for American Youth
7. Transracial Adoption
8. The Booming Bard

### 【授業計画】

ビデオ・テープで聞き取りを行なう。その後理解度チェックの練習問題を行なう。

### 【評価方法】

出席、授業中態度、各学期末の試験により評価する。

### 【テキスト】

ABC World News (金星堂 1,850円)

## 英語 B a ・ b

山田久美子

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

カセット・テープやビデオなどの視聴覚教材を利用し、英語でのコミュニケーション能力を高める。授業の内容としては、日常の様々な場面や海外旅行に必要な英語の語彙や英語表現を学び、適切な英語表現を使えるように訓練する。また、受講者の希望により、簡単なエッセイや英字新聞の記事なども読む予定である。

### 【授業計画】

前期

1. Airplane Announcements & Immigration
2. Akiko Meets Her Host Family
3. Arriving at the Miller's
4. Giving Gifts
5. A Short Tour of House
6. Akiko's Family
7. At Breakfast
8. At Dinner
9. Shopping at a Supermarket
10. Getting Permission and Asking for Favors

後期

11. Eating Out
12. Making an Overseas Call
13. Talking about Japan's Climate
14. Talking about Schools
15. Talking about Japanese Houses
16. A Campus Tour with Cathy
17. Going to a Fast-Food Restaurant
18. At a Post Office
19. Akiko Gets Sick
20. Preparing Japanese Food

### 【評価方法】

出席状況、定期試験により評価する。

### 【テキスト】

*American Homestay Album* Gray W. Cantor 島田拓司 著  
成美堂 ¥1,800

## 英語コミュニケーション1・2

ハリー・T. ノリス

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course aims to improve the students' ability to talk confidently about their ideas and feelings using English/

An emphasis will be put on developing the students' confidence to deal with situations in which they may need to use English. Group work activities and games will often be used and many cultural points will be discussed. Teaching materials will include videos, short stories, songs, poems and other media.

Students will be expected to write a diary of their day to day life

### 【Assessment】

Assessment will be based on class work, homework, speaking and listening ability and a diary. Active participation in class will be essential.

### 【Textbooks】

Text: None.

## フランス語 I a・b

佐藤 誠

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

フランス語とフランス文化

フランス語は、フランス人が使う言葉であり、フランス文化がそこに反映されています。そこで、フランス人のものの感じ方や考え方、あるいはまた、フランスの文化的な背景にも注意しながら、フランス語の仕組みを学ぶことが大切です。したがって、まず話し言葉を少しずつ覚えながら、フランス語に取り組んでいきましょう。

フランスは、歴史と芸術に満ちあふれていて、様々な文化の魅力に出会うことができます。数々のカテドラルや絵画、そして彫刻やお城など、至る所で芸術の香りに触れることができます。もちろん、ワインで味わうフランス料理も……。

ところで、来年の3月に、グルメとロマンを求めたフランス研修旅行を予定しています。もちろん自由参加ですが、定員がありますので（約15名）、もしも参加される方がありましたら、早めに申し出て下さい。

ともかく、思い切ってフランス語やフランス文化の世界へ飛び込んでみましょう。

### 【授業計画】

フランス語の表現を少しずつ身につけるために、毎回話す練習を行ないます。

### 【評価方法】

基本的なテストで評価します。頑張りましょう。

### 【テキスト】

ミニ・ボンジュール・パリ（中山真彦他、白水社、1,800円）



## フランス語Ⅱ a・b

佐藤 誠

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

フランス旅行会話入門（グルメとロマンを求めて）

旅行会話ですので、フランス語の基礎を一通り身につけていることが必要です。しかし中には、忘れた人もいるかもしれませんので、復習も少しずつ行ないます。

フランスは、歴史や芸術に満ちあふれていて、多くの文化の魅力に出会うことができます。

ところで来年の3月に、グルメとロマンを求めたフランス研修旅行を予定しています。フランスの古城に滞在し、そこでシェフが作るフランス料理を味わいながら、フランス人から会話の基礎を学ぶコースです。もちろん自由参加ですが、定員がありますので（約15名）、参加される方は早めに申し出て下さい。なお今回は、私も同行いたします。

なお、この他にも、様々な語学研修旅行がありますので、自分に適したコースを選んで下さい。

ともかく1年間、旅行会話をしっかりと学んで、フランスへ旅立ってみましょう。

### 【授業計画】

毎回、フランス語の基礎を復習しながら、旅行会話を少しずつ学んでいきます。

### 【評価方法】

基本的な会話のテストで評価します。

### 【テキスト】

ボンジュール・パリ（改訂版）（中山真彦他、白水社、2,200円）

ボン・ボワイヤージュ（小倉他、駿河台出版社、1,950円）

以上2冊使います。

## 中国語Ⅰ a・b

梁 紅

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中国の勉強をはじめめる動機やきっかけは、人それぞれだろうが、多少でも応用能力を身につけようとするのが、共通する目的のはずである。しかし、短期間&低頻度の状況下では、もっとも現実的な目標設定をすべきではないかと思われる。この授業は「練習を中心にした欲張らない語学」を主旨とする。少量に抑えた内容を十分消化して確実にものにしていくよう、受講者の耳と口による練習にできるだけ時間を使う予定である。

### 【授業計画】

第1～5回 発音の基礎

第6回からは、さまざまな話題の会話を通じて文法・表現を学んでいく。「お名前は？」「食堂はどこですか？」「まだ行ったことがない」「カラオケ？それとも映画？」「一人っ子」「サッカーファン」「アルバイト」「就職活動」「寮生活」「Eメール」「ハンバーガー」「万里の長城へ行く」「観劇」「記念にどうぞ」「見送り」

### 【評価方法】

定期試験と平常点（授業参加の積極度など）による。

### 【テキスト】

中国語21（平井勝利・朱新建著 好文出版）

## 中国語Ⅱ a・b

馮 富榮

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

主として中国語作文の力の向上と中国語の正しい発音の定着化をこの授業の目標とする。もちろん、中国語会話の能力を身につけることもこの授業の狙いである。

<前期>

本文を繰り返し音読することによって、中国語のリズムの美しさを確認するとともに、発音の矯正を図る。そのほかに、以下のポイントに力を入れて授業を進める。

- ◎基本的な文法の復習；
- ◎作文を練習することによって、慣用表現を覚える；
- ◎活字からのみでなく、耳からも中国語が理解できるように書き取り練習を行う；
- ◎修得した慣用表現を使って、一対一の会話を練習する。

<後期>

教科書を使うほか、中国語としては美しい表現の文章のプリントも配って授業に使う。それによって、中国語のリズムの美しさを再確認するとともに、多種多様な表現に触れる。この授業のポイントは以下である。

- ◎作文の練習によって慣用表現を覚える；
- ◎中国語の作文のポイントは語彙の並べ順序であるので、中国語の構文順序に重点を置いて授業を行う；
- ◎ときどき宿題を出す。提出した宿題の問題点について授業で解説を行う；

プリントで配られた文章には、新しい慣用表現や新しい単語があるので、この授業を履修する学生は、事前に辞書で調べることが要求される。

### 【授業計画】

- ①本文に出ている新しい単語の意味と用法を説明する。
- ②本文に出ている新しい文法表現を説明する。
- ③本文の朗読練習を行う。
- ④まず本文を日本語に訳し、その後本文を見ずに日本語の訳文から中国語に戻す。
- ⑤練習問題を通して、各課の要点を再整理する。

### 【評価方法】

学期末試験の成績に、出席状況及び平日の宿題の完成状況、小テストの成績を加味して、総合的に判断する。

### 【テキスト】

未定。

## ドイツ語Ⅰ a・b

浜田義孝

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得することを目標とする。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

英語を、そして母語の日本語をよりよく理解するためにも、ドイツ語にチャレンジしてみてください。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（あるいはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、基本的なやさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツ語圏の生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは、全12課で各課とも読章+文法+練習問題+会話練習の4部構成。

まず教師の説明があり、その後さまざまな練習が課される。1課を2回の授業のペースでゆっくり進む。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

なぜドイツ語？—もっとドイツ語！（橋本ノイベルガー 一他著 三修社）



## ドイツ語Ⅱ a・b

浜田義孝

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

ドイツ語Ⅰ a・bで習得した基礎知識をもとに、ドイツ語の読解力や表現力の向上をめざす。またドイツ語の学習を通して、ドイツ語圏の文化と社会について理解を深める。

また随時ビデオなどを使って、ドイツの有名な映画などを鑑賞する。

### 【授業計画】

ごく日常的な会話ややさしい文章でドイツ語の基本を復習しながら、段々とレベルアップしてかなり難しいドイツ語の文章が読めるように訓練する。

授業は演習形式とする。受講者は辞書を活用してしっかり予習して来ること。

### 【評価方法】

平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

ドイツ語の探検（諏訪／シュレヒト共著 朝日出版社）

## ロシア語Ⅰ a・b

杉本一直

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができる場所は本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

### 【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を憶え、発音を憶え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- a. キリル文字と発音
- b. 大きな声であいさつしよう
- c. 買い物に行ってみよう
- d. 乗り物に乗ろう
- f. おなかがすいたら...
- g. 自分について話してみよう
- h. 好きな音楽について
- i. 手紙を書こう（本当にロシアへ送るぞ!）

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

「パスポートロシア語辞典」（白水社）

## 韓国・朝鮮語Ⅰ a・b

曹 述 燮

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

読める、書ける、すぐできるやさしい韓国・朝鮮語

韓国・朝鮮語は日本語で生活しているものにとってたいへん学びやすいことばである。語順も文法もよく似ているし、単語も共通の漢字語が多く覚えやすい。ただし文字は民族固有のもので一見難しいかなと思われるが、合理的でとても覚えやすくてきている。

この講座では、初めての学習者に韓国・朝鮮語がやさしく感じられる入門を解く。そして読める、書ける、すぐできるという自信を持つ韓国・朝鮮語学習者とする。

<前期>

第1回～9回：発音と文字による何でも読める、書ける

第10回～13回：自己紹介と簡単な会話

<後期>

第1回～6回：数字の用い方、活用、遊び

第7回～13回：簡単な文章の読解と昔話

### 【授業計画】

教科の進行中に韓国・朝鮮語の読み方を身につける練習をおこなう。時に応じてビデオ教材を併用する予定。

### 【評価方法】

前・後期の二回の期末テストと授業中の学習成果を総合して判定。そして、語学は始めが肝心。韓国・朝鮮語の基礎知識を習得するまで出席不可欠。

### 【テキスト】

書いて覚える初級朝鮮語（高島淑郎 白水社）

## 韓国・朝鮮語Ⅱ a・b

曹 述 燮

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

話せる楽しい韓国・朝鮮語

学修2年目の学習者を対象に、韓国・朝鮮語の基礎的知識を踏まえ、平明な文章が読め、すぐに使える会話を運用する能力を養成する。それに韓国・朝鮮の文化・風俗に関する知識もつけ、理解を深めるものとする。

<前期>

文字、発音の復習と会話、作文への発展

韓国・朝鮮の文化（チマ・チョゴリ、韓屋、市場の風景等）

<後期>

日本文化と韓国、朝鮮文化との交流（猪飼野、郷歌と万葉集等）

### 【授業計画】

教科の進行中に韓国・朝鮮語の読み方を身につける練習をおこなう。時に応じてプリント、及びビデオ教材を併用する予定。

### 【評価方法】

前・後期の二回のテストと授業中の学習成果を総合して判定。

### 【テキスト】

新しい朝鮮語（塚本勲・奥田一廣 白帝社）



## 心理学 1・2

小倉千加子

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

1. 世界各地で発見された野生児の事例を紹介し、その特徴を考察する中で人間における、社会的・文化的な発達条件について探究する。また、社会の中で極端に孤立した状況で生育した子どもたちについても、その社会適応を可能にする条件について考える。
2. なにげなく営まれている日常的行動と、その背景に潜む心理的基盤を、社会心理学の実験を通して改めて考察の対象にする。

### 【授業計画】

<前期>

1. クローン人間とは何か？
2. 遺伝研究の歴史
3. ハノーバーのピーターから、タカラガマのテイサまで（野生児のリスト）
4. 野生の少年
5. 狼に育てられた少女
6. 感覚教育の系譜
7. カスパー・ハウザーの謎
8. 認知能力とアタッチメントの臨界仮説
9. 類人猿の人間化訓練
10. 人間性の本質について

<後期>

1. 人間は酔の中のピクルスカ
2. 西鶴「武家義理物語」を解説する
3. 社会の中での孤立
4. 不可視の世界
5. ドッキリカメラとエスノメソドロジー
6. 模擬刑務所実験の教訓
7. 社会的アンデンティティと無力感
8. 不安と防衛
9. 帰属とジェンダー
10. 自由の本質と恐怖の克服

### 【評価方法】

出席状況と定期試験により評価する。

### 【テキスト】

用いない。

## 日本国憲法

尾崎良康

2～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本国憲法の要点と名著の講読

<前期>

日本国憲法について、

- 1) やさしい憲法
- 2) “憲法”の意味と世界の憲法
- 3) 明治憲法と昭和憲法
- 4) 日本国憲法の成立の経過
- 5) 日本国憲法の“前文”と基本原則
- 6) 日本国憲法に関する裁判例
- 7) 日本国憲法第九条に関する学説・判例

名著の講読について、

イエーリング著『権利のための闘争』を読む。

- 1) 法のための闘争の意義
- 2) 権利のための闘争の意義
- 3) 権利のための闘争は、自己に対する義務であること
- 4) 権利のための闘争は、国家共同体に対する義務であること
- 5) 国家の活力と国民の権利感覚
- 6) 古代ローマ法と現代ローマ法

<後期>

前期と同じ

### 【授業計画】

日本国憲法の要点については、出来るだけ分かりやすい説明を、名著の講読については、出来るだけ学生諸君の意見を発表してもらいながら、ともに思考を深めたい。

### 【評価方法】

試験によって評価する。

### 【テキスト】

権利のための闘争（イエーリング著・村上淳一訳 岩波文庫）

## 日本語表現

冠木千代子

2～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本語に関する知識や能力を豊かにし、平明で、美しく豊かな表現力を養います。

話す力、聞く力を増すための音声表現法に重点を置きます。姿勢、呼吸法、発声、発音、アクセントの法則等、きれいに声を出すことから始めます。

話し言葉の基本、敬語の知識を中心に、正しい言葉遣いを学びます。そして、歯切れよく、上手く話す力、聞く力を養います。

### 【授業計画】

講義、討論、発表。

積極的に、言葉によって人とかわることを心がける。新聞、ニュースから話題、話材を見つけ討論、発表をする。

### 【評価方法】

出席率を重視。

毎時の点呼の返事から音声表現がはじまります。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考書籍】

○『国語表現法 話しことばと書きことば』

田中篤子編 嵯峨野書院 定価2,490円

○『コミュニケーションのためのことば学—きく、話す、読む—』

言語表現研究会編 ミネルヴァ書房 定価2,678円

## 生活と福祉

長谷川真人

2～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

戦後50年間改正されなかった児童福祉法が平成9年6月11日に改正公布され、平成10年4月1日から施行されました。並行して「介護保険法」が成立し平成12年からスタートします。さらに現在「社会福祉の基礎構造改革」の論議がすすめられており、今後の社会福祉全体の制度が大きく変化することが予想されます。そんな社会状況をふまえた福祉の問題について「生活と福祉」の授業を展開していきたいと考えております。しかし、福祉といっても大変幅が広いので半期だけでは全体をカバーできないため、学生の皆さんが現代社会の生活にとって大切な福祉の基礎的な問題から、具体的な現実問題（ビデオ教材導入）への授業内容と考えております。したがって、この授業では福祉の基本的な問題を勉強したい学生を対象に「福祉とは何か」ということを特に乳児期・児童期から青年期を含めた社会的養護（家庭で生活できない場合の福祉対応）と、将来の子育てに役立つためのものにしたい。そのためにも地域社会や家庭問題も視野に入れた内容で皆さんと考えていきたいと思っています。

### 【授業計画】

第1回 社会福祉とは、児童の福祉とは、

第2回 「子どもの権利条約」と日本の子どもたち

第3回 児童問題に関わる行政機関の仕事と役割

第4回 現代の子どもたち（家庭、地域、学校では）

第5回 乳児・児童・老人虐待の実態と問題点

第6回 乳児・児童・老人虐待への対応と課題

第7回 社会福祉サービスの現状（介護保険制度等）

第8回 社会的養護の現状（児童福祉施設・里親等）

第9回 現代の少年非行問題（少年法改正問題等）

第10回 保育、母子・父子家庭問題の現状と課題

第11回 国際化問題（国際結婚・国籍問題等）

第12回 福祉の仕事、福祉ネットワークの現状と課題

### 【評価方法】

試験の成績と、途中でのレポート及び出席率等を総合評価する。

### 【テキスト】

講義テキスト（自費出版）・日本の児童問題14（前期）

日本の児童問題15（後期・全国児童養護問題研究会）



## 国際社会と経済 1

村主英雄

2～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

本講義では、国際社会を経済という切り口から考察する。国際社会という概念は、きわめて抽象的で理解しにくいし、「実感」をもつこともできない。だが、モノ・サービスの貿易、資本の移動のメカニズムを理解することによって、国家間の相互依存関係の経済分析が可能になる。その基礎的な理論を学ぶとともに、現代の世界経済の問題点をも随時取り上げる。

国際収支表の構成原理

国民所得の概念

国民所得と経営収支

国際通貨制度の歴史

外国為替ルートの決定要因

貿易の発生原因

貿易の利益

自由貿易主義と保護貿易主義

GATTからWTOへ

地域統合の世界的流れ

### 【授業計画】

基本的にテキストを使うが、できるだけ時事問題をも取り上げるため随時プリント教材を配布して補う。

### 【評価方法】

定期試験および出席率による。試験は穴埋め形式および択一式の併用。

### 【テキスト】

改訂現代国際経済論（Ⅰ）（Ⅱ）（村主英雄著 自費出版 各分冊とも400円、計800円）

## 人体のソフトサイエンス 1・2

杉浦信彦

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

生命のよりどころである体のしくみとその働きについて学習し、人体を形成する成分、組織や器官のメカニズムとその合目的性を理解する。この科目で学んだことが今後の暮らしに活用され、健全なライフスタイルの確立に役立てられることを期待したい。

### 【授業計画】

<前期1>

1. ガイダンス
2. 人体の組成
3. カルシウムの役割
4. 血液の働き

<後期2>

5. 消化管のしくみと働き
6. 肥満と生活習慣病
7. 肝臓とアルコール
8. 腎機能と尿

授業の進め方は主として講義形式をとるが、VTRの視聴や実物標本の観察なども行う予定である。毎回プリントを配布する。

### 【評価方法】

授業に関連する課題についての研究レポート、出席及びテストにより成績を評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 植物の生態

塚本 陸

2～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

この講義では主に森林を取り上げる。森林は陸上で最大の現存量をもつ植物群落であるため、例えば環境形成の面で公共財として人間が享受できる効用も多い。

森林のタイプや構造といった基礎的なことから、そうしたいわゆる森林の公益的機能や、人工林、森林破壊の問題、森林の心理的評価など、生態だけでなく様々な視点から森林を観る。

#### 1. 様々な森林タイプとその分布

その土地の条件に適合して生育している森林のタイプと特徴について概説する。

#### 2. 森林の構造

森林をより客観的にとらえるための定量的な見方について説明する。

#### 3. 森林の公益的機能

国土保全、水源涵養などへの森林の貢献について。

#### 4. 森林の微気象への影響

風、温度や湿度などに与える森林の影響をみる。

#### 5. 地球環境変動と植物

炭酸ガスの増加やオゾン層の破壊によって、植物はどのような影響を受けるのか。

#### 6. 人工林

人工林の管理について概説する。

#### 7. 森林の再生過程

萌芽、種子の散布様式、極相林についてなど。

#### 8. 森林の心理的評価

森林がもつメンタルな部分への効用について。

#### 9. 森林破壊について

森林破壊の現状や、公共財としての森林をどう扱うべきなのかについて説明する。

### 【授業計画】

森林についてできるだけ多くのテーマを扱い、森林やそれを取り巻く人間社会にもふれながら講義を進める。

### 【評価方法】

成績は、定期試験の点数と出席で評価する。

### 【テキスト】

テキストは使用せず、テーマ毎にこちらで用意した資料を配布する。

## 英米文学 1・2

稲生幹雄

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

英米文学の面白さ・奥の深さを、多面的に考察する。とくに、遠い昔から詩の朗誦や歌を好んだアングロ・サクソン民族の文学的伝統の線上に、『ロミオとジュリエット』をはじめとするシェイクスピアのドラマと、現代のポップソングと、アメリカの(とりわけソートン・ワイルダーの)演劇を位置づけてそれぞれの魅力を探る。

### 【授業計画】

前期には、①英文学の夜明け、②英語史の流れ、③英語の詩と歌、④英国演劇の誕生とシェイクスピアの演劇世界、⑤400年前のロンドンの劇場と舞台、⑥叙情詩の伝統と今世紀英米のポップ・ソングの魅力、⑦英語独特の音声構造とリズム、などに関して考察。そして後期には、引き続き①～⑦の諸点への理解を(前期とは異なるいろいろな歌や詩やせりふを題材として)さらに深めてゆきながら、⑧アメリカのユニークな劇作家ソートン・ワイルダーの演劇世界、⑨彼とシェイクスピアとの関係、⑩英米文学の味わい、などについても考える予定。

前・後期とも、BBC制作の*The Story of English*というビデオ教材や、シェイクスピア劇などのビデオ教材を使用して、映像と音声の両面から理解を深められるよう心がける。また、テキストに付属している音楽テープを活用し、歌詞(Lyrics)の詩の音声やリズムやメロディを鑑賞して、英語という言語の特質と魅力を探る。

### 【評価方法】

前・後期とも、ほぼ4週間に1度の割合で授業時間内に筆記試験をして、その得点の積み重ねと出席状況・受講状況とを総合して評価する。(この筆記試験についての詳細は、学期の初回の授業で説明するので聞き落とさないようにすること。)

### 【テキスト】

[前期] *Hot Beat Listening, Book 2* (熊井信弘他著 マクミラン・ランゲージハウス)

[後期] *Pop Song Listening* (Kim R. Kanel編 成美堂) および *The Best American One-Act Plays* (小川和男他編 開文社)

このほか、前・後期とも、プリントを配布する。



## 英米文学3・4

太田直子

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

アメリカの歴史を紐解きながら、その時代背景と文学について考えていく。

アメリカにはどんな作家がいて、どのような作品が書かれたのかを紹介しながら、作品の中に描かれたAmerican Dreamについて考察する。

英米文学3

植民地時代から1900年までのアメリカの歴史と文学について

英米文学4

20世紀アメリカ文学

### 【授業計画】

プリントを配り講義、解説する。

### 【評価方法】

各学期末にレポートを提出してもらう。課題については講義の時に説明する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 児童文学1・2

堀尾幸平

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

1. 児童文学とは何か。その呼称、定義、特質、形態、研究方法等、児童文学理論を研究する。
2. 児童文学が、どのように発祥、展開してきたか、わが国の文学史を把握し、今後の児童文学を展望する。
3. 童話を創作する。

### 【授業計画】

<前期1>

1. 児童文学とは何か  
呼称、定義、特質、機能、形態、研究法等
2. 明治期の児童文学  
啓蒙準備期、三輪弘忠、巖谷小波  
児童雑誌、翻訳児童文学  
森田思軒、押川春浪、立川文庫
3. 大正期の児童文学  
小川未明、鈴木三重吉『赤い鳥』  
芸術的児童雑誌『少年倶楽部』  
千葉県三、浜田廣介、少女小説  
童謡、少年詩、児童文学研究

<後期2>

4. 昭和期の児童文学  
プロレタリア児童文学、通俗的児童文学  
宮澤賢治、新美南吉、坪田譲治  
戦時下の児童文学
5. 平成期の児童文学  
いぬいとみこ、松谷みよ子、神沢利子  
中川李枝子、灰谷健次郎
6. 童話の創作

### 【評価方法】

定期試験、レポート、出席率等によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本児童文学論（堀尾幸平著 中日文化 2,200円）

### 【参考書籍】

授業中に適宜紹介する。

## 美術 1・2

川口 果

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

特に美術には様々な分野がある。絵画・彫刻・デザイン・工芸・書・鑑賞のほかに、最近では映像・コンピューター・建築・環境・都市計画などまでも美術の分野として考えられるようになった。

本講ではそれらの造形美術の概観、実技（課題制作）を通して基礎的な絵画表現、デザイン表現、工芸表現などの創造的能力を養う。

<前期>

課題1. 紙による立体造形

われわれの身のまわりには様々な素材があるが、その中でも一番身近で何気なく使っている紙から立体造形作品をつくる。

課題2. 直定規とコンパスを使った平面構成  
単純な構成道具である「直定規とコンパス」を使って画面を平面構成する。

<後期>

課題1. 風景写生

キャンパス内の風景を、忠実に写生する。

課題2. 切絵からパズルへ

幾何学的な基本形態である、正方形、長方形、正三角形、円の色紙を直線または曲線で切り、各部品を再構成することによって、具象的な形態をつくる。

課題3. 一切文字

正方形の紙を何回折ってもよいが、一回だけ直線で切る（その直線に並行にある幅を持たせて切る）。それを広げるとアルファベット、数字、カタカナの全部および漢字の一部ができる。

### 【授業計画】

各週とも机間巡視・プロセスのチェックにより、個別に指導・助言をする。

### 【評価方法】

各課題作品の制作過程・成果、出欠席、受講態度等により総合して評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

各課題とも参考作品・資料等を提示し内容を説明する。

## 音楽 1・2

浅田まり子

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代芸術としての「音楽」の意義と意味を問い、名曲を鑑賞し、歌唱をする。

### 【授業計画】

第1講～第4講

- 音や曲の聴き分けや効用について
- 発声のしくみと呼吸法
- 音楽理論を活用して読譜し、歌詞の言葉やフレーズを考えながらユニゾンで歌唱

第5講～第8講

- リズムの把握と音によるイメージトレーニング
- 腹筋のトレーニング
- 和声、形式などを理解しながら合唱し、グループレッスン

第9講～第12講

- 名曲の歴史的背景からの解釈と表現
- 声を楽器として育てるトレーニング
- 表現の工夫や創作をして、個人またはグループで演奏を発表（楽器を含む）

毎回、それぞれの講義では、鑑賞、発声、歌唱に重点をおいて進めていく。

### 【評価方法】

実技、課題レポート、出席状況などで評価。

### 【テキスト】

MUSIK（浅田まり子編 カワイ出版）



## 書道1・2

小川晃治

2~4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代社会に於ける書美の意義を考察する。時代に於ける書の変相を、他芸術と対比関連させ探求する。そして名筆を鑑賞・臨書させる。現代社会に於ける書の位置づけ価値観を考える。また生活の中の書の諸相を探り、用美一体の美を感得させる。その上で実用書表現の為の実践をさせる。

<前期>

- 書道概論
- 書の基礎用語を学ぶ、あわせて現代社会に於ける書の美学を、文学、音楽、美術の分野と関連させて指導する。
- 基本的書技を実習する。楷、行、草、篆、隸書、かなの六体に力点をおき習熟させる。
- 中国書道の名筆の臨書を学ぶ。特に楷書の書風の諸相を理解させる。
- 三筆、三蹟の日本の書美を臨書させ、和漢の書美を対比、探求させる。

<後期>

- 「かな」の基本的書技を学ぶ
  - 和様の美「かな」の名筆を鑑賞し、日本書美の特質を他の美術文学との関連を講義・指導する。
  - 古筆の美 寸松庵色紙を臨書させる。
  - 漢字細字の実技 蘭亭叙を全臨させる。そして用美一体の実践をはかる。
- ※前・後期を通じて日本の書美・書道史を他の美術と比較、対比して指導する。

### 【授業計画】

基本的な書道理論。他の芸術や文字と対比して考察させる。基本的な書技の実習をし、順次高度な書美の表現を可能にさせる。日本の書美を見つめ、あわせて現代社会に於ける書美を考察させることを基準として進める。

### 【評価方法】

実技作品とレポート三種、学習態度、出欠状況などによる。

### 【テキスト】

担当者の小文。

## 書道3・4

森美恵子

2~4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

名筆である碑法帖により審美眼を高め、用美一体の書作を体得せしめる。

楷書・行書・草書の古法帖を原則とするも更に拡大臨書コピーして、一層理解に便ならしめる。仮名は、若菜帖の全臨にて習得せしめる。

### 【授業計画】

拡大臨書コピー手本に基づき書作した清書作品を提出する。  
書写中心ではあるが、中国の書論に則り、古法帖の概略等も講ずる。

### 【評価方法】

授業内で提出する平素の成績物及び出席状況等にて総合的に評価する。

### 【テキスト】

書の鑑賞と学び方 (上田桑鳩 教育図書研究会)  
若菜帖 (鳩居堂)

## 哲学1・2

津田雅夫

2~4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

近代日本の哲学・思想を中心に扱います。＜伝統と近代＞をめぐって繰り広げられた近代日本の思想の歩みは、近代そのものが問い直される現在、新たな光の下での検討を求めています。その考察は、今日のわれわれ自身の自己確認（アイデンティティ）の試みでもあります。狭く哲学の分野にとらわれず、宗教や文学など広く思想・文化の領域を対象に、近代日本思想の主要問題を考えます。

幕末・明治期より戦後に至る近代日本の思想の歩みを取り上げるが、ただ歴史的に概観するのではなく、具体的なテーマや作品に即して考察していく。

前期：幕末・明治期を中心に

1. 近代への問い
2. <文明>との出会い
  - 1) 文明開化の諸相
  - 2) 文明経験の類型
3. 伝統の問題
  - 1) 国民道徳
  - 2) ナショナリズム

後期：大正・昭和期を中心に

1. 反近代の試み
2. 民衆宗教
  - 1) 近代化と宗教
  - 2) 国体をめぐる論争
3. <戦後>の意味
  - 1) 戦後経験の諸相
  - 2) 戦後の今

### 【授業計画】

テキストを参照しながら、随時プリント資料を配付して読解を試みながら講義を進める。

### 【評価方法】

メモテスト、レポート及び学期末の試験によって評価。

### 【テキスト】

文化と宗教（津田雅夫著 法律文化社 2,600円）

## 伝統文化

コーディネーター 富安玲子

オムニバス 2~4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

国際化が唱えられる今日こそ、日本の伝統文化への理解が必要とされている。そこで、さまざまな伝統文化に触れることによって、理解を深めるきっかけをつくることを目的とする。授業は日本の代表的な伝統文化について一特にこの地域のもつ世界に誇る伝統文化を中心に、それぞれの道の専門家による連続講義の形で行う。講義は今日に至る歴史的流れにも触れるが、何よりもその道一筋でこられた講師の自分史も含めたその道の「こころ」について語ることを傾聴したい。

### 【授業計画】

講義と共に演奏、実演、作品紹介、ビデオ視聴などを折り込んで授業は進められる。

第1回目は講義に先立ってオリエンテーションを行う。

- I (4/17) 伝統文化とは／能・狂言  
笛方藤田流11世家元 藤田六郎兵衛氏
- II (4/24) 能・狂言 狂言 笛方藤田流11世家元  
藤田六郎兵衛氏
- III (5/1) 七宝・彫金 佐野工芸研究所長 佐野寛氏
- IV (5/8) 有松・鳴海校 愛知県絞工業組合理事  
竹田浩己氏
- V (5/15) 筑前琵琶 筑前琵琶家元 上原まり氏
- VI (5/22) 箏曲 箏曲家生田流正弦社理事  
驚津紀子氏
- VII (5/28) 和紙工芸 和紙工芸家 日展評議員  
山内一生氏
- VIII (6/5) 茶道 松尾流13世家元 妙玄齋  
松尾宗典氏
- IX (6/12) 日本舞踊一名古屋のおどりー  
西川流3 世家元 西川右近氏
- X (6/19) 折り紙 折り紙紙作家 川畑文昭氏
- XI (6/26) 香道 志野流第20世宗家 蜂谷宗玄氏
- XII (7/3) からくり人形  
木偶師 九代目玉屋庄兵衛氏
- XIII (7/10) 華道 石田流2代目家元 石田秀琴氏
- XIV (7/17) 課題レポート提出

### 【評価方法】

授業への出席、受講態度、期末に提出する2種の課題レポートによる。

### 【テキスト】

テキスト使用しない。



## 世界史の中の日本

山澤啓造

2～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

〈第二次世界大戦と大戦後の世界情勢〉

第二次世界大戦の開戦前後から20世紀末までの現代史について、アメリカ合衆国（と日本）の政治・外交に焦点をあてながら、現代の冷戦後の激動する国際政治を考え、21世紀の世界と日本を展望しようとするものである。

### 【授業計画】

- ①アメリカ大統領は、国家元首であり、内政・外交の最高責任者であり、陸海空および海兵隊の最高指揮官である。このアメリカ大統領に焦点をあてながら、第二次世界大戦前後から現在の世界までを考察する。
- ②テキストには、図表、現代史を見る眼、第二次世界大戦勃発前後から現代までの11名のアメリカ大統領の略歴と内治・外交、大統領選挙が記されている（第一章～第十一章）。真珠湾攻撃、原水爆投下・核実験問題、北方領土問題、などの諸問題も文章中に取り上げられている。エネルギー問題、環境問題にも触れるはずである。
- ③テキストに沿って授業を進めるので、予習することが望ましい。学生の質問や討議を歓迎する。

### 【評価方法】

定期試験と出席などで評価する。

### 【テキスト】

第二次世界大戦後の世界…FDRからクリントンまで…  
(山澤啓造著、平成12年、新訂版、自費出版)

## 文化人類学 1

倉田 勇

2～4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

文化に対する考え方や問題点をのべ、次に通過儀礼を中心として人の一生を取扱う。

### 【授業計画】

1. 「人間の鏡」で扱う文化
2. 異文化の理解と誤解
3. 妊娠と出生（体外受精）
4. 現代社会と成人
5. 結婚の形式（過去と現在）
6. 少子化と晩婚（日本の場合）
7. 厄年と世代
8. 生から死へ
9. よい死、悪い死
10. 墓の形態の意味
11. 死と再生観
12. 祖先と行事（正月と盆）
13. 廃仏棄釈（はいぶつきしゃく）
14. （まとめ）

### 【評価方法】

テスト。2～3回感想を書いてもらう。  
出席をとる。

### 【テキスト】

特定せず、随時紹介する。

## 文化人類学 2

倉田 勇

2～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

民族誌にもとづいた慣習・社会・世界観にふれた講義を行なう。

### 【授業計画】

1. インドネシア文化のひろがり
2. 父系社会の母方親族
3. 食事・食物と文化
4. 陰膳・供物・共食
5. 母系社会の母方叔父
6. 時間と文化（西暦と元号）
7. 地名のついた時間
8. さまざまな年初
9. 雪形と時間制社会
10. 大陰暦の世界
11. 厄年・88歳・97歳 お山に行く
12. 色の意味と社会
13. 毒蛇と民俗信仰（災因とシャーマン）
14. （まとめ）

### 【評価方法】

テスト。2～3回感想を書く。  
出席をとる。

### 【テキスト】

特定せず、折にふれて紹介する。

## アジアの生活文化

楊 衛平 他

オムニバス 2～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生業、儀礼、音楽、健康などくらしの視点からみたアジアの多様な文化を紹介することにより、今日の私たちにとっては大きな課題である異文化との交流・相互理解への契機としたい。

### 【授業計画】

回月日	テーマ	講師
1 1 4	アジアの健康	アジア保健研修所理事長 愛知国際病院長 川原啓美
2 10 18	日韓両国における歴史教育の比較	韓日文化研究所 長金 渙
3 10 25	北タイの祭りと音楽	三重県立看護大学助 教授 馬場雄司
4 11 1	長安女性の生活文化と日本文化との関係	日中交流中心代表 唐 啓山
5 11 15	モンゴル遊牧民の生活と社会	愛知県立大 学教授 稲村哲也
6 11 22	アジアのくらしの形態と機能 ～すまいの 材料と環境について～	名古屋工業大学 名誉教授 宮野秋彦
7 11 29	法文化からみた日中ビジネスの相異	名古屋 第一法律事務所 中国法律顧問 李 陽 根
8 12 6	日中両国の武術の異同点について	愛知大 学非常勤講師 張 成忠
9 12 13	バングラデッシュの歴史と文化－多民族 の生活様式－	名古屋工業大学国際留學生 会会長 機械工学科 博士課程 アラウディ ン・アハメット
10 12 20	講師未定	
11 1 17	中国少数民族音楽の分類と実践	中部大学 中部高等学術研究所 助手 王 維 金城大 学大学院文学研究科社会学専攻 博士課程 戴 C峰
12 1 24	中国の食文化－薬膳と健康について－	本学助教授 楊 衛平

### 【評価方法】

期末のレポートと出席率による。

### 【テキスト】

プリント配布。



## ジャーナリズム論 1・2

木本恵也

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

マスコミの現場と基礎知識 1

マスコミの問題点とジャーナリズムのあり方 2

最近の学生は新聞や雑誌、本をあまり読みません。これは学生にとっても、日本の将来にとっても不幸なことです。日本のマスコミは幅が広く、力も強いですが、ジャーナリズムは必ずしもそうではありません。欧米と比較しても平和慣れして危機感が乏しいように思えます。とりあえず、新聞を読むことから始めたい。テレビ、ラジオや出版、やがて来るマス・メディア時代についても対応したい。いわゆるアカデミックな講義にはなりません。

### 【授業計画】

ジャーナリズムとは何かをポイントに置きながら、毎週のニュースについてマスコミの対応の仕方をチェックしていきたい。

### 【評価方法】

毎時限、テーマにそった作文またはレポートの提出で評価。出席率は重視します。

### 【テキスト】

AERA MOOK① 学問がわかるシリーズ マスコミ学がわかる（朝日新聞社アエラ発行室 1,000円（本体971円））

## ことばと社会

川村陽子

2～4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日常のことばによるコミュニケーションにおいて、人びとは言語的意味のみならず、社会的意味のやりとりも行っている。同じような意味内容を伝える表現であっても、話し手が属する社会的グループが異なれば、これらの表現がもつ社会的意味に違いが生じてくる。授業では、言語使用においてことばがもつ社会的意味について、＜地域性＞・＜社会階級＞・＜性別＞・＜年齢＞をおもな社会的変数として取り上げて講義する。

### 【授業計画】

第1～2講	ことばと社会の関係
第3～4講	ことばの地域差
第5～6講	ことばと社会階級
第7～8講	ことばとジェンダー
第9～10講	ことばと年齢差
第11～12講	言語使用の状況差
第13講	定期試験

### 【評価方法】

前期・後期ともに、出席状況と定期試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 女性学・男性学概論 2

伊藤公雄

集中 2~4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代日本社会におけるジェンダー問題について、おもに男性学の視点から考察を加える。

はじめに ジェンダー論入門

1. 女性問題の発展
2. 現代日本の女性問題
3. 男性問題の時代
4. 作られる「男らしさ」「女らしさ」
5. 体験的主夫論／働く主夫の生活と意見
6. ニッポンのお父さん／男性の育児をめぐる
7. 男性学と男性運動の展開
8. 試験

<参考図書> 伊藤公雄・牟田和恵編『ジェンダーで学ぶ社会学』（世界思想社）

### 【授業計画】

講義を中心に、ビデオ教材なども使用しつつ進める予定である。

### 【評価方法】

試験によって成績評価を行う。

### 【テキスト】

男性学入門（伊藤公雄 作品社 1,680円）

## フェミニズム論

伊田久美子

集中 2~4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「フェミニスト」といえば、かつての日本では「女にやさしい男」のことだと思われていたが、今日では「男を敵視する怖い女」というパターン化された偏見のイメージがつきまとっている。この講義では多様に発展し、ゆたかな可能性を持つフェミニズムの実像を概観し、今日の私たちにとって身近な諸問題に触れながら、フェミニズムの意義を明らかにしたい。

フェミニズムの起源

リベラル・フェミニズム

社会主義女性解放論

ラディカル・フェミニズム

マルクス主義フェミニズム

家事労働論

エコロジカル・フェミニズム

その他の様々なフェミニズム

国連を中心とする女性問題への取組とフェミニズム

開発と女性問題

女性の人権

日本のフェミニズム

### 【授業計画】

毎回配布するプリント等により講義、解説する。ビデオ教材を随時使用する。

### 【評価方法】

最終授業時の筆記試験により評価する。

### 【テキスト】

フェミニズム入門（大越愛子 ちくま新書）

### 【参考書籍】

ワードマップ・フェミニズム（江原由美子、金井淑子編 新曜社）



## スポーツ基礎 a

杉山 和 山本啓子 松田秀子 寺田邦昭 門間 博

2～4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各種スポーツ（テニス、ゴルフ、バドミントン）をはじめ、ストレッチ体操などの運動の基礎技術を習得することを目標として行う。

スポーツ応用 1b、2・3・4・5・7（集中授業）の科目と重複して受講することができる。

### 【授業計画】

曜日	限	担当者	種 目	
月	2	杉山	テニス	バドミントン
	3	寺田	バドミントン	ゴルフ
		杉山	テニス	バドミントン
	4	寺田	バドミントン	ゴルフ
火	1	松田	テニス	ゴルフ
	2	松田	テニス	ゴルフ
	3	山本	卓球	バレーボール
		松田	バドミントン	ゴルフ
4	山本	卓球	バレーボール	
水	2	門間	バドミントン	テニス
	3	門間	バドミントン	テニス
		山本	卓球	バレーボール
	4	門間	バドミントン	テニス
木	2	杉山	テニス	バドミントン
		門間	ソフトボール	テニス
	4	門間	ソフトボール	テニス
金	2	杉山	テニス	バドミントン
	3	杉山	テニス	バレーボール
	4	杉山	テニス	バレーボール

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・原則として、半期間に2種目を行いません。（天候によって種目を変更する場合があります。）
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

### 【評価方法】

70点－（欠席回数×2／授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点

## スポーツ応用 1 b

杉山 和

2～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。

スポーツ基礎 a、スポーツ応用 2・3・4・5・7（集中授業）と重複して受講することができます。

### 【授業計画】

曜日	限	種 目	
月	2	ゴルフ	・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
	3	ゴルフ	
木	2	ゴルフ	・天候によって種目を変更する場合があります。
金	2	バレーボール	・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。
	3	バドミントン	
	4	バドミントン	

〔ゴルフ〕

1. ガイダンス
2. グリップ、スタンス、アドレス
- 3～6. アイアン練習（ショート・ミドルアイアン）
- 7～8. ウッド練習（1、3ウッド）
9. 学外のゴルフ練習場にて練習
- 10～12. PW、SW、バッシング練習
- 13～14. ショートコース（グラウンドにて）
15. 学外のゴルフ練習場にて練習

〔バレーボール〕

1. ガイダンス
2. ボールに慣れる、構え、動きの基本姿勢
3. サーブの種類と打ち方
- 4～6. パス、トス、レシーブ、スパイク、ブロック
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ゲーム

〔バドミントン〕

1. ガイダンス
- 2～3. 歴史的ゲームの追体験、ラケットワーク
4. ストローク練習（アンダーハンドを中心に）
5. ストローク練習（サイドハンドを中心に）
6. ストローク練習（オーバーヘッドを中心に）
- 7～15. ゲームの進め方、ルール説明、ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点－（欠席回数×2／授業実施回数×70点）＝出席点  
30点＝実技点

## スポーツ応用 1 b

山本啓子

2～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。

スポーツ基礎 a、スポーツ応用 2・3・4・5・7 (集中授業) と重複して受講することができます。

### 【授業計画】

曜日	限	種目
火	3	バドミントン
	4	バドミントン
水	3	バドミントン
	4	バドミントン

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[バドミントン]

1. ガイダンス
2. 歴史的ゲームの追体験
3. ラケットワーク
4. ストローク練習 (アンダーハンドを中心に)
5. ストローク練習 (サイドハンドを中心に)
6. ストローク練習 (オーバーヘッドを中心に)
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム (フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点 - (欠席回数 × 2 / 授業実施回数 × 70点) = 出席点  
30点 = 実技点

## スポーツ応用 1 b

松田秀子

2～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。

スポーツ基礎 a、スポーツ応用 2・3・4・5・7 (集中授業) と重複して受講することができます。

### 【授業計画】

曜日	限	種目
火	1	バドミントン
	2	バドミントン
	3	テニス

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[バドミントン]

1. ガイダンス
2. 歴史的ゲームの追体験
3. ラケットワーク
4. ストローク練習 (アンダーハンドを中心に)
5. ストローク練習 (サイドハンドを中心に)
6. ストローク練習 (オーバーヘッドを中心に)
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム (フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

[テニス]

1. ガイダンス
2. ボールとラケットに慣れる
3. グランドストローク (フォアハンドを中心に)
4. グランドストローク (バックハンドを中心に)
5. サービス、レシーブ
6. ボレー、スマッシュ
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム (フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点 - (欠席回数 × 2 / 授業実施回数 × 70点) = 出席点  
30点 = 実技点



## スポーツ応用 1 b

寺田邦昭

2～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。

スポーツ基礎 a、スポーツ応用 2・3・4・5・7 (集中授業) と重複して受講することができます。

### 【授業計画】

曜日	限	種目
月	3	テニス
	4	テニス

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[テニス]

1. ガイダンス
2. ボールとラケットに慣れる
3. グランドストローク (フォアハンドを中心に)
4. グランドストローク (バックハンドを中心に)
5. サービス、レシーブ
6. ボレー、スマッシュ
7. ゲームの進め方、ルール説明
8. ダブルスゲーム (フォーメーションを中心に)
- 9～15. ダブルスゲーム

### 【評価方法】

70点 - (欠席回数 × 2 / 授業実施回数 × 70点) = 出席点  
30点 = 実技点

## スポーツ応用 1 b

門間博

2～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。

スポーツ基礎 a、スポーツ応用 2・3・4・5・7 (集中授業) と重複して受講することができます。

### 【授業計画】

曜日	限	種目
水	2	ソフトボール
	3	サッカー
	4	サッカー
木	2	バドミントン
	4	バドミントン

- ・第1週目の授業は教室にてガイダンスを行います。
- ・天候によって種目を変更する場合があります。
- ・授業については、健康科学教育センターの掲示板を参照のこと。

[ソフトボール]

1. ガイダンス
2. キャッチボールの基本、練習、ゲーム
- 3～5. バッティングの基本、練習、ゲーム
- 6～8. 守備の基本、練習、ゲーム
- 9～11. リーグ戦 1
- 12～15. リーグ戦 2、まとめ (記録整理・レポート)

[サッカー]

1. ガイダンス
2. 個人技能の確認
- 3～5. ボールコントロールの正確性、巧みに運ぶための基本技術、基本技術を生かしたミニゲーム
- 6～7. 個人技能をもとにチーム編成をし、ミニゲーム
- 8～10. ミニゲームのリーグ戦
- 11～15. リーグ戦、まとめ (記録整理・レポート)

[バドミントン]

1. ガイダンス
- 2～4. 各種ストローク、各種フライト、サービス練習
- 5～7. シングルス、ダブルスの試合方法の理解
- 8～11. シングルス、ダブルスの戦術の理解と練習
- 12～15. リーグ戦、まとめ (記録整理・レポート)

### 【評価方法】

70点 - (欠席回数 × 2 / 授業実施回数 × 70点) = 出席点  
30点 = 実技点

## スポーツ応用2

杉山 和

集中 2~4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈スキー・集中〉

スキーを通して大自然の厳しさやおおらかさに接し、スキーの基礎的技術の向上と知識の習得を目標とする。後期の集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 《内容》

##### 1. 期日

実習 平成13年2月25日(日)～3月1日(木)  
4泊5日の予定

第1回説明会 平成12年11月1日(水) 5限目

第2回説明会 平成13年1月10日(水) 5限目

##### 2. 場所 長野県 信州菅平高原スキー場

##### 3. 宿泊所 福美津屋旅館

##### 4. 実習費 約40,000円

(宿泊費・交通費・食事代・保険料・雑費)

\*履修決定後、12月頃 銀行振込みにて徴収します。

\*実習費に関しては、変更になる場合があります。

##### 5. その他の費用

リフト券代 約12,000円(レベルによって異なる)

レンタルスキー(板、ブーツ、ストック) 6,500円

レンタルウェア 4,000円

小物(帽子、手袋、ゴーグル) 1,500円

##### 6. 定員 約40名

##### 7. オプション企画(体験)

スノーボード(レンタル代、講習費) 6,000円

ヘリスキー(ヘリコプターの搭乗費) 5,500円

スキー検定(検定料) 3,000円

\*定員に大きく満たない場合は中止になります。

\*実習費及びその他の費用に関しての料金は、11年度のものでありますので、変更になる場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

## スポーツ応用3

杉山 和

集中 2~4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈スクーバダイビング・集中〉

「海の中」の自然を体験し、より視野を広める、スクーバダイビングに必要な初級のライセンスを取得し、生涯スポーツの実践へつなげる。

前期の集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 《内容》

##### 1. 期日

プール実習 平成12年8月24日(木)～30日(水)

海洋実習 平成12年9月4日(月)～7日(木)

3泊4日

第1回説明会 平成12年5月24日(水)

第2回説明会 平成12年7月22日(土)

##### 2. 場所

プール実習 ロコダイバズ 室内プール(一社)

海洋実習 沖縄県 伊江島

##### 3. 諸経費

実習費 約50,000円(講習費、テキスト代、申請料)

用具代 約50,000円(重器材レンタル代、個人器材)

海洋実習費 約40,000円(交通費、宿泊費)

その他 約30,000円(ウェットスーツ)希望者のみ

\*諸経費については、11年度のものでありますので変更になる場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)。

##### 4. 定員 約20名

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。



## スポーツ応用4

松田秀子

集中 2~4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈スケート・集中〉

スケートを通して、基礎的技術の向上と、知識の習得を目標とし、楽しさを学び生涯スポーツの実践へつなげる。

後期の集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 〈内容〉

#### 1. 期日

実習 平成13年2月8日(木)・9日(金)・  
10日(土)・13日(火)・  
14日(水)・15日(木)  
6日間 午前のみ

第1回説明会 平成12年11月1日(水) 5限目

第2回説明会 平成13年1月10日(水) 5限目

#### 2. 場所 名古屋スポーツセンター (大須)

#### 3. 実習費 約7,200円

\*最終説明会にて、現金徴収します。

\*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)。

#### 4. 定員 約40名

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

## スポーツ応用5

松田秀子

集中 2~4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈マリンスポーツ・集中〉

各種のマリンスポーツを通し、海という自然を体験し、より深く理解する。各種目の基礎的技術の向上と知識の習得、生涯スポーツの実践へつなげる。

前期の集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 〈内容〉

#### 1. 期日

実習 平成12年8月7日(月)~10日(木)  
3泊4日

第1回説明会 平成12年5月24日(水) 5限目

第2回説明会 平成12年7月5日(水) 5限目

#### 2. 場所 ヤマハマリーナ浜名湖 静岡県

#### 3. 実習種目

ウェイクボード、ボードセーリング、  
セーリングクルザー等

#### 4. 実習費 約74,000円

\*履修決定後、銀行振込にて徴収します。

\*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

#### 5. 定員 約20名

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

## スポーツ応用7

杉山 和

集中 2~4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

#### 〈ボウリング・集中〉

ボウリングを通して、基礎技術の向上と知識の習得を目標とし、生涯スポーツの実践へとつなげる。

前期の集中授業として行う。

### 【授業計画】

#### 〈内容〉

#### 1. 期間

実習 平成12年8月17日(木)・18日(金)・  
19日(土)・21日(月)・  
22日(火)・23日(水)

計6日間 午前中のみ

第1回説明会 平成12年5月24日(水) 5限目

第2回説明会 平成12年7月5日(水) 5限目

#### 2. 場所 星が丘ボウル

#### 3. 実習費 7,000円

#### 4. 履修説明会 7月16日(木)

#### 5. 募集人数 40名

\*最終説明にて、現金で徴収します。

\*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

\*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

### 【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

## メンタルヘルス

加藤雄一

2~4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

大学生の方たちに、現在、精神健康の面でどのようなことが問題になっているか、どのようなことに心配りをしたらよいか、そしてまたそれらを通して、現代はどのような時代であるかを理解してもらえるような講義をするつもりである。

講義の章をあげておく。

第1章 今なぜ心の時代か—心の専門家の必要性—

第2章 青年期と発達課題—アイデンティティ・親密性、大学生の発達課題—

第3章 モラトリアム延長とキャンパスの病理—モラトリアム延長・大量留年・5月病・スチューデントアパシー—

第4章 今抑うつが増えている—一心のかぜ・現代と抑うつ—

第5章 On Suicide in Japan—統計・心理・日本人—

第6章 女性における食の問題—「不食」と「過食」—

第7章 職場におけるメンタルヘルス—OA化を中心として—

第8章 妊娠・出産の心理・社会的側面—産後抑うつ障害の研究から—

第9章 心理・精神障害と家族間コミュニケーションと事例、乳幼児の心理的発達

第10章 心理カウンセリングとは—Listening・Empathy・Understanding—

第11章 精神の健康とは—自分を知る・他者を知る—

### 【授業計画】

具体的に事例をあげながら、大学生の心の持ち方に参考になるように、分かりやすく講義を進めて行く。

### 【評価方法】

授業の最終日に筆記試験を行う予定。

### 【テキスト】

心の臨床(加藤雄一著 600円~700円くらい)なお、以前からテキストを利用しているが、毎年内容は少しずつ改訂増補されている。



## 感染症

磯村思无 他

オムニバス 2~4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

エイズに代表される病気「感染症」とその周辺の学問を、人文・社会系を専攻する学生を対象にわかりやすく講義をします。

現代社会の病根が、これらの病気の感染経路を通してかいて見ることができるでしょう。

### 【授業計画】

受講するにあたって（日程等のガイダンス）

本学教授（健康科学教育センター長）	杉山 和
エイズⅠ ～どんな病気か～	
名古屋大学教授（国際医療保健学）	磯村 思无
エイズⅡ ～そのひろがり～	
名古屋大学教授（国際医療保健学）	磯村 思无
院内感染の問題 ～MRSAについて～	
名古屋大学教授（細菌学）	太田美智男
ガーナの子供達 ～国際協力の実例～	
名古屋大学教授（国際医療保健学）	磯村 思无
旅行者感染症 ～楽しい海外旅行を～	
名古屋大学教授（国際医療保健学）	磯村 思无
ウイルス性肝炎 ～感染様式と病態～	
愛知医科大学教授（第一内科）	各務 伸一
寄生虫	
岐阜大学教授（寄生虫学）	高橋 優三
輸血とウイルス感染	
愛知県赤十字血液センター（副所長）	神谷 忠
成人T細胞白血病 ～ウイルスと人類学～	
愛知県がんセンター（疫学部長）	田島 和雄
呼吸器感染症 ～かぜとウイルス～	
名古屋大学教授（附属病院予防医療部）	下方 薫
結核の現状と問題点	
本校校医	三輪 太郎

### 【評価方法】

レポートによる評価、感想文の提出。

### 【テキスト】

使用せず。

### 【参考書籍】

必要に応じてプリントを配布。

## 食生活と健康

棚橋昌子

2~4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現在、国民の健康づくり対策として「Active 80 Health Plan」が推進されている。成人病は生活習慣病といわれ、成人病予防のためには「バランスのよい食生活」「適度な運動」「ストレス解消を含む休養」を生活の中に習慣化させることが重視されている。食生活の現状をみると、飽食の時代を反映して多種多様な食サービスを楽しむことができる反面、外食や個食の一般化とともに、摂取過多（脂肪など）や摂取不足（カルシウムなど）が健康障害の誘因となっていることが指摘されている。健康を推進する視点から食生活を見直すことを念頭において講義をすすめる。

### 【授業計画】

- 健康づくりと食生活
  - 健康づくり対策の現状
  - 食生活の現状と問題点
- 摂取過多と疾病
  - カロリーと糖尿病
  - コレステロールと心疾患
  - 塩分と高血圧  
演習；自分の食事調査を行う
- 摂取不足と疾病
  - 食物繊維と大腸ガン
  - 鉄分と貧血
  - カルシウムと骨粗しょう症
- 最近のトピック
  - 遺伝子組換え食品の現状
  - 未定

プリントを配布し、関連するビデオを放映する。また、簡単な血糖値測定器や血圧計、計量秤つき栄養計算器具などを紹介する。但し講義科目のため測定はできない。

### 【評価方法】

レポートを提出する。

### 【テキスト】

使用しない。毎回プリントを配布する。

# 漢方入門

楊 衛平

2～4年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

情報過多、運動不足、ストレス過剰、飽食時代の今日において、がん、糖尿病、肥満、心臓病、高血圧症、脳血管障害、アレルギー疾患などの多発、本格的な高齢化、青少年の心身症等などは現代社会の大きな問題となりつつある。これらの疾病の成因、臨床像についての知識を紹介する。同時に、4000年の中国の知恵の結晶である中国伝統医学及び養生法を中心に取り入れ、現代医療と合理に組み合わせることによって、心身両面の健康維持のみならず、上記疾病の予防・治療にも役立ち、さらに、ライフスタイルの改善、生活の質（QOL）向上に関する知識について講述する。

1. 現代社会における伝統医学の役割
2. 中国伝統医学及び日本漢方の歴史
3. 東洋・西洋医学の相違と接点
4. 漢方医学の基礎知識（A）  
陰陽・五行・気血水について
5. 漢方医学の基礎知識（B）  
生薬の自然属性と組み合わせ
6. 漢方医学の基礎知識（C）  
経絡・ツボ・針灸の一般知識

### 漢方医学の実践篇

7. 薬膳・生薬の活用法
8. 高齢者の栄養食療法
9. 養生・抗老衰の指圧
10. 生活習慣病及び難病の漢方対策
11. 女性の諸悩みに対する漢方治療
12. 美容のための漢方知恵と活用法
13. 健康保険で飲める漢方処方箋の解説

## 【授業計画】

生活習慣病（成人病）および女性によくある健康諸問題についての基礎知識を中心に持ち上げ、漢方医学の予防と治療対策を学ぶ。伝統の知恵を現代医療とどのように組み合わせるか、その内容と活用法（薬物・物理療法）を紹介していく。

## 【評価方法】

受講態度・質疑の参加・出席簿・レポートなどの内容を参照して、総合的に評価する。

## 【テキスト】

プリント配布。



## 国文学概論 a・b

山下宏明

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

前期には、日本文学の研究が、古代の『万葉集』編纂のための巻の構成に始まり、中古には詠歌のための歌学、これを支えるための物語の読みが課題となる。中世には、諸ジャンルの分岐が顕現し、近世には国学の隆盛を経て近代を迎え、方法の確立を志向することになる。

これら前近代の、対象を相対化する研究を受けて、明治以後、西洋の研究を意識し、特に戦後、研究の批評性を顕著にする。すなわち戦前の文献学的研究から、歴史社会学派、新批評、記号・構造主義、テキスト論、新歴史主義、コロニアリズム、脱構築理論、身体論、口誦論などへと展開する。こうした日本文学研究の流れを半年の間に展望する。

後期には、上述の研究史の展望を踏まえ、文学研究の国際的な状況を踏まえて、特に、読者論のための文学の方法を具体的に考察指導する。理論の応用篇である。

### 【授業計画】

上記の概要に示すように、前期には史的展望を行い、後期には、特に読者論や文字・口誦論を、古典はもちろんのこと、近・現代の小説・物語、さらに映画にも視野を広げて表現・享受の方法を講義する。

### 【評価方法】

出席状況と、試験による。時に小テストも行い、講義の把握・理解の状況を探る資料にする。

### 【テキスト】

前半の批評史の展望、後半の各論を進める上に必要な作品の部分引用など、各種資料をプリントで用意する。その原資料は、これまでの経験から、ほとんど揃っているが、さらに新しい資料をも追加する予定である。

基本的な参考資料として、

T・イーグルトン『文学とは何か』岩波書店

ジェラルド・ジュネット『物語のディスコース』風の薔薇社

大江健三郎『新しい文学のために』岩波書店

大橋洋一『新文学入門』岩波書店

前田愛『文学テキスト入門』筑摩書房

その他を推薦するはずである。

## 国文学史 (1) a・b

山下宏明

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

国文学研究が批評史の世界で、その相対化が求められている。いわゆる国文学史のこれまでの実態を展望してみればよい。単なる書誌学上の成果の羅列が文学史たりえないことは、早く、1940年代後半から言い尽くされて来たところで、以後、文学批評のあり方と連動して、各種の文学史が試みられた。最近の成果を見れば、このことは明らかである。文学史が、文化史のなかで相対化され、作者論から、読者論の受容史に変化をとげていると言ってよいだろう。こうした状況を踏まえて、広く各ジャンルに目を配りつつ、特に、時代を画する戦乱に注目する。これを戦乱に巻き込まれた人々の側に配慮しつつ、それら戦乱を、「いくさ」ととらえる視点を設定して、上代の『古事記』・『日本書紀』に始まり、古代社会の『将門記』・『陸奥話記』、『今昔物語集』、『保元物語』、『平治物語』・『平家物語』、南北朝の『太平記』、室町時代の、赤松氏をめぐる後期軍記、これらを取りまく芸能としての能や幸若舞、物語としての『義経記』や、『曾我物語』から近世の近松の時代物まで及ぶ。その間、当然、それらのいくさ物語に付随する和歌の世界や王朝の物語文学にも言及する。

批評史の展望から、作品の読解としての受容の方法を強く意識した講義になる。

### 【授業計画】

前期は、文学史の現状を文学批評の中にとらえ、『古事記』から『今昔物語集』までを取りあげる。後期は、中世を中心に、近世の劇文学にも言及する。この間、地方に伝わる諸伝説にも、いくさ物語のかけを探る。これらを踏まえ、大岡昇平の戦記の意味をあわせて問うことになろう。

### 【評価方法】

講義には、参加することに意義がある。平常の出席状態をも加味し、記述試験により判定する。

### 【テキスト】

全体の概要は、山下宏明の『いくさ物語の語りと批評』（世界思想社）によるが、本文の引用など、適宜プリントを用意する。

なお上記の〔授業概要〕に述べたような方針から、〔国文学概論〕に参考として掲げた著書を併せて読むことが望ましい。

## 国文学史（2） a

小倉 斉

2年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

＜近代文学の諸相＞

日本の近代文学の諸相を、いくつかのテーマを設定しながら、かなめとなる作家・作品・思潮を検討することによって理解し、あわせて日本文学における「近代」とは何かを考える。

### 【授業計画】

以下の各テーマにしたがって講義をおこなう。

- 1 <書く>ことと<語る>こと  
村上春樹『風の歌を聴け』
- 2 近代文学と活字世界—<模写>の意味—  
坪内逍遙『小説神髓』・『当世書生気質』  
二葉亭四迷『浮雲』
- 3 <一人称>小説への模索—<わたくし>の発見—  
森鷗外『舞姫』
- 4 <自然>の発見—<風景>への眼差し—  
島崎藤村『破戒』  
田山花袋『蒲団』
- 5 近代文学の成熟①—自然の<愛>と社会の<掟>—  
夏目漱石『それから』
- 6 近代文学の成熟②—反自然主義的方法の模索—  
森鷗外『半日』・『追儺』
- 7 近代文学の成熟③—<家>不在のドラマ—  
夏目漱石『門』

### 【評価方法】

学期末の試験(自筆ノート持ち込み可・論述問題中心)によって評価する。

### 【テキスト】

舞姫・うたかたの記(森鷗外 岩波文庫)  
破戒(島崎藤村 新潮文庫)  
蒲団・一兵卒(田山花袋 岩波文庫)  
それから(夏目漱石 岩波文庫)  
門(夏目漱石 岩波文庫)

## 国文学史（2） b

細谷 博

2年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

文学における「近代」とは何か、「現代」とは何か。われわれ自身の<読むこと>の問題として考える。

大正後期から昭和期に至る文学の諸相を、要点となる作家・作品を端的におさえることによってたどりなおし、作品の各部をたしかに味わいつつ考える文学史をめざす。

### 【授業計画】

- 第1回 概論、導入
- 第2回 「城の崎にて」他読解
- 第3回 「蜃気楼」他読解
- 第4回 志賀直哉・谷崎潤一郎・芥川龍之介
- 第5回 関東大震災、芥川の死、円本ブーム
- 第6回 近代と現代
- 第7回 横光利一・川端康成
- 第8回 葉山嘉樹・梶井基次郎
- 第9回 堀辰雄・中野重治
- 第10回 太宰治
- 第11回 井伏鱒二・大岡昇平
- 第12回 三島由紀夫・安部公房
- 第13回 単位認定試験

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

小僧の神様・城の崎にて(志賀直哉著 新潮文庫)  
河童・或阿呆の一生(芥川龍之介著 新潮文庫)  
現代日本の文学(双文社出版)



## 国語概説 a・b (音声言語及び文章表現を含む)

増井典夫

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

前期中心テーマー日本語の音声・音韻・アクセント

後期の中心テーマー方言と共通語

<前期>

日本で使われている言語としてアイヌ語や沖縄の言葉について触れたあと、音声言語という面から、世界の中で日本語の位置を考え、さらには日本語の音韻・アクセント等を考察していく。

<後期>

日本語方言学の研究法・調査法をみながら愛知県方言の位置付け、方言と共通語の使い分け、「新方言」といわれる新しい日本語表現等を考えていく。

### 【授業計画】

講義を行なっていく。

### 【評価方法】

記述式テスト（定期試験）。

### 【テキスト】

国語概説（佐伯・山内編 和泉書院）

## 国文学講義（1）上代 a

市瀬雅之

2年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

奈良時代を代表する歌人の一人に、大伴家持がいる。家持は『万葉集』にもっとも多く歌を残した。『万葉集』の編纂に深く関わったともいわれてきた。そうした家持の人生と作歌を通じて、奈良時代の和歌世界について考えてみたい。また、家持が編んだという『万葉集』の編纂についても触れてみたい。

### 【授業計画】

- 1 大伴家の歴史
- 2 家持の誕生
- 3 大宰府の家持
- 4 家持の「恋」
- 5 橘諸兄との出会い
- 6 安積皇子の薨去
- 7 十六卷本『万葉集』の形成
- 8 家持の歌日誌
- 9 越中国赴任
- 10 家持の多作期
- 11 帰京後の家持
- 12 『万葉集』の終焉
- 13 まとめ

### 【評価方法】

試験結果に出席状況を加味して評価を決定する。

### 【テキスト】

伊藤博校注『万葉集』上・下  
角川文庫刊、各820円

## 国文学講義（1）上代b

島田修三

2年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

〈万葉史の考察〉

『万葉集』の4500首余りの歌は、おおよそ7世紀の半ばから100年間に詠まれた。この100年間は古代社会が激しくシフトして行く時期と重なる。古代律令国家の成立をはじめとして中国文化の流入、生活民俗の変容など多面的なシフトが万葉和歌の成立や成熟に色濃く影響を及ぼしている。本講義では、この100年間の作品を歴史的に追うことによって、文学的問題にとどまらぬ万葉和歌の歴史社会的な諸問題を考えていく。

〈前期〉

a：初期万葉から白鳳万葉へ

万葉和歌の草創期から古代律令国家成立期に至る万葉和歌の展開を追う。作品としては、雄略天皇御製から柿本人麻呂の宮廷讃歌・高市黒人の羈旅歌のあたりまでを対象とする。

〈後期〉

b：奈良朝万葉の世界

奈良朝初期から天平末期に至る万葉和歌の展開を追う。作品としては、山上憶良・大伴旅人から防人歌・大伴家持のあたりまでを対象とする。

### 【授業計画】

主として下記のテキストおよびプリント資料を用いながら作品を講読していく。

### 【評価方法】

前期・後期末それぞれのテストもしくはレポートによって評価する。

### 【テキスト】

〈前期・後期〉

万葉 文学とその背景(おうふう) (島田修三他著 1,890円)

## 国文学講義（2）中古a・b

久保朝孝

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中古文学作品に対する基本的姿勢と読解の基本的方法を身につける。特に本文解釈の多様性の所以と可能性について理解する。さらに、国文学研究のための基本的事項・文献について知識を得るとともに、レポートをまとめる力を身につける。

### 【授業計画】

〈前期〉

a：伊勢物語

1 導入	7	伊勢物語各章段の精読
2 伊勢物語初段の考察	8	伊勢物語各章段の精読
3 伊勢物語初段の考察	9	伊勢物語各章段の精読
4 伊勢物語初段の考察	10	伊勢物語各章段の精読
5 伊勢物語初段の考察	11	伊勢物語各章段の精読
6 伊勢物語初段の考察	12	まとめ

〈後期〉

b：王朝女流日記

1 導入	7	紫式部日記
2 王朝女流日記への招待	8	更級日記
3 土佐日記	9	成尋阿闍梨母集
4 蜻蛉日記	10	讃岐典侍日記
5 枕草子	11	王朝女流日記の達成
6 和泉式部日記	12	まとめ

### 【評価方法】

次の諸点を総合して評価する。

- ア. 出席状況
- イ. 学外の自主的学習
- ウ. 期末レポート

### 【テキスト】

前期 a：伊勢物語（校注古典叢書 片桐洋一校注 明治書院 1,400円）

後期 b：王朝女流日記を学ぶ人のために（久保朝孝編 世界思想社 2,300円）



## 国文学講義（3）中世 a・b

岩下紀之

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

古典文学は元来写本・版本のかたちで享受されてきた。過去の人々と同じかたちで読書することなしに、古典を解釈・鑑賞することはできない。自分の国の作品では、このような原則的な立場での研究が可能なので、この特権を生かしてほしい。

散文と韻文に触れてみるべく、前期は、御所本宇治拾遺物語（下）、後期は、御所本百人一首抄を講読する。

### 【授業計画】

一方的に教授することをさけ、学生にしばしば読ませることにしている。

### 【評価方法】

学期末の試験をもって評価する。

### 【テキスト】

御所本うち拾遺物語<下>（笠間書院）

御所本百人一首抄（笠間書院）

仮名手引（和泉書院）

## 国文学講義（4）近世 a・b

阿部一彦

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

井原西鶴の浮世草子と近松門左衛門の世話浄瑠璃を読み、近世文学の魅力や面白さを発見し確認していく。同一事件を題材とした、西鶴の『好色五人女』巻一「姿姫路清十郎物語」・巻三「中段に見る暦屋物語」と近松の『五十年忌歌念仏』・『大経師昔暦』を読み解き、鑑賞する。両作品の比較検討を通して、それぞれの作品・作者の特色を確認するとともに、浮世草子、世話浄瑠璃という近世文学独自のジャンルの創作方法や成立基盤をも考察していく。

<前期>

西鶴の『好色五人女』巻一「姿姫路清十郎物語」と近松の『五十年忌歌念仏』を読んでいく。

最初に「近世」の社会的・文化的特徴と文学史を概説する。つづいて、西鶴の文学活動をごくおおまかに概説してから、「姿姫路清十郎物語」を精読する。『五十年忌歌念仏』は受講者それぞれが、西鶴の作品と比較しつつ読んでいくこととなる。この成果を前期試験の課題とする。

<後期>

西鶴の『好色五人女』巻三「中段に見る暦屋物語」と近松の『大経師昔暦』を読んでいく。

最初に歌舞伎・浄瑠璃の成立史を簡単に説明する。今度は逆に、近松の『大経師昔暦』を精読する。受講者に「中段に見る暦屋物語」を読んでもらう。後期試験では、『大経師昔暦』を論じてもらう。

### 【授業計画】

講義・講読形式で進めていく。

### 【評価方法】

前期は筆記試験、後期はレポートによる。

### 【テキスト】

西鶴と近松（松崎仁・白石悌三 和泉書院 1,545円）

## 国文学講義 (5) 近代 a・b

二瓶浩明

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

- a 日本の近代文学史を問い直すために、「失う物語」について考える。
- b 現代文学における「私」の描き方・描かれ方を検証する。
- a bともに、文庫本に収録されている代表的な作家・作品を取りあげた。

### 【授業計画】

a

- はじめに
- 職 「浮雲」(二葉亭四迷)
- 幼さ 「たけくらべ」(樋口一葉)
- チャンス 「三四郎」(夏目漱石)
- 妻 「疑惑」(近松秋江)
- 希望 「芋粥」(芥川龍之介)
- 母 「少将滋幹の母」(谷崎潤一郎)
- ツキ 「蠅」(横光利一)
- 友 「銀河鉄道の夜」(宮沢賢治)
- 信頼 「人間失格」(太宰治)
- おわりに

b

- はじめに
- 佐伯一麦 「木の一族」
- 水村美苗 「私小説」
- 車谷長吉 「鹽壺の匙」
- 村上春樹 「風の歌を聴け」
- 三田誠広 「僕って何」
- 中上健次 「十九歳の地図」
- 島田雅彦 「僕は模造人間」
- 柳 美里 「家族シネマ」
- 辻 仁成 「ピアニシモ」
- おわりに

### 【評価方法】

レポート。  
出席不良のものは評価しない。

### 【テキスト】

上述の文庫本。  
各自購入のこと。

## 国語学講義 a

犬飼 隆

2年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

古代日本語の重要問題を取りあげて考察する。諸事実の表面的な説明にとどまるのではなく、それらを研究するにはどのような資料を用いるか、どのような方法があるか、また、それらの現象には日本語の言語としての特徴がどのようにあらわれているか、さらには、言語に歴史的な変化をもたらす動因は何かなど、「考える授業」をめざす。講義形式で行い、毎回まとめの短いレポートを書く。若干の補助プリントを使うときもあるが、口頭の説明が主体になるので、ノートを充分にとる用意が必要である。

### 【授業計画】

- 第1回 日本語の基本的な特徴
- 第2～4回 上代語の音韻
- 第5～7回 動詞活用形の成り立ち
- 第8～10回 係り結び
- 第11～13回 仮名遣いの起源と歴史

### 【評価方法】

期末試験による。

### 【テキスト】

使用しない。

### 【参考書籍】

とくに指定しないが、授業時に紹介する諸論文・著作を読むことが望ましい。



## 国語学講義 b

増井典夫

2年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

1年次「国語概説」の授業に引き続き、日本語の諸問題について概説を行なう。

具体的な内容としては、「文字・表記」「文法・敬語」「文章・文体」の問題を中心とする。

### 【授業計画】

講義を行なう。

### 【評価方法】

記述式テスト（定期試験）。

### 【テキスト】

国語概説（佐伯・山内編 和泉書院）

## 中国文学講義（1） a・b

寺尾剛

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

＜先秦漢魏晋南北朝の文学＞

唐に至るまでの中国の文学史を理解するとともに漢文の基礎（文法や文化的背景等）を身につける。

＜前期＞

- ・中国文化の特色－中国人の発想法
- ・『詩経』
- ・『楚辞』
- ・『論語』
- ・秦の統一までの文学史

＜後期＞

- ・『古詩十九首』
- ・建安文学－曹操・曹植
- ・『出師表』
- ・『蘭亭序』
- ・陶淵明
- ・謝
- ・漢代から六朝までの文学史

### 【授業計画】

中国の文学の流れを具体的に作品を読みながら理解していく。時間的に余裕があれば輪読していく。

### 【評価方法】

平常点と試験。

### 【テキスト】

中国詩文（中国詩文研究会編 1,700円）

## 中国文学講義（2）

寺尾 剛

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

<唐代の文学>

唐詩と唐代伝奇小説を読むことを通じ、中国文学研究の方法を理解してゆく。

- ・唐代文学史
- ・『長恨歌』
- ・『杜子春伝』
- ・その他

### 【授業計画】

輪読を中心に進めていく（従って必ず予習してくること）。

### 【評価方法】

平常点及び試験。

### 【テキスト】

中国詩文（中国詩文研究会編）

## 国文学演習Ⅰ（1） a・b

島田修三

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

<防人歌の考察>

『万葉集』巻20には天平勝宝7（757）年に任務についた東国防人たちの歌93首が収録されている。本授業では、この93首の子細な読解と問題意識の掘り下げを通して、必ずしも明快な定説をもたぬ防人歌誦詠や採集の理由や意味、東国的表現の特徴といった和歌プロパーの問題から古代国家と民衆との相関性といった多様な問題を考えてみたい。

<前期>

a：防人歌 前半領域

最初に防人制度の歴史的沿革や『軍防令』における定義などの簡単な講義を行った上で、おおよそ以下の防人歌を対象に演習を進める。

- ①遠江国防人歌
- ②相模国防人歌
- ③駿河国防人歌
- ④上総国防人歌
- ⑤常陸国防人歌

<後期>

b：防人歌 後半領域

前半にひき続いて、おおよそ以下の防人歌を対象に演習を進める。

- ①下野国防人歌
- ②下総国防人歌
- ③信濃国防人歌
- ④上野国防人歌
- ⑤武蔵国防人歌
- ⑥昔年の防人歌

### 【授業計画】

受講者数によって可変的なものとするが、原則として、一人ずつ数首の作品を担当し、指示に従った調査結果のレジュメを用意しなければならない。その結果発表に基づいて、受講者や島田の質疑が行われる。

### 【評価方法】

授業期間中の発表および前期・後期末それぞれのレポートによって評価する。

### 【テキスト】

<前期・後期>

萬葉集（訳文篇）（佐竹昭広ほか著 塙書房 2,060円）



## 国文学演習 I (2) a・b

久保朝孝

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中古文学作品の読解と研究との基礎的方法を、実践的に身につける。

元来自撰であったと見られる『紫式部集』を読み解きながら、物語作家の生涯を追跡するとともに、その感性や精神構造の実質を探る。また、作品としての『紫式部集』自体の構造等についても考察する。

なお、特に作品論の基礎となるべき本文の「読み」(解釈)を、辞書・注釈書等を参照・批判・整理しつつ、自らの力によって築き上げる過程を重視したい。

演習であるから、担当者の発表のみで終わることなく、それに対する質疑・批判、そして回答・反論等が、全員によって躍動的に展開されることを期待する。

### 【授業計画】

- 一、複数のグループを編成する。
- 二、以下の諸点についての分担調査報告(準備学習)。
  - ア、時代背景
  - イ、後宮生活
  - ウ、事典辞書目録
  - エ、研究文献目録
  - オ、研究状況
- 三、担当範囲を決定する。  
毎回2～3首。
- 四、研究報告→質疑→回答→討論→助言(毎回)
- 五、学修の成果をレポートにまとめる。

### 【評価方法】

次の諸点を総合して評価する。配分については授業時に説明する。

- ア、出席状況
- イ、担当範囲についての研究発表(年間数回)
- ウ、授業中の発言(質問・批判等)
- エ、レポート

### 【テキスト】

紫式部日記 紫式部集(新潮日本古典集成 山本利達校注 新潮社)

## 国文学演習 I (3) a・b

岩下紀之

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

和歌のうち、当時の社会や、歌をよむにあたっての慣例を知らないと解釈が困難な、恋の歌を教材とする。

<前期>

後拾遺和歌集の恋の部を講読する。三代集の時代が過ぎ、新しい歌風を示すこの集はいろいろな意味で興味深い。しかし、古今、新古今には注釈が多いが、その中間に成立した諸集の研究は、まだこれからと感ぜられることが多い。

そういう条件から、本集にとりくむのはやりがいのあることと思われる。

<後期>

前期の教材を継続する予定である。

### 【授業計画】

はじめ二回ほど概説と作業を教員が行ない、以後学生に発表させる。

### 【評価方法】

レポートを課する。

### 【テキスト】

新日本古典文学大系 後拾遺和歌集(岩波書店 3,600円)

## 国文学演習 I (4) a・b

山下宏明

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

幸若舞の世界を読み、中世の芸能および、その文化史の状況を考える。

これまで、中世芸能としては、能・狂言が主流としてとりあげられ、今日まで伝統文化として重要視されている。しかし現実には、能は、ある時期、敬遠され、別に幸若舞が、主として足利政権のもと武士社会で歓迎されていたむきがある。能は、むしろ徳川政権のもと、その庇護を受けることによって、今日までの座を獲得したとも言える。一方の幸若舞が、室町の中期以後、芸能の主軸をなした。最近、文学作品を文化史のなかでとらえようとする動きが顕著になりつつあり、こうした状況の中で幸若舞が脚光を浴びつつある。この世界は、実は先行の平家琵琶としての平家物語や保元物語・平治物語、さらには義経記・曾我物語など語り物に取材するものが多く、この点、能に比べても全く遜色がない。いわば中世文化の未知の分野として検討してみたいというのが目的である。これとの対照のもと、改めて能・狂言の位置が相対化されて浮かび上がってくることだろう。

### 【授業計画】

すでに数種類の活字のテキストが刊行され、一応の注釈もある。それらの不足する面を、学際的に補足しつつ、他のジャンルの世界の受容と変容を考えつつ、テキストの読みを試みる。参加者を数班に分けて報告の準備を行わせ、時に、その班をいったん解体して再編成を行いつつ、作業を進める。その発表の場で、自己表現の方法をも指導する。

### 【評価方法】

演習は、参加し、報告と討論を行うことに意味がある。したがって出席状況が、何よりの評価の基準になる。それと報告の成果、それを踏まえた毎期のレポートを審査評価の対象とする。

### 【テキスト】

新日本古典文学大系『舞の本』麻原・北原編 岩波書店  
このほかに活字体のテキスト、注釈・写本の影印本もあり、すでに刊行されている資料で十分間に合う。

## 国文学演習 I (5) a・b

阿部一彦

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

近松門左衛門の<世話浄瑠璃>の典型的作品である『冥途の飛脚』を影印本を使って解説・鑑賞していく。金銭と恋愛そして封建制度、そこにおける町人の生きざま（義理と人情）がどのように描かれているかを検証してみたい。『曾根崎心中』・『心中天の網鳥』をも視野に入れ、現代的視点からも問題にしていこうと思っている。

#### <前期>

最初に近松の生涯についての論文を受講者全員で輪読していく。次に『曾根崎心中』を読み、内容を把握する。作品の要点を指摘するとともに、「世話浄瑠璃」の第一作としてのこの作品の日本の戯曲・文学史上における意義を明確にしておく。文楽の上演をビデオで鑑賞する。『冥途の飛脚』（影印本）を、受講者が、分担して解説、調査、研究、発表をおこなう。およそ「上の巻」を終えることができるであろう

#### <後期>

引き続き「中・下の巻」に進んでいく。最後に、受講者を三グループに分け、<人物論>・<悲劇論>・<義理と人情>の観点から問題を提起し、全員で討論し、検討していく。外国人向けのビデオを見て総括とする。なお、機会をみて大阪の国立文楽劇場に足を運びたいと思っている。

### 【授業計画】

受講者の分担による解説・調査・研究を発表する。

### 【評価方法】

自らの分担の発表が評価の対象となる。そのうえ、前・後期ともにレポートを課す。

### 【テキスト】

曾根崎心中・冥途の飛脚（岩波文庫）



## 国文学演習 I (6) a・b

小倉 斉

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

＜近代小説研究―作品をどう読み、どう論じるか―＞

近・現代の代表的な小説の精読を通して、「小説を読む」という行為を意識化し、多様な読みを生み出す分析方法や文学研究の方法を実践的に身につける。一つの作品について2～3名のグループで担当し、それぞれ読み、話し合い、調べ、分析してきたことを、レジュメにより2時間(授業2回分)かけて報告する。自分の＜読み＞と＜考え＞を大切にしつつ、それを対象化するために、すぐれた論を読み、質疑応答にも積極的に参加すること。

### 【授業計画】

＜前期＞

- 1 ＜読む＞という行為および＜読み＞の実例
- 2 森鷗外『雁』
- 3 夏目漱石『彼岸過迄』
- 4 泉鏡花『眉かくしの霊』
- 5 谷崎潤一郎『春琴抄』
- 6 永井荷風『瀧東綺譚』

＜後期＞

- 1 メタフィクションとは何か
- 2 大岡昇平『野火』
- 3 三島由紀夫『金閣寺』
- 4 村上春樹『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』
- 5 村上龍『五分後の世界』
- 6 澁澤龍彦『高丘親王航海記』

### 【評価方法】

学期末のレポートを中心に、レジュメの内容、発表・質疑応答の様子などから総合的に評価する。

### 【テキスト】

雁(森鷗外 岩波文庫) 彼岸過迄(夏目漱石 新潮文庫) 眉かくしの霊(泉鏡花 岩波文庫) 春琴抄(谷崎潤一郎 新潮文庫) 瀧東綺譚(永井荷風 岩波文庫) 野火(大岡昇平 新潮文庫) 金閣寺(三島由紀夫 新潮文庫) 世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド<上・下>(村上春樹 新潮文庫) 五分後の世界(村上龍 幻冬舎文庫) 高丘親王航海記(澁澤龍彦 文春文庫)

## 国文学演習 I (7) a・b

都築久義

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

近代の著名な作家を学生の希望に応じてとりあげ、グループ研究する。

＜前期＞

3人(学生の希望)

＜後期＞

3人(学生の希望)

### 【授業計画】

グループ(4～5人)を編成して、グループ単位で発表。

### 【評価方法】

平素の学習態度。

### 【テキスト】

なし。

## 国文学演習 I (8) a・b

細谷 博

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

太宰治等の作品を対象として〈読みとり〉の現場を問題とし、自分が実際にどのような読み方をしているのかをまずしっかりと把握しつつ、さらなる〈読み〉の可能性をつかむことを目的とする。

具体的な作品本文を丁寧に読みとることと、それを的確に表現すること、また、作品全体を端的にとらえて、評価し批評することをも同時に試みる場としたい。

前期は、主に太宰治を中心とした作品読解。後期は前期の進み具合を見て決める。

### 【授業計画】

<前期>

第1回 研究方法指導、発表日程・担当の決定

第2～12回 作品研究発表・質疑応答

第13回 まとめ、レポート提出

<後期>

第1回 研究方法指導、発表日程・担当の決定

第2～12回 作品研究発表・質疑応答

第13回 まとめ、レポート提出

### 【評価方法】

出席状況と担当発表、レジュメ、質疑応答、レポート等から総合的に評価する。

### 【テキスト】

女生徒（太宰治著 角川文庫）

津軽（太宰治著 新潮文庫）

お伽草紙（太宰治著 新潮文庫）

人間失格 グッド・バイ他一篇（太宰治著 岩波文庫）

太宰治（細谷博著 岩波新書）

## 国語学演習 I a・b

増井典夫

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

方言と共通語。日本語の変遷。

日本語の歴史を考えながら、自分たちの母語（生まれ持っている言葉）である方言の持つ意味を考え、新しい日本語表現の問題やその研究の可能性を考えていく。なお、後期のレポートの一部として、「言葉に関するアンケート調査の実施とその報告」を課す。

### 【授業計画】

テキストの担当範囲を割り当て、前期に1回、後期に1回の発表をしてもらう。

その他、ビデオを見ての感想提出や、プリント配布による講読も行う。

### 【評価方法】

レポート等によって評価する。

なお、毎時点呼によって出欠席を調査する。

### 【テキスト】

新・方言学を学ぶ人のために（徳川・真田編 世界思想社）

日本語ウォッチング（井上史雄 岩波新書）



## 中国文学演習 I a・b

寺尾 剛

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

〈李白の女性詩・恋愛詩〉

盛唐の大詩人李白の女性・恋愛を扱った作品を、清の王琦の注釈（『李太白全集』）に基づいて詳細に分析してゆく。中国古典文学に関する高度な知識（とりわけ文法・文化的背景・歴史・地理・資料調査能力）を養ってゆくつもりなので、その覚悟で授業に臨んで欲しい。前・後期それぞれ6～8首程度読む。特に楽府体のジャンルの作品。

### 【授業計画】

2～3人ずつの班に分かれ、毎回班ごとに事前に調査し、まとめた資料を提出し、それに基づき発表する。

### 【評価方法】

前後期各1回のレポート提出を求めるが、演習時の発表や発言も考慮して成績評価を行う。

### 【テキスト】

- ・プリント。
- ・授業中に指示。

## 国文学演習 II (1) a・b

島田修三

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

〈万葉東歌の考察〉

『万葉集』巻14には遠江から陸奥におよぶ東国短歌 230余首が収録されており、その大半は民謡的な色彩の濃い男女間の相聞である。本演習では、テキストの丹念な読みを通して、東歌のはらむ生活性や民俗性の問題、都の和歌との相互交流の問題、歌垣など歌の具体的な場の問題といった諸問題を考えてみたい。

〈前期〉

a：東歌 勸国歌群について

最初に東歌に関する諸説、諸資料を紹介し問題提起をした上で、勸国歌（地域の判明している歌）群を演習形式で読み進める。

〈後期〉

b：東歌 未勸国歌群について

未勸国歌（地域の判明していない歌）群を演習形式で読み進める。この歌群には柿本人麻呂歌集収載歌との重複が見られるが、人麻呂歌集をはじめ都の歌との比較の視点を積極的に交えながら読む。

### 【授業計画】

受講者数によって可変的なものとするが、原則として、一人ずつ10首前後の作品を担当し、指示に従った調査結果のレジメを用意しなければならない。その結果発表に基づいて、受講者や島田の質疑が行われる。

### 【評価方法】

授業期間中の発表および前期・後期末それぞれのレポートによって評価する。

### 【テキスト】

〈前期・後期〉

万葉集（訳文篇）（佐竹昭広ほか著・塙書房。2,060円）

## 国文学演習Ⅱ（２） a・b

久保朝孝

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中古文学作品の読解と研究との応用的方法を、実践的に身につける。

『紫式部日記』は寛弘五年（1008）秋から同七年正月までを範囲として、紫式部が仕える彰子中宮の二度にわたる出産前後の行事や宮廷での見聞等を、女房の立場から克明に記述する。そこに見られる現実凝視の行きつく先はどこか。

作品を読み解きながら、作者自身の内省的記述と客観的描写とが交錯する形で展開する作品構造の意味、あるいは消息（手紙）混入の問題など、この日記が抱えるさまざまな問題について考察したい。

### 【授業計画】

- 一、複数のグループを編成する。
- 二、以下の諸点についての分担調査報告（準備学習）。
  - ア、成立・形態・諸本
  - イ、研究文献（注釈書）
  - ウ、研究文献（上記以外）
  - エ、研究状況
  - オ、登場人物と時代状況
- 三、担当範囲を決定する。  
毎回2頁前後
- 四、研究報告→質疑→回答→討論→助言（毎回）
- 五、学修の成果をレポートにまとめる。

### 【評価方法】

次の諸点を総合して評価する。配分については授業時に説明する。

- ア、出席状況
- イ、担当範囲についての研究発表（年間数回）
- ウ、授業中の発言（質問・批判等）
- エ、レポート

### 【テキスト】

紫式部日記 紫式部集（新潮日本古典集成 山本利達校注 新潮社）

## 国文学演習Ⅱ（３） a・b

岩下紀之

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

『とはすがたり』を読み、中世後宮の女流文学を考える。本年は巻三から読む。

<前期>

宮内庁書陵部本の影印本を使用する。この作品の唯一の伝本で江戸期の書写であり、発見されたのが昭和になってからということで、解釈上問題が多い。諸注にも大きなひらきがあり、学生諸君にも新見を提出する可能性がひらけている。

<後期>

前期から継続する。

### 【授業計画】

はじめに概説と具体的な指示を行なう。

### 【評価方法】

レポートを課する。

### 【テキスト】

とはすがたり 三（笠間書院）



## 国文学演習Ⅱ（４） a・b

山下宏明

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

3年次において『徒然草』を文化史の一環としてとらえようとした。そうすることにより、南北朝を著者吉田兼好の目を通してとらえようとしたのであるが、その過程で、作品の読解のための方法をも、考察することが多かった。少なくとも、この1年の間に、作品をすでに一読しおえているはずである。

今年度は、その読みを深めることになり、それが卒業論文に反映してゆくだろう。

特に表現の方法を、意味段落の切り方や構成法にも注目しつつ、いわゆる〔随筆〕と呼ばれる作品の世界を、他の説話や法語の世界とも比較しつつ検討する。演習であるので、特に表現面から、その読解の方法に焦点をしばって指導したい。

### 【授業計画】

参加者を数グループに分けて作業班を構成し、一巡したところで、グループを解体し、改めて作業班を構成しなとして、グループに偏りが生じないように留意する。多様な志向力を有する学生相互の交流を考慮したい。毎期、数回の報告が当たるはずである。なお、発表の方法、自己の表現方法にも反省の機会を与えることになろう。

### 【評価方法】

平常の出席状況、報告の内容、その方法を毎回評価しつつ、各期の最後にレポートの提出を求めて総合的に判定する。

### 【テキスト】

書店の都合で、新潮社の古典集成を使用しているが、あわせて岩波書店の新日本古典大学大系本をも参考する。江戸時代以来、その注釈は実に多様である。それらを読むことは、江戸の文化を考えることにもなる。

## 国文学演習Ⅱ（５） a・b

阿部一彦

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

井原西鶴の町人物の傑作、『日本永代蔵』を影印本で読解し、考察する。「立身出世談や破滅談を通して金銀万能の町人社会の諸相を鋭く抉りだした」（『近世文学研究事典』）といわれる『日本永代蔵』のなかから十編ほどの短編小説を選び、さまざまな方面から考察を加えていく。

<前期>

各短編を受講者が分担して、本文の読解、語釈、口語訳、問題点の指摘と研究、構成と概要、小説としての達成等々の作品研究をおこない、発表する。

<後期>

前期に引き続いて作品の研究をする。

それとともに、この作品は<成立論>がとくに問題にされてきているので、その代表的な論文を取り上げて検討していきたい。そのことによって、近世文学「研究」の初歩的な方法の修得の一助としたい。

また卒論執筆に必要な文献・論文の扱い方についても学んでいくことになるであろう。

### 【授業計画】

上記のごとき演習形式で進めていく。

### 【評価方法】

レポートによる。

### 【テキスト】

未定。

## 国文学演習Ⅱ（6） a・b

小倉 斉

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

<漱石を読む>

漱石は物語を紡ぎ出すことをしない。登場人物たちの関係はいつの間にか始まり、すでに終わっている。あらゆる出来事は途中にあり、停滞しているように見える。こうした漱石の作品の中から、『坊つちやん』『三四郎』『それから』『門』『こころ』などを取り上げ、丹念に解読しながら、思考の堂々巡りを追うとともに、登場人物たちの関係性を解明する。また、作家と作品の距離を考えるために、語り手の位置に注目し、書き手としての漱石の方法を分析してゆく。一つの作品について2～3名のグループで担当し、それぞれ読み、話し合い、調べ、分析してきたことを、作成したレジュメにより、3時間（授業3回分）かけて報告する。報告を聞く側の学生は、必ずノートを用意し、作品のストーリーとプロット、作中人物の特徴および人物関係、読後抱いた疑問点等について記録した上で授業にのぞむ。

### 【授業計画】

<前期>

- 1 『坊つちやん』
- 2 『三四郎』
- 3 『それから』
- 4 『門』

<後期>

- 1 『行人』
- 2 『こころ』
- 3 『道草』
- 4 『明暗』

### 【評価方法】

学期末のレポートを中心に、レジュメの内容、発表・質疑応答の様子などから総合的に評価する。

### 【テキスト】

- 坊つちやん（夏目漱石 新潮文庫）
- 三四郎（夏目漱石 新潮文庫）
- それから（夏目漱石 新潮文庫）
- 門（夏目漱石 新潮文庫）
- 行人（夏目漱石 新潮文庫）
- こころ（夏目漱石 新潮文庫）
- 道草（夏目漱石 新潮文庫）
- 明暗（夏目漱石 新潮文庫）

## 国文学演習Ⅱ（7） a・b

都築久義

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

卒業論文テーマの作家を中心に演習する。  
卒業論文の進行状況を考慮して進行する。

### 【授業計画】

個人発表。

### 【評価方法】

平素の学習態度。

### 【テキスト】



## 国文学演習Ⅱ（8） a・b

細谷 博

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

近代・現代文学の読解、研究を行なう。何より作品を丁寧に読みたいと思う者、読むこと、そして書くことを通して、何事かをたしかに考えてみようと思う者を対象とする。自己の〈小説読み〉の力——言葉による人間形象の把握力——と、他者へむけての表現と討論の力をつちかうことを目的とする。

谷崎潤一郎等の作品を対象として〈読みとり〉の現場を問題とし、自分が実際にどのような読み方をしているのかをまずしっかりと把握しつつ、さらなる〈読み〉の可能性をつかむ訓練を行う。

前期は谷崎潤一郎を中心とした読解研究。後期は各自のテーマにそって進める。

### 【授業計画】

<前期>

- 第1回 研究方法指導、発表日程・担当の決定
- 第2～12回 谷崎潤一郎作品等研究発表・質疑応答
- 第13回 まとめ、レポート提出

<後期>

- 第1回 研究方法指導、発表日程・担当の決定
- 第2～12回 各自のテーマ別研究発表・質疑応答
- 第13回 まとめ、レポート提出

### 【評価方法】

出席状況と担当発表、レジュメ、質疑応答、レポート等から総合的に評価する。

### 【テキスト】

- 刺青・秘密（谷崎潤一郎 新潮文庫）
- 痴人の愛（谷崎潤一郎 新潮文庫）
- 春琴抄（谷崎潤一郎 新潮文庫）
- 細雪上・中・下（谷崎潤一郎著 新潮文庫）
- その他、授業時に指示する。

### 【参考書籍】

凡常の発見 漱石・谷崎・太宰（細谷博著 明治書院）

## 国語学演習Ⅱ a・b

増井典夫

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

方言と共通語。日本語の変遷。

現代日本語の問題点や方言の問題点等を考えながら新しい日本語研究の可能性を考えていき、卒業論文につながるものを求めていく。

### 【授業計画】

テキストの担当範囲を割り当て、前期に1回、後期に1回の発表をしてもらう。

その他、ビデオを見ての感想提出や、プリント配布による講読も行う。

### 【評価方法】

レポート等によって評価する。

なお、毎時点呼によって出欠席を調査する。

### 【テキスト】

- 敬語はこわくない（井上史雄 講談社現代新書）
- 日本語練習帳（大野晋 岩波新書）

## 中国文学演習Ⅱ a・b

寺尾 剛

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

＜中国古典文学研究法＞

中国の古典文学に関する研究法・調査法の養成に重点を置く。テキストは受講生との相談によって決定するつもりであるが、希望がなければ、唐代伝奇小説・『白氏文集』・『宋代詞集』を扱うことにしたい。

＜前期＞

・共通のテキストを用い、輪読し討論する。

＜後期＞

・卒論の途中経過や自分の関心を持っていることなどをテーマに発表。

### 【授業計画】

前期は輪読形式、後期は発表形式で進める予定。

### 【評価方法】

レポート及び発表の内容で決める。

### 【テキスト】

プリントを配布する。

## 国文学特殊講義 古典基礎 a

久保朝孝

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

古典文学の読解と研究に必要な基礎的事項について、上代・中古を範囲とし、具体例に即しながら分かりやすく、いねいに解説する。

古典学修に不安を覚える者は、できるだけ履修することが望ましい。

### 【授業計画】

1. 古典と文法
2. 古典と国語学
3. 古典の書誌学
4. 古典の文献学
5. 古典と文献資料(1)歴史関係
6. 古典と文献資料(2)辞書事典
7. 古典と文献資料(3)研究書等
8. 図書館の利用法
9. 平安貴族の生活環境
10. 平安貴族の暮らし
11. 古典と宗教・民俗
12. 古典文学の研究テーマ

### 【評価方法】

出席状況と期末筆記試験を総合して評価する。

### 【テキスト】

毎授業時、印刷物を配布する。

### 【参考書籍】

授業時に指示する。



## 国文学特殊講義 古典基礎 b

阿部一彦

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

古典文学の読解と研究に必要な基礎的事項について、中世・近世を範囲とし、具体例に即しながら分かりやすく、ていねいに説明する。

古典学修に不安を感じる者は、できるだけ履修することが望ましい。

### 【授業計画】

1. 日本の伝統文化と現代
2. 古典文学を読むー『徒然草』
3. 古典文学とテキスト(1)ー『平家物語』
4. 古典文学とテキスト(2)ー『奥の細道』
5. 古典文学と出版 文学の商品化
6. 古典文学と空間 旅と文学、旅の文学
7. 古典文学と時間 「歳時記」・年中行事
8. 古典文学と自然 植物・動物
9. 古典文学と芸能 能・歌舞伎・人形浄瑠璃
10. 古典文学と絵画 絵巻・絵解き・挿し絵
11. 古典文学の研究方法与文学史
12. 文献調査・検索入門

### 【評価方法】

レポートによる。

### 【テキスト】

未定。

### 【参考書籍】

追って発表する。

## 国文学特殊講義 漢文基礎

寺尾剛

1年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

漢文が嫌い、漢文が読めない、漢文の魅力を知りたいといった学生のために特に設けた、漢文の基礎中の基礎を教授する講座。おそらく多くの学生諸君は、高校時代から、漢文句法はただただ暗記するものとして教え込まれてきていてウンザリしていることと思う。この授業はそういった諸君に対して、「なぜ」「どうして」という疑問を徹底的に解きほぐしていくことに主眼を置く。「なぜ漢和辞典は必要なの?」「どうして再読文字なんていう面倒なものがあるの?」などといった根本的な疑問にも答えていくつもりである。そして、この講座が終る段階までには、諸君にも簡単な漢作文が作れるところまでレベルアップさせるというのが本講座の最終目標である。国文学には漢文がつきものである。漢文拒避症からいち早く脱却して、楽しく漢文が読めるようになることを切に願うものである。

### 【授業計画】

漢文法を中心に行なう。折に触れて文化的背景の説明も行なう。

### 【評価方法】

平常点及び試験。

### 【テキスト】

「社会人のための漢詩漢文小百科」(大修館書店)

## 国文学特殊講義 王朝物語 a・b

高橋 亨

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

平安朝物語を読む上で必要な諸問題について、『宇津保物語』俊蔭の巻の講読をとおして論じていく。本文批判や注釈、解釈と文法、社会文化史的な文脈などについての諸問題を、『宇津保物語』俊蔭の巻の本文を読みながら講義する。

本年度は『宇津保物語・俊蔭 全訳注』をテキストとして、物語研究の方法と具体的な個別問題について考えていく。

前期のはじめには、『宇津保物語』の全体について、必要な基礎知識を概説する。その後で、テキストを詳しく読み、解釈に基づいた読みの諸問題を論じていく。物語と神話や漢文伝承との関係、和歌的な表現法と和文との関係などが中心となる。

後期は、物語の表現と構造に加えて、音楽論や漢詩文をふまえた文学史など、より広いテーマへと展開していく。

### 【授業計画】

テキストにそって読み進めるが、それぞれの部分で個別の問題を分散的に論じていく。受講者はそれを各自で整理してまとめながら理解する必要がある。

### 【評価方法】

各期末の試験またはレポートにより、出席回数を考慮して採点する。

### 【テキスト】

宇津保物語・俊蔭（上坂信男・神作光一 講談社学術文庫 1050円）

## 国文学特殊講義 源氏物語 a・b

高橋 亨

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文学作品を読む上で必要な諸問題について、『源氏物語』帯木の巻の講読をとおして論じていく。本文批判や注釈、解釈と文法、社会文化史的な文脈などについての諸問題を、『源氏物語』帯木の巻の本文を読みながら講義する。本年度は『帯木』（大島本）をテキストとして、文学研究の方法と具体的な諸問題について考えていく。

前期のはじめには、『源氏物語』の全体について、必要な基礎知識を概説する。その後で、テキストを詳しく読み、解釈に基づいた研究上の問題点を論じていく。和歌と物語との関係、語りの表現法などが中心となる。

後期は、語りの表現構造に加えて、芸能論や女性論などより広いテーマに展開していく。

### 【授業計画】

テキストにそって読み進めるが、それぞれの部分で個別の問題を分散的に論じていく。受講者はそれを各自で整理してまとめて理解する必要がある。

### 【評価方法】

各期末の試験またはレポートにより、出席回数を考慮して採点する。

### 【テキスト】

帯木（大島本）（高橋亨編 おうふう 971円）



## 国文学特殊講義 仏教文化論 a・b

渡辺信和

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本における文化の発展に多大な影響を与えた仏教は、その渡来から日本独自の仏教思想の形成まで、さまざまな様式と美術を残してきた。本講は日本文学の下地を担うものとしての様々な仏教文化を多方面から確認し、日本文学の基礎的な知識を身につけることを目途とする。

講義には具体的に建築、彫刻、絵画、装飾・模様などを取り上げその背景となる仏教思想を踏まえつつ見ていく。

### 【授業計画】

最初に仏教文化について定義を行い、前期は仏教の伝播をその造形を中心に、日本に伝来した仏教が、日本化していく過程を見る。

後期は、具体的に建築、荘厳、彫刻、絵画などをあげてその流れを見る。さらに、花祭り（灌仏会）や盆（盂蘭盆会）、などの仏教行事、絵解き、説経などの布教、葬送儀礼などにもふれてみる。

後期にはそれぞれに興味を持ったテーマについて個人ないし小グループで発表してもらう。

### 【評価方法】

前期はレポート。

後期は発表をまとめたレポート。

### 【テキスト】

講義時に配布。

### 【参考書籍】

岩波文庫『仏教』上・下、岩本裕『仏教説話の源流と展開』（1978）、その他至文堂の日本の美術シリーズの各冊など。

## 国文学特殊講義 仏教文学 a・b

渡辺信和

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本仏教文学とは、日本における仏教思想の影響下に成立した文学作品の謂である。すでに『万葉集』に沙弥満誓の詠歌を見ることが出来る如く、仏教の伝来からそう遅くない時期に文学への取り入れが始まり、爾来長く仏教文学としての文学作品が作られてきた。特に盛んであったのは、院政期から中世前半期で、多く仏教説話集として編纂された。物語や和歌、歌謡、謡曲などに見られる仏教思想も、それらを仏教文学としてとらえることを可能としている。

今年度は、室町期に成立した御伽草子『法蔵比丘』を影印で読む。『法蔵比丘』は、他本では『阿弥陀の本地』とする如く、阿弥陀如来の前生譚であり、中世に流行した「本地物」としての性格を持つ。

本講を通じて、室町時代の作品の読みを考え、その仏教意識を探る。

### 【授業計画】

講義は影印本で行う。講義時に指名して本文の音読、解釈をしてもらい、その文意、背景に存する説話などについて考察する。講義時に「古語辞典」で語義、文法事項を確認し、有職故実について「国語便覧」を参照することがあるので両書を必携とする。またくずし字が不得手な人はくずし字辞典などを用意すること。

第1講は仏教文学概論と「御伽草子」について

第2講以下前期は上巻を、後期は下巻を読む。

読み終えたら、異本について考察を行う。

### 【評価方法】

前期は筆記試験を行う。講義時の音読・解釈などの発表を斟酌する。

後期はレポート提出による。

### 【テキスト】

天理図書館蔵『法蔵比丘』影印を講義時に頒布。

### 【参考書籍】

『室町時代物語大成』1,12,補遺1、市古貞次『中世小説の研究』（1955）、松本隆信『中世における本地物の研究』（1996）

## 国文学特殊講義 和歌・連歌 a・b

岩下紀之

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本古典文学の核心ともいえるべき、和歌と連歌を、最も代表的な歌論・連歌論の講読を通じて、概観する。

<前期>

藤原定家自筆本近代秀歌の影印本を教材とする。写本の解読の手ほどきをし、あわせて、定家の記述を追って背景の説明を適宜、プリントを配布しつつ説明する。定家歌論を読みとくことはもちろん最終的な目標である。

<後期>

心敬の御所本ささめごと（上）の影印本を教材とする。連歌は現代では縁のうすい文芸となっているので、その概説をおこない、連歌史についても説明する。

### 【授業計画】

C組については、前期と後期の順を入れかえ、前期 連歌、後期 和歌を講ずる。

### 【評価方法】

学期末の試験をもって評価する。

### 【テキスト】

近代秀歌（武蔵野書院）

御所本ささめごと 上（笠間書院）

写本解説がはじめての受講者は仮名手引（和泉書院）を購入しておくこと。

## 国文学特殊講義 近代詩 a・b

佐藤洋一

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

近現代詩・谷川俊太郎詩のレトリック・表現論

- 1、谷川俊太郎を中心に、詩と詩人の固有な特質と方法を言語・構造・レトリック（言語技術）の観点や、戦後詩以降の現代詩の変遷、1950年代～80年代の歴史的社会的状況との関連等からも考察を行なう。
- 2、文化研究・批評（カルチャラル・スタディーズ）の枠組みの中で、「近代」という制度・戦争と国家・メディアと詩人の表現等の視点から近現代詩の意義と位置づけについて考察する。

### 【授業計画】

- 1、谷川俊太郎を中心に、戦後詩から現代詩の変遷・詩的言語の構造やレトリックを考察するとともに、近現代詩研究の基本的な方法の体得と主体的な課題意識を育成することが主要なねらいの一つである。
- 2、前後期とも、前半は配付プリントやテキストによる講義を行い、後半は簡単な演習形式で進める。演習はグループによる資料作成と発表・討議を中心に行なう。
- 3、前期は「基礎編」として、詩を読む魅力と方法や多様な個性をもつ近現代詩の諸相について述べ、谷川俊太郎の詩的言語について、子ども・生の意識・世界（コスモロジー）・言葉遊びと日本語の探究等の視点から考察する。後期は「展開編」として、谷川俊太郎詩を鮎川信夫等の戦後詩人や大岡信・茨木のり子等の同世代詩人、それ以降の現代詩人達との対比の中で考察したり、1950年～80年代の文化的歴史的な状況の中でより深く考察することが中心になる。

### 【評価方法】

- 1、出欠席。毎回出欠を確認し講義や発表に対する意欲・講義内容への課題意識や意見等を平常点に加える。
- 2、演習形式の資料作成・報告・発表の内容。詩の分析と考察・先行文献の理解と資料操作・発表と討議の内容、小レポート等を評価に加える。

### 【テキスト】

『空の青さを見つめていると・谷川俊太郎詩集Ⅰ』、  
『朝のかたち・谷川俊太郎詩集Ⅱ』（ともに角川文庫）  
その他、配付プリントによる。



## 国文学特殊講義 現代短歌 a・b

篠弘

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

短歌は伝統的な定型詩だが、いかに人間を表現しうる詩であるかを明らかにしたい。明治40年代の自然主義文学から影響をうけた短歌が、人生の時間を抉り出す詩として、その展開してきた魅力ある個性を紹介するとともに、とくにこの半世紀の多彩な作品を解説したい。そのモチーフ、感性や美意識、歴史認識から、技法や用語にまで言及したい。短歌を学ぶことによって、詩的表現の真髄を知ることができよう。

前期 a：Ⅰ 近代短歌から現代短歌へ

1. 1 近代短歌の起点
1. 2 近代短歌の代表的歌人
1. 3 近代短歌の作風と特徴

後期 b：Ⅱ 現代短歌の展開

2. 1 戦後短歌の成果
2. 2 1960年代からの短歌の魅力
2. 3 時代に生きる人間を詠む短歌

### 【授業計画】

配布するプリントならびにテキストを用いて講義する。予習は不要。感想を問うなどして、作者や作品にたいする理解を深める。

### 【評価方法】

各学期末に試験によって、作品の鑑賞力を評価する。あるいはレポート提出をもとめる。また、作歌を試みる。

### 【テキスト】

NHK短歌入門 生き方の表現（篠弘著 日本放送出版協会刊 1,300円＋税）

## 国文学特殊講義 批評理論 a・b

佐藤洋一

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代・文学批評理論

ー〈批評〉〈方法〉をめぐる近現代文学入門ー

文学批評理論の紹介と考察・作品による具体的検討等を通して、私たちを取り巻く複雑で多面的な「現代」「世界」を文学はどのように描いてきたのか、それを今、どのように読み解いていくかについて検討する。また、現代人の生き方や精神の直面する諸問題や文学作品をめぐるさまざまな課題等も扱っていく。

### 【授業計画】

- 1、講義では、特に「現代文学作品」を例としながら取り上げるが、現代文学を取り巻く世界（読者・マスメディア・現代社会・人間関係等）も、研究方法（読者論・フェミニズム批評等）も多様化してきている。
- 2、毎回トピック形式でテーマを設定し具体的な作品に即して考察検討していく予定。例、「近代文学と現代文学」「私小説の方法」「描写・語りの技術」「ファンタジーと幻想」「フィクションと事実」「フェミニズムと現代文学」「無意識の発見と主体の分裂」等。
- 3、前後期とも、前半はテキスト・プリントによる講義を行い、後半は学生によるグループ毎の簡単な演習形式の報告・資料作成等を通して発表と討論を行なう予定。特に、前期は「基礎編」としてテキスト講読や資料によって批評理論の歴史と変遷・代表的な理論の背景と特徴・作品と批評理論の関係等について、後期は「展開編」として前期の内容を更に深め、具体的な作品批評を中心に検討する。

### 【評価方法】

- 1、出欠席。毎回出欠を確認し講義や発表への意欲・講義内容への課題意識や考察等を平常点に加える。
- 2、演習形式の資料作成・報告や発表内容や、数回の小レポートの内容等。

### 【テキスト】

大橋洋一著『新・文学入門』岩波書店、村上春樹著『レキシントンの幽霊』文春文庫。他に配付プリント。

## 国文学特殊講義 現代小説 a・b

小倉 斉

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

＜現代小説の方法—作品をどう読むか—＞

「小説を読む」とはどのような行為なのか。この点について、現代日本を代表する小説の精読および方法意識の検討を通して考察し、言語表現としての文学を研究する方法を身につける。「小説を読む」という行為を意識化し、多様な読みを生み出す分析方法を習得することが目標である。

### 【授業計画】

＜前期＞

- 1 観念の崩壊と新感覚
- 2 小島信夫『抱擁家族』
- 3 後藤明生『挟み撃ち』
- 4 日野啓三『夢の島』
- 5 筒井康隆『虚人たち』

＜後期＞

- 1 村上春樹『ノルウェイの森』
- 2 村上龍『トパーズ』・橋本治『桃尻娘』
- 3 中上健次『奇蹟』
- 4 笠野頼子『レストレス・ドリーム』
- 5 水村美苗『私小説 from left to right』

### 【評価方法】

学期末の試験(自筆ノート持ち込み可・論述問題中心)によって評価する。

### 【テキスト】

- 抱擁家族 (小島信夫 講談社文芸文庫)  
挟み撃ち (後藤明生 講談社文芸文庫)  
夢の島 (日野啓三 講談社文芸文庫)  
虚人たち (筒井康隆 中公文庫)  
ノルウェイの森<上・下> (村上春樹 講談社文庫)  
トパーズ (村上龍 角川文庫)  
奇蹟 (中上健次 朝日文芸文庫)  
レストレス・ドリーム (笠野頼子 河出文庫)  
私小説 from left to right (水村美苗 新潮文庫)

## 国文学特殊講義 郷土文学 a・b

都築久義

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

郷土の作家と郷土を描いた作品を研究する。

＜前期＞

郷土出身の作家を10人ほどとりあげる。

＜後期＞

郷土を描いた作品(近代、古典)を10作品くらいとりあげる。

### 【授業計画】

作品、作家を1回ごとに変える。

### 【評価方法】

テストを実施。

### 【テキスト】

プリントを配付。



## 国文学特殊講義 児童文学 a・b

堀尾幸平

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

1. 児童文学とは何か。その呼称、特質、形態、研究方法等、児童文学理論を研究する。
2. 児童文学が、どのように発祥、展開してきたか、わが国の文学史を把握し、今後の児童文学を展望する。
3. 児童文学をテーマにした小論文を書き、実際に童話を創作する。

### 【授業計画】

<前期 a>

1. 児童文学とは何か。  
呼称、定義、特質、機能、形態、研究方法等
2. 明治期の児童文学  
啓蒙準備期、三輪弘忠、巖谷小波  
児童雑誌、翻訳児童文学  
森田思軒、押川春浪、立川文庫
3. 大正期の児童文学  
小川未明、鈴木三重吉『赤い鳥』  
芸術的児童雑誌 『少年倶楽部』  
千葉県三、浜田廣介、少女小説  
童話、少年詩、児童文学研究

<後期 b>

4. 昭和期の児童文学  
プロレタリア児童文学、通俗的児童文学  
宮澤賢治、新美南吉、坪田譲治  
戦時下の児童文学
5. 現代の児童文学  
いぬいとみこ、松谷みよ子、神沢利子  
中川李枝子、灰谷健次郎、堀尾幸平
6. 児童文学のレポート、小論文
7. 童話の創作

### 【評価方法】

定期試験、レポート、出席状況等によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本児童文学論（堀尾幸平著 中日文化 2,200円）

## 国文学特殊講義 日本演劇史

林和利

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本の演劇史を、古代の神楽から現代の前衛劇にいたるまで、その流れを追って講じる。とくに、伝統演劇である能・狂言・歌舞伎・文楽については詳しく説く。

### 【授業計画】

- 第1回 授業の目的と方針を提示。
- 第2回 日本演劇史系統図を示して通史を概説する。
- 第3回 演劇の発生について
- 第4回 神楽について
- 第5回 伎楽について
- 第6回 舞楽について
- 第7回 散楽について
- 第8回 能について
- 第9回 狂言について
- 第10回 歌舞伎について
- 第11回 文楽について
- 第12回 新劇について
- 第13回 前衛劇について

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験により、総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本文化論序説（林和利 青山社）

## 国文学特殊講義 伝統芸能の世界

林 和利

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本の伝統芸能「舞楽」「能」「狂言」「歌舞伎」「文楽」について、その歴史と現状・作品・上演形態などについて詳しく講じる。

### 【授業計画】

- 第1回 授業の目的と方針を提示。
- 第2回 日本芸能演劇史概説
- 第3回 舞楽について
- 第4回            〃
- 第5回 能について
- 第6回            〃
- 第7回            〃
- 第8回 狂言について
- 第9回            〃
- 第10回 歌舞伎について
- 第11回           〃
- 第12回 文楽について
- 第13回           〃

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験により総合的に評価する。

### 【テキスト】

日本文化論序説（林和利著 青山社）

## 国文学特殊講義 日本映画史

梶川 忠

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

学生であるきみたちは、年に何本の日本映画をみるだろうか。日本映画はみなくていいものになっていないだろうか。

実際には、日本映画は、映画が誕生してすぐに世界の第一線にたっている。世界映画史の中で日本映画は重要な一角を占めているのだ。そういう日本映画を、ビデオを活用しながら、少しずつたどってみることにする。

### 【授業計画】

- 第1回 日本映画の誕生（明治から大正時代）
- 第2～4回 戦前の日本映画（昭和15年頃まで）  
様々な現代劇と時代劇
- 第5回 戦争と映画（昭和20年まで）
- 第6～11回 戦後の日本映画（昭和40年まで）  
日本映画の全盛期から衰退期  
喜劇・メロドラマなどジャンル別
- 第12回 現在の日本映画

### 【評価方法】

2回のレポートで採点する。

### 【テキスト】

日本映画（ドナルド・リチイ著 行路社）



## 国文学特殊講義 文学と映像表現

梶川 忠

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本映画は、日本文学（特に小説）から題材をたくさん得ている。日本文学が盛んでなければ、あるいは日本映画は、存在できなかつたかもしれない。いわば日本文学が母であり、日本映画は子供だといえる。

ただしものごとはいい面ばかりではない。日本文学からいつも養分を吸収していることで、日本映画がひ弱になり、現在の衰退を招いたという人もいる。

そういう判断は、しばらく保留しておこう。ここでは個々の小説とその映画化作品とを比較しながら、小説表現の特色や映像表現の特色を探ってみたい。

### 【授業計画】

毎回ひとつの作品を取り上げて検討してゆくのだが、現時点ではどれにするのか決まっていない。数が多すぎてなかなか選択できないからである。予定では、明治時代から年代をたどりつつ、現在にまで到達するはずだ。

90分ほどの長さの映画をまるごと見ていたら、授業がおわってしまう。きみたちはその方がうれしいかもしれないが、残念ながらビデオは担当者が編集した30分くらいのものである。現在までに編集したものは、夏目漱石・村上春樹・吉本バナナ・泉鏡花・川端康成などの小説である。なんであるかはお楽しみとしておく。

### 【評価方法】

2回のレポートで採点する。

## 国語学特殊講義 ことばの認知科学 a・b

増田尚史

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

認知科学とは、人間の知的活動を、哲学、心理学、計算機科学、神経科学、言語学等の立場から、学際的に探求する学問である。

本講義では、人間の知的活動のうち、特に「ことば」の運用に伴う情報処理活動に着目し、「知覚、記憶、思考、発達（学習）」などの観点から検討を加える。さらに、ヒトの脳についての神経科学的知見を概観し、それを基礎とする言語理解モデルについて講究する。なお、受講者には、授業に出席するだけでなく、その中で実施される各種の実験に積極的に参加することが求められる。

### 【授業計画】

前期（a）

1. 「ことば」に関わる研究分野
2. 「ことば」をめぐる哲学的議論
3. 「ことば」と知覚システム
4. 「ことば」と記憶システム
5. 「ことば」の獲得と喪失

後期（b）

6. 「ことば」の運用に関わる脳部位
7. 「ことば」の理解に関するモデル
8. 「ことば」の運用規則
9. 「ことば」とコミュニケーション
10. 「ことば」をめぐる今日の問題

ただし、受講者数等に鑑みて、順序および内容に変更を加えることもある。

### 【評価方法】

出席状況と期末試験の成績とによって、総合的に評価する。

### 【参考書籍】

授業の中で、適宜紹介する。

## 文章表現 a・b

梅田卓夫

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文章表現の目標を「自分にしか書けないことを、誰にも分かるように書く」ことに置き、ジャンル（詩・小説・評論…）のワクを超えたすべての言語表現に共通する基本事項を学習する。

作品実作の過程で、受講者が自らの言語観・文章観を検討しつつ、より自由で科学的な方法と理論を習得することをめざす。

1. ことばとの自由で柔軟な関係を回復するためのトレーニングを経て、ことばを操ることのたのしさを体験する。
2. 創造的な文章を目ざして、いくつかの作品（作文）を試みる。
3. 文章制作過程の、各段階ごとに制作技法をとりあげ、実作体験しながら学習する。
4. 自己の制作経験をふり返りながら、意識の働きと技法の両面において、普遍的法則をさぐりあてる。
5. その結果を、各自に文章表現法として体系化することを試みる。
6. さまざまなジャンルの多彩な文章に触れて、文章表現の可能性をひろげるようにする。

### 【授業計画】

実作（実習）と理論化のための講義と作品鑑賞、この三つをくり返しながらすすめる。

### 【評価方法】

授業の中で制作する作品群、および期末試験によって行う。

### 【テキスト】

新作文宣言（梅田卓夫ほか著 筑摩書房 951円）

高校生のための文章読本（梅田卓夫ほか編 筑摩書房 922円）

## 書道（書写を中心とする） a・b

堀内千恵子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

王羲之を中心の中国書道史、空海を中心とした日本書道史をベースに、臨書、鑑賞などの実技を通して、書法の習得をはかる。ある程度、心眼が高まったところで、創作活動への意欲を高め、個々の感性によった作品を創作し、今日的な書の表現はどうあるべきか、芸術としての書の在り方を考えさせる。

<前期>（中国書道史と日本書道史をいれかえる場合もある）

中国書道史（古典と臨書 書法と創作）

◇太古～秦代・篆書・書の意義と特質

◇漢代～六朝時代

◇隋～唐時代

◇宋～現代まで

・多様化した書道・かな

・ペン習字・書道展の鑑賞

<後期>

日本書道史（臨書と創作 書法と書法）

◇奈良朝以前・かな・用筆法

◇奈良時代～平安時代

・遣唐使と三筆

・和様体と三蹟・創作（気脈貫通 遅速緩急）

◇鎌倉時代～現代 少字数の作品 多字数の作品・結構法・用墨法・創作方法

・禅林風と和様体 近代詩文の作品

・空海の書法と人

・寛永、幕末の三筆

### 【授業計画】

理論（書道史、書論）40分程度 実技 50分程度

必要に応じて、プリント（顔真卿・良寛・空海等）や手本を配布する。

### 【評価方法】

・出席日数 ・毎回提出の課題の評価（10段階） ・ペン習字 ・創作活動の評価 ・理論の少テスト ・レポートなどの評価 以上の内容の総合評価

### 【テキスト】

書道の旅（堀内千恵 中部日本教育文化会）



## 言語学 a・b

増田尚史

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

「言語」という広範な現象のうち、特に形態素としての「単語」と、それに内在する統語的、意味的制約（あるいは規則）とについて、言語学的方法論を踏まえつつ検討を加える。さらに、技術としての形態素解析や、語用論に基づくレトリックの解析についても講究する。なお、個人が晒されている言語環境の再吟味を課題とするショート・レポートを、前後期ともに、適宜課することを予定している。

### 【授業計画】

前期（a）

1. 科学としての言語学
2. 言語学の方法
3. 形態論と形態素としての単語
4. 語形成と統語的制約
5. 語形成と意味的制約

後期（b）

6. 形態素解析
7. 語彙データ・ベース
8. 心的辞書
9. 語用論
10. 語用論とレトリック

ただし、受講者数等に鑑みて、順序および内容に変更を加えることもある。

### 【評価方法】

出席状況とショート・レポートの成績とによって、総合的に評価する。

### 【参考書籍】

授業の中で、適宜紹介する。

## 比較文学 a・b

池谷敏忠

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

比較文学は国際間の（国と国との間の）文学的関係の歴史を調べ研究する学問です。この授業はT.S.エリオットの詩と菊村到の小説など日英米仏文学の影響関係を具体的に考察します。さらにエリオットの詩論と芭蕉俳論などの対比研究も試みます。

前期は次の事項を予定しています。

比較文学の定義と本質

日本における *The Waste Land* の受容

T.S.エリオットと立原正秋

共同体と個性の文学

T.S.エリオットと小林秀雄

後期は次の事項を予定しています。

T.S.エリオットとベルグソン

形面上詩人のアルス・ポエティカ

芸術作品の創造と伝統の継承

*Spectrum* に見る西脇詩の原型

T.S.エリオットと西田幾多郎

### 【授業計画】

テキストを用いて講義・解説します。受講生は必ずテキストを持参して下さい。

### 【評価方法】

レポートまたはテストと各自の出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

比較文学論集（池谷敏忠 見学出版 値段未定）

## 外国語としての日本語 a・b

石橋千鶴子

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

外国語としての日本語の特徴を文法の面から考察する。

### 【授業計画】

日本語テキストおよびビデオ日本語教材を用いて、初級日本語教育で扱う文型、文法事項の英語による具体的指導法を考えていく。外国語としての日本語の文法基礎知識を得ることが期待される。

### 【評価方法】

期末試験および授業活動により評価を行う。

### 【テキスト】

- ①新日本語の基礎Ⅰ 本冊漢字かなまじり版 (海外技術者研修協会編 スリーエーネットワーク発行)
- ②新日本語の基礎Ⅰ 文法解説書 英語版 (海外技術者研修協会編 スリーエーネットワーク発行)

## 論文

島田修三 久保朝孝 岩下紀之 山下宏明 阿部一彦  
小倉 斉 都築久義 細谷 博 増井典夫 寺尾 剛

4年 通年 必修 8単位

### 【授業の概要】

### 【授業計画】

<論文提出までの主な日程> (詳細は掲示)

☆4月上旬修登録

☆4月19日(月)「依頼書」提出締切り(4月1日以降、研究棟5階事務室)

☆5月21日(金)「論文概略」提出締切り(5月1日以降、研究棟5階事務室)

以後、指導の日時、梗概提出、初稿提出など、完成論文提出までの詳細は指導教員の指示による。

☆12月17日(金)午後4時:「論文」提出締切(12月7日以降、研究棟5階事務室で受付)

■上記いずれの締切に遅れても論文提出の資格を失う。

### 【評価方法】

### 【テキスト】



## 国文学概論 a・b

山下宏明

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

前期には、日本文学の研究が、古代の『万葉集』編纂のための巻の構成に始まり、中古には詠歌のための歌学、これを支えるための物語の読みが課題となる。中世には、諸ジャンルの分岐が顕現し、近世には国学の隆盛を経て近代を迎え、方法の確立を志向することになる。

これら前近代の、対象を相対化する研究を受けて、明治以後、西洋の研究を意識し、特に戦後、研究の批評性を顕著にする。すなわち戦前の文献学的研究から、歴史社会学派、新批評、記号・構造主義、テキスト論、新歴史主義、コロニアリズム、脱構築理論、身体論、口誦論などへと展開する。こうした日本文学研究の流れを半年の間に展望する。

後期には、上述の研究史の展望を踏まえ、文学研究の国際的な状況を踏まえて、特に、読者論のための文学の方法を具体的に考察指導する。理論の応用編である。

### 【授業計画】

上記の概要に示すように、前期には史的展望を行い、後期には、特に読者論や文字・口誦論を、古典はもちろんのこと、近・現代の小説・物語、さらに映画にも視野を広げて表現・享受の方法を講義する。

### 【評価方法】

出席状況と、試験による。時に小テストもを行い、講義の把握・理解の状況を探る資料にする。

### 【テキスト】

前半の批評史の展望、後半の各論を進める上に必要な作品の部分引用など、各種資料をプリントで用意する。その原資料は、これまでの経験から、ほとんど揃っているが、さらに新しい資料をも追加する予定である。

基本的な参考資料として、

T・イーグルトン『文学とは何か』岩波書店

ジェラルド・ジュネット『物語のディスコース』風の薔薇社

大江健三郎『新しい文学のために』岩波書店

大橋洋一『新文学入門』岩波書店

前田愛『文学テキスト入門』筑摩書房

その他を推薦するはずである。

## 国語概説 a・b (音声言語及び文章表現を含む)

増井典夫

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

前期中心テーマー日本語の音声・音韻・アクセント

後期の中心テーマー方言と共通語

<前期>

日本で使われている言語としてアイヌ語や沖縄の言葉について触れたあと、音声言語という面から、世界の中で日本語の位置を考え、さらには日本語の音韻・アクセント等を考察していく。

<後期>

日本語方言学の研究法・調査法をみながら愛知県方言の位置付け、方言と共通語の使い分け、「新方言」といわれる新しい日本語表現等を考えていく。

### 【授業計画】

講義を行なっていく。

### 【評価方法】

記述式テスト（定期試験）。

### 【テキスト】

国語概説（佐伯・山内編 和泉書院）

## 国文学講義（2）中古 a・b

久保朝孝

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中古文学作品に対する基本的姿勢と読解の基本的方法とを身につける。特に本文解釈の多様性の所以と可能性について理解する。さらに、国文学研究のための基本的事項・文献について知識を得るとともに、レポートをまとめる力を身につける。

### 【授業計画】

<前期>

a：伊勢物語

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1 導入        | 7 伊勢物語各章段の精読  |
| 2 伊勢物語初段の考察 | 8 伊勢物語各章段の精読  |
| 3 伊勢物語初段の考察 | 9 伊勢物語各章段の精読  |
| 4 伊勢物語初段の考察 | 10 伊勢物語各章段の精読 |
| 5 伊勢物語初段の考察 | 11 伊勢物語各章段の精読 |
| 6 伊勢物語初段の考察 | 12 まとめ        |

<後期>

b：王朝女流日記

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 導入         | 7 紫式部日記      |
| 2 王朝女流日記への招待 | 8 更級日記       |
| 3 土佐日記       | 9 成尋阿闍梨母集    |
| 4 蜻蛉日記       | 10 讃岐典侍日記    |
| 5 枕草子        | 11 王朝女流日記の達成 |
| 6 和泉式部日記     | 12 まとめ       |

### 【評価方法】

次の諸点を総合して評価する。

- ア. 出席状況
- イ. 学外の自主的学習
- ウ. 期末レポート

### 【テキスト】

前期 a：伊勢物語（校注古典叢書 片桐洋一校注 明治書院 1,400円）

後期 b：王朝女流日記を学ぶのために（久保朝孝編 世界思想社 2,300円）

## 中国文学講義（1） a・b

曹述燮

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中国の歴史社会状況を理解し、作品の文学的意味や価値について学ぶ。

### 【授業計画】

(前期)

- 第1・2講：先秦文学
- 第3・4講：秦・漢の文学
- 第5・6講：魏・晋・南北朝の文学
- 第7・8講：隋・唐の文学
- 第9・10講：五代・宋・金の文学
- 第11・12講：元の文学
- 第13・14講：明・清の文学

(後期)

- 第1・2講：総論
- 第3・4講：近代文学の胎動期
- 第5・6講：文学革命と5・4運動
- 第7・8講：左翼文学運動
- 第9・10講：抗日戦争の時代
- 第11・12講：人民文学の誕生と展開

概論に属するパートは講義・解説していくが、その他は学習者がそれぞれテキストを予習し発表する形式を取る。

### 【評価方法】

出席状況、授業のための準備状況、そして期末のレポートあるいはテストで評価する。

### 【テキスト】

『中国文学史』 前野直彬 東京大学出版社

### 【参考書籍】

『中国学芸大事典』 近藤春雄 大修館書店

『中国歴史文化事典』 孟慶遠主編 新潮社など



## 中国文学講義（2）

寺尾 剛

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

<唐代の文学>

唐詩と唐代伝奇小説を読むことを通じ、中国文学研究の方法を理解してゆく。

- ・唐代文学史
- ・『長恨歌』
- ・『杜子春伝』
- ・その他

### 【授業計画】

輪読を中心に進めていく（従って必ず予習してくること）。

### 【評価方法】

平常点及び試験。

### 【テキスト】

中国詩文（中国詩文研究会編）

## 文章表現 a・b

梅田卓夫

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文章表現の目標を「自分にしか書けないことを、誰にも分かるように書く」ことに置き、ジャンル（詩・小説・評論…）のワクを超えたすべての言語表現に共通する基本事項を学習する。

作品実作の過程で、受講者が自らの言語観・文章観を検討しつつ、より自由で科学的な方法と理論を習得することをめざす。

1. ことばとの自由で柔軟な関係を回復するためのトレーニングを経て、ことばを操ることのたのしさを体験する。
2. 創造的な文章を目標として、いくつかの作品（作文）を試みる。
3. 文章制作過程の、各段階ごとに制作技法をとりあげ、実作体験しながら学習する。
4. 自己の制作経験をふり返りながら、意識の働きと技法の両面において、普遍的法則をさぐりあてる。
5. その結果を、各自に文章表現法として体系化することを試みる。
6. さまざまなジャンルの多彩な文章に触れて、文章表現の可能性をひろげるようにする。

### 【授業計画】

実作（実習）と理論化のための講義と作品鑑賞、この三つをくり返しながらすずめる。

### 【評価方法】

授業の中で制作する作品群、および期末試験によって行う。

### 【テキスト】

新作文宣言（梅田卓夫ほか著 筑摩書房 951円）

高校生のための文章読本（梅田卓夫ほか編 筑摩書房 922円）

**書道（書写を中心とする） a・b**

堀内千恵子

3年 前・後期 選択 各2単位

**【授業の概要】**

王羲之を中心の中国書道史、空海を中心とした日本書道史をベースに、臨書、鑑賞などの実技を通して、書法の習得をはかる。ある程度、心眼が高まったところで、創作活動への意欲を高め、個々の感性によった作品を創作し、今日的な書の表現はどうあるべきか、芸術としての書の在り方を考えさせる。

<前期>（中国書道史と日本書道史をいれかえる場合もある）

中国書道史（古典と臨書 書法と創作）

◇太古～秦代・篆書・書の意義と特質

◇漢代～六朝時代

◇隋～唐時代

◇宋～現代まで

- ・多様化した書道・かな
- ・べん習字・書道展の鑑賞

<後期>

日本書道史（臨書と創作 書法と書法）

◇奈良朝以前・かな・用筆法

◇奈良時代～平安時代

- ・遣唐使と三筆
- ・和様体と三蹟・創作（気脈貫通 運速緩急）

◇鎌倉時代～現代 少字数の作品 多字数の作品・結構法・用墨法・創作方法

- ・禅林風と和様体 近代詩文の作品
- ・空海の書法と人
- ・寛永、幕末の三筆

**【授業計画】**

理論（書道史、書論）40分程度 実技 50分程度

必要に応じて、プリント（顔真卿・良寛・空海等）や手本を配布する。

**【評価方法】**

・出席日数 ・毎回提出の課題の評価（10段階） ・べん習字 ・創作活動の評価 ・理論の少テスト ・レポートなどの評価 以上の内容の総合評価

**【テキスト】**

書道の旅（堀内千恵 中部日本教育文化会）

**言語学概論 a・b**

田中春美

2年 前・後期 必修 各2単位

**【授業の概要】**

国語学と英語学の基礎をなす言語学の広大な分野を概観する。人間の言語に共通する特性、どの言語にも適用できる分析手順、そして、言語学と関連科学が協力する学際的分野をいくつか学ぶ。

**【授業計画】**

前期は、言語の習得、動物の伝達と人間の言語、言語の構造、音声学と音韻論、文法、意味論などを概観する。実例は、できるかぎり英語と日本語を用いるつもりである。

後期は、やはり英語と日本語を中心として、言語の系統、世界の諸言語、言語地理学、言語の変種、言語と社会、言語教育などを学ぶ予定。

**【評価方法】**

前後期とも、筆頭試験を主として評価の中心にする。ただし、学期中に提出してもらい1～2回のレポートも、評価に加える。

**【テキスト】**

言語学入門（田中春美ほか著 大修館書店 1,700円）



## 言語文化基礎演習 a

窪田守弘

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本の言語教育は、学校の国語教育の中でなされるのが普通であるが、それは文学鑑賞や文法教育などが主な内容となっていて、生きた日本語の言語表現を学ぶ機会はほとんどないといえる。そのために日本人でありながら、日本語で文章を書くことを苦手とする人が意外に多いようである。そこで、日本人の様々な言語表現に着目して、学生の日常生活の中から具体的な資料やデータをもとに日本語表現の在り方を考えてみる。

次に日本の代表的な作家である夏目漱石の作品を通して、日本語が文学の領域でどのように表現されているかを考える。漱石は日本の代表的な作家でありながら、作品の内容をよく知らない学生もいるので、これを機会に彼の主な作品の担当を決めて発表し、それをもとにディスカッションへと進めていきたい。なお、漱石については、彼の伝記や創作活動を整理して知識を深める。

### 【授業計画】

テキストをもとに日本人の言語表現の多様性や傾向を調べる。そして、日本人の言語表現の一般的知識をもとに夏目漱石の作品からその表現形式の特徴を分析する。漱石の作品は学生グループ発表を中心として進める。

### 【評価方法】

学期末の試験、グループ発表、出席状況などで判断する。

### 【テキスト】

日本語表現 窪田守弘著 晃学出版 2,700円

## 言語文化基礎演習 b

外池俊幸

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

研究論文作成の方法を学ぶ。

論文を作成するという事は、文献を探し、トピックを選び、下書きを書き、それを様々な観点から検討し、何度も手直しをする過程を経ることです。そういう過程を経なければ、いい論文は書けません。論文を書くということはそういうことだということを学び、各自が興味を持った問題についてterm paperを作成するところまで行きます。

1. 佐伯 胖 (1986)『認知科学の方法』認知科学選書 10、東京大学出版会の第1章「おもしろい研究をするには」を読み、論文を書くこと、言い換えると問題点をどう整理すればよいかを学ぶ。
2. グループ討論：いくつか論文を取り上げて、グループに分かれて内容の検討を行う。
3. 個別発表：各自が興味を持った問題を選び、term paperを作成する。手直しが必要なので、どう手直しするのがいいかを授業中に議論する。

### 【授業計画】

1. 全体を方向付けるために佐伯 胖 (1986) の第1章を各自が読む。
2. 取り上げる予定のトピック、領域に関しての概論書を挙げるので、その中から各自が興味のあるものを選び、それを読む。
3. 個々のトピック、領域ごとに面白いと考えられる論文を挙げるので、各自がその中から興味のあるものを選び、関連する文献などを探し、term paper にまとめることを目標に先へ進む。

### 【評価方法】

演習への参加状況、意欲、作成過程と結果として出来上がった term paper により評価する。

### 【テキスト】

ある1冊の本をテキストとしては指定しない。

授業中に参照して欲しい複数の文献を指示するという方法で進める。

## 言語文化論 I 1 (中国)

馮 富 榮

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

映画という窓口から、中国及び中国の文化をのぞきみる。つまり、中国の映画を通して、中国の歴史、社会的変遷、中国の民族及び中国人の風俗習慣、物事の考え方を幅広く紹介する。

### 【授業計画】

あらかじめ各授業の中心テーマを定めておく。予習として、それぞれのテーマを反映している映画を各授業の前の課外時間に見た上で、質問と感想を書く。授業では、まず各中心テーマについて講義し、その後、質問に答える時間を設定する。最後に各中心テーマについての感想を述べ合い、風俗習慣や物事の考え方における日本と中国との違いを検討する。但し、受講者数によっては授業の進め方に多少変更する可能性がある。

### 【評価方法】

課題の提出状況、受講態度、出席率及び期末レポートにより評価する。ペーパーテストは実施しない。

### 【テキスト】

なし。

## 言語文化論 I 2 (ロシア・東欧)

杉本一直

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

20世紀初頭から現在にいたるロシア文化の特質を特に芸術分野に焦点を当てて考察する。映画、絵画、詩、小説、バレエ、音楽など、具体的に作品を紹介しながら、ヨーロッパにおける芸術運動と比較していく。

### 【授業計画】

- a. ロシア・アヴァンギャルドの詩人たち
- b. 20世紀初頭の映画と映画理論：エイゼンシュテインを中心に
- c. ディアギレフとロシア・バレエ団
- d. ロシア・アヴァンギャルドの画家たち
- e. 抽象絵画の巨匠：カンディンスキイとマレーヴィチ
- f. 現代の作家たち：ペレーヴィンを中心に
- g. 亡命芸術家たち：ナボコフとシャガール

### 【評価方法】

出席状況とレポートによる

### 【テキスト】

プリント配布。



## 言語文化論 I 3 (フランス)

清水ベアトリックス

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ヨーロッパ文明の発祥の国フランスについての理解を深めることはヨーロッパ文化を理解するうえで重要である。フランス語とフランス文化の概要を学ぶことにより、フランスへの関心と理解への動機づけとしたい。

#### 前期

このコースは、受講者の興味を考慮に入れ授業内容を考えたい。現代フランス社会と日常使用されているフランス語を学ぶとともに、担当講師（フランス人）の在日体験談を交え、フランス・日本両国を言語・文化の面から比較検討する。

とにかく、下記のテーマで行う。

- ーフランスの地理
- ーフランスの建国
- ーフランス国民の起源
- ーフランスの社会問題
- ーフランスの家族
- ー教育制度
- ーフランスとヨーロッパ
- ーフランス人と余暇など。

#### 後期

前期と同じ。

### 【授業計画】

毎回、担当教員が指定したテキストの章について議論し、テレビや新聞で報道されたフランスに関する時事問題の中で特に学生の関心を引くようなものを選んで、解説したい。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題（テキストや映画についての感想文）、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

変貌するフランス（西永良成 日本放送出版協会）

## 言語文化論 I 4 (ドイツ)

藤井たぎる

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ドイツ・オーストリアの生活文化とその言語。現代のドイツ・オーストリア事情の一端を紹介しながら、ドイツ・オーストリアのいろいろな「顔」を発見してもらう。

### 【授業計画】

下記のようなさまざまな日常的なテーマを取り上げて、ドイツ・オーストリアの事情を日本のそれと比較しながら両者の類似性と差異をみてゆく。また初歩的なドイツ語会話の練習もあわせておこなう。

- 1) ドイツ・オーストリアの風土
- 2) ドイツ・オーストリアの近現代史
- 3) ドイツ・オーストリアのマス・メディア
- 4) ドイツ・オーストリアの衣食住
- 5) ドイツ・オーストリアの消費生活
- 6) ドイツ・オーストリアの芸術文化

講義形式ではあるが、授業中にいろいろな意見を求め、各自の考えるところを積極的に発言してもらう。必要に応じてプリントを配布する。

### 【評価方法】

筆記試験。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配付する。

## 言語文化論 I 5 (スペイン)

木下 登

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

変化に富んだ風土と長い歴史に生まれ、多様性に満ちたスペイン文化の特質と魅力を浮き彫りにする。そして最終的には、わが国の文化との比較を試みる。

### 【授業計画】

1. スペインの大地
2. スペインの歴史概観
3. ローマ時代 (セネカ)
4. 西ゴート時代 (イシドーロ)
5. イスラーム・スペイン時代 (イブン・トゥファイユ)
6. カトリック・スペイン時代
7. 大航海時代 (ラス・カサス)
8. 19世紀のスペイン
9. 現代のスペイン
10. まとめ

### 【評価方法】

筆記試験に出席状況を加味して評価。

### 【テキスト】

授業中に指示します。

## 言語文化論 I 6 (中東)

奴田原睦明

集中 2・3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

異文化としてのアラブ世界を概観し、そこにおける社会、人間、文化を大きく定着民と非定着民のそれに分けて比較しながら論じる。その際主として近現代に書かれたアラブの文学作品及びアラブ世界における体験を通して講義を進めたい。

### 【授業計画】

- 第1講 概論；アラブ世界及びアラブ文学について
- 第2講 各論；エジプト。エジプト的性格。
- 第3講 各論；エジプトの作家と作品。
- 第3講 各論；パレスチナの作家－カナファアーニー
- 第4講 各論；スーダンの作家－タイブ・サーレフ
- 第5講 各論；モロッコの作家－ラアビー
- 第6講 各論；定着民と非定着民の比較及びベドウィンの特性
- 第7講 各論；トウアレグ族に帰属する作家・イブラヒーム・コーニーの世界 その1
- 第8講 各論；コーニーの世界 その2
- 第9講 各論；異文化体験 W・Thesigerの沙漠探検
- 第10講 各論；異文化体験 シリア沙漠においてベドウィンと暮らす。
- 第11講 各論；異文化を見る視座
- 第12講 レポート作成

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験（レポート）の成績によって評価。

### 【参考書籍】

遊牧の文学（奴田原睦明著 岩波書店）



## ことばと文化 a・b

川村陽子

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文化や社会がもつ特性が人間の言語行動とどのように関わっているかについて、さまざまな観点から概説する。さらに、日本語と英語の表現形式を具体例として取りあげ、日本語は状況に焦点をあてた言語であり、英語は人間に焦点をあてた言語であるということについて検討していく。これらの日本語と英語の表現形式の比較・分析をとおして、それぞれの言語と文化の関連性を考えてみよう。前期・後期いずれかのみ履修、また通年の履修も可能なように、授業内容については配慮する。

### 【授業計画】

前期 [ことばと文化 a]

- 第1～3講 概論 ことばと世界の認識
- 第4～6講 概論 ことばの構造と文化
- 第7～9講 各論 会話における省略
- 第10～12講 各論 所有表現と存在表現
- 第13講 定期試験

後期 [ことばと文化 b]

- 第1～3講 概論 ことばと世界の認識
- 第4～6講 概論 ことばの表現形式と文化
- 第7～9講 各論 主語の省略
- 第10～12講 各論 名詞表現と動詞表現
- 第13講 定期試験

### 【評価方法】

出席および授業のための準備と期末レポート、あるいは定期試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 比較文化論

松本青也

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日米文化の比較

何気なく喋ったり、行動したりしているつもりでも、私たちは常に自国文化の影響を受けています。「文化」を、集団が共有する価値観や規範の体系としてとらえ、日本人とアメリカ人の考え方や生き方を豊富な事例をもとに比較対照しながら、それぞれの文化の特質を浮き彫りにします。

アメリカのテレビ番組や新聞雑誌の分析を加えながら講義と意見交換で進行するこの授業は、いわば自国文化に縛られた自分の姿を映し出す鏡。覗いてみると、もっと自由で伸びやかな生き方が目の前に広がります。

### 【授業計画】

1. 文化論
- 2～9. 文化変形規則 (CTR)
10. システムとしての CTR
11. 研究対象としての CTR
12. 日本語の衝突と CTR
13. CTR と学校英語教育
14. これからの日米文化

### 【評価方法】

レポート、学習態度、出席状況による総合評価。

### 【テキスト】

松本青也『日米文化の特質』研究社

## コミュニケーション論 a・b

ダニー・T. モルデン

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will introduce students to the study of communication in English. Students will learn about the theory of communication in a variety of contexts from interpersonal (one to one) to public (one to many).

### 【Schedule】

The topics covered will include:

1. General communication theory
2. Interpersonal communication
3. Intercultural communication
4. Small group communication
5. Public communication

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance and quizzes conducted in English.

### 【Textbooks】

There is no assigned textbook for this course.

## 異文化コミュニケーション a・b

高井次郎

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

異文化コミュニケーションは、文化的背景の異なる二者間の社会的相互作用のことを意味します。人々のものの見方の大部分は文化によって決定されます。その文化が違っていたら、コミュニケーションにおける意志疎通の問題が生じ、誤解の原因になります。異文化コミュニケーションはいかにすれば、こうしたコミュニケーションの障害を最低限に抑えられるのかを追究する学問です。前期はコミュニケーションの基礎を中心に取り上げ、後期は心理学の観点から異文化コミュニケーションをアプローチします。

原則として授業方式は、講義としますが、内容を理解しやすくするため、集団討議法や経験学習法をなるべく多くもうけたいと考えています。

### 【授業計画】

前期は、コミュニケーションの機能と過程、文化とコミュニケーション、言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション、対人認知、ステレオタイプ、人種偏見、人種差別、異文化間コンピテンス、異文化間トレーニング等について検討します。

後期は、文化の類型、文化と認知、文化と子育て・家族、文化と性差、文化と攻撃性、文化と対人関係、在日留学生問題、帰国子女問題、在日外国人問題等を取り上げます。

### 【評価方法】

期末試験をもって成績の評価を実施します。

### 【テキスト】

前期 異文化コミュニケーション論 (古田暁監修 有斐閣選書)

後期 比較文化心理学 (田中国夫訳 北大路書房)



## 言語文化特殊講義 1 a・b

松本雄子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文化とコミュニケーションの関係は、私たちが思っている以上に複雑であり、互いに強く影響しあっている。ここでは「異文化間コミュニケーション」の特徴や重要性について検討する。

### 【授業計画】

前期は、異文化間コミュニケーションの基礎概念や理論を中心に講義する。文化によるコミュニケーションの違いだけではなく、地域、社会的階層、性別、年齢によるコミュニケーションの違い等にも焦点をあてる。

後期は、前期に学んだ概念や理論をもとに、実際にグループで簡単な調査をし、発表してもらう。過去の調査研究や、様々な調査方法等を説明しながら、授業時間も使って調査を進める。

### 【評価方法】

前期はテスト。後期は、グループ研究の成績によって評価する。

### 【テキスト】

特になし。必要に応じてプリントを配付する。

## 言語文化特殊講義 2 a・b

渡辺かよ子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

「教養」に関する比較思想史：日本語の「教養」という言葉はギリシャ語のパイディアの翻訳であるドイツ語のBildungのさらなる翻訳として定着した。「教養」をめぐる各国の思想史を概説し、国際化・高齢化・情報化の進展の中で、今後の自己教育としての教養はいかにあるべきなのかを討議する。

### 【授業計画】

前期 a：高等教育と「教養」の比較思想史

- 1：ギリシャ時代の教養
  - 2：中国の伝統的教養と科挙
  - 3：中世の大学と教養
  - 4：19世紀以後の英独仏米の高等教育と教養思想
  - 5：旧植民地・「発展途上国」の高等教育と教養
- 後期 b：近現代日本の高等教育と教養論

- 1：日本の高等教育と教養思想の概説
- 2：大正教養主義
- 3：1930年代の教養論
- 4：戦後の一般教養思想
- 5：現代の教養論：多文化主義と教養

### 【評価方法】

平常レポートと討議。

### 【テキスト】

変わる社会と大学(牟田博光編著 放送大学教育振興会)  
新しい教養を拓く(筒井清忠編 岩波ブックレット)

### 【参考書籍】

教養とヒューマニズム(村瀬裕也 白石書店)  
知の文化と型の文化(鹿毛誠一 創文社)  
比較高等教育論(アルトバック 玉川大学出版部)  
高等教育システム(クラーク 東信堂)  
大学の誕生と変貌(横尾荘英 東信堂)  
現代の大学・高等教育(喜多村和之 玉川大学出版部)  
学歴貴族の栄光と挫折(竹内洋 中央公論新社)  
教養の復権(沼田裕之他 東信堂)  
近現代日本の教養論(渡辺かよ子 行路社)  
ディスタンクシオン(ブルデュー 藤原書店)

## 言語文化特殊講義 3 a・b

木下 登

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

スペインの国民性とスペイン文化の華である芸術（絵画、建築、音楽）の関係を考察する。ビデオ教材を活用する。

### 【授業計画】

1. スペイン論の系譜
2. スペインの絵画（エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤ、ピカソ、ダリ）
3. スペインの建築（ロマネスク、ゴシック、バロック、モデルニスモ）
4. まとめ

### 【評価方法】

筆記試験に出席状況を加味して評価。

### 【テキスト】

授業中に指示します。

## 言語文化特殊講義 4 a・b

馮 富榮

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中国語の文章を読むことによって、中国の言語・文化を知り、考える。

主として、以下のことを紹介する中国語の文章を作成して、授業を進めていく予定である。

「三皇五帝」、「甲骨卜辞」、「姓氏」、「老庄之学」、「臥薪嘗胆」、「稷下学宮」、「孫子兵法」、「晏子」、「絲綢之路」、「4大発明」、「三顧茅廬」、「漢字文化」、「万里長城」、「中国女皇」、「中秋節」

以上の文章を学習することによって、中国の言語・文化を含め、中国の歴史、文学、風俗習慣についての知識を身につけること、中国語の実力をアップさせることをこの授業の目標とする。ゆえに、中国語の力のある程度身につけたい学生は、ぜひこの授業を履修してほしい。

### 【授業計画】

あらかじめ、次回の授業で使う文章を全員に配り、予習として各自が分からない箇所を調べてくる。授業は、朗読の練習から入り、そして文章の翻訳を行う。翻訳は学生を主体にして行うが、分からないところは、教員側から説明を加える。翻訳のあと、文章の中に出ている中国語の常用文型などについて、教員側から説明を行う。さらに、中国語を用いて、内容の概要を述べたり、感想を書いたりすることもときどき行う。

### 【評価方法】

課題の提出状況、受講態度、出席率及び期末レポートにより、評価する。期末のペーパーテストは実施しない。

### 【テキスト】

自作教材。



## 言語文化特殊講義 5 a・b

ジェニファ・J. マギー

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This class will examine American idiom and metaphor as a way of understanding some Western cultural assumptions. Students will be exposed to a variety of English idiomatic expressions and assumptions and will compare these idioms to Japanese idioms and metaphors. Cultural differences will be explored in depth.

### 【Schedule】

The first few classes will be an introduction to metaphor and idiom. Later classes will examine different idioms and metaphors in greater depth. Students will often be asked to bring literal and figurative translations of Japanese idioms to class.

### 【Assessment】

Classroom attendance, participation, and homework will account for about 50% of the course grade. Quizzes over English idiomatic expressions and metaphors will account for the remaining 50%.

### 【Textbooks】

There is no set for the class, but there will be occasional readings assigned in both English and Japanese.

## 言語文化演習 I a・b (コミュニケーション論)

ジョリー幸子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

当演習は、我々の日常のコミュニケーションの93%を占めると言われる「非言語コミュニケーション」について学ぶもので、異文化コミュニケーションの一下位分野である。

### 【授業計画】

- 第1週 コースオリエンテーション (前期)
- 第2週 動作学 (Kinesics)
- 第3週 近接学 (Proxemics)
- 第4週 領土性 (Territoriality)
- 第5週 接触学 (Tactility・Haptics)
- 第6週 嗅覚 (Olfaction)
- 第7週 空間学 (Space)
- 第8週 時間学 (Chronemics)
- 第9週 対物学 (Objectics)
- 第10週 準言語 (Paralinguistics)
- 第11週 環境要素 (Environmental Factors)
- 第1週 コースオリエンテーション (後期)
- 第2週 研究企画と方法 (Research Methodology)
- 第3週 文献録作制 (Bibliography・Reference)
- 第4週 リサーチ：Reading・Discussion
- 第5週 リサーチ：Reading・Discussion
- 第6週 リサーチ：Reading・Discussion
- 第7週 リサーチ：Reading・Discussion
- 第8週 Presentation・Report作制
- 第9週 Presentation・Report作制
- 第10週 発表 (1) (2) (3)
- 第11週 発表 (4) (5) (6)
- 第12週 発表 (7) (8) (9)

### 【評価方法】

演習への出席、ディスカッションへの参加、発表、レポート等を総合的に判断する。

### 【テキスト】

1. 世界60カ国比較文化事典、T.モリスマン、マクミラン
2. 日本の常識はどこまで通じるか：異文化交流で失敗しないように。ジョリー幸子。風媒社

### 【参考書籍】

比較生活文化事典、金山盲夫  
大修館

Gestures: DOs and TABOOs of Body Language Around the World. Roger E. Axtell, Wiley.

## 言語文化演習 I a・b (中国学)

馮 富 榮

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中国語のミニ小説を通して現代中国を見る。

ミニ小説を通して、現代中国の各側面、すなわち、文化大革命、中国人の日常生活、家族構成及び家族内の人間関係を紹介し、そして激変している中国の社会・中国人の人生観・価値観・金銭観などを捉えようとする。そのほか、中国語の語学力アップもこの授業の目標である。

### 【授業計画】

あらかじめ授業で使うミニ小説が配られ、分からない単語などを学生たちが各自に調べてくる。授業は、朗読の練習から入り、徹底的に発音の指導を行う。その次、文章の翻訳を行うが、学生を主体にして翻訳作業を進める。分からないところは、教員側から補足的な説明を加える。1つのミニ小説が学習し終わった後、中国語で感想文を書く練習もする。またミニ小説の内容についてディスカッションを行い、日本と中国の違いを討論する。

### 【評価方法】

レポートの提出状況、受講態度、出席率及び期末レポートにより評価する。期末のペーパーテストは実施しない。

### 【テキスト】

プリントと自作教材。

## 言語文化演習 I a・b (批評理論)

杉本一直

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

さまざまな国の20世紀文学を読み、現代文学が扱ってきたいくつかの共通する問題について考察する。物語上の主題だけではなく、技法や構成面も視野に含め、理論的な作品評論を目指す。

### 【授業計画】

- a. 幻想小説というジャンル：ラテン・アメリカ文学を中心に
- b. メタフィクションとは何か：イタロ・カルヴィーノとジョン・バース
- c. 文学的主题としての「記憶」：ウラジーミル・ナボコフ
- d. 意味の不在、肉体の不在：サミュエル・ベケットとポール・オースター
- e. パロディとパステイッシュ：清水義範とウンベルト・エーコ
- f. 詩のアヴァンギャルド：フレーブニコフとマヤコフスキ

### 【評価方法】

レポートによる。

### 【テキスト】

プリント配布、授業中に指定した書籍。



## 言語文化演習 I a・b (日本語学)

山内啓介

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本語学、日本語の諸問題を演習する。

日本語の音声学、日本語の文法、言葉の意味、語彙論、国語の歴史、そして日本語教育の分野にわたってともに学ぶ。日本語表現と日本文化の探求にもおよびたい。演習は各参加者が問いを立ててトピックとし、調査をして発表する。

### 【授業計画】

日本語の音韻と文法の問題をテーマとする。

前期は、各自が問題を設定して文献探索、フィールド調査を行い、アンケートや聞き取りを実行して発表する。問題意識を確かにしてアンサーを見つける過程の解決方法の重要性を知り、また、発表内容につき議論を交わすことで、プレゼンテーションを深化させる。後期は専門の文献を選び、輪講の形式で同様に発表と議論を行う。発表者は担当部分から問題を出して解説をすることで、調査と整理の中から新しい気付きを得るようにする。発表の順はエントリーを行い、担当予定日に担当者が欠席しないことがルールである。ルールをまもらないことは参加者全員の授業が成立しなくなるので許されない。事情があればゼミの全員に変更を申し出ることで、順番が調整される。

### 【評価方法】

プレゼンテーションまたはレポートによる。出席重視。

### 【テキスト】

発表レジュメ。文献をコピーして配布。

### 【参考書籍】

言語学大辞典日本語の項目 (三省堂)

## 言語文化演習 I a・b (対照言語学)

窪田守弘

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

対照言語学は、まだ新しい分野であるためにその定義づけが明確化されていない。しかし異なった言語体系を比較研究することは変わらないわけで、問題はその方法論にある。本演習では言語と文化の関係を、日常最も目に触れる映像を通して考えてみる。特にテレビのコマーシャルは一つの映像文化であり、異文化の映像を対照しながら、分析を試みようとするものである。従ってここではコマーシャルを多角的に研究することが、言語と文化の新しい体系化を図る一方法だと考えている。

<前～後期>

1. 映像の世界に触れる
  - ①映画の歴史と鑑賞法
  - ②シナリオの基礎知識の習得
  - ③映画製作の実際 (8mmとビデオ撮影の実演)
2. テレビコマーシャル論
  - ①学生による発表
  - ②字幕と文化の関係の分析と比較
  - ③独自のシナリオ作成へのチャレンジ

### 【授業計画】

映像文化の理論と実践を同時併行で進める。ゼミは発表を中心にするが、その際コンピュータ、デジタル放送などの映像を使い、多角的に分析を行なう。

### 【評価方法】

毎回の発表と学期末のレポートで評価する。

### 【テキスト】

- ①シナリオの基礎Q&A 新井一・他著 ダヴィッド社 987円
- ②ハリウッド・ロード 窪田守弘著 晃学出版 400円

## 言語文化演習Ⅰ a・b (言語行動)

外池俊幸

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

言語を手がかりにヒトの特性を考える

言語を手がかりに、ヒトの特性を考えたいのですが、社会言語学的な問題、心理学的な問題なども含めて、いくつか具体的な問題を挙げますから、それに関連した論文などを読み、その内容をまとめて報告し、問題点に関して議論を行う。個人あるいはグループで、具体的な問題を選び、その検討を進めてもらいますが、最終的には個人が個別に論文をまとめるところまで行きましょう。

### 【評価方法】

演習への参加・貢献の度合い、レポート、出席状況などにより評価します。

### 【テキスト】

個々のテーマを選ぶ際に、以下に挙げる文献が扱っている内容にこだわる必要はないが、最近の研究、特に脳に関する研究から、ヒトの特性に関してどういうことが明らかになってきているかを知るために読んで欲しい。手に入るものを探して、読んで下さい。ゼミのはじめに取り上げます。

1. 愛は脳を活性化する 日本物理学会誌 vol.48, no.7, pp.535-541 (松本元 (1993) 岩波科学ライブラリー 岩波書店)
2. 脳から見た全体 数理科学 no.368, pp.25-32. (松本元 (1994))
3. 愛は脳を活性化する (松本元 (1996) 岩波科学ライブラリー 岩波書店)

ゼミで取り扱う問題への導入としては、次の二つを挙げます。これもゼミで取り上げます。

認知科学の方法 (佐伯胖 (1986) 認知科学選書10 東京大学出版会) (特に、第1章「おもしろい研究をするには」)

言語の科学入門 (今井邦彦他 (1997) 岩波講座言語の科学1 岩波書店)

## 言語文化演習Ⅱ a・b (コミュニケーション論)

高井次郎

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

異文化コミュニケーション学、文化心理学、および異文化間心理学に興味のある学生、そしてさらに計量的な方法での研究に関心のある学生のための演習です。いずれの学問に該当するテーマで個人・共同研究を実施します。前期を中心に研究法の検討を行い、コンピュータによるデータ処理の実習も実施する予定です。後期は各自の研究プロジェクトを展開します。毎回の演習を一種の研究会とし、それぞれの研究の発展状況についての報告を行います。

### 【授業計画】

前期は科学的研究の基礎、理論の実証、測定の基礎、実験研究の基礎、調査法の基礎、面接法の基礎、統計学の基礎、および統計実習を予定しています。

後期は統計学の応用、マイクロソフト・エクセルにおける分析法、研究報告書の書き方、データ呈示法などについての実習を行います。

### 【評価方法】

前期は研究計画書および演習における発表の内容をもって評価し、後期は完成された研究報告書をもって評価します。

### 【テキスト】

社会心理学研究入門 (末永俊郎 東京大学出版)

本当にわかりやすいすごく大切なことがかいてあるごく初歩の統計の本 (吉田寿夫 北大路書房)



## 言語文化演習Ⅱ a・b (中国学)

馮 富 榮

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中国語の学習過程における母国語及び母国の文化の影響について

一主として、日本人を対象として—

日本語と中国語との比較研究及び両国の文化比較に関する研究文献(中国語の文献と日本語の文献の両方あり)を多く活用することによって関連研究の流れと現状を把握する。そして、日本人の中国語の学習過程における問題点を探り、母国語及び母国の文化・習慣による干渉という視点から問題点の出る原因を検討する。この授業の最終的な目標は、1年間を通じて一人に1つの論文を完成する。

### 【授業計画】

ゼミの最初に授業の主旨、全体的な進め方について説明し、第二言語の学習過程における母国語及び母国の文化・習慣の影響に関する文献、また日・中両言語の比較研究を参加者が各自に調べてくる。それを次の授業までに読んでおき、その論文の要旨及び問題点を次の授業でゼミのみんなに発表して、それについて討議する。そうしたことを2、3回繰り返すことによって、自分の関心のあるテーマを見つけ、今後取り組むテーマを選定する。その後、交替で自分の研究の進捗を発表し、他のゼミ生から自分の研究の次のステップへのアドバイスを、そして教員側からその指導を受ける。

### 【評価方法】

レポートの提出状況、受講態度、出席率及び最終的な論文により評価する。期末のペーパーテストは実施しない。

### 【テキスト】

なし。

## 言語文化演習Ⅱ a・b (批評理論)

杉本一直

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

演習Ⅰに引き続き、現代文学の講読と作品評論を行なう。演習Ⅱでは評論により重点を置き、ロシア・フォルマリズムに始まる現代の文学理論を学ぶ。

### 【授業計画】

◆文学理論については以下の項目を学ぶ。

- ロシア・アヴァンギャルド文学とロシア・フォルマリズム
- ロマン・ヤコブソンと構造主義
- メタフィクションとディコンストラクション批評
- 受容理論と「読者」

◆文学作品は以下の作家の作品を講読する。

ポール・オースター、ホルヘ・ルイス・ボルヘス、アルベール・カミュ、ヴィクトル・ペレーヴィン、イタロ・カルヴィーノ、安部公房、ウラジーミル・ナボコフ

◆また、卒業論文(またはゼミ終了論文)の計画、資料収集、執筆の過程において、各学生が経過発表を行う。

### 【評価方法】

研究発表とレポートによる。

### 【テキスト】

プリント配布、授業中に指示した書籍。

## 言語文化演習Ⅱ a・b (日本語学)

山内啓介

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本語学、日本語の諸問題を演習する。

日本語の音声科学、日本語の文法、言葉の意味、語彙論、国語の歴史、そして日本語教育の分野にわたってともに学ぶ。日本語表現と日本文化の探求にもおよびたい。演習は各参加者が問いを立ててトピックとし、調査をして発表する。

### 【授業計画】

日本語の音韻と文法の問題をテーマとする。

前期は、各自が問題を設定して文献探索、フィールド調査を行い、アンケートや聞き取りを実行して発表する。問題意識を確かにしてアンサーを見つける過程の解決方法の重要性を知り、また、発表内容につき議論を交わすことで、プレゼンテーションを深化させる。

後期も前期と同様に、各自のテーマを追求する。

発表の順はエントリーを行い、担当予定日に担当者が欠席しないことがルールである。ルールをまもらないことは参加者全員の授業が成立しなくなるので許されない。事情があればゼミの全員に変更を申し出ること、順番が調整される。

### 【評価方法】

プレゼンテーションまたはゼミ論による。出席重視。

### 【テキスト】

発表レジュメ。文献をコピーして配布。

### 【参考書籍】

言語学大辞典日本語の項目 (三省堂)

## 言語文化演習Ⅱ a・b (対照言語学)

窪田守弘

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

3年次の演習として、映画製作やシナリオの書き方を一通り学んだので、学生が本格的に自己の研究課題を仕上げるための準備をする。このゼミでは既に対照言語学的な視点から映画字幕を分析して来たので、今後は各自が自分なりの視野から研究テーマを絞って考えていくようにする。卒業作品はあくまで自己の思想をいかに体系化するかが問題となるので、丹念に分析する必要がある。

<前～後期>

ゼミは各自の研究テーマを毎回発表し、それにコメントを加えていく形式にする。学生は、発表を通じて課題を完成し、最終的にそれが卒業作品となるよう配慮する。

### 【授業計画】

発表者が毎回レジュメを配布し、それに沿って研究発表を行なう。

### 【評価方法】

毎回の発表内容や態度、作品などで最終的に評価する。

### 【テキスト】

英文翻訳テクニック 柴田耕太郎著 ちくま新書 680円



## 言語文化演習Ⅱ a・b (言語行動)

外池俊幸

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

言語を中心に、認知科学の成果を学ぶことにより、ヒトはどのような特性をもった生物なのかを考える。学際的な領域である認知科学では、言語学の問題、心理学の問題などに関して、様々な興味深い成果があがっている。そのうちのいくつかをトピックとして取上げる。

### 【授業計画】

取り上げるトピックとそれを扱っている文献を示すので、自分が選んだ文献を読み、授業で発表する。受講生全員で、その問題について討論する。担当者は、そこであきらかになった問題を解決するために関連する文献をさがし、その結果を授業で発表する。最終的には、受講生全員が、自分が選んだトピックで論文をまとめるところまでいく。

### 【評価方法】

演習への参加・貢献の度合・出席状況・論文の内容で評価する。

### 【テキスト】

特定のテキストは使わない。受講する前に、長尾真著『人工知能と人間』（岩波新書、赤版）を読んでおくこと。

## 日本語学Ⅰ (音声)

窪田守弘

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

音声は人間が発音器官を通して発する際の言語音であるが、その器官の構造や機能に関して基本的な知識を整理しておく必要がある。そして、それを十分理解した上で、人間の発音行動とプロセスの関係を明らかにし、コミュニケーションの世界でどのような現象が生じているかを考えてみる。

本講義では、音声学の基礎的な知識のみならず、応用の場面を想定したシュミレーションを行ない、実践的な内容となるように発音練習も行なう。

<半期>おもしろ音声学

1. 音と声の世界
2. 音声学の基礎知識
  - ①母音・子音、半母音
  - ②日本語の音節と拍
  - ③アクセントとイントネーション
  - ④日本語の音調
  - ⑤プロミネンス
3. 標準アクセントと方言
4. 音声と母国語干渉
5. 音声と映像の世界

### 【授業計画】

日本語の音声上の特徴を調べ、その基本的なメカニズムを理解できるようにする。特に、その応用として、音声と映像の関係を明らかにするため、有名な映画作品なども主な補助教材として使用する。

### 【評価方法】

学期末の試験と出席状況で評価する。

### 【テキスト】

日本語学Ⅰ (音声) 窪田守弘 晃学出版 2,000円

## 日本語学Ⅱ（文法・文体）

阿部美枝子

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代日本語の文法現象を整理し、その体系を理解することをテーマとする。

1. 助詞と述語の型
2. 自動詞と他動詞
3. 受動文
4. 使役文
5. 可能文
6. テンスとアスペクト
7. 名詞修飾
8. 提題助詞「は」

以上のような項目について、言語学的、日本語学的に分析していく。

### 【授業計画】

主に講義の形を取るが、随時課題を出すことを考慮している。

### 【評価方法】

学期末筆記試験、及び課題の結果で評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 日本語学Ⅲ（語彙・意味）

山内啓介

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本語語彙・言語的意味について基礎的な知識を得る。語誌と語の意味変化、および語彙論の研究方法を学ぶ。語彙は語の集まりと語のまとまりと把握できる。語を集合として分析するか、意味の体系として捉えるか、その論を理解する。

### 【授業計画】

- 1 はじめに 語と語彙
- 2 語彙論とは何か。 語の単位・語彙調査・語彙表
- 3 語の延べと異なり。 資料体の総量・古典対照語彙
- 4 基本語彙について。 基礎語彙・基幹語彙・語彙量
- 5 語彙の構造。 分類基準・意義・形態・語性・地域
- 6 語誌の研究。 語源・語義・本義・派生義・語構成
- 7 語種。 和語・漢語・外来語・混種語・カタカナ語
- 8 語と意味。 意味とは、意味の捉え方・類義反義語
- 9 語の意味の研究。 指示の意味・意味の基本三角形
- 10 関係の意味。 象徴記号・概念と用法・語義の差異
- 11 意味分析の方法。 文脈の意味・臨時的意味・比喻
- 12 語の意味変化について。 意味の変遷・辞書の記述
- 13 日本語語彙の特徴。 死語・流行語・若者語・造語
- 14 語彙史と辞書史。 字引き・索引・コンコーダンス
- 15 語彙研究の課題・意味研究の将来

### 【評価方法】

定期試験による。出席回数を重視する（80%以上）。

### 【テキスト】

プリント資料を配布。

### 【参考書籍】

授業中に紹介するので、図書館で利用されたい。



## 日本語基礎演習

阿部美枝子

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代日本語の文法現象の中から特に議論の多いトピックを選び、その問題点を掘り下げていくことを狙いとする。ヴォイス、テンス、アスペクト、名詞修飾等がトピックとして取り上げられる。

### 【授業計画】

各トピックにつき演習問題を出し、それを解いていく方法を取る。

### 【評価方法】

学期末筆記試験（レポート併用の可能性あり）、及び各演習問題の結果で評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 日本文化論 I

山内啓介

3年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

日本文化論は前近代化論とポスト近代化論とにわけて把握できる。「前近代化」とは中国文明の影響下にある文化論であり、「ポスト近代化」とは1952年以降の民主化を進める文化論である。しかし、日本人論議に代表されるポスト文化論は前近代化を十分に超克したとは言えない。現代文化はしたがって、近代を継承をしながら何を自覚するか、という日本特殊の議論を探求している。文化と日本人のアイデンティティーについて日本文化論 I では問題点を考察してみたい。

### 【授業計画】

次の項目で講義を行う。

- 1 前近代化の論
- 2 明治期の教育勅語
- 3 ヘルン「神国日本」
- 4 『国体の本義』
- 5 憲法と教育基本法
- 6 ポスト近代化の論
- 7 『善の研究』と哲学
- 8 第二芸術論
- 9 日本人論の論議
- 10 日本社会の構造
- 11 経済状況と文化
- 12 日本語と文化分析
- 13 グローバル文化
- 14 日本文化の特殊説
- 15 個人主義と間人主義  
(附) 文化の再生

### 【評価方法】

定期試験による。

### 【テキスト】

青木保『日本文化論の変容』中央公論社

### 【参考書籍】

随時、指示する。

## 日本文化論Ⅱ

山内啓介

3年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

日本文化の個別議論はステレオタイプに理解されることが多い。そしてさまざまな議論が展開されている。それだけ日本文化の本質が単純なのか、あるいは捉えがたいのか、日本文化の様相は近代化と民主化のはざまにあるようである。わたしたちはどこから来て、どこへ行くとするのか、そして日本文化とはなにもなのか。日本文化論Ⅱでは文化議論に立ち入って検討をして考究を試みたい。なお、この講義は毎回、文献を摂取する。そのつもりでテキストの日本文化論の中から著作を選び、ひとつでも読破することを望む。

### 【授業計画】

次の項目で講義を行う。

- 1 「個人主義」と漱石
- 2 「菊と刀」の義理
- 3 墜落論と私的文化論
- 4 雑種文化論
- 5 文明の生態史観
- 6 タテ社会の人間関係
- 7 日本の経済と集団
- 8 恥の文化
- 9 「甘え」の構造
- 10 文化防衛論
- 11 「日本らしさ」
- 12 「縮み」志向
- 13 権力構造のなぞ
- 14 オリエンタリズム
- 15 国民の歴史  
(附) 文化の概念

### 【評価方法】

定期試験による。

### 【テキスト】

青木保『日本文化論の変容』中央公論者

### 【参考書籍】

多くは文庫本、新書版で入手できる。講談社の学術文庫をはじめ、講談社現代新書など、各社の目録を参照するとよい。

## 日本語教授法Ⅰ a・b

窪田守弘

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本語教授法は、日本語教育関連の科目の中で極めて実践的な分野である。しかし、現実には理論と実践がうまくかみ合わないことがよくあるので、本講義ではその点を十分考えて話を進めていきたい。日本語教育の歴史はまだ浅いので、外国語教授法の歴史の変遷をふまえた上で、基本的な理論を理解し、それを実際に応用できるようにしたい。そのために学生はグループで模擬授業をやって、現場を体験できるように配慮したい。

<前期～後期>

#### 1. 理論篇

- ①日本語教育の特色
- ②母国語と外国語
- ③外国教授法の変遷
- ④日本語教育の歴史
- ⑤日本語教育のテキスト

#### 2. 実践篇

- ①日本語教育の実践  
発音・語彙・文字・文法指導
- ②教案の作成
- ③カリキュラムの立て方
- ④ディスコース・デザイン
- ⑤試験と評価法

### 【授業計画】

日本語教育の実際の現場の様子を知るため、極力多くのVTRを見たり、実習の模擬授業を行うようにする。

### 【評価方法】

学期末の試験や発表内容、出席状況で評価する。

### 【テキスト】

自主プリントノートを使用。



## 日本語教授法Ⅱ a・b

山内啓介

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本語教育の教科書をとりあげて分析する。

日本語教授の実践的知識を得る。

日本語授業のシミュレーションを行う。

日本語教師の能力とは何か、を考える。

語学教育における学習者論、教師論、教材論のうち、教師の立場について講義と模擬授業を行う。教科書の分析には文型積み上げ方式（AOTS）を用いる。

### 【授業計画】

前期

- 1 日本語教育入門・初級の文法授業概要
- 2 表現文型とオーラル・アプローチ
- 3 教室作業の実際をシミュレーション
- 4 話し言葉教材と書き言葉の習得

後期

- 5 日本語教育のニーズアナリシス
- 6 日本語能力試験の標準表
- 7 日本語教育能力資格について
- 8 日本語教育の教授法とは何か

なお、コースデザインによる教育方法をあわせて考察するのでテキストを用いる。

### 【評価方法】

簡単な試験を学期中に、5回の予定。(60%)

出席を重視。(20%) 授業の参加。(20%)

### 【テキスト】

田中望『日本語教育の方法』大修館

### 【参考書籍】

有馬綾子『日本語の教え方の秘訣』（上・下）スリーエーネットワーク [授業には購入しなくてよい]

## 日本語教育教材論

山内啓介

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本語教育の教材は教科書、教具、資料にわけて捉えられ、また、教室環境と教師自身が教材となっていた。教授法の展開から、AL（Audio Lingual）メソッドにおける画期的な教具の開発が行われた後、今日ではPAL時代になって、おおきな変化が現れた。日本語教材でも求められているのは、たとえば言うなら、“とっさの一言”ふうの会話である。日本語の対人コミュニケーションを、そのストラテジーの視点で分析したわかりよい日本語会話である。マルチメディア対応の教材の開発が進められなければならない。日本語資料で扱いやすい、役立つ教材を考察してみたい。

### 【授業計画】

日本語教育で使われる教材の分析を行い、利点と欠点をメソッドとアプローチの違いに位置付け、提示文と語句を場面と文化的背景に捉えなおして、日本語会話の構成を追求して製作を行う。この講義を通して、会話集の実践的演習を試みるので、コミュニケーションの重要性を認識できるように進めたい。

### 【評価方法】

講義の理解。(60%) 出席を重視。(20%)

教材の製作。(20%)

### 【テキスト】

特に定めない。

### 【参考書籍】

各種市販の教科書。

会話用に『生活場面事典』（三修社、西村政人・山内啓介他）、集中教育用に『初級日本語』（久野かおる・山内啓介他、私家版）などがある。

## 日本語教授法Ⅲ（教育実習）

窪田守弘

集中 4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本語教育の実際の状況を知るため、映像や資料を使って実践的な実習を行なう。この教育実習は専門的な内容となるため、これまでに日本語教育に関連する科目を履習しておくことが望ましい。

本学は中国の南京市にある南京師範大学と姉妹校提携を結んでいるが、その日本語学科で実施した日本語教育実習の内容を中心に教育実習を行なう。特に、本学学生の研究授業などを撮影したビデオを主な教材として、実践的な内容にする考えである。

### 【授業計画】

南京師範大学での研究授業のビデオを参考にしながら、学生が実際に模擬授業を行う予定である。

### 【評価方法】

実習に関して独自の考えをまとめたレポートや、出席状況や態度などで、総合的に評価する。

### 【テキスト】

必要に応じてプリントを配布するが、「実習ノート」を作成する予定である。

## 論文

高井次郎 馮 富榮 杉本一直  
山内啓介 窪田守弘 外池俊幸

4年 通年 選択 8単位

### 【授業計画】

<論文提出までの主な日程> (詳細は掲示)

☆4月上旬修登録

☆4月19日(月)「依頼書」提出締切り(4月1日以降、研究棟5階事務室)

☆5月21日(金)「論文概略」提出締切り(5月1日以降、研究棟5階事務室)

以後、指導の日時、梗概提出、初稿提出など、完成論文提出までの詳細は指導教員の指示による。

☆12月17日(金)午後4時:「論文」提出締切(12月7日以降、研究棟5階事務室で受付)

■上記いずれの締切に遅れても論文提出の資格を失う。



## 言語文化海外セミナーⅠ

馮 富 榮

集中 1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

この授業では、言語実践を通して、言葉を知り、理解し、発信し、理解されることの楽しさを体験することができる。また南京師範大学に滞在して生活することで、中国に対する単なる傍観者・観察者ではなく、客観的な目をもった共感者になることを目指す。

1. 南京師範大学において3週間の中国語研修を行う。
  - ◎月曜～金曜の午前中は8:00～11:30まで中国語の授業。日本語のできない先生が中国語で授業するが、分かるのが不思議。内容は会話表現中心。
  - ◎午後は課外活動として南京市内見学（中山陵、南京博物館、玄武湖、夫子廟、南京大屠殺記念館など）を通して、南京の風俗、歴史を学び、日本語学科の学生との交流会などを通して中国人同世代の人の考え方や生活を学ぶ。
  - ◎夜は予習復習に追われる。みんな教室に集まって、黙々と勉強。
  - ◎土曜と日曜は言語実践の日。南京の街へ飛び出そう！
  - ◎風光明媚な「瘦西湖」で名高い揚州へ、庭園で知られている蘇州への一日旅行。
2. 言語文化論Ⅰの講義内容と呼応した1週間旅行。
3. 定員は20名程度。
4. 今年度の2月中旬から3月中旬にかけて実施する。
5. 修了者には2単位を認定する。

### 【授業計画】

4月のガイダンスで研修の内容などを説明する。後期開講科目であるが、参加希望者は履修登録を必ずする。9月下旬頃、参加者最終決定。10月中旬頃、第1回説明会。11月下旬頃、第2回説明会。1月下旬頃、オリエンテーションを実施する。2月中旬頃に出発し、3月中旬頃に帰国する。費用は30万円程度。

### 【評価方法】

引率者が平常点で評価する。

### 【テキスト】

南京師範大学の研修授業の担当先生が決めるテキストを使用する。

## 言語文化海外セミナーⅡ

窪田守弘

集中 1～4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

韓国の大邱市にある大邱暁星カトリック大学で、3週間の語学研修を行なう。参加学生は、必ずしも韓国語の知識は必要でなく、意欲的に異文化体験しようとする者であれば、だれでも自由に参加出来る。ただ、キャンパス内の寄宿舎では規則正しい時間を送りながら語学中心の勉強生活となるので、事前の心構えがしっかり定まっている人が望ましい。

この研修は単に語学や文化の研修をするだけでなく、韓国の学生との交流を通じて相互理解を図り、多くの新しい友人を得ることも大きな目的の一つである。

期間：8月6日～8月25日（予定）

内容：

- A. 韓国語研修（月～金）
  - ◎毎朝3コマ（1コマ50分）
- B. 文化研修（午後週1～2回）
  - ◎陶磁器実習
  - ◎韓国料理実習
  - ◎韓国伝統舞踊鑑賞
- C. 文化講座（午後週1回）
  - ◎韓日文化比較論
  - ◎韓日文化交流論

### 【授業計画】

参加学生は、必ず事前研修（週1回）を受けて、韓国語、文化、歴史などの基礎知識を得ることとする。

なお、参加希望者は、4月より始まるNHKのハンゲル講座を受講することが望ましい。

### 【評価方法】

研修後にレポートを提出し、全員で報告書を作成する。

### 【テキスト】

ムクゲと桜（日韓異文化コミュニケーション）窪田守弘著 晃学出版 350円

下記の科目は、本年度開講しません。

国文学史 a・b

国文学講義 (3) 中世 a・b

国文学講義 (4) 近世 a・b

国文学講義 (5) 近代 a・b

言語文化概論 I

言語文化概論 II

言語文化概論 III

言語文化論 I 7 (アジア)

日本語論 a・b



## 英文法 a・b

宮田 修

1年 前・後期 必修 各2単位

### 【授業の概要】

高校時代までに培った英文法の知識をさらに深め、文法規則の暗記ではなく、実際の言語使用まで踏み込んで学習する。そのため言語の根幹をなす文法事項に的を絞る。後期はさらに実践力を養うためTOEFL、TOEICの文法問題演習とその解説を加える。

<前期 a>

1. 現在時と過去時の表現
2. 未来時の表現
3. 進行形
4. 完了形
5. 仮定法
6. 助動詞

<後期 b>

7. 態
8. 関係詞
9. 不定詞と動名詞の比較
10. 話法

TOEIC問題演習

TOEFL問題演習

その他の演習

### 【授業計画】

テキストは丁寧に解説されている。それを熟読し、例文を理解し、練習問題をやってくる。例文・練習問題は生きた英語の用例が、現代の英米小説、エッセイ、シナリオなどから豊富に集めてある。授業ではテキストの内容および例文の意味について頻繁に質問し難解な部分の解説を行い、重要事項のまとめを行う。例文・練習問題は音声面にも留意しながら進める。後期は、テキストの後半を扱うが、テスト形式で、TOEFL、TOEICの問題もやり、解説する。その他、小説、新聞などから題材を選んで演習を行う。前後期ともに最初の授業でTOEFLの試験を行う。座席指定。

### 【評価方法】

出席状況、授業態度を厳しく評価する。定期試験を実施する。

### 【テキスト】

コーパス英文法（柏野健次・内木場努著 開拓社）

## 英語音声学 a・b

中郷 慶

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

受講生はこれまでに、英語を何年間も学習してきてはいても、おそらく、何が英語の発音の特徴であるのか理解していないように思われるし、十分な発音指導を受けてきたこともないと思われる。

この授業では、音声学・音韻論だけではなく、統語論・意味論・語用論などさまざまな角度から、英語の音声特徴を理論的かつ体系的にとらえることにする。理論に従って、より英語らしく読み、話す実践的練習のほか、聞き取り訓練のための時間もできるだけ取る予定である。授業では、歌や映画など幅広く取り上げて、実践的な解説を加える。

英語を勉強していくうえで、一度、徹底的に英語の音声を基礎から勉強しておくことは不可欠なことである。この授業はヒアリング力の向上にも役立つだろう。

### 【授業計画】

英語（および日本語）の音声特徴の全体像を明らかにするように、次のような内容で授業を進めるが、各項目は独立しているわけではないので、前・後期の受講が望ましい。

前期：発音の基礎知識（声、調音器官等）

- 日本語と英語の音声特徴
- リズムとイントネーション
- 音韻論と音声学
- 語強勢と文強勢

後期：音節

- 音変化（同化・脱落・連結・縮約）
- 母音と子音の発音と聞き取り

### 【評価方法】

出席状況、レポート、定期試験の成績により総合的に評価する。

### 【テキスト】

発音とリズムをマスターする英語音声学（根間弘海、鈴木俊二共著 英宝社）

### 【参考書籍】

授業中に指示。

## English 101 a・b

ダグラス・L. ドイル

1年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

The class will cover the four language skills, with particular emphasis of listening and speaking. This course will give students an opportunity to use English in every class. Students are expected to enthusiastically participate in class.

### 【Assessment】

Assessment will be based on the following:

attendance  
class participation  
diary  
homework/assignments  
tests

### 【Textbooks】

Text: to be advised.

## English 102 a・b

ハリー・T. ノリス

1年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

The objective of this course is to develop the students' ability to interact using English, with a degree of fluency and confidence, with other Japanese people and native speakers. Areas of concentration will include; listening, pronunciation and other speaking skills.

### 【Schedule】

Inter-cultural differences will be explored as will humour and lifestyle, in order for students to gain an overall understanding of English. Teaching methods will include group work and individual work, with the main aim being to expand the students ability to express opinion and fact using English as the tool. Teaching materials will include videos, short stories, songs, poems and other media to stimulate discussion.

### 【Assessment】

Students will have a two part assessment, 1. Class and Home Work, 2. Tests.

### 【Textbooks】

"New Interchange 2" (Cambridge University Press)



## ドイツ語 a・b

浜田義孝

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得することを目標とする。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（あるいはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツ語圏の生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは、全12課で各課とも基本的な文法事項、練習問題、そしてドイツの学生生活をテーマにした読本（ディアローク）で構成されている。

また別冊問題集を宿題として課し、二三週毎に提出してもらい添削する。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

いかがですか大学生生活（森田／田村／川上共著 朝日出版社）

## フランス語 a・b

清水ベアトリックス

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

この授業は初級者を対象とし、フランス語の習得だけでなく、フランスの風俗、文化、習慣も「味わいながら」学ぶことを意図する。担当講師はフランス語の授業を通じて受講者の対仏国理解を深める手助けをすることを切に望む。

#### 前期

日本で出版された平易なフランス語テキスト（CD付き）、漫画、ポップス、ビデオなどを使用する。

前期には、テキストの目次に沿って進み、フランス人講師が直接教えるので、受講者は「フランスに浸り」、「純粋な」フランス語の発音と文法の基礎を身に付ける。

できる限り前期では、下記の文法を学ぶ：

発音、名詞の『性』と『数』、冠詞、不定詞と動詞の活用：直接法現在形、疑問文：疑問代名詞と疑問形容詞、否定文、品質形容詞。

#### 後期

前期に引き続き同じテキストを使用し、より高レベルの文法・語彙を学ぶ。しかし、特にコミュニケーションに重点を置くので、「純粋なフランスの環境」の中で簡単な作文を書いたり、寸劇をすることにより、受講者自身の考えをフランス語で表現する能力を養成することを主目的とする。

後期では、下記の文法事項を学ぶ：

目的語となる人称代名と強勢形、指示形容詞、所有形容詞、冠詞の縮約、半過去、複合過去。

### 【授業計画】

毎回学んだフランス語を会話練習に積極的に使用するとともに、文法を体系的に学んだり、平易なフランス語の文章を和訳する。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

Mini de concert (Centre Franco-Japonais d'Osaka 朝日出版)

## ロシア語 a・b

杉本一直

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができる場所は本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

### 【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- a. キリル文字と発音
- b. 大きな声であいさつしよう
- c. 買い物に行ってみよう
- d. 乗り物に乗ろう
- f. おなががすいたら...
- g. 自分について話してみよう
- h. 好きな音楽について
- i. 手紙を書こう (本当にロシアへ送るぞ！)

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

「パスポートロシア語辞典」(白水社)

## 英文学基礎演習 a・b

柳原佳枝

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

英文読解力を深めると共に、英文学の作品理解に必要な基礎的知識を高めることを目指す。

文学作品の豊かさや作家それぞれに異なる作風の鑑賞にも留意。

教室では、作品を精読し、構成や人物描写、テーマや作品の背景、その他様々な視点から総合的に作品を理解する演習を行う。

併せて、小説の〈読み方〉及びレポートや論文の〈書き方〉についての検討も目指す。

### 【授業計画】

作品の精読をもとに、受講学生によるレポートや意見の発表に重点をおく。

前期に予定する作家：

K. Mansfield, D. H. Lawrence, E. M. Forster

後期に予定する作家：

W. S. Maugham, J. Conrad, T. Hardy 他

### 【評価方法】

定期試験、平常点(積極的な発言、レポート、出席、等)などで総合的に評価する。

### 【テキスト】

*Modern British Masterpieces* (九頭見一士編注 金星堂)

### 【参考書籍】

教室で随時指示する。



## 英文学基礎演習 a・b

大野光子

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

英米文学研究の基礎となる英語読解・聴解能力を育成すること、歴史や文化についての基本的知識からさらに高度な理解へと進めること等を目指して、様々な教材を用いての演習を行う。文学テキストに限らず、音声・視覚教材や、歴史資料、報道記事などにも接しつつ、受講者が主体的に学んでいくことを期待したい。

### 【授業計画】

- 第1回 年間計画の指示（前期・後期とも）  
第2～12回 前期は毎回聴解力養成ドリルを実施するとともに、散文を中心とした読解演習を行う。  
後期は詩に重点を移して演習を進める。  
第13回 試験実施

### 【評価方法】

授業の予習と、授業への積極的な参加、小テストおよび期末の筆記試験とレポートによって、総合的に評価する。

### 【テキスト】

- 前期：「5分間ヒアリング」（南雲堂） 900円  
後期：「ロマン派英米女性詩人選集」（英宝社） 2,000円（予定）  
他にプリント教材等配布

## 英文学基礎演習 a・b

久野幸子

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

英文読解力の育成と英文学作品の理解に必要な基礎知識を深めることを目指す。

20世紀英文学を代表する作家の一人であるジョージ・オーウェル（1903-1950）の『動物農場』と『オーウェル評論集』をテキストに選び、作品を丹念に精読することで英文読解力を養うとともに、作者の伝記的事実、発表当時の政治的背景、英国ユートピア（ディストピア）文学や動物寓話の系譜、現代社会における文学や文学者の役割などについて検討し、文学作品を理解するのに必要な基礎知識の修得を心がける。授業は講義及び輪読形式・レポーター形式で行なう。

### 【授業計画】

前期の始めに、「オーウェルの作品世界（その1）」について2、3回講義を行う。その後、『動物農場』を輪読形式で精読し、作品研究を行う。後期は「オーウェルの作品世界（その2）」について、2、3回講義を行う。その後、『オーウェル評論集』からエッセーを数篇選び、輪読形式で精読し、作家オーウェルの現代社会への提言を考察する。最後に『動物農場』（アニメ）や『1984年』（劇場映画）を鑑賞し、文学の映像化という問題についても検討する予定である。

### 【評価方法】

前後期とも平常点（出席・予習・発表）と定期試験またはレポートによって総合的に評価する。

### 【テキスト】

- 前期：George Orwell, Animal Farm (Penguin Twentieth-Century Classics)  
後期：George Orwell, Shooting an Elephant and Other Essays (成美堂)

### 【参考書籍】

授業中に指示する。

## 米文学基礎演習 a・b

太田直子

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代アメリカ文学を代表する3人の作家、E. Caldwell, E. Hemingway, S. Andersonの短編を読んでいく。一つ一つの単語を大切にしながらも、作品を楽しめるようになってほしい。そのためにも、作品、作家の特徴についての知識を習得する。

### 【授業計画】

前期：

- E. Caldwell "The Strawberry Season"  
" A Visit to Mingus County"
- E. Hemingway "The Killers"

後期：

- S. Anderson "Loneliness"
- S. AndersonとE. Hemingwayの他の短編  
(プリントを使用)

### 【テキスト】

M. Miura, S. Kobayashi, T. Fukazaki (eds.),  
*Three Great American Authors* (Nan'un-Do)

## 米文学基礎演習 a・b

小野迪雄

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

テキストを精読することによって、作者がどのような意図で作品を書いたのかを探るのが、中心のテーマである。このことは、読者の方でどんな読み方が出来るかの側面もある。英語を通して、作品の意図を読みとり、それがわれわれにとってどんな意味があるかを考える。

〔前期〕 テーマを発展させるために、テキストを読むと同時に、作者や作品の特徴についての知識を習得する。また作品は作者の思想や書かれた時代の社会などを反映していると考えられるから、そこに読みとられる問題を考えてみる。できるだけ比較文学の視点からも説明を加える。テキストは精読していくが、文法事項の説明は必要最小限にとどめる。

本年度は現代アメリカの最も代表的な劇作家 Tennessee Williamsの初期の作品であると共に代表作でもある *The Glass Menagerie* を扱う。この詩情豊かな作品を通して、作者は急速に変転していくアメリカ社会の影の部分に光をあて、激しい社会の動きについてゆけない家族を浮きぼりにして、やさしいまなざしを登場人物にむける。

〔後期〕 前期の方針の継続。

### 【授業計画】

学生の積極的な意欲に期待し、指名などによって、成果を発表してもらおう。テキストを中心に進行するが、必要に応じてプリントを配布し、内容理解の補助とする。

### 【評価方法】

筆記試験、レポート、授業に対する平常の準備（予習）などを総合して行なうが、筆記試験に最も重点をおく。

### 【テキスト】

Tennessee Williams：  
*The Glass Menagerie* (『ガラスの動物園』) 英宝社



## 英語学基礎演習 a

樗木勇作

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

英語学入門

英語の言語的研究について、基礎知識を身につけることを目標とする。英語学研究の基礎力となる、英語の読解・リスニング能力の向上も目指す。

英語学の扱う領域のうち、次の分野について演習を行う。形態論 (Morphology)、音声学 (Phonetics)、音韻論 (Phonology)、統語論 (Syntax)、意味論 (Semantics)、言語の多様性 (Language Variation)、言語変化 (Language Change)、語用論 (Pragmatics)。

それぞれの分野の知識を実際の英語運用で活かせるよう、最新映画のスク립トや洋楽の歌詞を使って応用を試みる。

本演習は包括的な概論ではなく、上記分野の特定の側面を垣間見るにすぎない。理論よりも、言語事象に焦点をおく。

### 【授業計画】

説明→演習問題→解答の確認

<前期a>

1. Morphology
2. Phonetics
3. Phonology
4. Syntax

### 【評価方法】

レポート+平常点 (出席・授業態度)。

### 【テキスト】

*A Linguistics Workbook* Third Edition Ann K Farmer and Richard A. Demers (1995), MIT Press

## 英語学基礎演習 b

樗木勇作

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

英語学入門

英語の言語的研究について、基礎知識を身につけることを目標とする。英語学研究の基礎力となる、英語の読解・リスニング能力の向上も目指す。

英語学の扱う領域のうち、次の分野について演習を行う。形態論 (Morphology)、音声学 (Phonetics)、音韻論 (Phonology)、統語論 (Syntax)、意味論 (Semantics)、言語の多様性 (Language Variation)、言語変化 (Language Change)、語用論 (Pragmatics)。

それぞれの分野の知識を実際の英語運用で活かせるよう、最新映画のスク립トや洋楽の歌詞を使って応用を試みる。

本演習は包括的な概論ではなく、上記分野の特定の側面を垣間見るにすぎない。理論よりも、言語事象に焦点をおく。

### 【授業計画】

説明→演習問題→解答の確認

<前期b>

1. Syntax
2. Semantics
3. Language Variation
4. Language Change
5. Pragmatics
6. Psychology of Language

### 【評価方法】

レポート+平常点 (出席・授業態度)。

### 【テキスト】

*A Linguistics Workbook* Third Edition Ann K Farmer and Richard A. Demers (1995), MIT Press

## 英語学基礎演習 a・b

加藤主税

2年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ゼミ形式で授業を進めます。自主的、積極的に参加して下さい。全員が毎時間1回以上発言すること。ワイワイ、ガヤガヤとニギヤカにしかも、わきあいあいとエイゴ学に取り組んでいきましょう。決していぬむりする余裕はありません。

### 【授業計画】

【前期】「人がことばを使うには、どんな能力が必要か？」という問題にアプローチするため、母国語言語能力を意識化し、規則化する過程を経て、英語分析に進みます。各言語理論、分析方法の概要、基礎を習得し、それを参考にして、各自の収集したデータの規則化を試みます。資料収集方法、問題設定方法、疑問題検索方法については、前期のうちに、充分体得してほしいと思います。

【後期】前期で体得した分析能力を語用論的分野まで拡大します。さまざまな言語現象を語用論的に分析し、その規則化を試みます。特にこの分野に関心を持つことは、日常の言語感覚を敏感にすることでしょう。この経験は、必ず将来の言語生活に役立つと思います。

### 【評価方法】

出席を重視します。授業中の発言回数とその内容、さらに積極性あるいは授業態度などを評価します。もちろん定期試験も重要です。

### 【テキスト】

英語観察学（奥田隆一著 鷹書房弓プレス）

### 【参考書籍】

日本語七変化（加藤主税著 中央公論新社）など、その他は授業中に指示。

## 英語学基礎演習 a・b

小泉直

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

英語学入門

英語学における基礎的概念を言語習得、音声学、形態論、統語論、意味論、談話分析の各分野に渡って学習する。また、今後の英語学研究にとって重要な英語の読解力の向上も目指す。

### 【授業計画】

<前期 a>

- 第1回 言語記号の性質
- 第2～3回 言語習得
- 第4～6回 音声学
- 第7～8回 形態論
- 第9～12回 統語論

<後期 b>

- 第1～6回 統語論
- 第7～10回 意味論
- 第11～12回 談話分析

### 【評価方法】

期末試験により評価する。

### 【テキスト】

Introductory Topics of Linguistics（英宝社）



## English 201 a・b

ポール・C. リンガー

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This course covers all four language skills, with particular emphasis on listening and speaking. Throughout the course there will be emphasis on meaningful communicative practice. Students will have the opportunity to personalize the language they learn, to make use of their own world knowledge, and to express their ideas and opinions.

### 【Schedule】

The course makes frequent use of pairwork, groupwork, and whole class activities, maximizing their opportunity to speak English in class.

The students' role is to participate actively and creatively in learning, using both the materials they study in the course and their own knowledge and language resources.

### 【Assessment】

Assessment is continual and will be based on the following criteria:

- \* attendance
- \* class participation
- \* homework and assignments
- \* end of semester progress test that assess students' learning of grammar, conversational expressions, vocabulary, and listening

### 【Textbooks】

New Interchange 3 (Jack C. Richards cup)

## English 202 a・b

ジョアン・M. ウッドマン

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This course is designed to enhance the students basic English communication skills, whilst also providing them with information about cultural differences. A variety of teaching techniques, will be used : - pair work, role plays, games, videos, etc.

The cassettes, videos, and oral presentations will introduce the students to a variety of western cultures (with an emphasis on Australian culture).

Periodic reports will require the students to compare and contrast Japanese culture with others.

Students will be required to keep a journal of their opinions (regarding contemporary issues), based on some newspaper articles provided by the teacher and some articles collected by the student.

This task will be worth 50% of the grade.

### 【Assessment】

- Journal - 50%
- Conversation test - 20%
- Class activities / reports - 30%

### 【Textbooks】

Textbook: None

## 比較文化

松本青也

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日米文化の比較

何気なく喋ったり、行動したりしているつもりでも、私たちは常に自国文化の影響をうけています。「文化」を、集団が共有する価値観や規範の体系としてとらえ、日本人とアメリカ人の考え方や生き方を豊富な事例をもとに比較対照しながら、それぞれの文化の特質を浮き彫りにします。

アメリカのテレビ番組や新聞雑誌の分析を加えながら講義と意見交換で進行するこの授業は、いわば自国文化に縛られた自分の姿を映し出す鏡。覗いてみると、もっと自由で伸びやかな生き方が目の前に広がります。

### 【授業計画】

1. 文化論
- 2～9. 文化変形規則 (CTR)
10. システムとしての CTR
11. 研究対象としての CTR
12. 日本語の衝突と CTR
13. CTR と学校英語教育
14. これからの日米文化

### 【評価方法】

レポート、学習態度、出席状況による総合評価。

### 【テキスト】

松本青也『日米文化の特質』研究社。

## 英語学概論 a・b

堀内俊和

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

「英語学」とはどのような学問かを理解するために、従来から行なわれてきている多様な研究方法や研究分野を概観する。カバーする主な分野はつぎのようである。

- |                |         |
|----------------|---------|
| I 音声学・音韻論      | V 意味論   |
| II 形態論         | VI 語用論  |
| III 統語論 (生成文法) | VII 英語史 |
| IV 統語論 (機能主義)  |         |

### 【授業計画】

テキストにもとづいて講義する。前期は I～IV、後期は V～VII をカバーする予定である。

### 【評価方法】

レポートと期末テストで評価する。

### 【テキスト】

日英対照による英語学概論 (西光義弘編 くろしお出版 2,625円)



## 英文学史 a・b

キース・イーズリー

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

We will study British literature historically from its beginnings through the mid-Victorian Period. We will focus on the literature itself, from Beowulf through Dickens, reading poetry, fiction, and plays.

### 【Schedule】

(FIRST SEMESTER) a

From the Anglo-Saxon Period through the 16th century, focusing on Beowulf, Chaucer, and Shakespeare.

(SECOND SEMESTER) b

From the Restoration through the mid-Victorian Period, focusing on Swift, Blake, Wordsworth, Keats, and Dickens.

### 【Assessment】

Each semester will include several quizzes, course-work and a final examination.

### 【Textbooks】

The Penguin Guide to Eng. Lit. (Carter and McRae Penguin)

Past Into Present (Gower Longman)

## 米文学史 a・b

池谷敏忠

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文学は言語による芸術で、国の文学は歴史的に、地域的に展開いたします。この講義はアメリカ英語で表現された米文学を通史的に講義・説明し、作家・作品の特質についても指摘いたします。

前期は下記の時代について講義します。

第17-18世紀-植民地時代

第18世紀末葉-独立運動時代

第19世紀前半-文学勃興時代

後期は下記の時代について講義します。

第19世紀後半-南北戦争以後

第20世紀 各ジャンルを詳細に

### 【授業計画】

テキストを用い、講義・解説します。受講生は必ずテキストを持参してください。

### 【評価方法】

レポートまたはテストの結果に各自の出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

ロングマン概説アメリカの文学 (桐原書店 3,364円)

## 英文学講義 I a・b

道木一弘

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

ジェイムズ・ジョイス (James Joyce) 研究。

ジェイムズ・ジョイスは20世紀文学を代表する作家の一人です。作風は、リアリズムからモダニズム、またポスト・モダニズムへ発展的に変化しますが、作品分析を通して、彼の文学の面白さを引き出したいと思います。また彼の生まれたアイルランドの歴史的・文化的背景についても研究します。前期は、リアリズムの短編集『ダブリン市民』(Dubliners, 1914)を中心に研究します。また彼の同時代のアイルランド作家として、W. B. Yeats や J. M. Synge についても研究します。後期は、中期の作品『若い芸術家の肖像』(A Portrait of the Artist as a Young Man, 1916)について研究します。ナレータ分析、教養小説、モダニズム、ホモセクシャリティといった言葉がキーワードになります。

### 【授業計画】

講義を中心に進めますが、毎回読んでおくべき作品や、考えるべき問題点を指摘するので、しっかり予習しておくこと。

テキスト以外にもビデオやプリントをできるだけ使用する予定。

### 【評価方法】

予習と授業への積極的な参加。またクイズ (小テスト) と学期毎の筆記試験およびレポートによっておこなう。

### 【テキスト】

*The Essential James Joyce* (Flamingo)

## 米文学講義 I a・b

太田直子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

アメリカ文学を形成してきた数多くの作家たちに親しむために、作家たちの生涯や作品形成の裏にあったエピソードなどについて書かれた英文を読みながら、解説していく。

### 【授業計画】

前期：

- 1 R.W. Emerson
- 2 H.D. Thoreau
- 3 N. Hawthorne
- 4 Herman Melville
- 5 H.W. Longfellow
- 6 Edgar Allan Poe
- 7 Walt Whitman
- 8 Emily Dickinson
- 9 Mark Twain
- 10 Henry James
- 11 Robert Frost
- 12 Jack London

後期：

- 1 Ezra Pound
- 2 Sinclair Lewis
- 3 Eugene O'Neill
- 4 F.Scott Fitzgerald
- 5 William Faulkner
- 6 Ernest Hemingway
- 7 John Steinbeck
- 8 Tennessee Williams
- 9 Arthur Miller
- 10 Henry Miller
- 11 Saul Bellow
- 12 James Baldwin

### 【評価方法】

レポート (課題については講義の時に説明する) と各学期末のテスト。

### 【テキスト】

John Dougill, *The Writers of American Literature* (Macmillan Language House)



## 英語学講義 a・b

中野弘三

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

英語の文の意味分析をテーマとして、発話の場における文の意味分析を行うとともに、文の意味と統語構造の関係を考察する。発話の場での文の意味は、文中で用いられている単語と文の統語構造が持つ意味だけでなく、文の表す内容に対する話し手の判断、文を発することによって話し手が聞き手に対して行う働きかけ（発話行為）の意味効果といった、言語表現によって表現されない意味を含む。このクラスでは文の意味分析に加えて、このような文の発話の意味を考察する。

### 【授業計画】

前期

- 1 発話の場における文の意味の概観
- 2 命題態度
- 3 命題の種類
- 4 命題の種類と補文の関係
- 5 発話行為
- 6 文の発話の意味構造

後期

- 1 法性の分析
- 2 時制と相
- 3 否定文の分析
- 4 疑問文の分析
- 5 接続詞の分析
- 6 動詞の意味とその補文の関係

### 【評価方法】

各学年末の試験により評価する。

### 【テキスト】

使用しない。配布するプリントに添って講義する。

## 英米文学特殊講義 I a・b

トマス・グランディ

3年 前・後期 選択 各2単位

### (First Period)

British Literature. Major Authors: Tennyson and Browning.

### 【Course Content】

This year we will focus on major poets of the Victorian period. The first semester we will read many of the major poems of Tennyson. The second semester we will read many of the major poems of Browning.

### 【Assessment】

Evaluation will be based on a final paper. Attendance and participation, of course, are expected.

### 【Textbooks】

Tennyson, A Selected Edition Incorporating the Trinity College Manuscripts. Edited by Christopher Ricks. U of California P. ISBN 0520066669. \$27.50.

### (Second Period)

The Bible as Literature.

### 【Course Content】

This is not a religious class. We will be focusing on reading the Bible using myth and archetypal criticism, and looking also at ideological concerns. We will focus on the Old Testament for both semesters. The planned reading list is as follows. The first semester we will be reading Genesis, Exodus, Deuteronomy, Joshua, Judges, and the two books of Samuel. The second semester we will read the two books of Kings, Song of Solomon, Job, Jonah, Judith, Isaiah, Ezekiel, and Daniel.

### 【Assessment】

Evaluation: There will be a couple of short quizzes or tests in class and a final paper.

### 【Textbooks】

The Bible. The World's Classics. Oxford UP. ISBN 0192835254. \$14.36

## 英語学特殊講義 I a

樽木勇作

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

英語統語論

英語の統語論を生成文法の観点から考察する。今年度は近年の統語理論研究上中心となっているChomskyのミニマリストプログラムに焦点をおく。

### 【授業計画】

説明→演習問題→解答の確認。

<前期 a>Some Background Concepts

1. Introduction to syntax
2. Grammar
3. Categories
4. Structure
5. Empty Categories
6. Head Movement

### 【評価方法】

レポート+平常点（出席・授業態度）。

### 【テキスト】

*Syntax A minimalist introduction*

Andrew Radford (1997)

Cambridge University Press

£ 10.95

## 英語学特殊講義 I b

樽木勇作

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

英語統語論

英語の統語論を生成文法の観点から考察する。今年度は近年の統語理論研究上中心となっているChomskyのミニマリストプログラムに焦点をおく。

### 【授業計画】

説明→演習問題→解答の確認。

<前期 b>

1. Special Topics
2. Operator movement
3. Subjects
4. A movement
5. VP shells
6. Agreement projections

### 【評価方法】

レポート+平常点（出席・授業態度）。

### 【テキスト】

*Syntax A minimalist introduction*

Andrew Radford (1997)

Cambridge University Press

£ 10.95



## English 301 a・b

ポール・C. リンガー

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

A series of fluency practice activities will be used to improve the listening and speaking abilities of intermediate students of English. This course will focus on the development of listening and speaking skills, but will also include activities that develop the student's reading and writing skills.

Communicative activities are provided to stimulate real conversation as much as possible. The students will find that they are strongly motivated by the desire to receive, offer, and exchange information by the realism and the value of the task themselves.

### 【Schedule】

Each topic will be covered over a 2 or 3 week period and will include the following themes:

- ・ Strange phenomena
- ・ Communication
- ・ Entertainment
- ・ Health
- ・ Current events
- ・ Controversy

### 【Assessment】

Assessment will be continuous and will be based on the following criteria:

- ・ ATTENDANCE
- ・ CLASS PARTICIPATION/EFFORT
- ・ HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- ・ END OF SEMESTER REPORT

### 【Textbooks】

To be announced.

## English 301 a・b

ハリー・T. ノリス

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course aims to increase the students' ability to communicate using English, and transmit their ideas to other Japanese people and native speakers. The course also hopes to help students to speak English confidently in front of small groups. Teaching strategies and techniques, voice control and use of teaching aids will be addressed.

Reading, Writing, Listening and Speaking will all be assessed throughout the course. Listening and Speaking being the main areas of study.

Inter-cultural differences will be explored as will humour and lifestyle, in order for students to gain an overall understanding of English and English related culture.

Teaching materials will include videos, short stories, songs, poems and other media to stimulate discussion.

### 【Schedule】

Teaching methods will include group work and individual work. The main aim being to develop the students ability to discuss their hobbies and talk freely about feelings and other things that they have strong opinions about.

### 【Assessment】

Students will have a two part assessment, 1. Class and Home Work, 2. Presentations.

### 【Textbooks】

Text-None.

## English 301 a・b

ジョアン・M. ウッドマン

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course is designed to explore aspects of Australian language and culture through analysis of poems, short stories, literature, songs, movies, TV programs, news, etc.

Contemporary and historical examples will be used : A variety of topic areas will be covered, for example : - young people and their changing behaviour ; relationships ; personal problems ; environmental problems ; current issues in society etc.

Students will be required to spend considerable time on vocabulary development ( including idiomatic expressions), hence the majority of assessment will be based on vocabulary tests and activities, as well as participation in class discussions / activities.

### 【Assessment】

Class activities / reports - 70%

Participation - 30%

### 【Textbooks】

None

## English 301 a・b

ジョナサン・E. ロング

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

In this course the students will watch videos, without subtitles, based on famous short stories in English. They will also extensively discuss and write in English about these videos in regards to their literary, cinematic and cultural significance. In this way the students will employ all four language skills and critical thought.

### 【Schedule】

Usually, each video will require three weeks:

1st Week script

2nd Week video

3rd Week discussion

### 【Assessment】

Assessment is based on attendance, class participation in English, reaction papers to be written for each video and a final exam.

### 【Textbooks】

none



## English 301 a · b

ポール・ルイス

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

During this course, students will practice listening and speaking activities intended to increase their ability to communicate in a wide variety of situations. In particular we shall focus on Learning Strategies and the role of intonation in communicating. At the same time, efficient and effective strategies for learning vocabulary will be considered. The aim of this course is to improve students' fluency, flexibility, and confidence in English.

The course will be presented entirely in English, and students are urged to minimise the amount of Japanese they use in the class.

### 【Schedule】

Students will work mostly in groups or pairs, practising the strategies outlined above. Among other activities, we shall look at information exchange and negotiation, problem-solving, and occasionally role-plays.

### 【Assessment】

Assessment will be according to class participation, attendance, and occasional homework reports. No test will be given.

### 【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class meeting.

## English 302 a · b

ジョアン・M. ウッドマン

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course is designed to explore aspects of language and culture through analysis of movies, TV programs, news, etc.

A variety of topic areas will be covered, for example : - young people and their changing behaviour ; relationships ; personal problems ; environmental problems ; current issues in society etc.

Students will be required to spend considerable time on vocabulary development ( including idiomatic expressions), hence the majority of assessment will be based on vocabulary tests, reaction papers, and in-class activities.

### 【Assessment】

Class activities / reports - 70%

Participation - 30%

### 【Textbooks】

None

## English 302 a・b

ポール・C．リンガー

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course is aimed at intermediate students of English. An integrated approach will be presented where there will be mainly a focus on developing listening and speaking skills, but also an inclusion of activities designed to develop the student's reading and writing abilities.

### 【Schedule】

Each topic will be covered over a 2 or 3 week period and will include the following themes:

- ・ Fashion
- ・ College life
- ・ Leisure
- ・ Roles of men and women
- ・ Current events
- ・ Entertainment

### 【Assessment】

Assessment will be continuous and will be based on the following criteria:

- ・ ATTENDANCE
- ・ CLASS PARTICIPATION/EFFORT
- ・ HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- ・ END OF SEMESTER REPORT

### 【Textbooks】

To be announced.

## English 302 a・b

ディビット・C．ダイカス

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

The general goal of this course is continue students' development in the four skills. There will be a strong focus on discussion and problem solving activities as a means of exchanging ideas and opinions. The approach will be topic based but will involve mastery of relevant grammatical structures need to clearly express oneself in such discussions, especially those involving modals and conditional forms to perform communicative functions like criticizing and expressing regret. Another focus will be on learning and using phrasal verbs commonly used in conversational English.

Discussion topics/activities will provide the basis for writing assignments.

### 【Schedule】

The topics around which lessons will be based will be determined in part after consultations with students. As for specific grammatical structures involving modals and conditional forms, they will be studied starting first with simpler forms and advancing to the more complex ones. They will be studied in connection with discussion topics. Phrasal verbs will be studied independently of discussion topics.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance and completion of exercises/activities during class, homework, occasional quizzes, and an end of term test.

### 【Textbooks】

To be announced



## English 302 a・b

ダグラス・L・ドイル

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This class is designed to encourage students to utilize and improve their English skills. The focus will be on listening and speaking, however, there will be some reading and writing. Students will be working in pairs or in small groups discussing a variety of topics. All students are expected to give their own opinions and to eagerly participate in the discussions.

### 【Assessment】

Assessment is on-going and is based on the following:

attendance

class participation and enthusiasm

homework

presentations

oral tests

## 英文学講義演習 I a・b

柳五郎

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

I. Pride And Prejudice : humour と subtlety of human psychologyの描写。

II. Wuthering Heights : 崇高な精神のundying lifeの世界  
<前期>

I. Pride And Prejudice :

1. 外面描写の文学傾向の中で、内面描写の小説が台頭し新しい文学が生まれた意義
2. 作家の全知的視点によるhumour と subtlety of humour psychology描写の特徴

<後期>

II. Wuthering Heights :

1. 現実と想像間の被膜の世界に創造したundying lifeの存在
2. Emilyのjuviniliaに作詩した詩の世界と作品 Wuthering Heightsの比較研究

### 【授業計画】

I. 全知的視点からの描写によって、表現言語外に生れる、humourとsubtlety of human psychology

II. mysticismによる解説で、超越的世界に於ける精神の不滅性。

### 【評価方法】

それぞれの作品の通時的共時的理解と作品及び人間性の本質、及び言外の意味を解説する能力をテストで評価。

### 【テキスト】

I. Pride and Prejudice : Jane Austen, Oxford Univ, Press.

II. Wuthering Heights : Emily Bronte, A Norton Critical Edition.

## 英文学講義演習 I a・b

柳原佳枝

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

＜英文学とキリスト教文化 I＞

欧米の文化の根底をなすものの一つはキリスト教の信仰や精神である。英語という言語そのものにも、又その文学にも、聖書やキリスト教世界の諸相が深く関わっている。この講義演習では、その点を重視しながら、英文学の作品理解を深めることを目指す。

### 【授業計画】

受講学生によるテキストの読解やレポートを中心に、授業担当者が随時補足する。

＜前期＞

C. G. Rossetti とその作品を取り上げる。多くの作品にきわ立ってみられる、信仰・希望・愛、そして死のテーマ、更に色彩豊かな描写など、様々な視点から作品の理解を深める。

＜後期＞

異なる作家の短編小説を数編取り上げ、そのキリスト教の主題や背景などを考察する。

信仰を離れた作家の作品にもなお現存するキリスト教の伝統も例証を見る。

### 【評価方法】

期末のレポートと平常点（事前の準備、活発な意見の発表、授業に参加する積極的な姿勢など）で総合的に評価する。

### 【テキスト】

前期：The Poems of Christina Rossetti（大原三八雄注釈研究社）

及びプリント配付。

後期：授業で随時指示。

### 【参考書籍】

教室で随時指示。

## 英文学講義演習 I a・b

大野光子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

アイルランド文学演習では、19世紀末のアイルランド文芸復興運動の中でW. B. Yeats等が復活させた古代ケルト神話や妖精物語・詩から出発し、時代を遡る形でアイルランド文学史を概観することによって、独自の伝統を理解する。主に詩の読解力をつけるとともに、文学や映像メディアを通してアイルランド社会や文化全般についての知識を深める。

I. ケルトの薄明の中へー妖精と英雄の物語

1. 文芸復興と妖精詩：W. B. Yeatsを中心に
2. ケルト神話とキリスト教：口承物語の伝統
3. 妖精とヴィクトリア朝文学：絵画的表現との関係

II. 植民地アイルランドの独立―貧困と移民の物語

1. アイルランド詩の伝統：古代から19世紀まで
2. 独立運動と文学：D. Hyde, Lady Gregory, J. M. Syngeを中心に
3. 詩／小説／劇に見るアイルランド社会（研究発表）

### 【授業計画】

前期で、詩や物語など英語文献の多読・速読を通して英語力を養成し、併せて英文学の基礎知識を習得したことを前提に、後期はディスカッションを通して作品の解釈・観賞力を高めるとともに、文献リサーチ法を学び、ジャンル別に選択した作品についてグループごとの研究発表を行なう。

### 【評価方法】

ゼミでの積極的な発言や研究発表を含む平常点と、学期毎のレポートによって成績評価をおこなう。

### 【テキスト】

『アイルランド文学小事典』（研究社出版）

他プリント教材



## 英語学講義演習 I a・b

堀内俊和

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代英語の構造を語・句・節等様々なレベルから考察する。

従来のS+V+O等の平板的な分析法を基礎とし、二分法を基本とした直接構成素分析や再分析等の考え方も導入する。テキストの精読と構造分析を通して、英語学の知識を深めるとともに英文の読解力を高める。音読も重視する。

### 【授業計画】

テキストを個々の学生が輪番で音読・解釈し、適宜Q&Aを行う。

充分な下調べを前提に、出席を重視する。

### 【評価方法】

授業ごとの音読・解釈・意見等の平常点を重視し、レポートと合わせて総合的に評価する。

### 【テキスト】

抜粋プリントを使用する。

### 【参考書籍】

英語の表現と語法（堀内俊和著 中日文化会 2,700円）

## 英語学講義演習 I a・b

樗木勇作（前期）、中郷慶（後期）

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代英語学 I

最近の英語学の研究動向を知ることと、各自が研究テーマを見いだすことを目標とする。英語学に関する論考・論文を雑誌や論集から選び、ディスカッションの材料とする。

〔今週の一面記事および社説から（英字新聞）〕

Discussion & Structural Analysis

〔論文レポート〕

〔テキストの精読〕

### 【授業計画】

参加者全員で共通の論文を読む輪読形式と、レポーターが興味のあるテーマを発表するレポート形式を交互に行う。二回目以降は英語で書かれた論文を英語でレポートする。

### 【評価方法】

レポート+小テスト+平常点（出席・授業態度）。

### 【テキスト】

*Linguistics An Introduction to Language and Communication*  
FOURTH EDITION

Adrian Akmajian, Richard A. Demers, Ann K. Farmer,  
and Robert M. Harnish (1995), MIT Press

\$ 29.00 (paper)

## 米文学講義演習 I a・b

唐澤 恪

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

この講義演習では、19世紀から現代にかけてのアメリカの主要な文学作品のうち、主に小説をとりあげて概観する。英文概説書を読み、これを補足する形で授業を行う。学生諸君は、いずれかの作品を選んで読み、卒業論文への手掛かりをつかんでもらいたい。

前期に扱う作家：E. A. Poe, F. Douglass, N. Hawthorne, H. Melville, H. James, M. Twain, W. Cather

後期に扱う作家：F. S. Fitzgerald, E. Hemingway, W. Faulkner, J. Steinbeck, R. Wright, J. D. Salinger, J. Kerouac, T. Pynchon, T. Morrison

以上の作家の作品以外にも、重要と思われる詩人、劇作家、思想家の著作について学んでいく。

### 【授業計画】

英文概説書の輪読、質疑応答、教師による補足・敷衍という順序で授業を行う。適時に課題を与え、発表を求めるとする。

### 【評価方法】

テスト（前期）、レポート（後期）の成績に平常点を加味して評価する。

### 【テキスト】

M. Kowalewski, *Popular Classics of American Literature* (英宝社 約1,900円)

## 米文学講義演習 I a・b

池谷敏忠

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

アメリカ近代詩研究と題し、19世紀アメリカの代表的詩人の作品を取り上げ、絵画的性、音楽性を考えながら、意味を考察します。

前期は下記の詩人の作品を取り上げます。

Walt Whitman

E. A. Poe

and others

後期は下記の詩人の作品を取り上げます。

Emily Dickinson

Anne Bradstreet

and others

### 【授業計画】

信頼できる詩集の有名な詩を選んでプリントにし、輪読します。

### 【評価方法】

レポートまたはテストに演習内容、各自の出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

プリント。



## 米文学講義演習 I a・b

太田直子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

20世紀アメリカ小説の研究 I

20世紀アメリカ文学を中心に、代表的な作品を読み、アメリカ文学を概観する。

### 【授業計画】

Frank Norris, Stephen Crane, Theodore Dreiser,  
Willa Cather, Ellen Glasgow, Sherwood Anderson,  
Sinclair Lewis, K.A. Porter, F.S. Fitzgerald  
John D. Possos, William Faulkner, Ernest Hemingway,  
Thomas Wolfe, John Steinbeck, William Saroyan,  
Bernard Malamud, John Updike.

### 【評価方法】

ゼミでの発表等の平常点とレポート。

### 【テキスト】

N. Koriyama, *A College Anthology of American Literature*  
(The Hokuseido Press)

## 英文講読 I a・b

中島賢二

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

エドガー・アラン・ポーとともに、推理小説家の元祖とされるウィルキー・コリンズの短編をテキストに使い英文の正確な読みができる訓練をします。古風な文体で格調高い文章ですので、難しいと思いますが、話自体は面白く分かりやすいものです。ヴィクトリア朝の風俗なども併せて学んでいこうと思っています。

### 【授業計画】

前期 *The Family Secret*

後期 *The Dream Woman*

### 【評価方法】

定期試験と簡単なレポート。なお、授業妨害的態度が著しい人は、途中で受講を取り消します。

### 【テキスト】

プリント配布。

### 【参考書籍】

『夢の女・恐怖のベッド』(岩波文庫)

『白衣の女』(上)(中)(下)(岩波文庫)

## 英文講読Ⅱ a・b

ディビット・C. ダイカス

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will involve students reading different types of reading materials for different purposes using different reading skills. The focus will be on developing reading speed and accuracy, and on building vocabulary. In the first part of each class students will study the same materials and practice the same skills using the class textbook. The other part of each class will be devoted to using the SRA reading laboratory materials for both intensive reading and speed reading practice at a level that suits each student's level of ability. Other materials and activities will be used to supplement the textbook and the SRA materials.

### 【Schedule】

Specific decisions regarding the order in which material will be read, skills practiced, and vocabulary/structures studied will be made after a reading placement test is administered to the class.

### 【Assessment】

Assessment will be based on 1)attendance and participation (since most work will be done in class), 2)occasional quizzes, 3), the amount and quality of work done on the SRA materials as shown in the SRA record book students will keep, and 4)a test at the end of the semester.

### 【Textbooks】

To be announced

## 英米事情 a・b

ポール・ルイス

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will examine how Britain and the West are changing, in particular with regard to their unique mixture of tradition and innovation. In many cases, the old stereotypes are no longer relevant, and we shall study the most recent developments in various areas, including culture, society, politics, education, industry, and the arts.

Although we shall be referring to some textbooks, many of these become out-of-date by the time of publication, so we shall be studying the most current information using articles taken from newspapers and the Internet.

The course will be presented entirely in English, and students are urged to minimise the amount of Japanese they use in the class.

### 【Schedule】

Each class will feature one topic (e.g., food, theatre, youth culture); after some initial input from the teacher and various materials, students will be given the chance to discuss and do other activities. The last few classes will be devoted to a project on a topic of the student's choice, focussing in particular on comparisons between Britain and Japan.

In the second semester, students should prepare for short presentations on a topic of their choice; discussions will follow.

### 【Assessment】

Assessment will be according to class participation, attendance, and project work.

### 【Textbooks】

The textbook will be announced during the first class meeting.



## 欧米文学思潮 a・b

柳 五郎

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

人は「時代の子」として人生模様を織る。その人生を「再現」し「幻影」を求めた文学も、また「時代の子」である。人は「絶対者、自然、社会」との関係の中で「真・善・美と完成された人間性」を希求する。通時的芸術的西欧思潮の中に人間性と文学の関係を考察する。

<前期>

古代オリエント文明、ギリシア・ローマ文明、古代ギリシア哲学から、ユダヤ教とキリスト教、HellenismとHebraism, the Renaissance、自己疎外、コペルニクスの転回、人間と実存、ホワイトヘッドの有機説、現実存在主義、意識の流れと文学の流れについて。

<後期>

ホメロス、ヘシオドス、ソポクレス、プラトーンとアリストテレス、ウエルギリウス、ベーオウルフ、チョサー、アーサー王、マーロウとシェイクスピア、ミルトン、ポーブとデフォー、スターン、オースティン、ディケンズやコンラッドの文学の特徴と人間性の本質について。

### 【授業計画】

西欧の古代文明・文化から西欧を風靡するHellenismとHebraismの二大源流の流れと変転を人間生活と文学の関係で講義する。

### 【評価方法】

西洋の人間生活と文学の関係についての全体的把握能力をテストで評価。

### 【テキスト】

The Directions of European and American Literature (柳五郎他 中部日本教育文化会)

## 英文講読Ⅲ a・b

水岡 久

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

テキストは、retoldされたものであるが、副筋や脇役が十分配慮され、原作の持ち味が生かされたものである。最初の講義で、シェイクスピアの波乱万丈に富んだ人生をビデオで紹介する。本講に於いては、作品Romeo and Julietを扱う。この作品は、シェイクスピア初期の作であり、運命悲劇とか抒情悲劇と称されている。作品を通じて「運命」や「恋愛」について考察する。劇中最も有名なバルコニーでの場面のロミオの愛の告白である独白But soft, what light through yonder window breaks? It is in the east, and Juliet is the sun. (静かに！何だろう。向こうの窓からもれてくる光は？東の方だ。ジュリエットは太陽だ。) これに対してジュリエットは、O Romeo, Romeo! wherefore art thou Romeo? (ああ、ロミオ、ロミオ！何故、あなたはロミオなの?) と言って、人目惚れた相手が宿敵モンタギュ家のものであることを嘆く。ジュリエットは、ロミオと別れる際にGood night, good night! parting is such sweet sorrow, That I shall say good night till it be morrow. (お休みなさい、お休みなさい！別れは嬉しいような悲しいです。明日までお休みなさいと言いつづけますわ。) このように有名な台詞や独白が巻末に記されているのでシェイクスピアの技巧的な言語芸術も味わう。

### 【授業計画】

本講では、読解力を身につけることが主眼であるが、毎時間この作品のテープを聴き、併せて聴解力も養う。読了してから、「ロミオとジュリエット」のビデオを鑑賞する。最初に「シェイクスピアの生涯と作品」と題するレポートと最後にこの作品に関する小論文を課す。

### 【評価方法】

定期試験の成績、レポート・小論文の評価、出席・予習状況、受講態度などの総合評価を行う。

### 【テキスト】

New Tales from Shakespeare (R. L. Green・川地美子注解 成美堂 1,200円)

## 英文学講義Ⅱ a・b

久野幸子

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

「文学と映画」

前期はエミリー・ブロンテの『嵐が丘』、後期はシャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』を素材に文学作品の映像化の諸問題を検討・考察する。前・後期とも講義中心に行うが、随時、レポーター形式、グループディスカッション形式も取り入れる。時間が許せば、映像化された他の作家（オースティン、ハーディ、ファウルズなど）の小説についても言及する予定である。

### 【授業計画】

前期

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 作者及び原作『嵐が丘』について
- 第3・4回 (抜粋) 講読
- 第5回 エミリー・ブロンテと現代批評
- 第6回 映像化の諸問題 (原作と脚色)
- 第7・8回 1942年版『嵐が丘』
- 第9・10回 1972年版『嵐が丘』
- 第11回 1974年版『嵐が丘』
- 第12回 1996年版『嵐が丘』
- 第13回 まとめ

後期

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 作者及び原作『ジェイン・エア』について
- 第3・4回 (抜粋) 講読
- 第5回 映像化の諸問題 (原作と脚色)
- 第6回 シャーロット・ブロンテと現代批評
- 第7回 1944年版『ジェイン・エア』
- 第8・9回 1992年版『ジェイン・エア』
- 第10回 1995年版『ジェイン・エア』
- 第11回 1997年版『ジェイン・エア』
- 第12・13回 まとめ

### 【評価方法】

前・後期とも平常点（出席、授業中の発言や発表等）と定期試験あるいはレポートで総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

### 【参考書籍】

授業中に指示する。

## 米文学講義Ⅱ a・b

唐澤 恪

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

この講義では、比較的等に等視されてきた、アメリカの初期小説（1820年ごろまでの作品）について紹介・解説する。アメリカ小説史の、より豊かな理解に資することを目的とする。

一般に“the first American novel”とされるWilliam Hill Brownの*The Power of Sympathy*（1789）から、1810年代までの小説作品10編ほどをとりあげ、“感傷小説的作品”、“ピカレスク小説的作品”、“ゴシック小説的作品”に大別して紹介・解説する。時代背景や主要用語についての解説も行う。前期に5～6編の作品を、後期に残りの作品を扱う予定。最後の数回の講義においては、アメリカ初期小説の継承者、Washington IrvingおよびJames Fenimore Cooperの作品群について概説し、アメリカン・ルネサンス期の小説に至る展開を俯瞰する。

### 【授業計画】

各作品論においては、作者紹介、作品抜粋の鑑賞、作品内容の概説、作品の解説・分析という順序で講義し、適時に時代背景や用語について補説する。

### 【評価方法】

成績評価は適切な範囲についてのテストによるが、平常の学習態度も重視する。

### 【テキスト】

プリント配布。



## 英米文学特殊講義Ⅱ a・b

稲生幹雄

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

『ロミオとジュリエット』を分析・鑑賞し、併せてシェイクスピアの生涯の歩みと彼の演劇の諸相を考察する。

### 【授業計画】

『ロミオとジュリエット』は、〈愛〉の叙情悲劇として有名であるが、なかなか奥の深い作品である。この劇をじっくり分析してゆくと、ルネッサンス演劇の担い手として、若いシェイクスピアがどんなことを志向していたのかが見えてくる。当時のロンドンの劇場の〈舞台〉が、この劇や、それ以後のシェイクスピアの諸作品の持ち味とどう関わり合っているのであろうか―円熟期から晩年にいたる彼の歩みを巨視的にたどる視点も設定し、『ロミオとジュリエット』を、彼の全作品が織りなすパノラマ的な景観の中に位置づけてみよう。主な作品の上演史や、シェイクスピア批評史の変遷等にも目を配り、『ロミオとジュリエット』そのものの分析・鑑賞と、それにまつわるいろいろなトピックスの考察とを、互いに連関させながら毎時間の講義を組み立ててゆく。

若い学生諸君を対象として近年出版され、舞台面を特に重視しているCambridge School Shakespeare双書版の*Romeo and Juliet*を教科書として選定し、Arden, Penguin, New Cambridgeなどの諸版の解釈にも、随時注目しながら分析をすすめる予定。また、種々のビデオ教材を活用して、実際に映像を見ながら、この〈詩劇〉の独特の魅力や、当時の〈舞台〉の効果や、〈演出〉の可能性への理解を深めてゆく。

### 【評価方法】

前・後期とも、ほぼ4週間に1度の割合で授業時間内に筆記試験をして、その得点の積み重ねと出席状況・受講状況とを総合して評価する。(この筆記試験についての詳細は、学期の初回の授業で説明するので聞き落とさないようにすること。また、就職活動などのため筆記試験を欠席した場合は、それに代わるレポートの提出を求めることがあるから、その都度早速申し出ること。)

### 【テキスト】

Cambridge School Shakespeare: *Romeo and Juliet*  
(ed. by Rex Gibson, Cambridge Univ. Press)

## 英語学特殊講義Ⅱ a・b

小泉直

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

<前期 a>

意味論・語用論

単語・文・談話のレベルにおける意味の問題を考察する。

<後期 b>

ジェンダーと言語

男と女は同性の仲間同志のやりとりを通してそれぞれ異なる会話のスタイルを習得する。したがって、異なる会話のスタイルを身につけた男女がことばを交せば、そこに誤解が生じるのは当然である。こうした男女間における会話の問題を豊富な実例に即して考察する。

### 【授業計画】

<前期 a>

第1～6回 有標性、否定、ダイクシス

第7～12回 指向、法助動詞、時制・相

<後期 b>

第1～6回 男と女の異文化コミュニケーション

第7～12回 おしゃべりの性差

### 【評価方法】

<前期 a>

章末にある練習問題を中心とした試験を期末に行い、その結果に基づいて判定する。

<後期 b>

出席、予習、発表等の平常点と期末のレポートによって総合的に評価する。

### 【テキスト】

<前期 a>

10日間意味旅行 (くろしお出版)

<後期 b>

You Just Don't Understand (英宝社)

## インターリンガルコミュニケーション a・b

ジョアン・M. ウッドマン

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course aims to improve the students' English communicative skills, whilst providing introductory training for interpreting in practical situations. Students who have already travelled overseas, or who have a keen interest in communicating with foreigners, will benefit the most from this course.

Participants in the course will be required to display self-confidence in discussions, and curiosity about cultural differences.

Students will have to talk about and explain aspects of Japanese culture and lifestyle, in English. Beat Takeshi's TV program will be used to stimulate discussion about Japan, from the point of view of 100 foreigners.

### 【Assessment】

First semester: - 3×10 minute tape recordings - 90%

- class activities - 10%

Second semester: - 1×10 minute Video + script - 60%

- class participation - 40%

### 【Textbooks】

None

## クリエイティブライティング a・b

キース・イーズリー

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

The aim of this course is to develop students' abilities to produce original imaginative writing in English. Models of prose, poetic & dramatic forms will be studied, with a view to students producing their own work in these forms. The course will, therefore, involve some reading & critical discussion, but the emphasis throughout will be on the students' own writing.

The course will be limited to a maximum of fifteen students. Prospective students must bring an example of their own writing to the first class: this may be any form of original, imaginative writing. Eligibility for the course will depend on the quality of this writing.

### 【Schedule】

In the first semester we will focus on descriptive writing, poetry, and narrative. In the second semester we will also concentrate on dialogue, situation and viewpoint expressed in a number of forms.

### 【Assessment】

The course involves regular written homework. Assessment will be continuous.

There will be no final test.

### 【Textbooks】

NONE.



## 英文学講義演習Ⅱ a・b

柳 五郎

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

I. V. WoolfのTo the Lighthouseに於ける「意識の流れ」と現実存在主義について。

II. J. ConradのHeart of Darknessに於ける物質的現代社会人の末路と人間の物欲 (darkness) の本質を佛教的遠観的に見る視点について。

<前期>

I. To The Lighthouse.

The stream of consciousnessをL. SterneのThistram Shandy、G. EliotのThe Mill on the Floss、ProustのRemembrance of Thing Past、H. Bergsonの「純粹持続」を経て、通時的、共時的に人間存在を意識の流れや現実存在主義に求める。

<後期>

II. Heart of Darkness.

機械文明物質主義の時代に生きる人間の物欲 (darkness) の末路をKurtz船長に演出させ、その人生模様を救出に向ったMarlow船長によって、佛教的境地から語らせる過程を考察する。

### 【授業計画】

I. 現実存在主義と意識の流れの前提知識として、作品構成、表現技法の特異性と解説を主眼とする。

II. 人間の本質を物質主義と精神主義の間でdarknessを中心に佛教的に把握する。

### 【評価方法】

それぞれの作品のprofundity把握、表現言語のconnotationを重点にテストで評価する。

### 【テキスト】

To the Lighthouse : V. Woolf, Hogarth Press London

Heart of Darkness : J. Conrad, A Norton Critical Edition

## 英文学講義演習Ⅱ a・b

柳原佳枝

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

<英文学とキリスト教文化Ⅱ>

3年次の「英文学とキリスト教文化Ⅰ」に引き続き、英文学とキリスト教文化の関わりに視点をおいて英文学の作品研究を進める。

### 【授業計画】

受講学生による読解や意見の発表、及びレポートを中心に、授業担当者が適宜補足する。

<前期>

J. Donne、W. Blake、J. H. Newman、などによる宗教詩を取り上げ、そこにみられる心象や象徴などについて検討し、詩想を考察する。

<後期>

G. Greene、M. Spark などによる長編小説を取り上げ、その特性を考察する。

題材は受講学生が選択し、レポートを担当する。

### 【評価方法】

期末のレポートと平常点（事前の準備、活発な意見の発表、担当した課題についてのレポートの成績、など）で総合的に評価する。

### 【テキスト】

前期：プリント配付。

後期：教室で指示。

### 【参考書籍】

教室で随時指示。

## 英文学講義演習Ⅱ a・b

大野光子

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

アイルランド文学演習Ⅱでは、ノーベル賞受賞者 Seamus Heaney の作品を含む、20世紀のアイルランド文学を読む。アイルランド国内作家の他、イギリスやアメリカに移住した作家の作品や、現代女性作家や詩人の作品も視野に入れて、文学批評をおこなう。

#### Ⅲ. 20世紀のアイルランド文学

—カトリック・アイルランドとナショナリズム

1. W. B. Yeats と S. O'Casey の女性像をめぐって
2. J. Joyce の The Dubliners
3. 検閲制度と表現
4. アメリカ移民とアイルランド映画

#### Ⅳ. 現代アイルランド文学

—紛争を越えて

1. 南北アイルランド社会と文学表現  
S. Heaney, M. Longley, B. Friel を中心に
2. 文学とジェンダー  
E. Boland, N. Ní Dhomhnaill を中心に
3. 詩／小説／劇／映画に見るアイルランド社会

### 【授業計画】

「演習Ⅰ」に続いて、詩・演劇・小説の各ジャンルから学生が選択した作品について、グループ毎にリサーチや討論を行い、パソコンによる資料作成や英語によるプレゼンテーションも含めて、2回程度の発表を課す。個々のゼミ論文作成指導も行ない、学生はゼミ論文集を編集・制作する。

### 【評価方法】

ゼミでの積極的な発言や研究発表を含む平常点と、学期毎のレポートによって成績評価をおこなう。

### 【テキスト】

*Irish Literature—A Reader*,  
Murphy 他, Syracuse Univ. Press

## 英語学講義演習Ⅱ a・b

堀内俊和

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

3年次に修得した英語の構造分析を土台にして、現代英語の語法・文法 (usage and grammar) 上の問題点を考察する。

テキストの精読を続行し、英語学の知識を深めるとともに英文の読解力を高める。音読も重視する。さらに、英語の語法・文法上の問題点の考察を深め、自分の興味あるテーマで最終的には小論文 (ゼミレポート) をまとめる。

### 【授業計画】

テキストを個々の学生が輪番で音読・解釈をし、適宜 Q & A を行う。さらに、可能ならば、語法・文法上の問題点を取りあげた調査・報告をする。充分な下調べを前提に、出席を重視する。

### 【評価方法】

授業ごとの音読・解釈や問題点の指摘・調査報告などの平常点を重視し、レポート・小論文と合わせ総合的に評価する。

### 【テキスト】

抜粋プリントを使用する。

### 【参考書籍】

英語の表現と語法 (堀内俊和著 中日文化会 2,700円)



## 英語学講義演習Ⅱ a・b

樗木勇作（前期）、中郷慶（後期）

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代英語学Ⅱ

最近の英語学の研究動向を知ることと、各自の研究テーマについて考察を深めることを目標とする。英語学に関する論考・論文を雑誌や論集から選び、ディスカッションの材料とする。

[今週の一面記事および社説から（英字新聞）]

Discussion & Structural Analysis

[論文レポート]

[テキストの精読]

### 【授業計画】

参加者全員で共通の論文を読む輪読形式と、レポーターが興味のあるテーマを発表するレポート形式を交互に行う。二回目以降は英語で書かれた論文を英語でレポートする。

### 【評価方法】

レポート＋小テスト＋平常点（出席・授業態度）。

### 【テキスト】

*Linguistics An Introduction to Language and Communication*  
FOURTH EDITION

Adrian Akmajian, Richard A. Demers, Ann K. Farmer, and  
Robert M. Harnish (1995), MIT Press

\$ 29.00 (paper)

## 米文学講義演習Ⅱ a・b

唐澤 恪

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

この講義演習では、プリント資料により、アメリカ史の重要事項を次のような区分で概観し、これと各時代の文化との関連を考察する。

<前期>

1. ヴァイキングたちの北米への進出から南北戦争時代まで。
2. 南北戦争後から大恐慌前まで。

<後期>

3. 大恐慌時代から現代まで。

後期にはさらに、上記の1～3の時代について、主に宗教、文学などの観点から考察する。

### 【授業計画】

要所所で宿題を課し、報告を求める。毎回、（学生の報告）→学生の訳読ないし大意発表→質疑応答→教師による注釈、という順序で授業を進める。

### 【評価方法】

成績評価は、平常点（特に重視する）とレポートによる。

### 【テキスト】

プリント配布。

## 米文学講義演習Ⅱ a・b

池谷敏忠

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代アメリカの代表的詩人の重要な詩を取り上げ、絵画的性、音楽性などを多角的に探究して、思想、情緒を研究します。

前期は下記の詩人の代表的な作品を取り上げます。

Wallace Stevens

Robert Frost

W. C. Williams

and others

後期は下記の詩人の代表的な作品を取り上げます。

T. S. Eliot

Robert Bly

James Wright

and others

### 【授業計画】

プリントを用いて講義・解説し、討論もします。

### 【評価方法】

レポートまたはテストと出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

信頼できる原書のプリント。

## 米文学講義演習Ⅱ a・b

太田直子

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

20世紀アメリカ小説研究Ⅱ

William Faulknerの*The Sound and the Fury* (1929)を読む。第4章“April Eighth, 1928”から輪読する。南部の歴史、作品の構成、時代背景を考察する。

### 【授業計画】

前期：

*The Sound and the Fury* 第4章

後期：

発表形式で、第1章

第2章

第3章

### 【評価方法】

レポート及び、平常点（発表）。

### 【テキスト】

William Faulkner, *The Sound and the Fury*



## 卒業論文

柳 五郎 柳原佳枝 大野光子 池谷敏忠 唐澤 恪  
太田直子 堀内俊和 樗木勇作 中郷 慶

4年 通年 選択 8単位

### 【授業の概要】

各自が選定したテーマに関して、「卒業論文」担当者（ゼミ担当教員）の指導のもとに卒業論文を完成させる。なお、論文は英語で書き、ワープロを使用するのが望ましい。

### 【授業計画】

「卒業論文」担当者の指示に従い、「卒業論文」を受講する。さらに、次の各締切日は厳守しなければならない。

5月10日（水）	午後4時	
	論文骨子（2～3ページ）	提出締切
7月12日（水）	午後4時	
	論文梗概（5～6ページ）	提出締切
10月10日（火）	午後4時	
	論文初稿（約30ページ）	提出締切
12月11日（月）	午後4時	
	論文	提出締切

### 【評価方法】

「卒業論文」担当者を中心に、題目の選定、論旨の展開、文章表現法、注のつけ方等に着目し、総合的に評価する。

### 【テキスト】

各担当教員の指示に従うこと。

論文の書き方の一般的な説明については、以下の図書を参考にするとよい。

『英文科学生必携ハンドブック』研究社

『MLA新英語論文の手引』北星堂

『卒論を書こう』榎木伸明 三修社

## 言語学 a・b

増田尚史

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

「言語」という広範な現象のうち、特に形態素としての「単語」と、それに内在する統語的、意味的制約（あるいは規則）とについて、言語学的方法論を踏まえつつ検討を加える。さらに、技術としての形態素解析や、語用論に基づくレトリックの解析についても講究する。なお、個人が晒されている言語環境の再吟味を課題とするショート・レポートを、前後期ともに、適宜課することを予定している。

### 【授業計画】

前期（a）

1. 科学としての言語学
2. 言語学の方法
3. 形態論と形態素としての単語
4. 語形成と統語的制約
5. 語形成と意味的制約

後期（b）

6. 形態素解析
7. 語彙データ・ベース
8. 心的辞書
9. 語用論
10. 語用論とレトリック

ただし、受講者数等に鑑みて、順序および内容に変更を加えることもある。

### 【評価方法】

出席状況とショート・レポートの成績とによって、総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業の中で、適宜紹介する。

## 比較文学 a・b

池谷敏忠

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

比較文学は国際間の（国と国との間の）文学的関係の歴史を調べ研究する学問です。この授業はT. S. エリオットの詩と菊村到の小説など日英米仏文学の影響関係を具体的に考察します。さらにエリオットの詩論と芭蕉俳論などの対比研究も試みます。

前期は次の事項を予定しています。

- 比較文学の定義と本質
- 日本における *The Waste Land* の受容
- T. S. エリオットと立原正秋
- 共同体と個性の文学
- T. S. エリオットと小林秀雄

後期は次の事項を予定しています。

- T. S. エリオットとベルグソン
- 形而上詩人のアルス・ポエティカ
- 芸術作品の創造と伝統の継承
- Spectrum* に見る西脇詩の原型
- T. S. エリオットと西田幾多郎

### 【授業計画】

テキストを用いて講義・解説します。受講生は必ずテキストを持参して下さい。

### 【評価方法】

レポートまたはテストと各自の出席状況を加味して評価します。

### 【テキスト】

比較文学論集（池谷敏忠 見学出版 値段未定）

## 外国語としての日本語 a・b

石橋千鶴子

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

外国語としての日本語の特徴を文法の面から考察する。

### 【授業計画】

日本語テキストおよびビデオ日本語教材を用いて、初級日本語教育で扱う文型、文法事項の英語による具体的指導法を考えていく。外国語としての日本語の文法基礎知識を得ることが期待される。

### 【評価方法】

期末試験および授業活動により評価を行う。

### 【テキスト】

- ①新日本語の基礎Ⅰ 本冊漢字かなまじり版（海外技術社研修協会編 スリーエーネットワーク発行）
- ②新日本語の基礎Ⅰ 文法解説書 英語版（海外技術者研修協会編 スリーエーネットワーク発行）



## 英文学海外セミナーⅠ

大野光子 キース・イーズリー

1～4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

＜アイルランド文化・英語夏期研修＞

夏期休暇期間中に、本学交流提携大学である北アイルランドのアルスター大学において、アイルランドの歴史・文化・文学及び英語の総合指導を受けた後、アイルランド国内等の研修旅行を行う。修了者には、2単位が認定される。

2000年度の予定は下記の通り。

8月中旬～9月初旬

3週間のアルスター大学等での英語・英国文化研修  
その後1週間のアイルランド国内バス旅行

午前及び午後：主に教室内学習

午後または夜：見学または観劇等

合計約40時間の学習

週末はベルファースト等視察

現地では、大学内寮に滞在

### 【授業計画】

アルスター大学CELTによる本学学生用特別プログラムで、本学教員は同行しない予定。従って、全期間にわたり、全ての指導は現地教員により英語で行われる予定。

### 【評価方法】

CELT教員の評価により本学が単位を認定する。

### 【テキスト】

現地にて指示。

本プログラムに参加するには、前期開講の「アイルランド文化」を受講し、単位を取得することが条件となる。

## 英文学海外セミナーⅡ

大野光子 キース・イーズリー

1～4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

＜イギリス文化・英語春期研修＞

春期休暇期間中に、本学交流提携大学であるイギリスのイースト・アングリア大学において、英国の歴史・文化・文学及び英語の総合指導を受けた後、英国内等の研修旅行を行う。修了者には、2単位が認定される。

2000年度の予定は下記の通り。

2月中旬～3月初旬

3週間のUEA 英語・英国文化研修

その後1週間の英国・アイルランド国内バス旅行

午前及び午後：主に教室内学習

午後または夜：見学または観劇等

合計約40時間の学習

週末はロンドン、ケンブリッジ大学等視察

現地では、ひとりずつホームステイ

### 【授業計画】

イースト・アングリア大学 CEB による本学学生用特別プログラムで、本学教員は同行しない。従って、全期間にわたり、全ての指導は現地教員により英語で行われる。

### 【評価方法】

CEB 教員の評価により本学が単位を認定する。

### 【テキスト】

現地にて指示。

本プログラムに参加するには、後期開講の「イギリス文化」を受講し、単位を取得することが条件となる。

## アイルランド文化

ブライアン・カレン

1～4年 前期 選択 2単位

### 【Course Content】

The course will be centered around Irish history, moving from early history up to the formation of the Irish Republic. The culture, traditions and literature of Ireland will also be presented through short readings, videos, puzzles and activities. Most of the factual information will be presented in a source book. Depending on time, some of this material will not be covered in class. Students are encouraged to read further into their areas of interest in the source book or in the other reference materials which are suggested.

The literature of Ireland shall also be introduced through short pieces from famous Irish writers. There will be a mixture of new and old, including Yeats, Patrick Kavanagh, Oscar Wilde, Roddy Doyle and George Bernard Shaw. The songs of Ireland will also be well-represented in the course, linking into the various topics as much as possible.

### 【Schedule】

Method : Students will be required to participate actively in class discussions and activities.

### 【Assessment】

Assessment : Grades will be based on participation, homework and a test.

### 【Textbooks】

Text book : An original text compiled by the teacher will be made available before the start of the course.

## イギリス文化

キース・イーズリー

1～4年 後期 選択 2単位

### 【Course Content】

英語によるイギリス文化理解のための特別講座

イギリスの文化全般について、特にイースト・アングリア大学で行われる春期研修へとつながる内容を含みながら、英語聴解・発表力を養成すべく、指導するものである。併せて日本文化を相対化する視点・獲得も意図する。

The course will last for approximately twelve weeks, one period a week. Many of the following subject areas will be considered :

Britain's Contribution to World Culture

Money and Work

Language & History

Education

Food & Drink

Traditions, Manners, and Attitudes

Art, Film and Music

Britain's Class System.

Britain & Japan

Everyday Living

These subjects are not exclusive of one another, & their interconnectedness will be emphasised. Throughout the course, the aim will be to show Britain's place in the World, historically & now. As opportunities arise, the connections between ASU & UEA will be emphasised. Class size will be limited and there may be a test in the first lesson.

### 【Schedule】

The course will be taught entirely in English, through interactive lectures. Each week there will be a lecture on one of the topics, followed by discussion.

### 【Assessment】

Assessment will be continual, supplemented by a test at the end of the semester, & an individual written project to be completed by each student during the semester.

### 【Textbooks】

None



## Intensive English 2000

デイビッド・C. ダイカス ポール・ルイス ポール・C. リンガー ジョアン・M. ウッドマン  
デイビッド・レヴィ ジョナサン・E. ロング ハリー・T. ノリス

2～4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This unique course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural.

Emphasis will be predominantly on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills—including vocabulary, comprehension, and grammar—will also be cultivated.

Teachers from The United Kingdom, North America, Canada, and Australia will be teaching on this course, providing a well-rounded perspective of the contemporary themes found in the text and encouraging critical thinking.

Students will have a choice of four two-day courses of study (see student handbook for more detailed information).

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers.

Examples of such themes include the following:

- 1) GENDER STEREOTYPES AND WORK
- 2) THE AFFECT OF FOOD ON MOOD
- 3) VACATION SPOTS AROUND THE WORLD
- 4) STAYING HEALTHY
- 5) UNEXPLAINED PHENOMENA
- 6) OUTDOOR LEISURE ACTIVITIES

### 【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:

- \* ATTENDANCE
- \* CLASS PARTICIPATION/EFFORT
- \* HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- \* END OF SEMESTER REPORT

### 【Textbooks】

TO BE ANNOUNCED.

下記の科目は、本年度開講しません。

## 英米文学特殊講義Ⅲ

## 英語学特殊講義Ⅲ

## English 201 a・b

ジェニファ・J. マギー

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This class will focus on increasing students' comfort with conversational English. Listening and speaking will be especially emphasized. Students will be expected to participate enthusiastically in group and pair discussions.

### 【Schedule】

The course schedule is flexible and will be in part determined by the interests of the students.

### 【Assessment】

Assessment will be ongoing and will include attendance, participation, effort, homework, and quizzes.

### 【Textbooks】

None

## English 201 a・b

ポール・C. リンガー

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This course covers all four language skills, with particular emphasis on listening and speaking. Throughout the course there will be emphasis on meaningful communicative practice. Students will have the opportunity to personalize the language they learn, to make use of their own world knowledge, and to express their ideas and opinions.

### 【Schedule】

The course makes frequent use of pairwork, groupwork, and whole class activities, maximizing their opportunity to speak English in class.

The students' role is to participate actively and creatively in learning, using both the materials they study in the course and their own knowledge and language resources.

### 【Assessment】

Assessment is continual and will be based on the following criteria:

- \* attendance
- \* class participation
- \* homework and assignments
- \* end of semester progress test that assess students' learning of grammar, conversational expressions, vocabulary, and listening

### 【Textbooks】

New Interchange 3 (Jack C. Richards cup)



## English 201 a · b

ダニー・T. モルデン

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This course aims to help students improve their English communication skills in a practical context. Students will work on speaking, listening, reading and writing while discussing how to use those skills in various contexts. Particular emphasis will be placed on speaking and listening skills.

### 【Schedule】

The topics covered will be based on different contexts for communication. The course schedule is somewhat flexible and will be determined as the course develops.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, homework and quizzes.

### 【Textbooks】

There is no assigned textbook for this course.

## English 201 a · b

アンドリュー・J. ムーディー

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This course will explore the language and culture of North America and the ways in which that culture is represented in and influenced by Rock & Roll music. Students will conduct research on the history of the music that we discuss in class. Beyond this course's emphasis on conversation and listening, students will also receive practice in reading and writing. In addition to listening to music assigned in the class, students will also be asked to give oral reports on some aspect of North American culture. The class will also use small group discussion and daily worksheets to develop conversation skills.

### 【Schedule】

前期：1955－1960;Elvis Presley, Chuck Berry, Jerry Lee Lewis, and Buddy Holly; 1950s conservatism, Payola scandal, the Cold War, Television.

後期：1960－1965;The Beatles, The Rolling Stones, Bob Dylan, Motown;Woodstock, Kent State, Vietnam War.

### 【Assessment】

quizzes 15%  
in-class worksheets 15%  
homework 15%  
oral report 15%  
final exam 40%

### 【Textbooks】

Textbook for the class will be distributed at the first meeting. In addition to reading materials, students will also be given 2 CDs for listening.

## English 202 a・b

ダニー・T. モルデン

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This course aims to help students improve their English communication skills in a practical context. Students will work on speaking, listening, reading and writing while discussing how to use those skills in various contexts.

### 【Schedule】

The topics covered will include:

1. Greeting
2. Compliments
3. Shopping

The course schedule is somewhat flexible and will be determined as the course develops.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, homework and quizzes.

### 【Textbooks】

There is no assigned textbook for this course.

## English 202 a・b

アンドリュー・J. ムーディー

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This course will use the theme of inter-cultural interaction as it is portrayed in three North American movies to study the language and culture of North America. Students will conduct research on the history of the events portrayed in the movies we study.

This course will emphasize English conversation skills, but will also include some reading and writing each semester. In addition to viewing the assigned movies in class, students will be asked to give an oral report on some aspect of North American culture. The class will also use small group discussion to develop conversation skills. While we may view some scenes of the movies in class, students will be required to view the movies in the AV センター before the assigned class.

### 【Schedule】

前期：“Mr. Baseball,” “Picture Bride,” & “Come See the Paradise”

後期：“The Joy Luck Club,” “Armistad,” & “Glory”

### 【Assessment】

- quizzes 15%
- in-class worksheets 15%
- homework 15%
- oral report 15%
- final exam 40%

### 【Textbooks】

Textbook for the class will be distributed at the first meeting. In addition to the reading materials, a copy of each of the movies will be on reserve at the AV センター.



## English 202 a・b

ジェニファ・J. マギー

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【Course Content】

This course will focus on all four aspects of language: reading, writing, speaking, and listening skills. There will be a focus on practical language use. Students will practice expressing their ideas opinions in English and expanding their useful vocabulary.

### 【Schedule】

The course schedule is flexible and will be in part determined by the interests of the students.

### 【Assessment】

Assessment will be ongoing and will include participation, tests, writing assignments, attendance, and effort.

### 【Textbooks】

None

## 英文講読Ⅲ a・b

横関美津紀

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

イギリスやアイルランドの作家による短篇を読むことで、英文読解力の養成を目指すとともに、作品を味わう楽しさを見出したい。なお、作品の歴史的・社会的・文化的な背景への関心も高めていきたいと考えている。

対象とする作家は、

1. T. Hardy
2. J. Joyce
3. K. Mansfield
4. Angela Carter
5. Edna O'Brien

などの他に、読書リストを配布する予定。

### 【授業計画】

学習者による輪読形式を基本とし、適宜、レポートを提出してもらう。また、読書リストに基づき、なるべく多くの作品に接し、意見を発表する機会を持ちたい。

### 【評価方法】

出席状況・平常点・課題・試験等を総合的に評価する。

## 英語学概論 a・b

アンドリュー・J・ムーディー

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will serve as a basic introduction to the study the English language and to the more general field of language and linguistics. The primary aim of the course is to develop structural descriptions of English using principles of linguistics. Particular attention will be paid to the study of English phonology and grammar. Although references will be made to structures in other languages, especially in Japanese, the primary purpose of the course is to develop structural analyses of English.

In addition to structural description, this course will also introduce students to some applied fields of English linguistics. Applied Linguistics (応用言語学) topics will include :

- ・ pragmatics
- ・ language policy
- ・ sociolinguistics
- ・ language teaching and acquisition
- ・ history of English

### 【Schedule】

前期 : language universals, phonetics, phonology, morphology, syntax, and semantics

後期 : history of English, Speech Act Theory, sociolinguistics, language acquisition, writing, and World Englishes

### 【Assessment】

- quizzes 20%
- homework 20%
- notebook 20%
- final exam 40%

### 【Textbooks】

Textbook for the class will be announced at the first meeting. In addition to a regular text, there will be a number of handouts for student use.

### 【References】

- Ohio State University (1998) Language Files. 7th Edition.
- Finegan, Edward (1999) Language : Its Structure and Use.

## 言語学概論 a・b

田中春美

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【授業の概要】

国語学と英語学の基礎をなす言語学の広大な分野を概観する。人間の言語に共通する特性、どの言語にも適用できる分析手順、そして、言語学と関連科学が協力する学際的分野をいくつか学ぶ。

### 【授業計画】

前期は、言語の習得、動物の伝達と人間の言語、言語の構造、音声学と音韻論、文法、意味論などを概観する。実例は、できるかぎり英語と日本語を用いるつもりである。

後期は、やはり英語と日本語を中心として、言語の系統、世界の諸言語、言語地理学、言語の変種、言語と社会、言語教育などを学ぶ予定。

### 【評価方法】

前後期とも、筆頭試験を主として評価の中心にする。ただし、学期中に提出してもらい1～2回のレポートも、評価に加える。

### 【テキスト】

言語学入門 (田中春美ほか著 大修館書店 1,700円)



## 言語文化基礎演習 a

外池俊幸

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

研究論文作成の方法を学ぶ。

論文を作成するという事は、文献を探し、トピックを選び、下書きを書き、それを様々な観点から検討し、何度も手直しをする過程を経ることです。そういう過程を経なければ、いい論文は書けません。論文を書くということはそういうことだということを学び、各自が興味を持った問題についてterm paperを作成するところまで行きます。

1. 佐伯 胖 (1986)『認知科学の方法』認知科学選書10、東京大学出版会の第1章「おもしろい研究をするには」を読み、論文を書くこと、言い換えると問題点をどう整理すればよいかを学ぶ。
2. グループ討論：いくつか論文を取り上げて、グループに分かれて内容の検討を行う。
3. 個別発表：各自が興味を持った問題を選び、term paperを作成する。手直しが必要なので、どう手直しするのがいいかを授業中に議論する。

### 【授業計画】

1. 全体を方向付けるために佐伯 胖 (1986) の第1章を各自が読む。
2. 取り上げる予定のトピック、領域に関しての概論書を挙げるので、その中から各自が興味のあるものを選び、それを読む。
3. 個々のトピック、領域ごとに面白いと考えられる論文を挙げるので、各自がその中から興味のあるものを選び、関連する文献などを探し、term paper にまとめることを目標に先へ進む。

### 【評価方法】

演習への参加状況、意欲、作成過程と結果として出来上がった term paper により評価する。

### 【テキスト】

ある1冊の本をテキストとしては指定しない。  
授業中に参照して欲しい複数の文献を指示するという方法で進める。

## 言語文化基礎演習 b

窪田守弘

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本人の言語教育は、学校の国語教育の中でなされるのが普通であるが、それは文学鑑賞や文法教育などが主な内容となっていて、生きた日本語の言語表現を学ぶ機会はほとんどないといえる。そのために日本人でありながら、日本語で文章を書くことを苦手とする人が意外に多いようである。そこで、日本人の様々な言語表現に着目して、学生の日常生活の中から具体的な資料やデータをもとに日本語表現の在り方を考えてみる。

次に日本の代表的な作家である夏目漱石の作品を通して、日本語が文学の領域でどのように表現されているかを考える。漱石は日本の代表的な作家でありながら、作品の内容をよく知らない学生もいるので、これを機会に彼の主な作品の担当を決めて発表し、それをもとにディスカッションへと進めていきたい。なお、漱石については、彼の伝記や創作活動を整理して知識を深める。

### 【授業計画】

テキストをもとに日本人の言語表現の多様性や傾向を調べる。そして、日本人の言語表現の一般的知識をもとに夏目漱石の作品からその表現形式の特徴を分析する。漱石の作品は学生のグループ発表を中心として進める。

### 【評価方法】

学期末の試験、グループ発表、出席状況などで判断する。

### 【テキスト】

日本語表現 窪田守弘著 見学出版 2,700円

## 言語文化論 I 1 (中国)

馮 富榮

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

映画という窓口から、中国及び中国の文化をのぞきみる。つまり、中国の映画を通して、中国の歴史、社会的変遷、中国の民族及び中国人の風俗習慣、物事の見え方などを幅広く紹介する。

### 【授業計画】

あらかじめ各授業の中心テーマを定めておく。予習として、それぞれのテーマを反映している映画を各授業の前の課外時間に見た上で、質問と感想を書く。授業では、まず各中心テーマについて講義し、その後、質問に答える時間を設定する。最後に各中心テーマについての感想を述べ合い、風俗習慣や物事の見え方における日本と中国との違いを討論する。但し、受講者数によっては授業の進め方に多少変更する可能性がある。

### 【評価方法】

課題の提出状況、受講態度、出席率及び期末レポートにより評価する。ペーパーテストは実施しない。

### 【テキスト】

なし。

## 言語文化論 I 2 (ロシア・東欧)

杉本一直

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

20世紀初頭から現在にいたるロシア文化の特質を特に芸術分野に焦点を当てて考察する。映画、絵画、詩、小説、バレエ、音楽など、具体的に作品を紹介しながら、ヨーロッパにおける芸術運動と比較していく。

### 【授業計画】

- ロシア・アヴァンギャルドの詩人たち
- 20世紀初頭の映画と映画理論：エイゼンシュテインを中心に
- ディアギレフとロシア・バレエ団
- ロシア・アヴァンギャルドの画家たち
- 抽象絵画の巨匠：カンディンスキイとマレーヴィチ
- 現代の作家たち：ペレーヴィンを中心に
- 亡命芸術家たち：ナボコフとシャガール

### 【評価方法】

出席状況とレポートによる。

### 【テキスト】

プリント配布。



## 言語文化論 I 3 (フランス)

清水ベアトリックス

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ヨーロッパ文明の発祥の国フランスについての理解を深めることはヨーロッパ文化を理解するうえで重要である。フランス語とフランス文化の概要を学ぶことにより、フランスへの関心と理解への動機づけとしたい。

#### 前期

このコースは、受講者の興味を考慮に入れ授業内容を考えたい。現代フランス社会と日常使用されているフランス語を学ぶとともに、担当講師（フランス人）の在日体験談を交え、フランス・日本両国を言語・文化の面から比較検討する。

とにかく、下記のテーマで行う。

- フランスの地理
- フランスの建国
- フランス国民の起源
- フランスの社会問題
- フランスの家族
- 教育制度
- フランスとヨーロッパ
- フランス人と余暇など。

#### 後期

前期と同じ。

### 【授業計画】

毎回、担当教員が指定したテキストの章について議論し、テレビや新聞で報道されたフランスに関する時事問題の中で特に学生の関心を引くようなものを選んで、解説したい。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題（テキストや映画についての感想文）、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

変貌するフランス（西永良成 日本放送出版協会）

## 言語文化論 I 4 (ドイツ)

藤井たぎる

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ドイツ・オーストリアの生活文化とその言語。現代のドイツ・オーストリア事情の一端を紹介しながら、ドイツ・オーストリアのいろいろな「顔」を発見してもらう。

### 【授業計画】

下記のようなさまざまな日常的なテーマを取り上げて、ドイツ・オーストリアの事情を日本のそれと比較しながら両者の類似性と差異をみてゆく。また初歩的なドイツ語会話の練習もあわせておこなう。

- 1) ドイツ・オーストリアの風土
- 2) ドイツ・オーストリアの近現代史
- 3) ドイツ・オーストリアのマス・メディア
- 4) ドイツ・オーストリアの衣食住
- 5) ドイツ・オーストリアの消費生活
- 6) ドイツ・オーストリアの芸術文化

講義形式ではあるが、授業中にいろいろな意見を求め、各自の考えるところを積極的に発言してもらう。必要に応じてプリントを配布する。

### 【評価方法】

筆記試験。

### 【テキスト】

適宜、プリントを配付する。

## 言語文化論 I 5 (スペイン)

木下 登

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

変化に富んだ風土と長い歴史に生まれ、多様性に満ちたスペイン文化の特質と魅力を浮き彫りにする。そして最終的には、わが国の文化との比較を試みる。

### 【授業計画】

1. スペインの大地
2. スペインの歴史概観
3. ローマ時代 (セネカ)
4. 西ゴート時代 (イシドロー)
5. イスラーム・スペイン時代 (イブン・トゥファイル)
6. カトリック・スペイン時代
7. 大航海時代 (ラス・カサス)
8. 19世紀のスペイン
9. 現代のスペイン
10. まとめ

### 【評価方法】

筆記試験に出席状況を加味して評価。

### 【テキスト】

授業中に指示します。

## 言語文化論 I 6 (中東)

奴田原睦明

集中 2・3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

異文化としてのアラブ世界を概観し、そこにおける社会、人間、文化を大きく定着民と非定着民のそれに分けて比較しながら論じる。その際主として近現代に書かれたアラブの文学作品及びアラブ世界における体験を通して講義を進めたい。

### 【授業計画】

- 第1講 概論；アラブ世界及びアラブ文学について
- 第2講 各論；エジプト。エジプト的性格。
- 第3講 各論；エジプトの作家と作品。
- 第3講 各論；パレスチナの作家－カナファアーニー
- 第4講 各論；スーダンの作家－タイイブ・サーレフ
- 第5講 各論；モロッコの作家－ラアビー
- 第6講 各論；定着民と非定着民の比較及びベドウィンの特性
- 第7講 各論；トウアレグ族に帰属する作家・イブラヒム・コーニーの世界 その1
- 第8講 各論；コーニーの世界 その2
- 第9講 各論；異文化体験 W・Thesigerの沙漠探検
- 第10講 各論；異文化体験 シリア沙漠においてベドウィンと暮らす。
- 第11講 各論；異文化を見る視座
- 第12講 レポート作成

### 【評価方法】

出席状況と単位認定試験（レポート）の成績によって評価。

### 【参考書籍】

遊牧の文学（奴田原睦明著 岩波書店）



## ことばと文化 a・b

川村陽子

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文化や社会がもつ特性が人間の言語行動とどのように関わっているかについて、さまざまな観点から概説する。さらに、日本語と英語の表現形式を具体例として取りあげ、日本語は状況に焦点をあてた言語であり、英語は人間に焦点をあてた言語であるということについて検討していく。これらの日本語と英語の表現形式の比較・分析をとおして、それぞれの言語と文化の関連性を考えてみよう。前期・後期いずれかのみ履修、また通年の履修も可能なように、授業内容については配慮する。

### 【授業計画】

前期 [ことばと文化 a]

- 第1～3講 概論 ことばと世界の認識
- 第4～6講 概論 ことばの構造と文化
- 第7～9講 各論 会話における省略
- 第10～12講 各論 所有表現と存在表現
- 第13講 定期試験

後期 [ことばと文化 b]

- 第1～3講 概論 ことばと世界の認識
- 第4～6講 概論 ことばの表現形式と文化
- 第7～9講 各論 主語の省略
- 第10～12講 各論 名詞表現と動詞表現
- 第13講 定期試験

### 【評価方法】

出席および授業のための準備と期末レポート、あるいは定期試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 比較文化論

松本青也

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日米文化の比較

何気なく喋ったり、行動したりしているつもりでも、私たちは常に自国文化の影響を受けています。「文化」を、集団が共有する価値観や規範の体系としてとらえ、日本人とアメリカ人の考え方や生き方を豊富な事例をもとに比較対照しながら、それぞれの文化の特質を浮き彫りにします。

アメリカのテレビ番組や新聞雑誌の分析を加えながら講義と意見交換で進行するこの授業は、いわば自国文化に縛られた自分の姿を映し出す鏡。覗いてみると、もっと自由に伸びやかな生き方が目の前に広がります。

### 【授業計画】

1. 文化論
- 2～9. 文化変形規則 (CTR)
10. システムとしての CTR
11. 研究対象としての CTR
12. 日本語の衝突と CTR
13. CTR と学校英語教育
14. これからの日米文化

### 【評価方法】

レポート、学習態度、出席状況による総合評価。

### 【テキスト】

松本青也『日米文化の特質』研究社

## コミュニケーション論 a・b

ダニー・T. モルデン

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will introduce students to the study of communication in English. Students will learn about the theory of communication in a variety of contexts from interpersonal (one to one) to public (one to many).

### 【Schedule】

The topics covered will include:

1. General communication theory
2. Interpersonal communication
3. Intercultural communication
4. Small group communication
5. Public communication

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance and quizzes conducted in English.

### 【Textbooks】

There is no assigned textbook for this course.

## 異文化コミュニケーション a・b

高井次郎

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

異文化コミュニケーションは、文化的背景の異なる二者間の社会的相互作用のことを意味します。人々のものの見方の大部分は文化によって決定されます。その文化が違っていたら、コミュニケーションにおける意志疎通の問題が生じ、誤解の原因になります。異文化コミュニケーションはいかにすれば、こうしたコミュニケーションの障害を最低限に抑えられるのかを追究する学問です。前期はコミュニケーションの基礎を中心に取り上げ、後期は心理学の観点から異文化コミュニケーションをアプローチします。

原則として授業方式は、講義としますが、内容を理解しやすくするため、集団討議法や経験学習法をなるべく多くもうけたいと考えています。

### 【授業計画】

前期は、コミュニケーションの機能と過程、文化とコミュニケーション、言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション、対人認知、ステレオタイプ、人種偏見、人種差別、異文化間コンピテンス、異文化間トレーニング等について検討します。

後期は、文化の種類、文化と認知、文化と子育て・家族、文化と性差、文化と攻撃性、文化と対人関係、在日留学生問題、帰国子女問題、在日外国人問題等を取り上げます。

### 【評価方法】

期末試験をもって成績の評価を実施します。

### 【テキスト】

前期 異文化コミュニケーション論 (古田暁監修 有斐閣選書)

後期 比較文化心理学 (田中国夫訳 北大路書房)



## 言語文化特殊講義 1 a・b

松本雄子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文化とコミュニケーションの関係は、私たちが思っている以上に複雑であり、互いに強く影響しあっている。ここでは「異文化間コミュニケーション」の特徴や重要性について検討する。

### 【授業計画】

前期は、異文化間コミュニケーションの基礎概念や理論を中心に講義する。文化によるコミュニケーションの違いだけではなく、地域、社会的階層、性別、年齢によるコミュニケーションの違い等にも焦点をあてる。

後期は、前期に学んだ概念や理論をもとに、実際にグループで簡単な調査をし、発表してもらう。過去の調査研究や、様々な調査方法等を説明しながら、授業時間も使って調査を進める。

### 【評価方法】

前期はテスト。後期は、グループ研究の成績によって評価する。

### 【テキスト】

特になし。必要に応じてプリントを配付する。

## 言語文化特殊講義 2 a・b

渡辺かよ子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

「教養」に関する比較思想史：日本語の「教養」という言葉はギリシャ語のパイデアの翻訳であるドイツ語のBildungのさらなる翻訳として定着した。「教養」をめぐる各国の思想史を概説し、国際化・高齢化・情報化の進展の中で、今後の自己教育としての教養はいかにあるべきなのかを討議する。

### 【授業計画】

前期 a：高等教育と「教養」の比較思想史

- 1：ギリシャ時代の教養
- 2：中国の伝統的教養と科学
- 3：中世の大学と教養
- 4：19世紀以後の英独仏米の高等教育と教養思想
- 5：旧植民地・「発展途上国」の高等教育と教養

後期 b：近現代日本の高等教育と教養論

- 1：日本の高等教育と教養思想の概説
- 2：大正教養主義
- 3：1930年代の教養論
- 4：戦後の一般教養思想
- 5：現代の教養論：多文化主義と教養

### 【評価方法】

平常レポートと討議。

### 【テキスト】

変わる社会と大学(牟田博光編著 放送大学教育振興会)  
新しい教養を拓く (筒井清忠編 岩波ブックレット)

### 【参考書籍】

教養とヒューマニズム (村瀬裕也 白石書店)  
知の文化と型の文化 (鹿毛誠一 創文社)  
比較高等教育論 (アルトバック 玉川大学出版部)  
高等教育システム (クラーク 東信堂)  
大学の誕生と変貌 (横尾荘英 東信堂)  
現代の大学・高等教育 (喜多村和之 玉川大学出版部)  
学歴貴族の栄光と挫折 (竹内洋 中央公論新社)  
教養の復権 (沼田裕之他 東信堂)  
近現代日本の教養論 (渡辺かよ子 行路社)  
ディスタクシオン (ブルデュー 藤原書店)

## 言語文化特殊講義 3 a・b

木下 登

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

スペインの国民性とスペイン文化の華である芸術（絵画、建築、音楽）の関係を考察する。ビデオ教材を活用する。

### 【授業計画】

1. スペイン論の系譜
2. スペインの絵画（エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤ、ピカソ、ダリ）
3. スペインの建築（ロマネスク、ゴシック、バロック、モデルニスモ）
4. まとめ

### 【評価方法】

筆記試験に出席状況を加味して評価。

### 【テキスト】

授業中に指示します。

## 言語文化特殊講義 4 a・b

馮 富榮

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

中国語の文章を読むことによって、中国の言語・文化を知り、考える。

主として、以下のことを紹介する中国語の文章を作成して、授業を進めていく予定である。

「三皇五帝」、「甲骨卜辞」、「姓氏」、「老庄之学」、「臥薪嘗胆」、「稷下学宮」、「孫子兵法」、「晏子」、「絲綢之路」、「4大発明」、「三顧茅廬」、「漢字文化」、「万里長城」、「中国女皇」、「中秋節」

以上の文章を学習することによって、中国の言語・文化を含め、中国の歴史、文学、風俗習慣についての知識を身につけること、中国語の実力をアップさせることをこの授業の目標とする。ゆえに、中国語の力のある程度身につけたい学生は、ぜひこの授業を履修してほしい。

### 【授業計画】

あらかじめ、今回の授業で使う文章を全員に配り、予習として各自が分からない箇所を調べてくる。授業は、朗読の練習から入り、そして文章の翻訳を行う。翻訳は学生を主体にして行うが、分からないところは、教員側から説明を加える。翻訳のあと、文章の中に出ている中国語の常用文型などについて、教員側から説明を行う。さらに、中国語を用いて、内容の概要を述べたり、感想を書いたりすることとときどき行う。

### 【評価方法】

課題の提出状況、受講態度、出席率及び期末レポートにより、評価する。期末のペーパーテストは実施しない。

### 【テキスト】

自作教材。



## 言語文化特殊講義 5 a・b

ジェニファ・J. マギー

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This class will examine American idiom and metaphor as a way of understanding some Western cultural assumptions. Students will be exposed to a variety of English idiomatic expressions and assumptions and will compare these idioms to Japanese idioms and metaphors. Cultural differences will be explored in depth.

### 【Schedule】

The first few classes will be an introduction to metaphor and idiom. Later classes will examine different idioms and metaphors in greater depth. Students will often be asked to bring literal and figurative translations of Japanese idioms to class.

### 【Assessment】

Classroom attendance, participation, and homework will account for about 50% of the course grade. Quizzes over English idiomatic expressions and metaphors will account for the remaining 50%.

### 【Textbooks】

There is no set for the class, but there will be occasional readings assigned in both English and Japanese.

## 言語文化演習 I a・b (コミュニケーション論)

ジョリー幸子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

当演習は、我々の日常のコミュニケーションの93%を占めると言われる「非言語コミュニケーション」について学ぶもので、異文化コミュニケーションの一下位分野である。

### 【授業計画】

- 第1週 コースオリエンテーション (前期)
- 第2週 動作学 (Kinesics)
- 第3週 近接学 (Proxemics)
- 第4週 領土性 (Territoriality)
- 第5週 接触学 (Tactility・Haptics)
- 第6週 嗅学 (Olfaction)
- 第7週 空間学 (Space)
- 第8週 時間学 (Chronemics)
- 第9週 対物学 (Objectics)
- 第10週 準言語 (Paralinguistics)
- 第11週 環境要素(Environmental Factors)
- 第1週 コースオリエンテーション (後期)
- 第2週 研究企画と方法(Research Methodology)
- 第3週 文献録作制(Bibliography・Reference)
- 第4週 リサーチ：Reading・Discussion
- 第5週 リサーチ：Reading・Discussion
- 第6週 リサーチ：Reading・Discussion
- 第7週 リサーチ：Reading・Discussion
- 第8週 Presentation・Report作制
- 第9週 Presentation・Report作制
- 第10週 発表 (1) (2) (3)
- 第11週 発表 (4) (5) (6)
- 第12週 発表 (7) (8) (9)

### 【評価方法】

演習への出席、ディスカッションへの参加、発表、レポート等を総合的に判断する。

### 【テキスト】

1. 世界60カ国比較文化事典、T.モリスマン、マクラミン
2. 日本の常識はどこまで通じるか：異文化交流で失敗しないために。ジョリー幸子。風媒社

### 【参考書籍】

比較生活文化事典、金山盲夫  
大修館

Gestures:DOs and TABOOs of Body Language Around the World, Roger E. Axtell,Wiley.

## 言語文化演習 I a・b (批評理論)

杉本一直

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

さまざまな国の20世紀文学を読み、現代文学が扱ってきたいいくつかの共通する問題について考察する。物語上の主題だけではなく、技法や構成面も視野に含め、理論的な作品評論を目指す。

### 【授業計画】

- 幻想小説というジャンル：ラテン・アメリカ文学を中心に
- メタフィクションとは何か：イタロ・カルヴィーノとジョン・バース
- 文学的主题としての「記憶」：ウラジーミル・ナボコフ
- 意味の不在、肉体の不在：サミュエル・ベケットとポール・オースター
- パロディとバステイーシュ：清水義範とウンベルト・エーコ
- 詩のアヴァンギャルド：フレーブニコフとマヤコフスキイ

### 【評価方法】

レポートによる。

### 【テキスト】

プリント配布、授業中に指定した書籍。

## 言語文化演習 I a・b (翻訳論)

B. サン・ジャック

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

文化とは、具体的になんであるのか、又、文化は人間とどういう関係があるのかを研究することがこのゼミの目的である。

英語と日本語の色々な翻訳を比べてみて、どれ程言語と文化の相互依存が実際になされているかを一層理解し、様々な文化的な概念は別の言語に翻訳されることが容易ではないということも実感する。外国の文化を勉強することによって、自分の文化をもっと深く理解する。

### 【授業計画】

ゼミでは、英語と日本語の教科書を使い、使用言語は主に日本語です。

色々な言語「主に日本語と英語」の翻訳を比べて、言語と文化の相互依存の事実を確認する。実際には、言語と概念の関係、文化の構造、そして、言語と文化の普遍的、独自の要素について新しい知識を得るということが翻訳論の研究の一つの目的である。イタリア語の諺、Traduttore, traditore [翻訳者というのは、裏切り者である] は、言い過ぎではあるが、翻訳の深い要素を指している。

### 【評価方法】

Presentations.

### 【テキスト】

Translation and Translation, 1991 Roger T. Bell

『翻訳という仕事』1991 小鷹信光



## 言語文化演習 I a・b (現代英米思想)

松本青也

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代英米思想を探る。

日本人の考え方にも大きな影響を与えている英米文化の背景にある思想を探ろうとするものです。トピックは、生命、愛、幸福などについての基本的な考え方を中心に、自由、平等、人権といった理念、更にそれらが現実の様々な問題解決にどう機能しているかまでを幅広く扱います。

### 【授業計画】

授業は、英米の作家、哲学者、科学者、ジャーナリストなどによる珠玉の英文の味読や、各自が選んだテーマでの研究発表、ゼミ合宿などで進行し、最後に4年次の研究や論文作成に向けて基本的な研究をまとめます。

### 【評価方法】

テスト、レポート、学習態度、出席状況による総合評価。

### 【テキスト】

自作教材。

## 言語文化演習 I a・b (対照言語学)

窪田守弘

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

対照言語学は、まだ新しい分野であるためにその定義づけが明確化されていない。しかし異なった言語体系を比較研究することは変わらないわけで、問題はその方法論にある。本演習では言語と文化の関係を、日常最も目に触れる映像を通して考えてみる。特にテレビのコマーシャルは一つの映像文化であり、異文化の映像を対照しながら、分析を試みようとするものである。従ってここではコマーシャルを徹底的に研究することが、言語と文化の新しい体系化を図る一方法だと考えられるので、学生の独創性が身につくものと信じている。

<前～後期>

#### 1. 映像の世界に触れる

- ①映画の歴史と鑑賞法
- ②シナリオの基礎知識の習得
- ③映画製作の実際 (8mmとビデオ撮影の実際)

#### 2. テレビコマーシャル論

- ①学生による発表
- ②字幕と文化の関係の分析と比較
- ③独自のシナリオ作成へのチャレンジ

### 【授業計画】

映像文化の理論と実践を同時併行で進める。ゼミは発表を中心にするが、その際コンピュータ、デジタル放送などの映像を使い、多角的に分析を行なう。

### 【評価方法】

毎回の発表と学期末のレポートで評価する。

### 【テキスト】

- ①シナリオの基礎Q&A 新井一・他著 ダヴィッド社 987円
- ②ハリウッド・ロード 窪田守弘著 晃学出版 400円

## 言語文化演習 I a・b (英語コミュニケーション)

アンドリュー・J・ムーディー

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will be an in-depth study of the language and culture of North America after World War II through the study of Rock and Roll music from this time period. The method of this class will use Cultural Studies and Pop Culture Studies to understand the interactions between music, society, and history. The class will be centered around extensive listening to music (about 3 music CDs will be distributed each semester as course material). Close analysis of the lyrics of the songs will be used to understand not only the language of the songs, but also how the culture was inscribed in and responded to the lyrics. This class will also use movies and video to study the language and culture of the time.

### 【Schedule】

前期：1955－1965; Elvis Presley, Carl Perkins, Jerry Lee Lewis, Johnny Cash, Roy Orbison, Chuck Berry, Buddy Holly, and The Beatles; 1950s conservatism, Payola scandal, the Cold War, Sputnik, Television.

後期：1965－1975; The Beatles, The Rolling Stones, Bob Dylan, The Eagles, Led Zeppelin, Pink Floyd, The Beach Boys, The Velvet Underground, Credence Clearwater Revival, Motown; Woodstock, Kent State, Vietnam War.

### 【Assessment】

quizzes 20%  
homework 20%  
oral report 20%  
final report 40%

### 【Textbooks】

Textbook for the class will be distributed at the first meeting. In addition to reading materials, students will also be given 3 CDs for listening.

## 言語文化演習 I a・b (英語コミュニケーション)

ジェニファ・J・マギー

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

Fairy tales and folk tales are important part of every culture. In Western cultures, traditional fairy tales are often referenced in popular culture. Fairy tales also change through time to reflect changes in the society they are a part of. In this class, students will learn about Western fairy tales and the ways they have changed through time, and will also study Japanese folk and fairy tales.

### 【Schedule】

After an introduction to folk and fairy tales, the class will examine four or five different Western fairy tales in depth. Students will read or watch different versions of the same fairy tale over three or four weeks and examine differences in the versions. The first semester will include a paper analysing at least two additional versions of one of the focus tales. In the second semester, both Western and Japanese fairy tales will be examined. The second year of class will be spent with each student exploring a particular Western or Japanese fairy tale in depth.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, and the final papers.

### 【Textbooks】

There will be no fixed textbook, but there will be a packet of readings assembled by the instructor. There will be additional outside readings selected by the student. Some readings may be accessible on the World Wide Web.



## 言語文化演習Ⅰ a・b (英語コミュニケーション)

ダニー・T. モルデン

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will examine the role of metaphor and myth in rhetorical invention. Students will examine the theories of metaphor, myth and invention and how they relate to one another. Students will be expected to pick examples and demonstrate their understanding of the theories.

### 【Schedule】

The first class meetings will consist of lectures and discussion about metaphor, myth, and invention. Students will be expected to lead latter class sessions about their examples.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance, quizzes, a written paper, and an oral presentation.

### 【Textbooks】

There is no assigned textbook for this course.

## 言語文化演習Ⅱ a・b (コミュニケーション論)

高井次郎

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

異文化コミュニケーション学、文化心理学、および異文化間心理学に興味のある学生、そしてさらに計量的な方法での研究に関心のある学生のための演習です。いずれの学問に該当するテーマで個人・共同研究を実施します。前期を中心に研究法の検討を行い、コンピュータによるデータ処理の実習も実施する予定です。後期は各自の研究プロジェクトを展開します。毎回の演習を一種の研究会とし、それぞれの研究の発展状況についての報告を行います。

### 【授業計画】

前期は科学的研究の基礎、理論の実証、測定的基础、実験研究の基礎、調査法の基礎、面接法の基礎、統計学の基礎、および統計実習を予定しています。

後期は統計学の応用、マイクロソフト・エクセルにおける分析法、研究報告書の書き方、データ呈示法などについての実習を行います。

### 【評価方法】

前期は研究計画書および演習における発表の内容をもって評価し、後期は完成された研究報告書をもって評価します。

### 【テキスト】

社会心理学研究入門 (末永俊郎 東京大学出版)

本当にわかりやすいすごく大切なことがかいてあるごく初歩の統計の本 (吉田寿夫 北大路書房)

## 言語文化演習Ⅱ a・b (批評理論)

杉本一直

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

演習Ⅰに引き続き、現代文学の講読と作品評論を行なう。演習Ⅱでは評論により重点を置き、ロシア・フォルマリズムに始まる現代の文学理論を学ぶ。

### 【授業計画】

- ◆文学理論については以下の項目を学ぶ。
  - a. ロシア・アヴァンギャルド文学とロシア・フォルマリズム
  - b. ロマン・ヤコブソンと構造主義
  - c. メタフィクションとディコンストラクション批評
  - d. 受容理論と「読者」
- ◆文学作品は以下の作家の作品を講読する。

ポール・オースター、ホルヘ・ルイス・ボルヘス、アルベール・カミュ、ヴィクトル・ペレーヴィン、イタロ・カルヴィーノ、安部公房、ウラジーミル・ナボコフ
- ◆また、卒業論文（またはゼミ終了論文）の計画、資料収集、執筆の過程において、各学生が経過発表を行う。

### 【評価方法】

研究発表とレポートによる。

### 【テキスト】

プリント配布、授業中に指示した書籍。

## 言語文化演習Ⅱ a・b (翻訳論)

B. サン・ジャック

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

#### Cultures in Contrast

文化とは、具体的に何であるのか、又、文化は人間とどういう関係があるのかを研究することがこのゼミの目的である。

日本と色々な国の文化を比較対照しながら、その国の色々な様相—教育制度、結婚、レジャー、住宅、食物、テレビ、政治等—を日本文化と比較する。後期日本の国際化も研究する。

外国の文化を勉強することによって、自分の文化をもっと深く理解する。ゼミでは、英語と日本語の研究資料を使い、使用言語は、主に日本語です。

#### CULTURES IN CONTRAST

- A) During the first semester, a selection of articles from British and American newspapers and journals will be read and discussed during the seminars. These articles will deal with various aspects of British and American cultures, comparing them with similar aspects of Japanese culture.
- B) The second semester will also consider the Japanese Kokusaika. Readings for Kokusaika will be taken from various papers published by Prof. Saint-Jacques

### 【評価方法】

Presentations.

### 【テキスト】

『Reading, 1990.』 K. Hasegawa and C. Tate

『Studies in Language and Culture, 1995.』 B. Saint-Jacques



## 言語文化演習Ⅱ a・b (現代英米思想)

松本青也

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代英米思想を探る。

アメリカの現実を伝える資料を中心に、英米が直面する課題と背景文化との関連を様々な角度から考えます。

### 【授業計画】

前期は英米で製作された TV 番組や英米の新聞雑誌記事などを資料として分析しながら、その背景にある英米思想を歴史的形成過程と他文化との比較対照という二つの観点から掘り下げます。

後期は各自の研究テーマについての発表を中心に、討論、ゼミ合宿などを経て、最後に全員執筆の研究論文集『現代英米思想 2000』を作成します。

なお、受講者はインターネット利用のための講習会を受け、手続を完了して下さい。

### 【評価方法】

レポート、学習態度、出席状況による総合評価。

### 【テキスト】

(自作教材)。

## 言語文化演習Ⅱ a・b (対照言語学)

窪田守弘

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

3年次の演習として、映画製作やシナリオの書き方を一通り学んだので、学生が本格的に自己の研究課題を仕上げるための準備をする。このゼミでは既に対照言語学的な視点から映画字幕を分析して来たので、今後は各自が自分なりの視野から研究テーマを絞って考えていくようにする。卒業作品はあくまで自己の思想をいかに体系化するかが問題となるので、丹念に分析する必要がある。

<前～後期>

ゼミは各自の研究テーマを毎回発表し、それにコメントを加えていく形式にする。学生は、発表を通じて課題を完成し、最終的にそれが卒業作品となるよう配慮する。

### 【授業計画】

発表者が毎回レジメを配布し、それに沿って研究発表を行なう。

### 【評価方法】

毎回の発表内容や態度、作品などで最終的に評価する。

### 【テキスト】

英文翻訳テクニック 柴田耕太郎著 ちくま新書 680  
円

## 言語文化演習Ⅱ a・b (英語コミュニケーション)

アンドリュー・J. ムーディー

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will focus on some of the methods that are used to study language and culture through the study of sociolinguistics. The seminar will continue its focus on language issues in bilingual and multilingual environments, as well as some of the more traditional studies of sociolinguistics like dialectology, language variation, and gender studies. This seminar will attempt to allow students the chance to follow some specialized topics of learning in the study of language and linguistics.

### 【Schedule】

前期：Most of the class will be focused on gathering resources and data for the 4th year project, to be presented in the second semester

後期：Most of the class time will be spent on developing theoretically sound and academically valid interpretations for most of the data to be used in the final presentation.

### 【Assessment】

homework 20%  
progress report 10%  
final report 70%

### 【Textbooks】

Students will be given the responsibility to suggest topics that they are interested in reading about in class. With the instructor's approval, students may also choose readings. Texts will be distributed in class on a weekly basis.

## 言語文化演習Ⅱ a・b (英語コミュニケーション)

ジェニファ・J. マギー

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This class will examine different aspects of the mass media in American culture.

The course will explore the relationship between language and culture in general, and specifically as played out in the mass media. What do the American mass media reveal about American society? How are they the same or different from Japanese mass media? Media covered may include television, radio, magazines, movies, or the Internet. Eventually, students will be expected to study specific examples of American mass media in depth.

The first class meetings will largely consist of lectures and discussion about the different forms of American mass media. Later class meetings will go into more detail in different areas depending on student interests. Eventually, students will be expected to lead discussions on their specific interest.

### 【Schedule】

The class will be conducted in a variety of ways. Some days will feature lectures. Others will feature student feedback and presentations. There will often be movies or television shows that students must view outside of class in preparation.

### 【Assessment】

Classroom participation, attendance, and homework will account for approximately 30% of the course grade. Quizzes and Exams will account for approximately 40%. A paper and presentation will account for the remaining 30%.

### 【Textbooks】

There is no one text for the course. Reading will be assigned.



## 言語文化演習Ⅱ a (英語コミュニケーション)

ダニー・T. モルデン

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This course will continue the examination of the relationship between language and the development and definition of co-cultures. Students will be expected to relate theories to specific cases that they will investigate.

### 【Schedule】

The first class meetings will consist of students picking particular cases to investigate and reporting about those cases. Later class sessions will focus on theories of assimilation and cultural change.

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance, quizzes, a written paper, and an oral presentation.

### 【Textbooks】

There is no assigned textbook for this course.

## 日本語学Ⅰ (音声)

窪田守弘

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

音声は人間が発音器官を通して発する際の言語音であるが、その器官の構造や機能に関して基本的な知識を整理しておく必要がある。そして、それを十分理解した上で、人間の発音行動とプロセスの関係を明らかにし、コミュニケーションの世界でどのような現象が生じているかを考えてみる。

本講義では、音声学の基礎的な知識のみならず、応用の場面を想定したシュミレーションを行ない、実践的な内容となるように発音練習も行なう。

<半期>おもしろ音声学

1. 音と声の世界
2. 音声学の基礎知識
  - ①母音・子音、半母音
  - ②日本語の音節と拍
  - ③アクセントとイントネーション
  - ④日本語の音調
  - ⑤プロミネンス
3. 標準アクセントと方言
4. 音声と母国語干渉
5. 音声と映像の世界

### 【授業計画】

日本語の音声上の特徴を調べ、その基本的なメカニズムを理解できるようにする。特に、その応用として、音声と映像の関係を明らかにするため、有名な映画作品なども主な補助教材として使用する。

### 【評価方法】

学期末の試験と出席状況で評価する。

### 【テキスト】

日本語学Ⅰ (音声) 窪田守弘 晃学出版 2,000円

## 日本語学Ⅱ（文法・文体）

阿部美枝子

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代日本語の文法現象を整理し、その体系を理解することをテーマとする。

1. 助詞と述語の型
2. 自動詞と他動詞
3. 受動文
4. 使役文
5. 可能文
6. テンスとアスペクト
7. 名詞修飾
8. 提題助詞「は」

以上のような項目について、言語学的、日本語学的に分析していく。

### 【授業計画】

主に講義の形を取るが、随時課題を出すことを考慮している。

### 【評価方法】

学期末筆記試験、及び課題の結果で評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 日本語学Ⅲ（語彙・意味）

山内啓介

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本語語彙・言語的意味について基礎的な知識を得る。語誌と語の意味変化、および語彙論の研究方法を学ぶ。語彙は語の集まりと語のまとまりと把握できる。語を集約して分析するか、意味の体系として捉えるか、その論を理解する。

### 【授業計画】

- 1 はじめに 語と語彙
- 2 語彙論とは何か。 語の単位・語彙調査・語彙表
- 3 語の延べと異なり。 資料体の総量・古典対照語彙
- 4 基本語彙について。 基礎語彙・基幹語彙・語彙量
- 5 語彙の構造。 分類基準・意義・形態・語性・地域
- 6 語誌の研究。 語源・語義・本義・派生義・語構成
- 7 語種。 和語・漢語・外来語・混種語・カタカナ語
- 8 語と意味。 意味とは、意味の捉え方・類義反義語
- 9 語の意味の研究。 指示的意味・意味の基本三角形
- 10 関係の意味。 象徴記号・概念と用法・語義の差異
- 11 意味分析の方法。 文脈的意味・臨時的意味・比喩
- 12 語の意味変化について。 意味の変遷・辞書の記述
- 13 日本語語彙の特徴。 死語・流行語・若者語・造語
- 14 語彙史と辞書史。 字引き・牽引・コンコーダンス
- 15 語彙研究の課題・意味研究の将来

### 【評価方法】

定期試験による。出席回数を重視する（80%以上）。

### 【テキスト】

プリント資料を配布。

### 【参考書籍】

授業中に紹介するので、図書館で利用されたい。



## 日本語基礎演習

阿部美枝子

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代日本語の文法現象の中から特に議論の多いトピックを選び、その問題点を掘り下げていくことを狙いとする。ヴォイス、テンス、アスペクト、名詞修飾等がトピックとして取り上げられる。

### 【授業計画】

各トピックにつき演習問題を出し、それを解いていく方法を取る。

### 【評価方法】

学期末筆記試験（レポート併用の可能性あり）、及び各演習問題の結果で評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 日本文化論 I

山内啓介

3年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

日本文化論は前近代化論とポスト近代化論とにわけて把握できる。「前近代化」とは中国文明の影響下にある文化論であり、「ポスト近代化」とは1952年以降の民主化を進める文化論である。しかし、日本人論議に代表されるポスト文化論は前近代化を十分に超克したとは言えない。現代文化はしたがって、近代を継承をしながら何を自覚するか、という日本特殊の議論を探求している。文化と日本人のアイデンティティーについて日本文化論 I では問題点を考察してみたい。

### 【授業計画】

次の項目で講義を行う。

- 1 前近代化の論
- 2 明治期の教育勅語
- 3 ヘルン「神国日本」
- 4 『国体の本義』
- 5 憲法と教育基本法
- 6 ポスト近代化の論
- 7 『善の研究』と哲学
- 8 第二芸術論
- 9 日本人論の論議
- 10 日本社会の構造
- 11 経済状況と文化
- 12 日本語と文化分析
- 13 グローバル文化
- 14 日本文化の特殊説
- 15 個人主義と人間主義（附）文化の再生

### 【評価方法】

定期試験による。

### 【テキスト】

青木保『日本文化論の変容』中央公論社

### 【参考書籍】

随時、指示する。

## 日本文化論Ⅱ

山内啓介

3年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

日本文化の個別議論はステレオタイプに理解されることが多い。そしてさまざまな議論が展開されている。それだけ日本文化の本質が単純なのか、あるいは捉えがたいのか、日本文化の様相は近代化と民主化のはざまにあるようである。わたしたちはどこから来て、どこへ行くこうとするのか、そして日本文化とはなにもなのか。日本文化論Ⅱでは文化議論に立ち入って検討をして考究を試みたい。なお、この講義は毎回、文献を撰取する。そのつもりでテキストの日本文化論の中から著作を選び、ひとつでも読破することを望む。

### 【授業計画】

次の項目で講義を行う。

- 1 「個人主義」と漱石
- 2 「菊と刀」の義理
- 3 墜落論と私的文化論
- 4 雑種文化論
- 5 文明の生態史観
- 6 タテ社会の人間関係
- 7 日本的経営と集団
- 8 恥の文化
- 9 「甘え」の構造
- 10 文化防衛論
- 11 「日本らしさ」
- 12 「縮み」志向
- 13 権力構造のなぞ
- 14 オリエンタリズム
- 15 国民の歴史（附）文化の概念

### 【評価方法】

定期試験による。

### 【テキスト】

青木保『日本文化論の変容』中央公論社

### 【参考書籍】

多くは文庫本、新書版で入手できる。講談社の学術文庫をはじめ、講談社現代新書など、各社の目録を参照するとよい。

## 日本語教授法Ⅰa・b

窪田守弘

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本語教授法は、日本語教育関連の科目の中で極めて実践的な分野である。しかし、現実には理論と実践がうまくかみ合わないことがよくあるので、本講義ではその点を十分考えて話を進めていきたい。日本語教育の歴史はまだ浅いので、外国語教授法の歴史の変遷をふまえた上で、基本的な理論を理解し、それを実際に応用できるようにしたい。そのために学生はグループで模擬授業をやって、現場を体験できるように配慮したい。

<前期～後期>

#### 1. 理論篇

- ①日本語教育の特色
- ②母国語と外国語
- ③外国教授法の変遷
- ④日本語教育の歴史
- ⑤日本語教育のテキスト

#### 2. 実践篇

- ①日本語教育の実践  
発音・語彙・文字・文法指導
- ②教案の作成
- ③カリキュラムの立て方
- ④ディスコース・デザイン
- ⑤試験と評価法

### 【授業計画】

日本語教育の実際の現場の様子を知るため、極力多くのVTRを見たり、実習の模擬授業を行うようにする。

### 【評価方法】

学期末の試験や発表内容、出席状況で評価する。

### 【テキスト】

自主プリントノートを使用。



## 日本語教授法Ⅱ a・b

山内啓介

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

日本語教育の教科書をとりあげて分析する。  
日本語教授の実践的知識を得る。  
日本語授業のシミュレーションを行う。  
日本語教師の能力は何か、を考える。  
語学教育における学習者論、教師論、教材論のうち、教師の立場について講義と模擬授業を行う。教科書の分析には文型積み上げ方式（AOTS）を用いる。

### 【授業計画】

前期

- 1 日本語教育入門・初級の文法授業概要
- 2 表現文型とオーラル・アプローチ
- 3 教室作業の実際をシミュレーション
- 4 話し言葉教材と書き言葉の習得

後期

- 5 日本語教育のニーズアナリシス
- 6 日本語能力試験の標準表
- 7 日本語教育能力資格について
- 8 日本語教育の教授法とは何か

なお、コースデザインによる教育方法をあわせて考察するのでテキストを用いる。

### 【評価方法】

簡単な試験を学期中に、5回の予定。(60%)  
出席を重視。(20%) 授業の参加。(20%)

### 【テキスト】

田中望『日本語教育の方法』大修館

### 【参考書籍】

有馬綾子『日本語の教え方の秘訣』（上・下）スリーエーネットワーク [授業には購入しなくてよい]

## 日本語教育教材論

山内啓介

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本語教育の教材は教科書、教具、資料にわけて捉えられ、また、教室環境と教師自身が教材となっていた。教授法の展開から、AL (Audio Lingual) メソッドにおける画期的な教具の開発が行われた後、今日ではPALの時代になって、おおきな変化が現れた。日本語教材でも求められているのは、たとえて言うなら、“とっさの一言”ふうの会話である。日本語の対人コミュニケーションを、そのストラテジーの視点で分析したわかりよい日本語会話である。マルチメディア対応の教材の開発が進められなければならない。日本語資料で扱いやすい、役立つ教材を考察してみたい。

### 【授業計画】

日本語教育で使われる教材の分析を行い、利点と欠点をメソッドとアプローチの違いに位置付け、提示文と語句を場面と文化的背景に捉えなおして、日本語会話の構成を追求して製作を行う。この講義を通して、会話集の実践的演習を試みるので、コミュニケーションの重要性を認識できるように進めたい。

### 【評価方法】

講義の理解。(60%) 出席を重視。(20%)  
教材の製作。(20%)

### 【テキスト】

特に定めない。

### 【参考書籍】

各種市販の教科書。  
会話用に『生活場面事典』（三修社、西村政人・山内啓介他）、集中教育用に『初級日本語』（久野かおる・山内啓介他、私家版）などがある。

## 日本語教授法Ⅲ（教育実習）

窪田守弘

集中 4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

日本語教育の実際の状況を知るため、映像や資料を使って実践的な実習を行なう。この教育実習は専門的な内容となるため、これまでに日本語教育に関連する科目を履習しておくことが望ましい。

本学は中国の南京市にある南京師範大学と姉妹校提携を結んでいるが、その日本語学科で実施した日本語教育実習の内容を中心に教育実習を行なう。特に、本学学生の研究授業などを撮影したビデオを主な教材として、実践的な内容にする考えである。

### 【授業計画】

南京師範大学での研究授業のビデオを参考にしながら、学生が実際に模擬授業を行う予定である。

### 【評価方法】

実習に関して独自の考えをまとめたレポートや、出席状況や態度などで、総合的に評価する。

### 【テキスト】

必要に応じてプリントを配布するが、「実習ノート」を作成する予定である。

## 論文

高井次郎 杉本直 B. サン・ジャック 松本青也 窪田守弘  
アンドリュース・J. ムーディー ジェニファ・J. マギー ダニー・T. モルデン

4年 通年 選択 8単位

### 【授業計画】

＜論文提出までの主な日程＞（詳細は掲示）

- ・ 4月上旬履修登録
- ・ 4月17日（月）「依頼書」提出締切り（4月3日以降、学部準備室）
- ・ 5月22日（月）「論文概略」提出締切り（5月1日以降、学部準備室）  
以後、指導の日時、梗概提出、初稿提出など、完成論文提出までの詳細は指導教員の指示による。
- ・ 12月22日（金）午後4時：「論文」提出締切（12月11日以降、学部準備室で受付）

上記いずれの締切に遅れても論文提出の資格を失う。



下記の科目は、本年度開講しません。

英語音声学 a・b

言語文化論 I 7 (アジア)

English 101 a・b

日本語論 a・b

English 102 a・b

英文法 a・b

英文講読 I a・b

英文講読 II a・b

言語文化概論 I

言語文化概論 II

言語文化概論 III

## 図書館情報学概論 a・b

村主朋英

1年 前・後期 必修 各2単位

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。前半は、図書館情報学における基本的な考え方や分野の特徴について概説する。後半は、図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

### 【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野
2. 情報の概念
3. 情報の流通過程
4. 図書館の機能と構造
5. 情報流通の実際
6. 情報サービスと人間
7. まとめ：人とメディアのつくる宇宙の中で

### 【評価方法】

前期：定期試験

後期：定期試験と夏休みレポート

※なお「図書館情報学概論 a」の単位を取得済でない学生については、「同 b」の単位は認定しない。また、前期末に夏休みレポート課題を提示するので、今年度「同 b」のみ履修予定の学生は問い合わせること。

### 【テキスト】

『図書館情報学用語辞典』日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 約3,800円

## 卒業論文ゼミ a

野添篤毅

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

自然科学分野、とくに生物医学分野における学術情報の流通過程で起こっている種々の問題について卒業研究を行っていくための足がかりを得るためのセミナーを行う。

### 【授業計画】

受講生の関心のあるテーマについて、最新の海外の学術研究論文を調査、収集し、その中から適切なものを個人個人が読みレポートをまとめ、発表し、討論していく。

### 【評価方法】

ゼミへの参加度および毎回のレジュメ。

### 【テキスト】

その都度、指示する。



## 卒業論文ゼミ a

岡澤和世

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報学の誕生とその時代背景を振り返り、その軌跡を共通認識として、情報の要求と利用を中心に情報システムとの関係を論じる。

特に、社会と人間と情報を中心テーマに、人間と機械のインターフェースや人への影響などの問題点を利用者の観点から評価し、社会と人間と機械の賢明な関係を模索する。講義中心の授業よりも、自主的な参加型授業を行う。

オリエンテーション

#### 1. 情報学の起源

1) 図書館学の歴史と教育 2) Meadowsの考え 3) Sheraの考え

#### 2. 情報学の研究範囲

1) 情報学の基準 2) B. C. Vickeryの範囲 3) 情報学の主要論文

#### 3. 情報学の基礎

1) B. C. Brookes 2) 社会と情報 3) 情報の研究-F. Machlupら

#### 4. 課題と展望

### 【授業計画】

講義は教科書を使って共通確認を共有する。その後、各自の意見や考えを出し合い討論する。

新聞記事などを使って人間・メディア・社会についての問題を考える。

### 【評価方法】

レポート 卒業論文

### 【テキスト】

情報学講義ノート<3> (岡澤和世 敬文堂)

インフォ・リッチ：インフォ・プア (敬文堂)

Travor Haywood (岡澤和世訳)

## 卒業論文ゼミ a・b・c

長澤雅男

3年後期～4年前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

3年後期は研究領域を展望し、その中から各自の研究関心に基づき、テーマを選択し、研究調査の方法を検討する。4年前期は、論文のテーマに基づき、調査・研究の方法、資料・情報の収集・利用の方法、論文構成上の問題等にわたって解説し、論文作成過程にしたがい、相互の批判検討を通して論文内容の充実を図る。4年後期は、論文作成の進捗状況に応じて、卒業論文の仕上げを目標にして指導する。

3年後期

#### 1. 図書館情報学の研究領域

#### 2. 図書館情報学の研究方法

#### 3. 論文・レポートのまとめ方

#### 4. 関係文献リストの作成法

##### 4.1 文献リストの種類

##### 4.2 作成手順

##### 4.3 書誌データの表示と編成

4年前期

#### 1. 研究テーマの報告・クラス討議

#### 2. 文献調査その他の調査法

#### 3. 論文の抄録作成・クラスレポート

4年後期

各自が選んだ論文のテーマに基づく個別指導

### 【授業計画】

3年後期前半は講義、後半は履修者の報告を中心に、4年前期は集団指導と討議形式をとるが、後期は個別指導を中心に進める。

### 【評価方法】

3年後期はクラスレポート、提出した文献リストを評価。

4年前期はクラス討論と平常点、後期は平常点。

### 【テキスト】

使用せず。

## 卒業論文ゼミ a

西荒井学

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報システムの構築に必要な情報処理技術、ならびにプログラミング技術に関わる問題を扱う。この範囲内で受講者各自が設定すべき卒業論文のテーマについての指導を行っていく。

- 1) 卒業論文の書き方
- 2) テーマの選び方
- 3) 基本図書の調査と内容紹介
- 4) 先行研究についての調査と紹介
- 5) 卒論テーマの決定と研究方法

### 【授業計画】

受講者各自が、支持された内容について、指定日時までに必要な作業を実施してくる。これら作業内容に関して、作業方法、作業結果、問題点などについて、各自が報告する。

報告された内容については、受講者全員で検討していく。受講者全員が、4年次での卒論作成作業に問題なく移行できるように準備をする。なお、情報処理技術ならびにプログラミング技術における新しい専門用語などについても、折りに触れて学習していく。

### 【評価方法】

提示課題についての進捗状況、提示課題の報告内容、平常の作業活動内容、課題レポートなどによって総合評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 卒業論文ゼミ a

堀田康雄

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生命現象の中心である自己複製、種の多様化、環境への適応等の現象を司っている情報を整理し、新しい情報を産み出す事を目的として卒論をかく。取り上げる問題には脳神経系、内分泌系、免疫応答系、消化栄養系、生殖系がある。これらに関する情報整理、データベースの利用と開発を理解する。

上記の身体情報システムについての疾患と予防・治療・原因の整理。

遺伝情報を変化させるバイオテクノロジー技術の整理。突然変異・遺伝子組み換えに関する情報の整理。

環境破壊因子・環境改善策・地球環境の変化等に関する政策と活動の整理。

ゲノム解析、ゲノムの機能解析に関する知見の整理。

以上のトピックス以外の生命情報に関する研究に関しても、各人の興味あるテーマを選んで、それらの歴史・現状・問題点を関連論文の収集、整理を通じて分析する。

基本的には卒論をスタートさせるための基盤の検討とテーマの選択を目的とし、そのための準備である。

### 【授業計画】

関連論文、総説を収集し理解し、随時まとめた原稿を討論の対称とし、論文にするための方法を考察する。卒業論文作成に役立つ資料と論議の進め方を学習する。英文の要旨の作成を行う。

### 【評価方法】

まとめた原稿を提出し、その内容と発表を持って評価し、学期の間の進歩を高く考慮する。出席とゼミ活動を含めた総合評価とする。

### 【テキスト】

特に定めません。日経サイエンスなどの科学雑誌に注目して下さい。



## 卒業論文ゼミ a・b・c

山崎茂明

3年後期～4年前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現代社会の発展を基礎づけている科学研究活動を対象にして、コミュニケーションと情報メディアに着目して、さまざまな視点から考察してみたいと思います。4年次後期には、論文テーマについての文献レビューや調査データについて、さらに発表と討論を積み重ね卒業論文をまとめていきます。

### 【授業計画】

みなさんが取りあげるテーマは多岐にわたると思いますが、ゼミ学生相互の意見交換はお互いに有益なものになると考えますので、ゼミを発表と討論の場として活用してください。今ひとつテーマをしばらく切れなれないといった悩みも問題解決のための一歩と考えていますので、そのことに正面から向き合うよう希望します。英文論文は良いものを選んでじっくり取り組んでみてください。多様な考えや新しいアプローチなど、みなさんの世界を広げてくれるはずです。

### 【評価方法】

卒業論文、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関係する基本文献を随時配付する。

## 卒業論文ゼミ a

山本進

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒論のテーマとして取りあげる分野一館種を問わず図書館の現場における「資料組織」・「サービス」・「施設設備」・「図書館サービスの地域計画と図書館のシステム・サービス」・「図書館協力」・「図書館のコンピュータ導入」・「図書館員の専門性」等配布資料（レジュメ）により解説を行なう。

### 【授業計画】

レジュメによる解説と、私からの問題提起、それに対する全員でのディスカッション、その中から問題意識を喚起しある程度の方向性を見出して、それらについてのノウハウを与え、卒論の仮テーマを考える。

1月～3月中に、公共図書館・大学図書館の現場を訪問して研修会を行い、卒論テーマを決定して文献収集・卒論の骨組みを決める。

### 【評価方法】

### 【テキスト】

使用せず。

## 卒業論文ゼミ a

逸村 裕

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

4年次の卒業論文執筆を前提として、各自が関心を持つテーマを研究する。

1. これまでに学んできた図書館情報学に関する知識技能の確認を行なう。
2. 文献検索、和欧文献の読み込み、統計処理
3. 卒論テーマの検討

### 【授業計画】

各自の関心を基礎に演習方式で行なう。毎回の課題提出と発表が義務である。

### 【評価方法】

ゼミへの出席とレポート、発表をもとに評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。

## 卒業論文ゼミ a・b・c

菅野育子

3年後期 4年前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

図書館情報学の中心課題の一つである情報流通を、情報メディアという観点から検討することを目的とする。その際、情報メディアの定義を広くとらえ、図書や雑誌といった伝統的な情報メディアから、データベースを始めとする電子情報源まで取り上げる。これらの情報メディアがどのように生産、加工、蓄積、利用され、その内容である情報が知識となっていくのかについて検討する。卒業論文は、上記のテーマに基づき実際に調査を行い、その成果をまとめる。

### 【授業計画】

以下のようなスケジュールで行う。

- |         |            |
|---------|------------|
| 9月－3月   | 文献収集、テーマ決定 |
| 4月－8月   | データ収集・分析   |
| 9月      | 中間発表       |
| 10月－12月 | 卒論執筆       |
| 1月      | 卒論発表会      |

### 【評価方法】

調査活動と卒業論文執筆活動を対象とする。

### 【テキスト】

『図書館情報学のための調査研究法』（緑川信之他 勁草書房）



## 卒業論文ゼミ a

三和義秀

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現在のハイパーテキスト・システムの仕組みやその応用分野を理解し、既存のハイパーテキスト・システムの機能を評価しながら本質的な問題点を探る。

ハイパーテキストが応用されているシステム（CD-ROM百科事典、WWWなど）を実際を使ってそれらシステムの機能を評価し、さらにその仕組みについて理解する。特に、インターネットとハイパーテキストの相互関係及び Java、VRML (Virtual Reality Modeling Language)、CGI (Common Gateway Interface) またはC言語によるプログラミングに焦点を当てる。この範囲内で各自の卒論テーマの決定及び卒論執筆に向けての準備作業の指導を行う。

### 【授業計画】

講義及びコンピュータを使った実習にて進める。

### 【評価方法】

レポートにて評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 卒業論文ゼミ a

村主朋英

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒業論文のための研究過程に沿って指導する。各自の問題意識を醸成し、それと図書館情報学の動向についてのレビューをもとにテーマを決め、研究に入る。

### 【授業計画】

1. 仮テーマ決定
2. 用語の定義づけ等の基礎的な調査
3. 関連分野の同定・基本文献の収集
4. 文献の分析
5. 研究テーマの決定

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）、最終レポート。

### 【テキスト】

『図書館・情報学のための調査研究法』勁草書房、及び『情報と文献の探索 第3版』丸善  
(いずれも諸君が今までに履修した講義で使用)

## 卒業論文ゼミ b・c

野添篤毅

4年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

3年後期に行った卒業論文ゼミaによって、絞り込まれた卒業研究のテーマに沿って調査・研究、論文作成の指導を行う。

### 【授業計画】

毎回、自己のテーマについてのレポートをまとめ、発表し、討論していく。

### 【評価方法】

ゼミへの参加度および毎回のレジュメ。

### 【テキスト】

その都度、指示する。

## 卒業論文ゼミ b

岡澤和世

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現在既存の情報システムが利用者の多様な要求に応えられない理由を明らかにし、情報技術へのヒューマン・ファクターと人間工学の導入の必要性を指摘する。利用者を中心に据えた情報技術の方法と道具を考察する。ゼミの目的は変動の激しい情報環境に生きている私たち利用者が、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解能力（リテラシー）を習得し、活用する方法を考察することである。

<前期>

オリエンテーション：情報環境

1. 情報と知識を結ぶ鎖
2. 情報アクセス
3. 情報瞬間
4. 情報と文化の関係
5. 情報メディア
6. 書物の歴史
7. 図書館の役割
8. 情報と女性
9. レポートの書き方

<参考>

オリエンテーション：卒論について

1. 情報環境
2. 情報学の歴史
3. 情報過多現象
4. 人間工学
5. インターネット
6. 情報政策
7. 情報の要求と利用
8. 情報社会の展開過程
9. 将来の情報環境

### 【授業計画】

前期は講義を中心に行なう。後期は各自の卒論テーマに従って解説する。

### 【評価方法】

レポート。卒業論文。出席回数。

### 【テキスト】

情報学講義ノート<3>（岡澤和世 敬文堂）

インフォ・リッチ：インフォ・ブア（敬文堂）

Travor Haywood（岡澤和世）



## 卒業論文ゼミ b

西荒井学

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

3年次履修科目である卒業論文ゼミaにおいて、各自が設定した卒業論文のテーマに従い、卒論指導を行う。

作業スケジュール

- 1) 卒業論文タイトルの決定 (4月)
- 2) 卒論(章)の構成 (5月上旬)
- 3) 文献リスト作成 (5月下旬)
- 4) 卒論(節)の構成 (6月)
- 5) 1節分の論文執筆仮提出 (7月下旬)
- 6) 中間発表 (8月下旬～9月上旬)
- 7) 卒論仮提出 (11月中旬)
- 8) 卒論本提出 (12月中旬)

### 【授業計画】

受講者各自が、卒論作成年間スケジュールに従い、それぞれ指示された内容について、指定日時までに必要な作業を実施してくる。受講者各自の卒論テーマに関する問題点について、受講者同志互いに発表、討論していくことにより、卒論完成に向けての相乗効果を図っていく。特に、中間発表は、例年夏期休暇中に実施する合宿にて行うことにしているため、注意すること。

### 【評価方法】

卒論作成作業の進捗状況、報告内容などについても一部考慮しない訳ではないが、その大半は提出卒業論文の内容により評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 卒業論文ゼミ b

堀田康雄

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒業論文作成の指導と助言

遺伝情報系、脳神経系、内分泌系、免疫応答系など、生物の内部に存在する種々の情報システムや、その異常と疾病との関係をはじめとし、バイオテクノロジーから環境問題に至るまで、広く生命科学の諸分野の中から各自が個別に選んだテーマについて、その研究の歴史、現状、問題点などを、主に関連する文献の収集・整理により分析展望する。それらを随時まとめた論文原稿を提出させて、その内容について検討討議し、卒業論文の作成を助言指導する。

### 【授業計画】

卒業論文は、今までに学んできた図書館情報学に基づいて、実際に情報収集、整理、分析を行うものであるから、当然ながら情報学Ⅰの知識と学術情報の検索法の知識が必須である。

### 【評価方法】

ゼミへの出席度、卒業論文中間発表会、その他のゼミ活動を総合評価する。

### 【テキスト】

特に定めません。

## 卒業論文ゼミ b

山本 進

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

3年後期の「図書館情報学演習」において決定した卒論テーマに従って、論文の構成・使用文献等についての集団指導及び個別指導を行い、夏休み前までには、卒論の全体構成が眼に見える形になるよう組み立て方を終える。

調査項目が必要な場合には、調査の内容、方法・結果の集約とまとめについて、具体的な調査の実施（夏休み期間中が望ましい）について指導を行う。

卒論の進捗状況中間発表のため、9月上・中旬に2泊3日のゼミ合宿を実施し、全員発表と討論を行う。

12月上旬卒論の提出

1月中旬に行う卒業審査にむけて指導を行う。

### 【テキスト】

使用せず。

## 卒業論文ゼミ b

逸村 裕

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自の研究テーマを発展させ、「卒業論文」作成を目指す。

研究進捗状況の確認を行なう。

### 【授業計画】

3年次の図書館情報学演習aを基礎とし、文献の読み込み、調査、執筆の段階を追って卒論を作成する。

### 【評価方法】

ゼミへの参加をもとに評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。



## 卒業論文ゼミ b

三和義秀

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自の研究テーマに関する指導を行う。

卒業論文を完成するために、各自のテーマに従った先行研究の理解やシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

個別指導及び各自研究の進捗をゼミ生全員で発表・討論する。

### 【評価方法】

卒業論文にて評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 卒業論文ゼミ b

村主朋英

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒業論文のための研究過程に沿って指導する。

卒論ゼミは、学术论文を作成するための機関である。ゼミでは、ほかのゼミ生や担当教員との意見交換を行いながら、基本的には自分で判断し、自分のモチベーションを機動力に研究を進める必要がある。

### 【授業計画】

1. 先行研究の分析
2. 研究目的の絞り込み
3. 研究方法の決定
4. 研究計画の策定
5. 研究の実施

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）。

### 【テキスト】

なし。

## 卒業論文ゼミ c

岡澤和世

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現在既存の情報システムが利用者の多様な要求に応えられない理由を明らかにし、情報技術へのヒューマン・ファクターと人間工学の導入の必要性を指摘する。利用者を中心に据えた情報技術の方法と道具を考察する。ゼミの目的は変動の激しい情報環境に生きている私たち利用者が、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解能力（リテラシー）を習得し、活用する方法を考察することである。

<前期>参考

オリエンテーション：情報環境

1. 情報と知識を結ぶ鎖
2. 情報アクセス
3. 情報瞬間
4. 情報と文化の関係
5. 情報メディア
6. 書物の歴史
7. 図書館の役割
8. 情報と女性
9. レポートの書き方

<後期>

オリエンテーション：卒論について

1. 情報環境
2. 情報学の歴史
3. 情報過多現象
4. 人間工学
5. インターネット
6. 情報政策
7. 情報の要求と利用
8. 情報社会の展開過程
9. 将来の情報環境

### 【授業計画】

前期は講義を中心に行なう。後期は各自の卒論テーマに従って解説する。

### 【評価方法】

レポート。卒業論文。出席回数。

### 【テキスト】

情報学講義ノート<3>（岡澤和世 敬文堂）

インフォ・リッチ；インフォ・ブア（敬文堂）

Travor Haywood（岡澤和世）

## 卒業論文ゼミ c

西荒井学

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

3年次履修科目である卒業論文ゼミaにおいて、各自が設定した卒業論文のテーマに従い、卒論指導を行う。

作業スケジュール

- 1) 卒業論文タイトルの決定（4月）
- 2) 卒論（章）の構成（5月上旬）
- 3) 文献リスト作成（5月下旬）
- 4) 卒論（節）の構成（6月）
- 5) 1節分の論文執筆仮提出（7月下旬）
- 6) 中間発表（8月下旬～9月上旬）
- 7) 卒論仮提出（11月中旬）
- 8) 卒論本提出（12月中旬）

### 【授業計画】

受講者各自が、卒論作成年間スケジュールに従い、それぞれ指示された内容について、指定日時までに必要な作業を実施してくる。受講者各自の卒論テーマに関する問題点について、受講者同志互いに発表、討論していくことにより、卒論完成に向けての相乗効果を図っていく。特に、中間発表は、例年夏期休暇中に実施する合宿にて行うことにしているので、注意すること。

### 【評価方法】

卒論作成作業の進捗状況、報告内容などについても一部考慮しない訳ではないが、その大半は提出卒業論文の内容により評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。



## 卒業論文ゼミ c

堀田康雄

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒業論文作成の指導と助言

遺伝情報系、脳神経系、内分泌系、免疫応答系など、生物の内部に存在する種々の情報システムや、その異常と疾病との関係をはじめとし、バイオテクノロジーから環境問題に至るまで、広く生命科学の諸分野の中から各自が個別に選んだテーマについて、その研究の歴史、現状、問題点などを、主に関連する文献の収集・整理により分析展望する。それらを随時まとめた論文原稿を提出させて、その内容について検討討議し、卒業論文の作成を助言指導する。

### 【授業計画】

卒業論文は、今までに学んできた図書館情報学に基づいて、実際に情報収集、整理、分析を行うものであるから、当然ながら情報学 I の知識と学術情報の検索法の知識が必須である。

### 【評価方法】

ゼミへの出席度、卒業論文中間発表会、その他のゼミ活動を総合評価する。

### 【テキスト】

特に定めません。

## 卒業論文ゼミ c

山本 進

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

3年後期の「図書館情報学演習」において決定した卒論テーマに従って、論文の構成・使用文献等についての集団指導及び個別指導を行い、夏休み前までには、卒論の全体構成が眼に見える形になるよう組み立て方を終える。

調査項目が必要な場合には、調査の内容、方法・結果の集約とまとめについて、具体的な調査の実施（夏休み期間中が望ましい）について指導を行う。

卒論の進捗状況中間発表のため、9月上・中旬に2泊3日のゼミ合宿を実施し、全員発表と討論を行う。

12月上旬卒論の提出

1月中旬に行う卒業審査にむけて指導を行う。

### 【テキスト】

使用せず。

## 卒業論文ゼミ c

逸村 裕

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自の研究テーマを発展させ、「卒業論文」作成を目指す。

研究進捗状況の確認を行なう。

### 【授業計画】

3年次の図書館情報学演習aを基礎とし、文献の読み込み、調査、執筆の段階を追って卒論を作成する。

### 【評価方法】

ゼミへの参加をもとに評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。

## 卒業論文ゼミ c

三和義秀

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自の研究テーマに関する指導を行う。

卒業論文を完成するために、各自のテーマに従った先行研究の理解やシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

個別指導及び各自研究の進捗をゼミ生全員で発表・討論する。

### 【評価方法】

卒業論文にて評価する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。



## 卒業論文ゼミ c

村主朋英

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒業論文のための研究過程に沿って指導する。卒論ゼミは、学術論文を作成するための機関である。ゼミでは、ほかのゼミ生や担当教員との意見交換を行いながら、基本的には自分で判断し、自分のモチベーションを機動力に研究を進める必要がある。

### 【授業計画】

1. 研究の実施
2. 論文の企画・執筆

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）。

### 【テキスト】

なし。

## 図書館情報学特殊演習 a・b・c

野添篤毅

3年後期～4年前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

自然科学分野、とくに生物医学分野における学術情報資源を探すための種々の手段（マニュアル、オンライン、CD-ROM、インターネット）、デジタル化されたツールについて演習形式で学んでいく。

取りあげるテーマとしては、

- a. MEDLINEデータベースの索引手法と検索、原文献の収集、および検索文献の質的評価の実習（3年後期）
- b. インターネットでアクセスできる生物医学関係の情報資源の調査・分析・評価（4年前期）
- c. インターネットによる情報発信の実習（4年後期）など、を予定している。インターネットを使用するので情報科学教育センターでIDを取得すること。

### 【授業計画】

上記のテーマについて演習を行い、レポートをまとめる。また、演習成果の発表会を各学期末に行う予定。

### 【評価方法】

演習への参加度およびレポート。

### 【テキスト】

その都度、指示する。

## 図書館情報学特殊演習 a

岡澤和世

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「情報環境」というコンセプトに焦点を当て、現代社会の情報問題を考える。演習を中心に各自の中心のテーマを決め、相互理解を深めていく。

今、情報環境が大きな変貌を遂げようとしている。高度情報化社会に生きている私たちは変わりゆく情報環境について認識を深め、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解力（リテラシー）を発揮するよう求められている。本講義では、そのために必要な情報は何かを中心に論じる。

### 【授業計画】

オリエンテーション：情報環境

1. 情報環境とニューメディア
2. 情報メディア
3. 情報アクセス
4. 情報不均衡
5. 情報と知識を結ぶ鎖
6. 記憶と情報
7. ニューラル・ネットワーク
8. 言語と会話
9. 書物の歴史
10. 女性と情報
11. インフォ・リッチ：インフォ・プア
12. 情報の質
13. 情報過多
14. 情報と文化の関係
15. 情報と漫画
16. 情報と広告
17. 情報とテレビ
18. 情報の一極集中化
19. 社会変化
20. 情報社会の展開過程と現状

### 【評価方法】

小論文と出席日数。

### 【テキスト】

インフォ・リッチ：インフォ・プア (Travor Haywood  
岡澤和世訳 敬文堂)

## 図書館情報学特殊演習 a・b・c

長澤雅男

3年後期～4年前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

3年後期には、情報探索のための具体的質問を準備し、それらの回答演習を通して、二次資料の特性について理解を深めることを目指す。4年前期には、印刷メディアおよび電子メディアを利用した文献探索演習を行う。その探索手法を応用して、4年後期には、各自の編集企画に基づき、二次資料を作成し、その提出を求める。

< 3年前期 >

1. 参考図書情報の探索
2. 言語・文字情報の探索
3. 事物・事象情報の探索
4. 歴史・地理情報の探索
5. 人物・団体情報の探索

< 4年前期 >

6. 図書・叢書情報の探索
7. 新聞・雑誌情報の探索

< 4年後期 >

8. 情報の加工と再編成
9. 二次資料編集企画
10. 二次資料のデータ採集
11. 書誌データの記述
12. 解題・抄録等の作成
13. 二次資料のフォーマット

### 【授業計画】

3年後期は主として印刷メディアを利用した事実探索演習。4年前期は電子メディア（インターネットなど）を併用した文献探索演習。4年後期は二次資料作成手順について説明し、各自が選んだテーマに関する二次資料の作成プロジェクトを中心に進める。

### 【評価方法】

3年後期と4年前期は平常点と質問回答のレポートの評価。4年後期は提出した二次資料の評価。

### 【テキスト】

使用せず。



## 図書館情報学特殊演習 a

西荒井学

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自が設定したテーマに応じ、プログラム言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアを使用して、実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）を行い、それらの内容を演習形式で学習していく。

- 1) テーマの決定
- 2) プログラム設計
- 3) プログラミング
- 4) テスト
- 5) 仕様書の作成
- 6) 評価

### 【授業計画】

受講者各自が設定したテーマに従って、毎時間実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）に必要な各種作業を実施していく。取り扱うプログラミング言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアについては、情報科学教育センターが所有するソフトウェアの範囲内であれば、それ以上の条件は別に設定しない。ただし、表計算ソフトウェアなどのアプリケーション・ソフトウェアを使用する場合においては、マクロを使用するなど、唯一、プログラミングの要素を含むことを条件とする。

なお受講者各自に対して、最終的には、開発の目的、プログラム設計書（入力、出力、ファイル、プロセス）、ソース・リスト、操作マニュアル、総合評価からなるレポートの提出を義務付ける。

### 【評価方法】

プログラム開発の理解度ならびに進捗状況、課題レポートなどによって評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 a

堀田康雄

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生命現象の中心である自己複製、種の多様化、環境への適応等の現象を司っている情報を収集・整理・分析・評価するための手法を学習する。自然科学のレビュー誌、紹介記事等を元にデータベースの構築をする為の基礎を研究する。資料は国内紙に留めず英文のバイオ関係科学誌からも取り入れる。4年生時の特殊演習のための基礎を作る。

邦文・英文の生命科学雑誌・学術雑誌・レビュー誌の紹介。

現在の論文検索システムの紹介とその利用。

キーワードに依る検索とキーワードの設定。

遺伝子・ゲノム・タンパク質分子の機能等のデータベースの紹介。

遺伝情報の解説・セントラルドグマ等の理解。

古典進化学と分子進化の理解。

演習では情報の作成・情報の伝達等について広範な知識を習得し、それを基に、情報の整理と利用度の拡張・新方式の作成を行う為の基礎作りをする。そのために、これまでの講義の内容の復習も取り入れる。

### 【授業計画】

講義以外は演習室を利用し、可能な限り実際のプロセスを楽しんでもらう。その為に文献を読む・整理する等に力を注ぐ。

### 【評価方法】

レポート、出席状況、論文・レビュー等の内容の把握努力で評価する。

意見の発表の頻度・内容を評価対称とする。

### 【テキスト】

現在考えていません。適切なものが見つかったなら、その段階で知らせます。

## 図書館情報学特殊演習 a

山崎茂明

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

フォーマルコミュニケーションの最も主要なメディアとして発展してきた学術雑誌を主たるテーマにして、学術雑誌の創刊時を中心とした歴史的アプローチ、現在の出版状況を数量的に把握する生態論的アプローチ、電子ジャーナルを中心にした未来論的アプローチ、レフェリーシステムに代表される本質論的アプローチ、投稿や雑誌の利用に焦点をあてた行動的アプローチなど、さまざまな視点から学術雑誌の機能を検討します。ゼミ参加者は情報学Ⅲ（科学コミュニケーション）と情報メディア論Ⅴ（科学技術情報）を履修し、そこで話されている内容に興味ある方が適切です。

3年時には、執筆、投稿、審査、編集、流通といったプロセスを、著名な総合科学雑誌NATURE誌を例にして、その歴史的な発展や電子化への取り組み、ニュースメディアとの関係、記事の種類と役割など、具体的に取あげます。また、レフェリーシステムの役割をロールプレイにより体験し、信頼性の高い学術情報がいかに形成されているかを理解してみましょう。実際に多くの学術雑誌を手に触れながら、どのような人が、どんな目的で発表し、読んでいるのか、科学研究世界への想像力を持って取り組みたい。

### 【授業計画】

各自やグループにおける問題解決のプロセスを実践的に学ぶ機会としたい。そのために、基本文献の概要と動向のまとめ（文献レビュー）、論文のまとめかたと会議でのプレゼンテーション（PowerPoint実習を含む）など、調査と発表のための基礎知識もとりあげます。

### 【評価方法】

総合研究報告、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関係する基本文献を随時配付する。

## 図書館情報学特殊演習 a

山本 進

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒論ゼミと同様、取り上げるテーマは、館種を問わず、図書館の現場における資料組織、サービス、施設・設備、建築の諸問題及び図書館サービスの地域計画図書館協力、図書館サービスの測定と評価、図書館員の専門性などの諸問題を論述する。

<3年前期> a

講義内容にそった資料を配付し、順次論述をすすめ、その中から毎月1回程度課題レポートを提出させ問題意識の集約をはかる。

<4年前期> b

3年後期で問題意識の集約した事項について、論文テーマを設定し関連文献の収集と調査事項等をディスカッションにより指導する。

<4年前期> c

卒業論文に準じた論文作成の指導を行い、作成論文の全員発表を行なう。

### 【授業計画】

3年後期 問題意識の集約

4年前期 論文テーマの設定と文献の収集

4年後期 論文作成と全員発表

### 【評価方法】

最終論文の発表と課題レポートの評価と総合して評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。



## 図書館情報学特殊演習 a

逸村 裕

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

4年次の「最終レポート」作成を前提として、各自が関心を持つテーマを研究する。

1. これまでに学んできた図書館情報学に関する知識技能の確認を行う。
2. 文献検索、和欧文献の読み込み、統計処理
3. 「最終レポート」テーマの検討

### 【授業計画】

各自の関心を基礎に演習方式で行なう。毎回の課題提出と発表が義務である。

### 【評価方法】

演習への出席とレポート、発表をもとに評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 a・b・c

菅野育子

3年後期 4年前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

図書館情報学関連のテーマを題材に、ホームページを作成することを目的としている。

テーマを選び、関連文献を収集する。その文献の要旨や評価について、レジュメと口頭で発表を行う。一年間の発表内容をまとめて、ホームページを作成する。これらの活動を通して、ホームページ作成技術、文献の探索方法、DB検索技術、文献の読解力やプレゼンテーションの技術の習得をめざす。

- (1) 電子メールの利用（共同作業のため連絡調整）
- (2) 情報検索と文献収集（DIALOG、JOIS、INTERNET、その他の二次資料を利用）
- (3) 原稿作成
- (4) ホームページ作成用エディターの利用（Web作成のため）
- (5) レジュメの作成（作業過程や決定事項の記録）  
電子情報源における著作権の勉強会（Web公開の準備）
- (6) ホームページ上での写真掲載の許諾申請

### 【授業計画】

- |         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 2000年9月 | 4年生の中間発表会に出席                      |
| 10月～    | テーマの決定<br>文献検索、収集、講読、評価           |
| 2001年1月 | ホームページの構成の決定<br>4年生のホームページ評価活動に参画 |
| 4月～     | データ作成と入力                          |
| 2002年1月 | ホームページの評価、最終発表会                   |

### 【評価方法】

毎回の発表内容とホームページ作成作業に基づいて評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 a

三和義秀

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

<a>ハイパーテキストの仕組みを理解して本質的な問題点を探り、その改善手法について討論する。その範囲内で最終レポートのテーマ等を決定する。

<b・c>各自のレポート・テーマに関する研究を行い、レポートを完成する。

<a>

CD-ROM百科事典やWWWなどを実際に使ったり、HTML、Java、VRML (Virtual Reality Modeling Language)、CGI (Common Gateway Interface) などを使ってホームページを作りながらハイパーテキスト・システムの機能を評価して本質的な問題点を探る。また、それら問題の解決手法の関する先行研究を調査する。

<b・c>

各自の研究内容に関する先行研究の理解やシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

講義及び実習で進める。

### 【評価方法】

<a>レポートにて評価。

<b・c>最終レポートにて評価。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 図書館情報学特殊演習 a

村主朋英

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報史研究に関わる演習を行なう。

情報史とは、まず第一に情報に関わる事物（情報活動・情報技術・情報サービス・情報学の理論・情報専門家など）についての歴史である。それに加えて、科学技術・哲学・文学・芸術・芸能・音楽、また教育や法律など、人間の生活や社会活動に関わるあらゆる事象も情報史の対象と考えることができる。

そうした対象の中から、各自でテーマを決め、調査を行う。

### 【授業計画】

1. テーマの設定：用語の定義を中心に
2. 史料の発見・入手・分析
3. 記述方法や年表の枠組みの検討
4. 年表の作成および基礎知識のまとめ

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）、最終報告書。

### 【テキスト】

『図書館・情報学のための調査研究法』勁草書房、及び『情報と文献の探索 第3版』丸善

（いずれも諸君が今までに履修した講義で使用）



## 図書館情報学特殊演習 b

岡澤和世

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「情報環境」というコンセプトに焦点を当て、現代社会の情報問題を考える。演習を中心に各自の中心のテーマを決め、相互理解を深めていく。

今、情報環境が大きな変貌を遂げようとしている。高度情報化社会に生きている私たちは変わりゆく情報環境について認識を深め、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解力（リテラシー）を発揮するよう求められている。本講義では、そのために必要な情報は何かを中心に論じる。

### 【授業計画】

オリエンテーション：情報環境

1. 情報環境とニューメディア
2. 情報メディア
3. 情報アクセス
4. 情報不均衡
5. 情報と知識を結ぶ鎖
6. 記憶と情報
7. ニューラル・ネットワーク
8. 言語と会話
9. 書物の歴史
10. 女性と情報
11. インフォ・リッチ：インフォ・プア
12. 情報の質
13. 情報過多
14. 情報と文化の関係
15. 情報と漫画
16. 情報と広告
17. 情報とテレビ
18. 情報の一極集中化
19. 社会変化
20. 情報社会の展開過程と現状

### 【評価方法】

出席とレポート。

### 【テキスト】

インフォ・リッチ：インフォ・プア (Travor Haywood  
岡澤和世訳 敬文堂)

## 図書館情報学特殊演習 b

西荒井学

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自が設定したテーマに応じ、プログラム言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアを使用して、実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）を行い、それらの内容を演習形式で学習していく。

- 1) テーマの決定
- 2) プログラム設計
- 3) プログラミング
- 4) テスト
- 5) 仕様書の作成
- 6) 評価

### 【授業計画】

受講者各自が設定したテーマに従って、毎時間実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）に必要な各種作業を実施していく。取り扱うプログラミング言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアについては、情報科学教育センターが所有するソフトウェアの範囲内であれば、それ以上の条件は別に設定しない。ただし、表計算ソフトウェアなどのアプリケーション・ソフトウェアを使用する場合には、マクロを使用するなど、唯一、プログラミングの要素を含むことを条件とする。

なお受講者各自に対して、最終的には、開発の目的、プログラム設計書（入力、出力、ファイル、プロセス）、ソース・リスト、操作マニュアル、総合評価からなるレポートの提出を義務付ける。

### 【評価方法】

プログラム開発の理解度ならびに進捗状況、課題レポートなどによって評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 b

堀田康雄

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

遺伝情報系、脳神経系などの生物の情報システムに関する研究の現状に接し、情報を収集・展望・分析する手法を習得する手段の一つとして、自然科学のレビュー誌『日経サイエンス』に掲載の論文その他のコラムの検索用データベース（DB）を作成する。

『日経サイエンス』誌の論文等の検索DBの作成

日経サイエンス（1971～現在）は米国の科学レビュー誌として定評のあるScientific Americanの日本語版であり、それぞれの専門分野の著名学者が易しく解説的に執筆している。最近、本学でも卒論作成や演習の資料等によく利用されるようになったので、論文等をたやすく検索できるようにする必要に迫られている。本誌は学科にも図書館にもあるので、皆に役立つものを残しておこうということである。平成12年末には完成させる。

1. ファイルメーカーPro 4を使用
2. 論文、海外ニュース、書評、座談会、自然の写真などの検索項目の設定
3. キーワードの付与
4. 対応するScientific Americanにアクセスできるように配慮する
5. 抄録を見られるようにする
6. 学術分野別に検索できるようにする

### 【授業計画】

講義以外は演習室を使用する。半期の区切りごとにレポートを提出する。

### 【評価方法】

レポート、出席状況、努力の程度で評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

## 図書館情報学特殊演習 b

山崎茂明

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

フォーマルコミュニケーションの最も主要なメディアとして発展してきた学術雑誌を主たるテーマにして、学術雑誌の創刊時を中心とした歴史的アプローチ、現在の出版状況を数量的に把握する生態論的アプローチ、電子ジャーナルを中心にした未来論的アプローチ、レフェリーシステムに代表される本質論的アプローチ、投稿や雑誌の利用に焦点をあてた行動的アプローチなど、さまざまな視点から学術雑誌の機能を検討します。4年次には、個人やグループで特定テーマを設定し、最終的には「特殊演習報告書、総合研究：学術雑誌」としてまとめることを目標にして、調査と発表をおこなっていきます。

### 【授業計画】

各自やグループにおける問題解決のプロセスを実践的に学ぶ機会としたい。文献検討だけでなく、訪問調査、見学なども取り入れ、実践的に考えていきたい。

### 【評価方法】

総合研究報告、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関係する基本文献を随時配付する。



## 図書館情報学特殊演習 b

山本 進

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒論ゼミと同様、取り上げるテーマは、館種を問わず、図書館の現場における資料組織、サービス、施設・設備、建築の諸問題及び図書館サービスの地域計画図書館協力、図書館サービスの測定と評価、図書館員の専門性などの諸問題を論述する。

< 3 年前期 > a

講義内容にそった資料を配付し、順次論述をすすめ、その中から毎月 1 回程度課題レポートを提出させ問題意識の集約をはかる。

< 4 年前期 > b

3 年後期で問題意識の集約した事項について、論文テーマを設定し関連文献の収集と調査事項等をディスカッションにより指導する。

< 4 年前期 > c

卒業論文に準じた論文作成の指導を行い、作成論文の全員発表を行なう。

### 【授業計画】

3 年後期 問題意識の集約

4 年前期 論文テーマの設定と文献の収集

4 年後期 論文作成と全員発表

### 【評価方法】

最終論文の発表と課題レポートの評価と総合して評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 b

逸村 裕

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自の研究テーマを発展させ、「最終レポート」作成を目指す。

研究進捗状況の確認を行なう。

### 【授業計画】

3 年次の図書館情報学演習 a を基礎。

### 【評価方法】

演習への参加をもとに評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 b

三和義秀

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

<a>ハイパーテキストの仕組みを理解して本質的な問題点を探り、その改善手法について討論する。その範囲内で最終レポートのテーマ等を決定する。

<b・c>各自のレポート・テーマに関する研究を行い、レポートを完成する。

<a>

CD-ROM百科事典やWWWなどを実際に使ったり、HTML、Java、VRML (Virtual Reality Modeling Language)、CGI (Common Gateway Interface) などを使ってホームページを作りながらハイパーテキスト・システムの機能を評価して本質的な問題点を探る。また、それら問題の解決手法の関する先行研究を調査する。

<b・c>

各自の研究内容に関する先行研究の理解やシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

講義及び実習で進める。

### 【評価方法】

<a>レポートにて評価。

<b・c>最終レポートにて評価。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 図書館情報学特殊演習 b

村主朋英

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報史研究に関わる演習を行なう。

情報史とは、まず第一に情報に関わる事物（情報活動・情報技術・情報サービス・情報学の理論・情報専門家など）についての歴史である。それに加えて、科学技術・哲学・文学・芸術・芸能・音楽、また教育や法律など、人間の生活や社会活動に関わるあらゆる事象も情報史の対象と考えることができる。

そうした対象の中から、各自でテーマを決め、調査を行う。

### 【授業計画】

1. 仮説の設定と検証方法の検討
2. 調査の実施

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）。

### 【テキスト】

使用せず。



## 図書館情報学特殊演習 c

岡澤和世

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「情報環境」というコンセプトに焦点を当て、現代社会の情報問題を考える。演習を中心に各自の中心のテーマを決め、相互理解を深めていく。

今、情報環境が大きな変貌を遂げようとしている。高度情報化社会に生きている私たちは変わりゆく情報環境について認識を深め、氾濫する情報に溺れることなく、正しい情報理解力（リテラシー）を発揮するよう求められている。本講義では、そのために必要な情報は何かを中心に論じる。

### 【授業計画】

オリエンテーション：情報環境

1. 情報環境とニューメディア
2. 情報メディア
3. 情報アクセス
4. 情報不均衡
5. 情報と知識を結ぶ鎖
6. 記憶と情報
7. ニューラル・ネットワーク
8. 言語と会話
9. 書物の歴史
10. 女性と情報
11. インフォ・リッチ：インフォ・プア
12. 情報の質
13. 情報過多
14. 情報と文化の関係
15. 情報と漫画
16. 情報と広告
17. 情報とテレビ
18. 情報の一極集中化
19. 社会変化
20. 情報社会の展開過程と現状

### 【評価方法】

出席とレポート。

### 【テキスト】

インフォ・リッチ：インフォ・プア (Travor Haywood  
岡澤和世訳 敬文堂)

## 図書館情報学特殊演習 c

西荒井学

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自が設定したテーマに応じ、プログラム言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアを使用して、実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）を行い、それらの内容を演習形式で学習していく。

- 1) テーマの決定
- 2) プログラム設計
- 3) プログラミング
- 4) テスト
- 5) 仕様書の作成
- 6) 評価

### 【授業計画】

受講者各自が設定したテーマに従って、毎時間実際にシステム構築（もしくはプログラム開発）に必要な各種作業を実施していく。取り扱うプログラミング言語あるいはアプリケーション・ソフトウェアについては、情報科学教育センターが所有するソフトウェアの範囲内であれば、それ以上の条件は別に設定しない。ただし、表計算ソフトウェアなどのアプリケーション・ソフトウェアを使用する場合には、マクロを使用するなど、唯一、プログラミングの要素を含むことを条件とする。

なお受講者各自に対して、最終的には、開発の目的、プログラム設計書（入力、出力、ファイル、プロセス）、ソース・リスト、操作マニュアル、総合評価からなるレポートの提出を義務付ける。

### 【評価方法】

プログラム開発の理解度ならびに進捗状況、課題レポートなどによって評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 c

堀田康雄

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

遺伝情報系、脳神経系などの生物の情報システムに関する研究の現状に接し、情報を収集・展望・分析する手法を習得する手段の一つとして、自然科学のレビュー誌『日経サイエンス』に掲載の論文その他のコラムの検索用データベース（DB）を作成する。

『日経サイエンス』誌の論文等の検索DBの作成

日経サイエンス（1971～現在）は米国の科学レビュー誌として定評のあるScientific Americanの日本語版であり、それぞれの専門分野の著名学者が易しく解説的に執筆している。最近、本学でも卒論作成や演習の資料等によく利用されるようになったので、論文等をたやすく検索できるようにする必要に迫られている。本誌は学科にも図書館にもあるので、皆に役立つものを残しておこうということである。平成12年末には完成させる。

1. ファイルメーカーPro4を使用
2. 論文、海外ニュース、書評、座談会、自然の写真などの検索項目の設定
3. キーワードの付与
4. 対応するScientific Americanにアクセスできるように配慮する
5. 抄録を見られるようにする
6. 学術分野別に検索できるようにする

### 【授業計画】

講義以外は演習室を使用する。半期の区切りごとにレポートを提出する。

### 【評価方法】

レポート、出席状況、努力の程度で評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

## 図書館情報学特殊演習 c

山崎茂明

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

フォーマルコミュニケーションの最も主要なメディアとして発展してきた学術雑誌を主たるテーマにして、学術雑誌の創刊時を中心とした歴史的アプローチ、現在の出版状況を数量的に把握する生態論的アプローチ、電子ジャーナルを中心とした未来論的アプローチ、レフェリーシステムに代表される本質論的アプローチ、投稿や雑誌の利用に焦点をあてた行動的アプローチなど、さまざまな視点から学術雑誌の機能を検討します。個人やグループで特定テーマを設定し、最終的には「特殊演習報告書、総合研究：学術雑誌」としてまとめることを目標としています。レポートの執筆、原稿の集稿、整理・編集もおこないます。

### 【授業計画】

各自やグループにおける問題解決のプロセスを実践的に学ぶ機会としたい。成果物をまとめるプロセスを大切にします。

### 【評価方法】

総合研究報告、レポート。

### 【テキスト】

講義内容に関係する基本文献を随時配付する。



## 図書館情報学特殊演習 c

山本 進

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒論ゼミと同様、取り上げるテーマは、館種を問わず、図書館の現場における資料組織、サービス、施設・設備、建築の諸問題及び図書館サービスの地域計画図書館協力、図書館サービスの測定と評価、図書館員の専門性などの諸問題を論述する。

<3年前期>a

講義内容にそった資料を配付し、順次論述をすすめ、その中から毎月1回程度課題レポートを提出させ問題意識の集約をはかる。

<4年前期>b

3年後期で問題意識の集約した事項について、論文テーマを設定し関連文献の収集と調査事項等をディスカッションにより指導する。

<4年前期>c

卒業論文に準じた論文作成の指導を行い、作成論文の全員発表を行なう。

### 【授業計画】

3年後期 問題意識の集約

4年前期 論文テーマの設定と文献の収集

4年後期 論文作成と全員発表

### 【評価方法】

最終論文の発表と課題レポートの評価と総合して評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 c

逸村 裕

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自の研究テーマを発展させ、「最終レポート」作成を目指す。

研究進捗状況の確認を行なう。

### 【授業計画】

3年次の図書館情報学演習aを基礎。

### 【評価方法】

演習への参加をもとに評価を行なう。

### 【テキスト】

使用せず。

## 図書館情報学特殊演習 c

三和義秀

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

<a>ハイパーテキストの仕組みを理解して本質的な問題点を探り、その改善手法について討論する。その範囲内で最終レポートのテーマ等を決定する。

<b・c>各自のレポート・テーマに関する研究を行い、レポートを完成する。

<a>

CD-ROM百科事典やWWWなどを実際に使ったり、HTML、Java、VRML (Virtual Reality Modeling Language)、CGI (Common Gateway Interface) などを使ってホームページを作りながらハイパーテキスト・システムの機能を評価して本質的な問題点を探る。また、それら問題の解決手法の関する先行研究を調査する。

<b・c>

各自の研究内容に関する先行研究の理解やシステム構築のためのプログラミングを行う。

### 【授業計画】

講義及び実習で進める。

### 【評価方法】

<a>レポートにて評価。

<b・c>最終レポートにて評価。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## 図書館情報学特殊演習 c

村主朋英

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報史研究に関わる演習を行なう。

情報史とは、まず第一に情報に関わる事物（情報活動・情報技術・情報サービス・情報学の理論・情報専門家など）についての歴史である。それに加えて、科学技術・哲学・文学・芸術・芸能・音楽、また教育や法律など、人間の生活や社会活動に関わるあらゆる事象も情報史の対象と考えることができる。

そうした対象の中から、各自でテーマを決め、調査を行う。

### 【授業計画】

1. 調査の実施
2. 叙述（執筆）とプレゼンテーション（口頭発表等）

### 【評価方法】

平常点（出欠、課題の提出状況）、最終報告書。

### 【テキスト】

使用せず。



## 調査研究法Ⅰ（調査の基礎）

菅野育子 村主朋秀 逸村 裕 三和義秀

集中・オムニバス 2年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

図書館情報学における研究・調査のために必要な基礎的知識と技術を習得することを目的とする。

- 1 図書館情報学の研究方法（担当：菅野）
  - 1.1 図書館情報学研究の特徴
  - 1.2 図書館情報学の調査方法  
社会調査法／記録資料の分析
- 2 研究計画と調査方法（担当：菅野）
  - 2.1 研究目的
  - 2.2 調査目的と対象
- 3 研究関連文献の探索と入手（担当：村主）
  - 3.1 文献探索の方法
  - 3.2 二次資料の利用法
  - 3.3 原報入手の方法と書誌記述
- 4 学術文献の読み方・書き方（担当：村主）
  - 4.1 学術文献をなぜ書くか・なぜ読むか
  - 4.2 学術文献をどう書くか・どう読むか
- 5 統計的方法（担当：逸村、三和）
  - 5.1 Lotus 1-2-3を用いたデータの入力と分析
  - 5.2 統計的方法と表・グラフおよび算術的記述

### 【評価方法】

出席回数、授業中の課題、期末試験の結果を総合的に評価する。

### 【テキスト】

『図書館情報学のための調査研究法』 緑川信之也 勁草書房

## 調査研究法Ⅱ（研究方法論）

菅野育子 村主朋秀 逸村 裕 三和義秀

集中・オムニバス 2年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

図書館情報学における研究・調査の事例を参考にしながら、実際に文献講読とレビュー作成、統計的手法を用いたデータ整理を行う。この過程において、研究・調査のための知識と技術を習得する。

- 1 図書館情報学の研究目的と調査方法の事例（担当：菅野）
  - 1.1 科学コミュニケーションの解明  
ビブリオメトリックス／インフォーマル・コミュニケーション
  - 1.2 情報検索システムの構築と評価  
データベースの構築例／データベース・二次資料の評価
  - 1.3 図書館サービスの評価  
図書館建築／蔵書回転率／OPACの利用
- 2 レビュー作成の方法（担当：村主）
  - 2.1 引用の形式と文体
  - 2.2 文献の引用に基づく論述の方法
  - 2.3 レビューの文体
- 3 Lotus 1-2-3を用いた統計的方法（担当：逸村、三和）
  - 3.1 データの収集  
無作為抽出法／標本の大きさ
  - 3.2 データの整理と表示  
度数分布表、ヒストグラム、算術平均、標準偏差
  - 3.3 データの検定と分析  
相関係数／SQRT関数

### 【評価方法】

出席回数、授業中の課題、期末試験の結果を総合的に評価する。

### 【テキスト】

『図書館情報学のための調査研究法』 緑川信之也 勁草書房

## プラクティカルイングリッシュ

山崎茂明

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

図書館員や情報専門家として働くときに必要と思われる英文資料や情報源を教材として取りあげ、読解力と背景となる事象へのアプローチを学ぶ。職業人として求められる身近な英語の文章を読んでいく。

### 【授業計画】

例えば、求人広告欄、書評、ニュース記事、学会参加申し込み、雑誌講読申し込み、図書購入、施設訪問手紙、図書館案内パンフレット、ホームページ、レファレンス資料の前書き、百科事典の記述項目などをとりあげる。参加者は、必ず英和辞典を持参すること。時間内での英訳や自宅での課題など予定している。

### 【評価方法】

訳読レポート、試験。

### 【テキスト】

課題文や資料を随時配付する。

## プロフェッショナルリーディング

村主朋英

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報学・図書館学の学術論文等、専門的な文献を読解し利用する技能を養う。とくに翻訳（理解・解釈）および要約について、細かく指導する。なお、来年度からは昨年度開講の2年次向け科目「情報学特殊III(情報学原典講読)」と同様の内容とする予定。

### 【授業計画】

1. 翻訳の演習
2. 要約の演習
3. 受講者各自の関心のある論文・図書の検索・選定
4. 各自の選択した文献に関する演習

### 【評価方法】

平常点（出欠および課題提出状況）

最終レポート（外国語論文を読んで）

### 【テキスト】

『図書館情報学用語辞典』日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 約3,800円

そのほか、各自英和辞典を持参すること。



## 情報学Ⅰ a・b (生命情報増幅)

堀田康雄

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

生命は多くの情報システムから成立し、情報なしに生命は存在しない。原始生命誕生以来存在する先天的な遺伝情報系と後天的に獲得した脳神経の情報系を論ずる。

前期 a：Ⅰ. 遺伝の情報システム

- 1.1 生命の基本的性格：地球の誕生と生命の起源
- 1.2 遺伝子の実体：遺伝の法則／遺伝学的、物質的探究
- 1.3 核酸の構造と遺伝記号：基本構造／遺伝暗号の進化
- 1.4 遺伝情報の伝達と発現：複製、転写、翻訳
- 1.5 情報発現の産物：タンパク質の構造と機能
- 1.6 情報発現の制御：酵素の誘導合成／アミノ酸合成
- 1.7 遺伝子像の変遷：遺伝子の動的な姿
- 1.8 生命現象の遺伝子支配：細菌の行動／細胞分裂周期、細胞死と老化／産卵行動／疾病／情緒など
- 1.9 遺伝情報系と言語情報系：遺伝情報概念の発生

後期 b：Ⅱ. 脳の情報システム

- 2.1 脳知識の歴史的回顧
- 2.2 脳の構造と機能：概要／細胞構成
- 2.3 神経系の構造と回路：構造／神経インパルス／神経伝達物質／回路の形成／感覚系の回路／視覚情報処理／感覚の統合
- 2.4 脳の可塑性について：神経回路の変換／感覚野の可塑性
- 2.5 記憶について：記憶の場所／学習、刷り込み／記憶の種類／記憶のメカニズム／脳の研究機器の発達
- 2.6 情動、意識について
- 2.7 脳の情報システムの発達：生物進化と情報量の増加／神経系の進化／新しい記憶系の獲得へ
- 2.8 情報の普遍概念を探る：生物の自己組織化と情報／情報の定量化／情報の最小単位と情報素量

### 【授業計画】

テキストに沿って、OHPを用いて講義する。

### 【テキスト】

新版 生物の情報システム (竹村彰祐・大井龍夫著 講談社サイエンティフィク 2,800円)

## 情報学Ⅱ a・b (図書館と情報検索の歴史)

村主朋英

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

図書館サービスと情報検索サービスの発達過程を中心に図書館情報学分野に関わる歴史を概観する。

### 【授業計画】

0. オリエンテーション 歴史を学ぶ意義／情報化社会論と情報史
1. 図書館・情報サービスの起源と学術情報
  - 1.1 古代・中世の知識と図書館
  - 1.2 近代における学術情報流通システム
  - 1.3 近代公共図書館と図書館界の成立
  - 1.4 図書館学とドキュメンテーション
2. 現代の図書館・情報サービス
  - 2.1 ドキュメンテーション運動その後
  - 2.2 情報技術の起源
  - 2.3 情報検索サービスの成立
  - 2.4 情報学の成立
  - 2.5 図書館情報学の環境の変化
3. 理想の情報検索システムを求めて  
Vannevar BushとそのMemex構想／Memex, World Brain, インターネット
4. 総括  
情報学と情報サービスの今後

### 【評価方法】

定期試験。※穴埋め・訂正問題、論述問題。

### 【テキスト】

『図書及び図書館史』新現代図書館学講座13、東京書籍  
『図書館情報学用語辞典』日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 約3,800円

## 情報学Ⅲ (科学コミュニケーション)

山崎茂明

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現在社会の発展を基礎づけている科学研究活動を対象にして、コミュニケーションとメディア、研究組織と評価に着目して、具体的な事例をもとに検討したい。科学研究の諸層を概観することからはじめ、論文の執筆と投稿、論文審査、出版倫理と不正行為、科学ジャーナリズムなど科学コミュニケーションの実態を理解し、さらに研究活動の分析・評価まで取りあげたい

1. 科学の科学、科学研究の目的
2. 研究資金、研究者、成果としての学術論文
3. 17-19世紀の科学研究
4. 学会、会議、学術雑誌、インフォーマルコミュニケーションとフォーマルコミュニケーション
5. 学術論文とは
6. 学術雑誌と科学コミュニケーション
7. 論文発表の実態
8. 論文審査 (レフェリーシステム)
9. 科学研究の不正行為
10. 科学ジャーナリズムの役割
11. 研究動向調査
12. 研究者と研究機関の評価

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート (授業時間内)。

### 【テキスト】

山崎茂明「生命科学論文投稿ガイド」中外医学社

### 【参考書籍】

Broad, W. 「背信の科学者たち」化学同人  
Price, D.J.D. 「リトルサイエンス・ビッグサイエンス」創元社  
白楽ロックビル「アメリカの研究費とNIH」共立出版  
新堀通也「日本の学会」日本経済新聞社 (新書)

## 情報処理概説 a・b

西荒井学

1年 前・後期 必修 各2単位

### 【授業の概要】

情報処理に必要なコンピュータに関する基礎知識の習得、ならびに情報処理機器の基本操作、技法を習得する。

<前期>

- 1) ガイダンス、コンピュータの歴史
- 2) 情報の表現と情報単位、コンピュータの仕組み
- 3) キー・タイピング練習
- 4) 基本ソフトと応用ソフト
- 5) ワープロ・ソフト (基礎～応用)
- 6) ネットワークの利用 (メール、WWW)
- 7) 情報処理方式、ファイルとデータベース
- 8) 今後の情報処理
- 9) 表計算ソフト (基礎～応用)
- 10) 前期のまとめ

<後期>

- 1) 情報処理ステップ、言語系ソフトウェア
- 2) プログラミング (問題解析、開発)
- 3) VB (Visual Basic) の特徴
- 4) プログラミングの前に、VBの起動、操作
- 5) 演算処理、プロジェクトの保存/呼び出し
- 6) 判断分岐、繰り返し処理
- 7) 関数の利用、配列
- 8) モジュールの追加、変数の共有
- 9) 練習問題 (VBアプリケーション)
- 10) プレゼンテーション・ソフト
- 11) 後期のまとめ

### 【授業計画】

講義と情報科学教育センターにおけるコンピュータ実習とを約半々の割合で授業を進行していく。

### 【評価方法】

学期末試験ならびに各コンピュータ実習課題提出内容によって評価する。

### 【テキスト】

情報処理のテクニック (西荒井学・三和義秀 共立出版)



## プログラム設計基礎 a・b

三和義秀

2年 前・後期 必修 各2単位

### 【授業の概要】

アルゴリズムを中心とするプログラム開発に必要な基礎知識を習得して、UNIX/Cを用いたプログラミングを行う。

### 【授業計画】

(a：前期)

- 第1回から第2回 アルゴリズム
- 第3回 プログラム言語とコーディング
- 第4回 フローチャート
- 第5回 UNIXセッションとコマンド
- 第6回から第7回 UNIXのエディタ
- 第8回 C言語プログラムの開発手順
- 第9回 情報の表現方法
- 第10回から第11回 変数とデータ型
- 第12回 書式指定子
- 第13回 算術演算子

(b：後期)

- 第1回から第2回 プログラム制御
- 第3回から4回 配列
- 第5回から7回 アルゴリズムとプログラミング
- 第8回から10回 関数設計
- 第11回から第13回 アドレスとポインタ

### 【評価方法】

定期試験、レポート及び出欠席にて総合評価する。特に出席回数を重視する。

### 【テキスト】

情報処理のテクニック (西荒井学・三和義秀 共立出版株式会社)

## プログラム設計応用 I (C言語)

三和義秀

3・4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

構造化プログラミングの技法とUNIX/Cによるプログラミングを行う。さらにオブジェクト指向の考え方を学び、Visual C++によるプログラミングを行う。

### 【授業計画】

- 第1回から第2回 記憶クラス
- 第3回から第4回 アドレスとポインタ
- 第5回から第6回 構造体
- 第7回から第8回 ファイル操作
- 第9回 オブジェクト指向プログラミング
- 第10回から第13回 Visual C++によるオブジェクト指向プログラミング

### 【評価方法】

定期試験、レポート及び出欠席にて総合評価する。特に出席回数を重視する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。

## プログラム設計応用Ⅱ (COBOL)

西荒井学

3・4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

事務処理用言語であるCOBOLを使用して、実際のプログラム作成に関する基礎技術を学習していく。また同時に、COBOLというプログラム言語が持っている本質的な特徴を理解していく。

- 1) ガイダンス
- 2) COBOLの基本構造
- 3) 予約語、利用者定義語、コーディング書式
- 4) 識別、環境部
- 5) ファイルの構造
- 6) データ部 (FILE記述、レコード記述)
- 7) データ部 (出力編集)
- 8) 手続き部 (手続き名、入出力文、制御文)
- 9) プログラミング実習 (実習問題A～H)
- 10) プログラミング実習 (実習問題I～)
- 11) まとめ

### 【授業計画】

全授業回数の内、前半はCOBOL言語に関する文法について解説していく。後半は、提示された課題プログラムの作成を各自実習形式で行なう。

### 【評価方法】

提出課題プログラム数、提出課題プログラムの内容、ならびに学期末試験にて総合評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず (プリント配布)。

## プログラム設計応用Ⅲ (Java)

三和義秀

3・4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

オブジェクト指向の考え方を学び、Javaを用いてオブジェクト指向プログラミングの基礎を習得する。

### 【授業計画】

- 第1回 オブジェクト指向、オブジェクト指向プログラミングとは
- 第2回 Javaの特徴とJavaプログラムの開発環境
- 第3回から5回 クラス設計とJavaのプログラム構造
- 第6回から9回 オブジェクトとコンストラクタ
- 第10回から第11回 クラスの継承と抽象クラス
- 第12回から第13回 アクセス制御

### 【評価方法】

定期試験、レポート及び出欠席にて総合評価する。特に出席回数を重視する。

### 【テキスト】

授業中に指示する。



## データ管理論Ⅰ (表計算ソフトの活用-統計処理)

三和義秀

3・4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

調査研究において収集したデータを整理・分類し、それらの性質や状態を数量的に表現して全体としての法則性を見つけ出すための手法と、どのようにコンピュータを統計処理に活用するかについて表計算ソフトExcelを使って学ぶ。

### 【授業計画】

- 第1回 統計とは何か、度数分布表とヒストグラム
- 第2回 データ入力、表・グラフの作成
- 第3回 関数の使い方
- 第4回 統計量の求め方
- 第5回 度数分布表、ヒストグラムの作成
- 第6回 ドットプロット、クロス集計表の作成
- 第7回 平均値、範囲、最頻値、分散と標準偏差等の意味
- 第8回 代表値と散布度を求める
- 第9回 確率分布と正規分布
- 第10回 2項分布と標準正規分布
- 第11回 相関係数の求め方とその意味、回帰分析
- 第12回 散布図の作成、相関係数、回帰係数
- 第13回 検定の仕組みと方法

### 【評価方法】

定期試験、レポート及び欠席にて総合評価する。特に出席回数を重視する。

### 【テキスト】

「Excelで学ぶ“やさしい統計処理のテクニック”」共立出版株式会社 三和義秀

## データ管理論Ⅱ (DBソフトとDB構築)

原伸之

3・4年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

パソコン活用の3本の柱の1つである「データベース」を取り上げる。世の中のコンピュータ利用の大部分が、このデータベース利用であると言っても過言ではない。金融機関での預金の出し入れ、座席の予約さらにコンビニでの商品管理など。これらは、データベースの応用システムである。

授業では、これらのシステムの核となっている「データベース」の理解・構築技法・利用方法を講義と実技で体験・習得する。

1. データベース概論  
…データベースとは  
データベースの構築技法  
関係データベースの設計
2. データベース・ソフトウェア「ACCESS」  
データベースの定義  
データベースの構築  
データベースの利用
3. 関係データベースの構築  
…事例を作成・体験  
Wordで作成した文書のデータベース化  
インターネットから取り込んだ画像のデータベース化  
諸関数を使用したデータ解析
4. 構築したデータベースの事例発表  
…習得したデータベース構築技法を使って、身近なところで考えられるデータベースを構築し、その活用をレポートする。

### 【授業計画】

配布されたプリントに基づいて、講義・実習を行う。カード型データベースでは、「住所録」を事例として取り上げる。また、関係データベースでは、小売業などでの商品管理を事例として構築する。

### 【評価方法】

習得した技術および知識を基にして、各自が構築した「身近なところで考えられるデータベース」の内容を評価し、成績とする。

### 【テキスト】

プリント配布。

## 情報システム設計基礎論 a・b

西荒井学

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

情報システムの開発に必要なシステム分析からシステムの詳細設計に至るまでのシステム設計全般について学習していく。なお、その主たる内容は、コンピュータの応用を念頭に置いた機械化設計を中心とする。

<前期>

- 1) ガイダンス
- 2) システムの定義
- 3) システムの基本機能、システムの階層性
- 4) システム設計手順の全体像
- 5) システム設計のアプローチ
- 6) コンピュータ業務区分、SEの役割
- 7) SEの基本的要件
- 8) ソフトウェア開発の現状と問題
- 9) ソフトウェア工学（開発技法、開発工程）
- 10) コンピュータ・システムの処理形態
- 11) コード設計
- 12) 前期のまとめ

<後期>

- 1) 出力設計
- 2) 入力設計
- 3) ファイル設計
- 4) データベース設計
- 5) プロセス設計
- 6) システム障害、障害対策・保守
- 7) 信頼性設計手順
- 8) ソフトウェア・ドキュメントの種類と特質
- 9) システムの評価、システム監査
- 10) まとめ

### 【授業計画】

毎週講義終了10～15分間を使用して、小テストを実施する。

### 【評価方法】

小テスト、課題レポート、ならびに学期末試験にて総合評価する。

### 【テキスト】

図解システム設計の基礎（加藤英雄 共立出版）

## 情報システム論 I（情報システム開発）

西荒井学

3・4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報ファイルの設計ならびに管理の問題、特に電子化されていく情報ファイルの問題に焦点を当てて学習していく。

- 1) ガイダンス
- 2) システム開発工程
- 3) 電子ファイリング・システムの必要性
- 4) 電子ファイリング・システムの機能と特徴
- 5) 画像イメージと記録媒体
- 6) 電子ファイリング・システムの適用分野
- 7) 開発実習
- 8) 開発実習（個人別課題）
- 9) 開発実習（グループ別課題）
- 10) まとめ

### 【授業計画】

前半では、システム開発全般に関する問題について講義を実施する。後半では、受講者をグループに分け、簡単なファイリング・システムを実際に開発する。

### 【評価方法】

出席状況、課題レポート、実習課題の成果、ならびに学期末試験にて評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず（プリント配布）。



## 情報システム論Ⅱ (情報ネットワーク)

野添篤毅

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

研究・教育活動を支援する大学・学術図書館における学術情報サービスの基盤となる情報ネットワークについて論じる。とくに、米国で構築されている、情報資源マネジメントを基礎とした医科大学における情報システム、そして米国国立医学図書館を中心とした医学情報ネットワーク、インターネット上の仮想図書館であるデジタル図書館について考察する。

1. 学術情報資源マネジメントの考え方
  2. 情報マネジメントを基礎とした未来の図書館へのシナリオ
  3. 組織内における情報ネットワークの構築
  4. 統合型学術情報マネジメント・システムIAIMSの考え方
  5. IAIMSの実現例
  6. わが国の学術情報ネットワーク
  7. 米国の全国情報基盤構想 (NII) とHPCC計画
  8. インターネットと図書館サービス
  9. 米国国立医学図書館を中心としたデジタル情報資源サービス
  10. デジタル図書館の研究開発動向
- インターネットを用いたレポートを課するので、情報科学教育センターでIDを取得すること。

### 【評価方法】

レポート (2回程度) および小テスト。

### 【テキスト】

プリントを配布予定。

## 情報システム論Ⅲ (大学図書館)

澁川雅俊

集中 3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

大学図書館は、世代を越えて引き継がれた知の連鎖の維持と知の蓄積の保持を伝統とし、歴史的に形成された主張と技術をその時々々の知的探究の欲求に応じて革新してきた。この文脈において大学図書館は、変わらなければならない側面と、進化の様相がいかにあろうとも変わってはならない側面を合わせもっている。そして現状は、まさに転換への模索の最中にある。その転換に備えながら、大学図書館は、学術情報のロジスティクスのコンセプトの下で、伝統を継承しつつ革新的運営を図らなければならない。

### 【授業計画】

1. イントロダクトリー・ノート
2. 教育研究と図書館活動
3. 大学図書館の基本機能・構造
4. 大学図書館のシステムとマネジメント
5. マネジメントの基本〔1〕財源と人的資源
6. マネジメントの基本〔2〕資材と事務システム
7. 多面化する大学図書館のマネジメント
8. 大学図書館マネジメントの新しい手法
9. 大学図書館の現状
10. 大学図書館のダイナミックス
11. 大学図書館の新しいパラダイム
12. クロージング・ノート
13. 単位認定試験

### 【評価方法】

単位認定試験・課題レポート・出席状況の成績によって総合的評価。

### 【参考書籍】

テキストや基本参考書はとくに指定しないが、参考文献を各セッションで配布するのシノップス (講義要項) に示す

## 情報サービス基礎論 a・b

逸村 裕

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

図書館で行われる情報サービスには幅広いものがある。また、これらのサービスはその対象、館種、主題、規模ごとに多くの特徴を持つ。さらに今日、伝統的な図書館サービスに加え、情報技術の普及発展に伴う新たな対応を迫られている。

これら図書館情報サービスの紹介と評価の視点から講義を行なう。

前後期は連続する内容である。

1. この講義の対象と範囲
2. パブリック・サービス（奉仕—直接サービス）
  - A. 貸出閲覧
  - B. レファレンス
  - C. 相互協力
  - D. 視聴覚資料
  - E. パブリックサービスの今後
3. テクニカル・サービス（資料組織—間接サービス）
  - A. 選書
  - B. 収書
  - C. 整理
  - D. 雑誌
  - E. テクニカルサービスの今後
4. 評価の視点から見た情報サービス
  - A. 蔵書
  - B. 人的サービス
  - C. その他のサービス

### 【授業計画】

講義中心に行なう。適宜、小テスト、レポートを課す。

### 【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による評価。詳細は初回講義の際に説明する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 情報メディア基礎論 a・b

菅野育子

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点を考え、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

1. 情報流通と情報メディア  
学術情報の生産のメカニズム／学術情報の流通モデル
2. 情報メディアの分類と種類
3. 情報メディアの階層化  
物理的階層／書誌的階層／機能的階層
4. 情報メディア 一次情報のためのメディア  
図書（定義／出版流通過程と関連する制度／学術図書の機能）  
雑誌（定義／学術雑誌の機能／雑誌論文の構成）  
テクニカルレポート（定義、NTIS）  
特許資料（各国の特許制度／特許情報の流通過程）  
規格資料（国際規格／国内規格／標準化活動）
5. 情報メディア 二次情報のためのメディア  
情報の加工（代替、編集、濃縮）／書誌／索引／抄録／百科事典
6. データベース（DB）  
DBシステムの歴史／DBの種類と内容／オンライン情報検索とCD-ROMの利用
7. 情報メディアの分析とビブリオメトリックス  
ビブリオメトリックスの定義／引用分析
8. 情報流通における標準化と情報メディア  
ISBN, ISSN, ISMN／SGMLタグと論理構造
9. 情報の電子化と情報メディア  
電子編集と電子出版／電子雑誌／電子図書

### 【授業計画】

前期はテキストを用い、後期はテキストと配布資料を用いて講義を行なう。

### 【評価方法】

出席回数と定期試験の成績で評価する。

### 【テキスト】

『情報の発生と伝達』（上田修一・倉田敬子 勁草書房）



## 情報メディア論I a・b(通信・マルチメディア)

東浦信博

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

司書・学芸員の資格取得に必要な視聴覚教育メディア論を主としてI a(前期)で、図書館情報学科の学生にとって必要と思われる情報通信のメディアと仕組みの概観をI b(後期)で扱う。

1. 視聴覚教育メディアの意義・目的

① 図書館・博物館とメディア② コミュニケーションとメディア

③ 具象的記号としての視聴覚教育メディア④ 視聴覚教育メディアのもつ特性

2. 視聴覚教育メディア各論

① 領域と種類② 音声メディア

③ 映像メディア④ 音声映像メディア

3. マルチメディア

① マルチメディアとは② 要素技術

③ アナログとデジタル

④ レーザー光線と光ファイバー

⑤ デジタル通信のメリット

4. 情報通信のメディアとシステム

① 電気通信事業(情報産業)② VAN(付加価値の意味等)

③ CATV(初期の意義、現在の意義)④ 衛星通信・衛星放送

⑤ HDTV⑥ 移動体通信

⑦ 情報ハイウェイ⑧ マルチメディア

### 【授業計画】

図・表を多用する。主としてOHPを用いて授業を進める。

### 【評価方法】

論述式定期試験(テキスト・ノート持ち込み可)。

### 【テキスト】

新訂視聴覚教育(学芸図書 ¥1,800)

情報通信とマルチメディア(共立出版 ¥2,835)

## 情報メディア論II(書誌情報DB構築)

上田修一

集中 3・4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

この授業では、まず、書誌(文献)データベースは、どのような展開をとげ、現在どのような状況にあるのか、そして、図書館情報学の中で書誌データベースの構築はどのように位置づけられるのか(なぜ書誌データベースを作るのか)を述べます。その後で、書誌データベースの作成方法について、書誌記述、主題索引法を中心に説明していきます。内容は以下の通り。

1. 書誌コントロールとデータベース

2. 書誌データベースサービス

3. 書誌データベースの作成手順

4. データ項目 演習:データ項目

5. 主題と索引法 演習:索引作成

6. 索引法 演習:索引作成

7. シソーラス

8. シソーラス作成

9. 演習:シソーラス作成

### 【授業計画】

集中講義。前半は講義を主体としますが、後半のデータ項目の選定、索引作成、シソーラスの作成については、授業内で簡単な演習を行っていただきます。履修者数が実習室に収容可能であれば、Microsoft Accessを使ったデータベース作成を行います。

### 【評価方法】

出席は取りません。しかし出席を取るかわりに6回にわたって演習の結果の提出を求めます。また、最後に試験を行います。提出物は、A、B、C、Dの4段階で評価を行い、これに試験の成績を加味して、総合評価を行います。提出物がない場合、試験を受けない場合は評価の対象とはしません。

### 【テキスト】

プリントを配布します。

## 情報メディア論Ⅲ (医学情報メディア)

野添篤毅

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

科学分野での効果的な情報サービスを行うための基礎として自然科学分野の学術情報の発生から加工・利用までの一連の過程について学ぶ。とくに生物医学分野の学術情報の流れを中心に論じる。

1. 自然科学分野の研究の広がり
2. 科学研究活動の指標
3. 研究活動と情報活動
4. 情報の発生・加工・利用のサイクル
5. 一次情報－学術雑誌
6. 二次情報－抄録誌・索引誌・データベース
7. 主要な情報機関の活動－米国立医学図書館
8. 文献データベースMEDLINE－入力から出力まで
9. わが国の学術情報サービスの動向
10. 学術情報サービスの最近のトピックス

### 【評価方法】

レポート（2回程度）および小テスト。

### 【テキスト】

医学文献サーチガイド 第2版 (山崎茂明 日本医書出版協会 2,575円)

## 情報メディア論Ⅳ (人文社会情報メディア)

菅野育子

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人文・社会科学分野における情報メディアの特徴から、学問分野における学術情報の生産と利用について検討することを目的とする。

### 【授業計画】

- 1 学問分野と情報メディア
- 2 自然科学分野と人文・社会科学分野
- 3 人文・社会情報メディア
3. 1 美術分野
3. 2 音楽分野
3. 3 文学
3. 4 ビジネス分野
3. 5 法律分野
3. 6 心理学
3. 7 図書館情報学
- 4 情報メディアからみた情報の生産と利用

### 【評価方法】

レポートと出席度によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。



## 情報メディア論V (科学技術情報メディア)

山崎茂明

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

自然科学領域における二次情報源としての文献データベースと一次情報源である学術雑誌を中心に解説します。文献データベースの理解は、情報サービス専門家に欠かせない知識です。また、学術雑誌を理解するポイントは、図書館資料としての狭い枠組みでなく、研究活動と科学コミュニケーションのなかで、その役割や問題を知ることにあります。

1. 文献情報の世界
2. 文献調査
3. 医学情報へのアプローチ
4. 文献データベースの世界
5. 癌領域のデータベース
6. 引用索引データベース
7. 学術雑誌の歴史と生態
8. 総合科学雑誌とはなにか
9. レビュー誌とレター誌の重要性
10. 電子ジャーナルと電子出版
11. 電子情報環境と電子メディア（データベース、一次雑誌）

参考資料：

Lambert, J. 『電子時代の学術雑誌』日本図書館協会  
Thompson, J.W. 『出版産業の起源と発達』出版同人  
中山茂 『歴史としての学問』中央公論社  
山崎茂明 『生命科学論文投稿ガイド』中外医学社

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート（授業時間内）。

### 【テキスト】

山崎茂明 『医学文献サーチガイド』第2版、日本医書出版協会

## 情報検索演習 I

逸村 裕

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。また、索引語の付与と抄録の作成による書誌レコード作成過程も習得する。さらに、検索効率やユーザー・インタフェースの検討とともに、各自の情報ニーズに基づくテーマ検索の結果も検討し、システムの評価方法を学ぶ。

1. 情報検索とは  
蓄積と検索/索引作業/検索効率/探索コマンドの標準化
2. オンライン情報検索システムとCD-ROM  
各種データベースの特徴/検索方法（メニューとコマンド）
3. DIALOGの検索（その1）  
通信方法/デモンストレーション（DIALOG）/論理演算子/基本的な検索コマンド
4. DIALOGの検索（その2）  
トランケーション/近接演算子/ストップワード/二次検索/フィールド指定子
5. DIALOGの検索（その3）検索語の列挙/著者名検索
6. JOISの検索
7. 索引・抄録作成作業  
索引語の付与とシソーラス/抄録作成の基準（SIST-01）
8. システム評価（DIALOGとJOISの比較）
9. テーマ検索（DIALOGとJOISの活用）
10. 各種システムとDBのデモンストレーション  
STN-International/PATOLIS/日経ニューステレコン/MEDLINE/各種CD-ROM

### 【授業計画】

8号棟情報検索室で実習を中心に進める。実習助手も指導に加わり、受講生の理解度を確認しながら進める。

### 【評価方法】

サブテーマごとに小テストを行う。また各自のテーマ検索での結果をまとめたレポートも評価の対象とする。

### 【テキスト】

なし（プリント配布）。

## 情報検索演習Ⅱ

菅野育子

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報検索システムの効果的な活用に必要な知識と技術を習得する。各種システムやDBの検索方法を学び、システムごとの特徴や問題点を検討する。その際、書誌情報の蓄積過程（書誌記述、索引語）での問題点と、検索過程（検索方式、コマンド、検索効率）での問題点を総合的に検討した上で、システムの評価方法を習得する。

#### 1. 情報検索システムの構築と利用

情報の蓄積と検索／情報システムの種類／DBの種類

#### 2. DBの機能と特徴

##### 2-1 DIALOG／DIALINDEX

クロスファイルの機能／OneSearch

##### 2-2 DIALOG／MEDILINE（医学）

MeSH／オンライン・シソーラス

##### 2-3 STN-International／CA（化学）

抄録誌との比較／化学物質からの検索

##### 2-4 PATOLIS（特許）

LEGAL STATUS／特許引用

##### 2-5 日経ニューステレコン（経済／新聞記事）

全文DB／自然語検索

##### 2-6 DIALOG／SOCIAL SCISEARCH（社会科学／引用索引）

引用関係による検索／ビブリオメトリックスでの利用

##### 2-7 DIALOG／LC MARC

図書検索／OPACとの比較

#### 3. 情報検索システムの比較

DIALOG／STN-International／JOIS／PATOLIS

#### 4. 情報検索システムの問題点

レコードの質／コマンド体系／検索効率

### 【授業計画】

8号棟情報検索室で実習を中心に進める。受講生の理解度を確認しながら進める。最後に「情報検索システムの評価」に関するレポートをまとめる。

### 【評価方法】

出席回数と、小テスト、最終レポートを評価の対象とする。

### 【テキスト】

使用せず。

## 情報検索演習A

逸村 裕

1年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

各種資料と情報ネットワークの現状を講義と演習で学び、情報リテラシーを修得する。ネットワークの意義と問題点を理解する。

### 【授業計画】

- (1) WWW、図書館、レファレンスブックを体験する。
- (2) 図書、および図書に関する書誌ないし目録データベースを演習形式で学ぶ。
- (3) コンピュータ検索とマニュアル検索の初歩を学ぶ。
- (4) 検索した情報のうち、文献情報を書誌データベース化する。

受講の前提として「インターネット講習会」と「図書館オリエンテーション」の受講が必須である。

### 【評価方法】

出席、レポート、試験の総合評価。

### 【テキスト】

なし（プリント配布）。



## 情報検索演習B

逸村 裕

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。また、索引語の付与と抄録の作成による書誌レコード作成過程も習得する。さらに、検索効率やユーザー・インタフェースの検討とともに、各自の情報ニーズに基づくテーマ検索の結果も検討し、システムの評価方法を学ぶ。

#### 1. 情報検索とは

蓄積と検索/索引作業/検索効率/探索コマンドの標準化

#### 2. オンライン情報検索システムとCD-ROM

各種データベースの特徴/検索方法(メニューとコマンド)

#### 3. DIALOGの検索(その1)

通信方法/デモンストレーション(DIALOG)/論理演算子/基本的な検索コマンド

#### 4. DIALOGの検索(その2)

トランケーション/近接演算子/ストップワード/二次検索/フィールド指定子

#### 5. DIALOGの検索(その3) 検索語の列挙/著者名検索

#### 6. JOISの検索

#### 7. 索引・抄録作成作業

索引語の付与とシソーラス/抄録作成の基準(SIST-01)

#### 8. システム評価(DIALOGとJOISの比較)

#### 9. テーマ検索(DIALOGとJOISの活用)

#### 10. 各種システムとDBのデモンストレーション

STN-International/PATOLIS/日経ニューステレコン/MEDLINE/各種CD-ROM

### 【授業計画】

8号棟情報検査室で実習を中心に進める。実習助手も指導に加わり、受講生の理解度を確認しながら進める。

### 【評価方法】

サブテーマごとに小テストを行う。また各自のテーマ検索での結果をまとめたレポートも評価の対象とする。

### 【テキスト】

なし(プリント配布)。

## 情報分析論

菅野育子

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情報の生産と利用のプロセスにおいて、有効で迅速な情報流通を可能にするためには、情報の分析が重要な鍵となる。情報の効果的な分析は、情報の利用者の要求、情報提供者の目的が一致するところにあると考える。このような立場から現在行われている情報分析の各種方法を検討する。

### 【授業計画】

#### 1 書誌コントロールの意義

#### 2 書誌コントロールの標準化

#### 3 書誌記述法

##### 3. 1 MARC

##### 3. 2 CORC

#### 4 主題分析

##### 4. 1 分類法

##### 4. 2 索引法

##### 4. 3 シソーラスの活用

##### 4. 4 4W法

#### 5 抄録法

#### 6 書誌コントロールと情報メディア

### 【評価方法】

定期試験と出席度で評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 情報利用論 I a・b (情報探索行動論)

岡澤和世

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

教育を受けたいという強い希望、誰もが自由に情報を利用できるアクセス機会の平等を求める運動、民主主義の伝統、そして誰にも頼らない自主探索意欲が巧妙に入り混じってできたのが図書館である。そしてその理想は常に利用者の要求を満足させるところに置かれてきた。しかし、20世紀になると様々なテクノロジーが開発され、従来の図書館が大きく様変わりし始め、それに伴って情報を探す利用者の行動も変わり始めた。この講義では、情報の要求と利用について論じる。ニューメディア、インターネット、情報環境などについても概説する。

### 【授業計画】

<前期>

オリエンテーション

1. 情報の伝達と利用
  - 1) 情報の定義
  - 2) 情報の特質
2. 科学のコミュニケーション
3. 研究活動とインフォーマル・コミュニケーション
  - 1) インフォーマルコミュニケーションの研究
  - 2) 見えざる大学
4. 見えざる大学の調査研究について

<後期>

オリエンテーション

1. 情報利用者調査
  - 1) 用語の説明
  - 2) User Studyの概説
2. User Studyの方法論
  - 1) 方法の種類
  - 2) 比較・検討
3. User Studyの調査例
  - 1) 行政

### 【評価方法】

小テストで評価。

### 【テキスト】

情報学講義ノート<1><2> (岡澤和世 敬文堂)

インフォ・リッチ：インフォ・ブア (Travor Haywood

岡澤和世訳 敬文堂)

## 情報学特殊 II (情報史の探究)

村主朋英

3・4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人類の歴史全体の中で情報が果たしてきた役割を考えるために、図書館史や情報検索の歴史を拡張・発展させ、コンピュータ史とコミュニケーション史を統合した情報史の概念を追究する。

### 【授業計画】

0. オリエンテーション：情報の概念／コミュニケーションの概念／歴史の概念

1. 情報史の構造
  1. 1 Stevensの情報史の概念
  1. 2 情報史のモデル：情報空間の概念
2. コミュニケーション史：洞窟絵画から／イニス／マクルーハン／コミュニケーション史の動向
3. 情報史探求へのステップ
  3. 1 歴史家による情報研究の成果
  3. 2 情報史の構成要素：情報史における既存の著作／情報史の多面性
  3. 3 図書館情報学の歴史と図書館情報学から見た歴史：上田修一の方法／桂英史の考え方
4. 総合的な情報史の素描

### 【評価方法】

試験（論述問題のみ）。

### 【テキスト】

『歴史のなかのコミュニケーション』新曜社 約3,900円



## 情報学特殊Ⅳ（情報伝達論）

五島幸一

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

コミュニケーションと称される学問領域を概観し、その基本的な概念を学ぶ。本講義で考察するコミュニケーションとは、人間が行なうコミュニケーション活動に限定し、様々な形態のコミュニケーションを見ていくことによって、その特質について検討する。

個人内コミュニケーション、対人コミュニケーション、グループ・コミュニケーション、異文化コミュニケーション、マスコミュニケーション、レトリックなど、いわゆるコミュニケーション研究として包括される領域について考察する。具体的な研究例とともに、その理論を検討し、コミュニケーションの特質を学ぶ。

### 【授業計画】

テキストを中心に、随時プリント教材も配付する。

### 【評価方法】

授業への参加度、および学期末テストにて評価する。

### 【テキスト】

異文化コミュニケーション（古田暁監修 石井敏・岡部朗一・久米昭元著 有斐閣）

## レファレンスサービス論

長澤雅男

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

図書館における情報サービスという広い視点から問題を解説するが、とりわけレファレンスサービスを重点的に取り上げ、レファレンスコレクションの構築、レファレンス質問からその回答にいたる一連のレファレンスプロセスのあり方について理解を深めることを主な目的とする。この科目は、後期の「レファレンスマディア論」と相互に補完するものとして扱う。

1. 情報ニーズに応える情報サービス
2. レファレンスサービスから情報サービスへ
3. レファレンス機能に基づくレファレンス業務
4. レファレンスサービスのための情報源
5. レファレンスプロセス
6. 質問の受付から内容の確認へ
7. 質問内容の分析から探索の実行へ
8. 質問回答とレファレンスプロセスの終結
9. レファレンスサービスの組織と運営

### 【授業計画】

講義を中心に進める。

### 【評価方法】

期末試験（多肢択一式問題）を予定しているが、出題形式については、試験日の1、2週間前に改めて説明する。

### 【テキスト】

レファレンスサービス—図書館における情報サービス（長澤雅男 丸善 2,369円）

## レファレンスマディア論

長澤雅男

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

レファレンス質問の処理に役立つ情報源の種類とその特性を理解し、情報と文献の探索技術を習得できるようにするため、各種の参考図書、データベース等、探索ツールとしての印刷メディアと電子メディアの特性を解説したうえで、質問事例を用いて情報および文献の探索方法について演習を行う。

1. レファレンスサービスにおける情報源/問題解決と情報源/記録メディア/参考図書とデータベース
2. 参考図書・データベース関係の情報源/参考図書の解題書誌/書誌の書誌/データベースディレクトリ
3. 図書・叢書関係の情報源/書誌/目録(所蔵目録、総合目録)/叢書合集索引
4. 逐次刊行物関係の情報源/逐次刊行物リスト/新聞雑誌記事索引/抄録誌
5. 人物・団体関係の情報源/人名事典/名鑑/人物文献索引
6. 歴史関係の情報源/歴史事典/年表/年鑑類
7. 地理関係の情報源/地名事典/地図帳/地名索引
8. 事物・事象関係の情報源/事典/便覧類/図鑑類
9. 言語・文字関係の情報源/国語辞書/特殊辞書・諺語辞書/用語索引・詩歌索引

### 【授業計画】

講義と演習(主として時間外に問題回答演習を行い、レポートを提出)。

### 【評価方法】

レポート、期末試験(出題形式は試験日の1、2週間前に説明する)。

### 【テキスト】

情報と文献の探索 第3版(長澤雅男 丸善 3,296円)

## 資料組織論

山本 進

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

図書館利用者が、どんな手がかりから図書館資料を求めても、図書館は速やかに的確に提供する義務がある。そのためには、個々の図書資料を一定のシステムに基づいて組織化(分類・目録・装備・配架および各種の目録を編成する。これら一連の組織過程を論述する。

図書資料の分類と資料の配架、及び目録の編成。

### 【授業計画】

0. オリエンテーション・図書資料組織化の過程1回
  1. 書架上の図書配列法・書架分類と書誌分類1回
  2. 分類と図書の分類2回
  3. 図書分類の特異性・図書分類表・分類記号1回
  4. 日本十進分類法(NDC)と主題の把握・分類規定等
  5. 分類作業1回
- 以上分類と資料配架
6. 目録法総論1回
  7. 目録の種類と目録の編成1回
  8. 図書館目録の変遷と現在に至った経過1回
  9. 著者名、タイトルからアプローチ1回
  10. 集中・共同目録作業とオンライン目録2回

### 【評価方法】

期末テスト実施、記述式及び穴埋め問題4～5問。

### 【テキスト】

資料組織法 第Ⅲ版(木原通夫他 第一法規)



## 資料組織演習

山本 進

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

個々の図書の内容を把握し、それに最も適切な分類記号を与える分類作業及び検索に必要な目録作業について実例演習を行う。

分類課題 分類演習プリント10枚程度

目録課題 カード目録の作成演習と課題レポート3～4  
回出題

### 【授業計画】

0. オリエンテーション、分類法総論・目録法総論 1回
1. 分類と目録との関係
  - 1.1 NDCとNCR 2回
2. 分類演習（課題20題の事例演習）2回
  - 2.1 分類規程・特殊分類規程 1回
3. 目録作成の意義と書誌情報標準化の経過 1回
  - 3.1 西洋における目録と目録規則
  - 3.2 日本における目録と目録規制 1回
  - 3.3 目録規制による（カード目録作成演習）2回
4. 目録作業における集中・共同目録作業の意義 1回
  - 4.1 「書誌ユーティリティー」利用の分担目録作業 1回
5. 目録に関する課題レポート

### 【評価方法】

期末テストは実施せず、3回の分類演習と、3回の目録に関する課題レポートにより評価する。

### 【テキスト】

資料組織論 前期使用の『資料組織法 第三版』を使用。

## 資料組織演習

岡澤和世

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人間が他の動物と決定的に異なる点は、人間が時間と空間を越えて、情報を蓄積して、必要な時に再現する能力を持っていることである。それを体内（脳）だけでなく、体外の貯蔵庫（図書館）に蓄えることを学んだことである。もう一つ特筆すべき人間の知恵は、その体外貯蔵庫の中身を簡単に再現できるように整理したことである。人間のインテリジェンスの始まりであり、専門職としてのライブラリアンの誕生である。本講義では演習問題を中心に、分類と目録の目的・機能を明らかにし、現在使われている分類・目録の問題点を通して図書の実態に即した分類法を与える。

### 【授業計画】

オリエンテーション 図書館における図書の分類  
前期の講義についての復習テスト

1. 分類とは何か（2回）
  1. 1 基本用語の整理
  1. 2 分類と図書の歴史
2. 図書分類とその基本的条件（2回）
  2. 1 分類表の種類とその特性
  2. 2 基本的条件
3. 特殊分類法（3回）
  3. 1 十進分類法
  3. 2 ファセット分類法
  3. 3 その他
4. 目録とは何か（2回）
  4. 1 目録の機能
  4. 2 目録作業
5. 現代図書館と情報サービス（2回）
  5. 1 自動目録
  5. 2 図書の検索法

オリエンテーション後に基本的な知識を確認するテストを各授業毎に実施し、NDC、UDCその他の分類法を使っての出題を出し翌週回収し、問題点を解明する。目録作業を最初の授業時から指示し毎週各自の興味のある図書の目録（10枚）を作成し、最終的に100枚の目録カードを提出する。

### 【評価方法】

試験は行わない。各週毎の宿題及び作成した目録カード、小テスト、レポートで評価する。

### 【テキスト】

プリント。

### 【参考書籍】

情報学講義ノート〈1〉（岡澤和世著 敬文堂）1987。  
情報学講義ノート〈2〉（岡澤和世著 敬文堂）1989。  
情報検索理論の基礎（中村幸雄著 共立出版株式会社）1998。  
目録と分類（L.M.チャン上田修一他訳 勁草書房）1987。  
図書館のサービスの再構築（M.K.バックランド 高山正也他訳 勁草書房 1994。

## 資料組織演習

渡辺智山

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

必要な情報へ安易にアクセスできるためには、常に「組織化」とはどうあるべきかを考える必要がある。本演習では、図書館における分類・目録作業をとおり、実際の資料組織の技法を理解してもらう。『日本目録規則』『日本十進分類法』などを利用し、組織化の演習を行なうが、組織化という行為自体、コンピュータとも深く関連（情報検索、データベース等）することから、「資料の組織化とコンピュータ処理のあり方」をも考察することにする。

### 【授業計画】

1. オリエンテーション
  2. 目録規則と分類法
  3. 『日本十進分類法』新訂9版を用いた図書分類の実習
  4. 『日本目録規則』1987年改訂版を用いた目録作成の実習
  5. 『基本件名標目表』第3版と『国立国会図書館件名標目表』第5版を用いた件名標目作成の実習
  6. 資料と主題分析（シソーラス）
  7. 書誌コントロールと書誌ユーティリティ（NACSIS-CAT、NACSIS-WEBCAT、OCLCなど）
  8. その他の『分類法』『標目表』を用いた実習
  9. 簡易データベースと目録データ（実習）
- 分類法・目録法など、資料組織に関する復習を踏まえた上で（講義）、実際に分類・目録の演習をしてもらう（実習）。

### 【評価方法】

平常点（出席・レポート・臨時試験等）で「総合評価」する。

### 【テキスト】

使用せず。適宜、資料を配布する。

### 【参考書籍】

適宜、提示する。

## 図書館経営論

山本 進

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

図書館の技術的な面－分類・目録等－資料組織とは別に、図書館運営上の諸問題－司書の専門職制の問題・図書館と地域サービスと図書館網計画、図書館経営評価と見直し等を図書館経営論として論述する。

0. オリエンテーション・図書館経営論の意義1回
1. 図書館種別の経営上の問題点と管理原則1回
2. 図書館学の五法則と図書館員のかかわり1回
3. 図書館の自由に関する宣言2回
4. 図書館員の倫理綱領2回
5. 図書館員と労働基準法解説1回
6. 図書館法規と基準の解説1回
7. 図書館サービスの測定と評価（実例課題によるレポート提出）1回
8. 図書館計画の立案と実例解説2回
9. 生涯学習と図書館及び利用者教育2回

講義の中から関心のある事項について2～3回レポート提出。

### 【授業計画】

### 【評価方法】

期末テスト実施 記述式 2～3問。  
及び提出レポートの査読と記述式試験の採点と併せて総合評価する。

### 【テキスト】

使用せず。



## 図書館学特殊Ⅰ

山本 進 山崎茂明 逸村 裕 菅野育子

オムニバス 3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「図書館実習」を受講するための前提科目とする。  
各教員が2～3時間を担当する。  
実務的な内容を主とする。  
公共図書館、大学図書館等での実習を通じて知識と技能の修得を図る。

### 【授業計画】

### 【評価方法】

### 【テキスト】

## 図書館実習

山本 進 山崎茂明 逸村 裕 菅野育子

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「図書館実習」を受講するための前提科目とする。  
各教員が2～3時間を担当する。  
実務的な内容を主とする。  
公共図書館、大学図書館等での実習を通じて知識と技能の修得を図る。

### 【授業計画】

### 【評価方法】

### 【テキスト】

## 図書館学特殊Ⅲ (児童サービス論)

岩崎れい

集中 4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

1. 児童サービスの理念及び基本的な事項をしっかりと把握する。
2. 児童サービスに深く関連する子どもの心理、子どもの読書、子ども観の移り変わり、児童書などについても併せて学ぶ。
3. ブックトークやストーリーテリングなど児童サービスにおける重要なサービスを学ぶ。

### 【授業計画】

1. 児童サービス概論
2. 児童サービスにおける業務と技術
3. 児童資料論
4. 児童書選択
5. 子どもと読書

### 【評価方法】

平常点及び筆記試験。

### 【テキスト】

『児童図書館サービス論』(赤星隆子・荒井督子編著 理想社・新図書館情報学シリーズ12)

### 【参考書籍】

- ライオネル・R・マッコールペン著『児童のための図書館奉仕』日本図書館協会 1973
- ハリエット・G・ロング著『児童図書館への道』日本図書館協会 1966
- ポール・アザール著『本・子ども・大人』紀伊國屋書店 1957
- リリアン・H・スミス著『児童文学論』岩波書店 1964
- 全国SLAブックトーク委員会編『物故トークー理論と実践』全国学校図書館協議会 1990
- 日本図書館協会図書館の自由に関する調査委員会編『子どもの権利と読む自由ー図書館と自由第13集』日本図書館協会 1994
- 児童図書館研究会編『年報こどもの図書館1992-1997 1998年版』日本図書館協会 1998
- ※上記以外は授業中に紹介

## 生涯学習概論

古野有隣

集中 3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生涯学習という言葉は最近かなり知名度が高くなってきているが、その意味や意義については必ずしも正確に理解されているとはかぎらない。

この講義では生涯学習の意味するところを、その理念の提唱時からの推移の説明をまじえて、理解を深めることをねらいとしたい。また、先の長い人生を持っている自分にとって生涯学習とは何なのかを考える契機となればとも思っている。

1. 生涯教育の理念～推移を含めて～  
ユネスコ以降わが国における推移  
生涯教育のめざすもの  
生涯教育と生涯学習の関係
2. 生涯教育と社会教育・学校教育との関係  
生涯教育と社会教育  
生涯教育と学校教育
3. 社会教育の内容・方法・形態  
行政社会教育の主要領域  
社会教育の内容・方法・形態
4. 生涯学習関連施設の現状と展望  
生涯学習関連施設の範囲  
社会教育施設の種類と現状
5. 生涯学習指導者  
生涯学習指導者の範囲  
生涯学習指導者の役割

### 【授業計画】

講義。

### 【評価方法】

テスト。

### 【テキスト】

資料集(予備500～700円)を開始時に頒布。



## 個人コミュニケーション論Ⅰa・b(認知心理学)

吉崎一人

2年後期 3年前期 選択 2単位

### 【授業の概要】 a

外界の情報を人間がどのように処理しているのかを解説する。具体的には、人間の記憶の仕組み、注意と意識のしくみ、日常生活での記憶、推論過程等である。

### 【授業計画】 a

1. 記憶のボックスモデル①(短期記憶と長期記憶)
2. 記憶のボックスモデル②(リハーサル)
3. 処理水準と情報の精緻化
4. 符号化と検索の関係
5. 知識と表象①(意味記憶の構造と語の処理)
6. 知識と表象②(スキーマとスクリプト)
7. 潜在記憶と顕在記憶
8. 注意と自動制御
9. 日常生活の認知①
10. 日常生活の認知②
11. 日常生活の認知③

### 【授業の概要】 b

人間の認知活動と脳機能の関連性について解説する。ヒトを情報処理的な観点でとらえる立場をとる。その視点から、脳の部位と機能との対応関係を論じる。

### 【授業計画】 b

認知を支える生理学的基礎

1. 神経心理学の研究法
2. ラテラルリティ
3. 物体認知と脳
4. 記憶機能と脳
5. 言語機能と脳
6. 注意機能と脳
7. 情動と脳
8. 脳機能の発達と可塑性

### 【評価方法】

期末テスト、中間テスト(またはレポート)さらには実験への参加(被験者)回数によって行われる。

### 【テキスト】

使用せず。授業ごとにプリント(A4)を配布する。

## 博物館概論

長谷川銕治

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

博物館とは何かからはじめて、その発達の歴史をたどり、日本と世界の博物館を概観する。

- ア はじめに…学芸員の資格、博物館学とは何かなど学習の基礎となる事項を説明する。
- イ 博物館の定義…ICOMの定義、博物館法の定義を中心に「博物館」とは何かを考えていく。
- ウ 博物館の始原…博物館の歴史を概観するにあたって、その始原をたずねてみる。
- エ 博物館の萌芽…ルネサンス期からの人々の文芸に対する態度の探求と博物館的な施設の形式を探る。
- オ 近代博物館の発端Ⅰ…王権の誇示の手段としての財宝の展示などから博物館を考える。
- カ 近代博物館の発端Ⅱ…市民革命などの動きにあわせて市民への公開がなされていく過程を考える。
- キ ヨーロッパの博物館…近世から現代までの主要な博物館を例にとり、その特徴をまとめる。
- ク アメリカの博物館…独立から現代までをヨーロッパの博物館と対比しつつ、その特徴を探る。
- ケ 博物館の新しい波…企業博物館、エコ・ミュージアム、テーマ・パークなど、今後の博物館の形態をみずえて、新しい動きをひろってみる。
- コ 日本の博物館…日本の博物館の歴史を概観する。  
・大陸文化の請来から床の間の普及まで  
・幕末から明治期にかけての博物館の発端  
・国威の宣揚と博物館  
・通俗教育による教化と博物館  
・十五年戦争と博物館  
・戦後の再出発

### 【授業計画】

授業概要の展開順にそって講義する。

### 【評価方法】

- ・小テストと数回にわたるレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

改訂博物館学論考(長谷川銕治 戸谷印刷 2,000円)

## 博物館概論

早川正一

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「博物館概論」とは、愛知淑徳大学が文部省の認可のもとに、学芸員と呼ぶ博物館や美術館に不可欠な専門職員になるための基礎知識をカリキュラムを通じて取得させる基幹の学科目である。したがって、この養成課程の当初に受講させるので真剣に取り組まないと脱落しかねない。十分な心構えが肝要である。

次のような単元のもとに講義を展開してゆく予定である。

### 【授業計画】

博物館や美術館の基本概念と必要性

専門職員としての「学芸員」とは何か

博物館と美術館の発達とその時代背景

博物館と呼ぶ施設の機能と多様性

博物館の分類と現代性

博物館の日常的な組織と運営の局面への学芸員のかかわり方、そして館外活動への配慮

博物館の相互協力と情報の活用

毎時間、入念にノートをさせる。

無用な欠席は不合格につながるので、注意されたい。

長谷川鏑治『博物館学論考』（1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

学期末の筆記試験をはじめ、毎時間の出席状況、受講態度などで総合評価する。

### 【テキスト】

未定。

## 博物館学各論Ⅰ

長谷川鏑治

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

博物館について、その機能、役割、組織、運営、学芸員、施設・設備、情報化、協力などにふれ、学芸員資格にかかわる基本的事項を学習する。

ア 博物館の機能…生涯学習のための施設の一つと定義づけられていることを念頭におき、その機能について考える。

イ 博物館の分類…種類別、設置者別、制度別などの分類わけをとおして、博物館の役割やあり方を考えていく。

ウ 博物館の組織…公立博物館を例にとり、典型的な組織の状態をみていく。

エ 博物館の運営…名古屋市博物館を例にとり、運営の実際を知る。

オ 学芸員考…現在、学芸員のおかれている地位、実態などに焦点をあて、「学芸員」はいかにあるべきかを考える。外国のCURATORとも比較してみる。

カ 予算など…博物館のマネジメントについて、予算を中心に考える。

キ 博物館の施設・設備…人文系博物館・動物園・植物園・水族館などについて、その設置規準のもとに施設・設備についてみる。

ク 博物館と情報…情報化社会の発展、情報技術の進歩と博物館のあり方を探ってみる。

ケ 博物館の協力…博物館はもちろんのこと、大学・研究機関などとの連携について考える。

### 【授業計画】

授業概要の展開順によって講義する。

### 【評価方法】

- ・小テストと数回にわたるレポートの提出で評価する。
- ・出席率は重要な評価対象である。

### 【テキスト】

改訂博物館学論考（長谷川鏑治 戸谷印刷 2,000円）



## 博物館学各論Ⅰ

早川正一

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

愛知淑徳大学の学芸員課程委員会が計画したカリキュラムに準拠し、前段階の「博物館概論」を修得した学生に受講させる。したがって、この講義も基幹をなす科目であるから、年次計画を考慮し、真面目に受講しないと、資格取得につながらないので、注意が肝要である。

### 【授業計画】

次の単元を土台として講義を展開する予定である。

- 博物館や美術館の展示と陳列構造
- 博物館がとり扱う資料の収集と保存
- 博物館と所属する学芸員のおこなう調査と研究
- 博物館や美術館のおこなう普及活動と教育
- 文化財の種類と保護にかかわる諸問題
- 生涯学習の必要性和博物館の関連事業

毎時間、入念にノートさせる。

無用な欠席は不合格につながるの、注意してほしい。

博物館学論考（長谷川銹治 1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

本学の学長の名において資格を認定する以上、定期試験を厳格に実施し、出席状況や受講態度を含めて総合評価する。

### 【テキスト】

未定。

## 博物館学各論Ⅱ

長谷川銹治

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

博物館は「もの」による生涯学習の機関である。そこで、博物館資料とは何かの定義づけからはじめ、資料の取扱い方を含めて学習する。また、博物館の調査・研究についても考えるとともに、文化財の保護についても考察してみる。

- ア 博物館の資料…「物」が博物館資料と位置づけられるのはどのようなことかを考え、1次資料、2次資料の具体的な内容を知る。
- イ 博物館資料の実際…資料について実技を含めて具体的に学ぶ。
  - 1 資料の収集
  - 2 資料の取扱い
    - ・掛軸
    - ・古文書
    - ・和装本
    - ・茶碗
    - ・瓦など
  - 3 資料の整理・保存
  - 4 資料の保全
- ウ 資料情報の管理…資料情報の管理についてその実際と今後の方向を探る。
- エ 調査・研究…博物館における調査と研究、成果の公表などについて考えていく。
- オ 文化財の保護…わが国の文化財保護の現状、実態、問題点などについて考察する。  
あわせて世界遺産についても考えてみる。

### 【授業計画】

授業概要の展開順にそって講義し、実技も行う。

### 【評価方法】

- ・小テストと数回にわたるレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

改訂博物館学論考（長谷川銹治 戸谷印刷 2,000円）

## 博物館学各論Ⅱ

秋元悦子

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

博物館の活動の基礎は「資料」にあり、それを有効活用することではじめて博物館と言えよう。本講座では、その収集・取り扱い・整理・保存・活用について具体的事例や実習を取り入れながら学んでいく。

### 【授業計画】

- ①博物館資料とは……「博物館資料」とは、何を指すか、理念およびその具体的種類を知る。
  - ②資料収集……資料の収集に際しての、収集方針の重要性、収集方法の事例を学ぶ。
  - ③資料の取り扱い……基本資料の取り扱いを実習し、習得するとともに、その構造を知り展示方法等も学ぶ。やきもの、和装・巻子本、掛け軸その他で実習する。
  - ④資料整理……資料の整理について、分類方法やその整理登録方法を考え、資料カードの作成を実習する。
  - ⑤資料情報……整理された資料の情報、二次的資料の情報の管理運営について考える。
  - ⑥資料保管……資料の保管に関しての、保存条件や方法、問題点などを学ぶ。
  - ⑦資料活用……資料を活用した調査研究活動の実際とその意義を知る。
- また、4年次の「博物館実習」に備えた情報や、準備について説明する。

### 【評価方法】

実習態度、小テストおよび数回のレポートで評価する。

### 【テキスト】

改訂『博物館学論考』長谷川銊治 戸谷印刷 2,000円。  
必要に応じてプリントを配布し、スライド等も利用する。

## 博物館学各論Ⅱ

川合剛

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

博物館は「もの（物）」「ひと（人）」「ば（場）」という三つの要素で構成されるといわれている。この授業では、そのうちの「もの」＝博物館資料について、博物館活動のなかでの役割を考える。

博物館資料の定義、収集、整理・分類、保管・保存、調査・研究、実際の取り扱いなどについて、基礎的な知識と技術を学ぶ。

### 【授業計画】

「もの」に触れる実技の時間をできるだけ多くしたい。そして、ビデオ・スライドなど視聴覚教材を用い、「もの」についての具体的なイメージを得ることができるようにする。

- (1) 博物館と資料（博物館の機能と目的、博物館資料とはなにか、資料収集の方法など）
- (2) 「もの」はどのように取扱うのか（資料を取扱う知識と技術、和本・軸物・陶磁器など）
- (3) 「もの」はどのような手続きを経て、博物館資料となるのか（資料を記録する技術、ドキュメンテーションなど）
- (4) 「もの」を守るには（資料の保管と保存、防虫・防黴対策、地震や火災などの災害対策など）
- (5) 「もの」をどのように利用するのか（資料の活用方法など）
- (6) 調査・研究と博物館
- (7) 文化財の保護と博物館

### 【評価方法】

実技をおこなうので出席状況を重視する。あわせて、レポートの提出、（時間内の）小テストの結果などにより評価をする。

### 【テキスト】

『改訂博物館学論考』（長谷川銊治 戸谷印刷）。  
プリントを配付する。

### 【参考書籍】

『市民のなかの博物館』（伊藤寿朗 吉川弘文館）ほか、随時、紹介する。



## 博物館実習

長谷川鏑治

4年 通年 選択 3単位

### 【授業の概要】

学芸員の基本的な役割について、人文系博物館に例をとり、展示演習、博物館見学などを通して、実践的に学習する。

ア 展示論……展示とは何かからはじめて、展示についての学問的側面、実際の運びなどをみていく。

- 1 展示とは
- 2 展示のポイント  
・動線 ・視線  
・照明  
・温度 ・湿度
- 3 展示の施設
- 4 展示のプロセス
- 5 展示と保全

イ 普及・教育論……生涯学習が重要課題となっている現代社会にあって、博物館が果たす役割はどんなものかを探っていく。

ウ 博物館見学……土・日曜日に展覧会、施設見学に出かける。

エ 館務実習……夏休み中に各博物館に依頼して館務実習を行う。

オ 海外特別実習……夏休み中に希望者と海外の博物館の見学に出かけ現地で学習する。

カ 県外実習……エ、オに参加できない者は、9月に県外へ博物館の見学に出かける。

### 【授業計画】

授業概要の展開順にそって講義・実習・見学をすすめる。

### 【評価方法】

- ・実習はもちろん、学外での研修にかならず参加し、それぞれレポートを提出する。
- ・実習にあたってはすすんで学習する姿勢で臨む。
- ・その都度、提出されるレポートを中心に実習態度なども勘案して評価する。

### 【テキスト】

改訂博物館学論考（長谷川鏑治 戸谷印刷 2,000円）

## 博物館実習

秋元悦子

4年 通年 選択 3単位

### 【授業の概要】

学芸員資格を取得するにあたって、展示演習、博物館見学、博物館実習を中核に、具体的な学芸員活動を様々な観点から学習する。

### 【授業計画】

①展示とは……展示という手法について、その実際と未来像を考える。

②展示の実際……計画から、手法、条件などの展示の実際の概要を具体的な事例をふまえながら、学んでゆく。

③展示にかかわる事業……展示をとりまく、様々な事業（解説、広報、印刷物、講座など）の存在を知る。

④展示の実習……模擬展示の計画書を作成し、展示方法やその活用を実習する。

⑤展示と教育普及事業……展示を通じての生涯学習機関として、博物館の今後になう役割と未来を探る。

授業以外に、

- 土曜日に、博物館の展示・施設見学を行う。
- 夏休み中に、各博物館に依頼し館務実習を行う。

### 【評価方法】

授業および学外での研修の出席、レポートで評価する。

### 【テキスト】

改訂『博物館学論考』長谷川鏑治 戸谷印刷 2,000円。  
必要に応じてプリントを配布し、スライド等も利用する。

# 博物館実習

竹内弘明

4年 通年 選択 3単位

## 【授業の概要】

博物館・博物館資料と利用者を結ぶ教育普及事業の意味と、そこで学芸員が果たすべき役割について、実践的に学習する。また被災地における博物館の役割も考える。

## 【授業計画】

博物館における教育普及事業とはなにかを考えながら、主として展観事業について具体的・実践的に学習をすすめてゆく。

- (1) 教育普及論
  - ①生涯学習と博物館・学芸員
  - ②博物館における教育普及事業
- (2) 展示論
  - ①展覧会とはなにか
  - ②展覧会の企画
  - ③展示配置と動線・視線
  - ④照明と温湿度などの管理
  - ⑤展示室の位置・施設・設備
  - ⑥学芸員の役割と倫理
- (3) 災害と博物館
  - ①博物館資料及び被災文化財の保全
  - ②被災地における博物館の役割
- (4) 博物館見学  
土曜日に展覧会、施設見学に出かける。
- (5) 館務実習  
夏休み中に各博物館に依頼して館務実習を行なう。
- (6) 海外特別実習  
夏休み中に希望者と海外の博物館の見学に出かけ、現地で学習する。
- (7) 県外見学  
(5)(6)に参加しなかった者は、9月に県外へ博物館の見学に出かける。

## 【評価方法】

- ・見学及び実習に際してのレポートにより評価する。
- ・出席及び実習に臨む姿勢を重視する。

## 【テキスト】

- ・とくになし。
- ・『改訂博物館学論考』（長谷川銹治著）があれば持参

## 【参考書籍】

- ・とくになし。（その都度、紹介）

# 個人コミュニケーション論2a・b（脳とコミュニケーション）

杉本助男

2年 前・後期 選択 各2単位

## 【授業の概要】

前期：脳の生涯発達にともなう人間行動の変容や脳における情報の伝達・処理様式等について講義する。  
後期：中枢神経系及び自律神経系の電気活動にみられる刺激の受容、伝達、処理過程の分析方法について具体例をあげて講義する。

<前期>

- 4月：脳の発達過程と行動について
- 1. 胎児の脳の発達と母親の心身状態との関連
- 2. 新生児の学習
- 3. 脳の生理学的、解剖学的基礎
- 5月：脳の機能局在と行動について
- 4. 左右半球と行動、皮質機能局在と行動
- 5. 大脳扁緑系と情動行動
- 6月：脳波を指標とした行動研究について
- 6. 脳波による研究法
- 7. アルファ波を指標とした行動研究
- 8. 睡眠時の脳波と行動

- 7月：自律神経系と情動反応に関する研究について
- 9. ストレスや不安の自律神経系反応
- 10. ポリグラフによる研究法
- 11. まばたきによる行動研究

<後期>

- 10月、11月：脳誘発電位による脳の情報処理過程、並びに個人差に関する研究について
- 11. 脳誘発電位による研究法
- 12. 感覚遮断環境の人に及ぼす影響
- 13. 香りの心理効果
- 12月、1月：生体リズム、脳障害、老人性痴呆に関する神経心理学的研究について
- 14. サーカディアンリズムとウルトラディアンリズム
- 15. 左脳、右脳障害と行動
- 16. 脳の老化と行動

## 【授業計画】

毎回プリントを配布して解説する。

## 【評価方法】

学期末試験と講義途中でのレポートによって評価する。

## 【テキスト】

テキスト使用せず。



## 記号コミュニケーション論 1 a

別府 哲

集中 2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人間は、記号の一つとしての言葉、そして言葉につながるものとしてのさまざまなコミュニケーション能力を発達の中で獲得していく。しかし、さまざまな障害があるがゆえに、そのコミュニケーションがうまくとれない子ども達の存在が指摘されている。今回は、そういった障害を持つ子どもを取り上げ、その発達と障害について考えていきたい。

### 【授業計画】

- ア. 通常学級にいるちょっと気になる子どもたち
  - イ. ADHDの子どもたちの発達と障害
  - ウ. LD (学習障害) の子どもたちの発達と障害
  - エ. アスペルガー症候群の子どもたちの発達と障害
  - オ. 自閉症の子どもたちの発達と障害
- (註) いずれも順不同・また内容に変更がある場合もあります。

### 【評価方法】

授業後の感想(数回)と最後のレポートで評価します。

### 【テキスト】

使用せず。プリント教材を配布します。

### 【参考書籍】

授業中に随時提示します。

## 記号コミュニケーション論 1 b

別府悦子

集中 2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

自閉性障害や多動性障害などの発達障害があつて、コミュニケーションに困難を抱える子どもの発達をどう理解するかについて検討する。さらに、発達や障害の理解に基づいた保育や教育の方法について考えていく。

### 【授業計画】

1. 障害とは何か：障害児・者の発達保障の歴史と障害観の変遷
  2. 障害の理解：自閉症、知的障害、学習障害、注意欠陥／多動性障害など
  3. 障害児の発達診断と心理教育アセスメント
  4. 障害別の発達の特徴（コミュニケーションを中心に）と保育・教育の留意点
  5. 問題行動の理解とその対応：偏食、飛び出し行動、自傷行為など
  6. 障害児・保育の実際：コミュニケーションを図るための方法
  7. 障害児とのコミュニケーションを助ける補助的手段：サウンド・アンド・シンボルズなど
- これらの内容について、視聴覚教材等を用いながら、発達障害児とのコミュニケーションや教育・保育を自分ならどう行っていくかを、検討していきたい。

### 【評価方法】

毎回提出する感想文と最終日に行う試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に文献を紹介するが、下記の文献を参考図書としてあげる。

- 別冊発達22号「発達理解と発達援助」(前川喜平・三宅和夫編 ミネルヴァ書房)
- シリーズ障害を知る本(茂木俊彦監修 大月書店)
- 統合保育で子どもは育つか(茂木俊彦監修 大月書店)

下記の科目は、本年度開講しません。

## 情報検索演習C

菅野育子

## 情報利用論Ⅱ（問題解決と情報活用）

田村俊作

## 情報利用論Ⅲ（ビジネス情報の分析）

高山正也

## 情報学特殊Ⅰ a・b

## 図書館学特殊Ⅱ（図書館建築）

## 図書館学特殊Ⅳ（書誌学）

## 図書館学特殊Ⅴ（メディア・センター）



## 人間行動学概論 a・b

植村勝彦 宇野善康 遠藤雄久 齋藤和志 松尾貴司 森久美子  
江口昇勇 清水 遼 杉本助男 西出隆紀 古井 景 吉崎一人

集中・オムニバス 1年 前・後期 必修 各2単位

### 【授業の概要】

平成12年度のみ、2年生以上向けに集中授業として開講する。前期aでは、社会コミュニケーション、記号コミュニケーションの領域を、後期bでは、臨床コミュニケーション、個人コミュニケーションの領域を扱う。

### 【授業計画】

- a : 1. イントロダクション  
2. 植村：家族・地域・福祉（その1）  
3. 植村：家族・地域・福祉（その2）  
4. 齋藤：対人行動（その1）  
5. 齋藤：対人行動（その2）  
6. 遠藤：情報メディア史（その1）  
7. 遠藤：情報メディア史（その2）  
8. 宇野：イノベーション普及と文化（その1）  
9. 宇野：イノベーション普及と文化（その2）  
10. 森：集団行動（その1）  
11. 森：集団行動（その2）  
12. 松尾：ノンバーバル行動（その1）  
13. 松尾：ノンバーバル行動（その2）
- b : 1. イントロダクション  
2. 西出：心理療法の基礎理論（その1）  
3. 西出：心理療法の基礎理論（その2）  
4. 江口：分析心理学（その1）  
5. 江口：分析心理学（その2）  
6. 古井：精神医学（その1）  
7. 古井：精神医学（その2）  
8. 吉崎：認知心理学（その1）  
9. 吉崎：認知心理学（その2）  
10. 杉本：脳とコミュニケーション（その1）  
11. 杉本：脳とコミュニケーション（その2）  
12. 清水：精神生理学（その1）  
13. 清水：精神生理学（その2）

### 【評価方法】

レポートによる。

### 【テキスト】

各担当者による。

## コミュニケーション基礎実習2（統計）

齋藤和志

集中 1年 前期 必修 1単位

### 【授業の概要】

平成12年度のみ、2年生以上向けに集中授業として開講する。

コンピュータソフトの開発・発展によって、計算の負担は著しく軽減された。その反面、統計的知識の乏しさからくる誤った利用も増えているようである。本講は、基礎統計法で学んだ内容をふまえて、統計ソフトウェアパッケージの基本的な操作方法、および実際のデータ分析の基礎技術の習得を目標とした実習である。それぞれの内容についての講義と実習を行う。受講生はこの実習時間以外にも、練習をする必要がある。

### 【授業計画】

1. 統計ソフトによるデータ分析とデータの構造
2. データファイルの作成と編集
3. カテゴリ度数の算出と度数分布
4. データの変容
5. 基本統計量の計算
6. データファイルの操作
7. 中間課題
8. 統計的検定の基礎
9. 対応のある場合の母平均値の差の検定
10. 独立した2群の母平均値の差の検定
11. 相関係数の有意性検定
12. クロス表の作成と検定
13. 試験

### 【評価方法】

中間課題と定期試験の成績による。試験はコンピュータ操作の実習のみでなく、筆記試験も行う予定である。

### 【テキスト】

未定（おそらく使用しない。資料を配付する）。基礎統計法のテキストを併用する。

## コミュニケーション研究法実習1 (調査法)

水野 智 伊藤君男 野上康子

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

質問紙による調査の実習を行う。5～7人のグループに分かれ、①調査テーマの検討と調査項目の作成、②調査票の作成と印刷、③調査の実施、④データの入力、⑤集計・分析、⑥報告書の作成、までを行う。履修にあたってはパソコンソフト（一太郎、HALBAUなど）の操作能力や統計学（推定統計）の基礎的知識が要求される。

1. 調査テーマの検討
  - (1) グループ分けと調査テーマ案の提出。
  - (2) 調査テーマの決定（要旨提出）
  - (3) 調査目的の明確化／仮説の設定
2. 調査票の作成
  - (1) 調査項目の作成
  - (2) 調査票の原案作成（ワープロ原稿）
  - (3) 調査票の完成と印刷
  - (4) 調査実施
3. データの集計と分析
  - (1) 調査票のコーディングとデータ入力
  - (2) データの集計と分析①／HALBAUの計算結果の見方について
  - (3) データの集計と分析②／結果の整理
4. 調査レポートの作成
  - (1) 調査レポートの書き方について／「問題」部分の下書き
  - (2) 「方法」と「結果」部分の下書き
  - (3) 「考察」部分の下書き
  - (4) 調査レポートの完成 提出

### 【授業計画】

はじめ30分～1時間程度、その日の実習内容について説明（講義）を行い、その後はグループ単位で作業を行う。また進行状況によっては補講を行う場合がある。

### 【評価方法】

調査レポート（グループで1部提出）によって評価を行う。従って基本的には同一グループのメンバーは同一評価となるが、平常点（出席・遅刻等、グループ作業における参画・関与の程度）のウエイトもかなり高い。

### 【テキスト】

なし。

## コミュニケーション研究法実習2 (面接法)

西出隆紀 古井 景 山口智子

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

研究法の1つである「面接法」の基礎を学び、実習を行う。研究史から問題意識を明確に構成し、厳密な方法でデータを収集し、統計的な手法を中心に分析を進め、考察を加えるという研究の流れを実際に面接調査法を用いて体得するのが目標である。なお、この授業ではグループに分かれての実習が中心となる。

### 【授業計画】

- 第1回 演習計画（今後の予定）  
グループ分け・調査テーマの討議
- 第2回 調査テーマの決定（要旨提出）
- 第3回 文献の収集・調査目的の明確化
- 第4回 質問項目の検討
- 第5回 予備面接と項目の再検討
- 第6回 面接実施
- 第7回 評定・コード化基準の検討
- 第8回 「問題」「方法」の下書き提出  
テープ起こし・記録・データ入力  
目検・チェイン（第9回迄に完了）
- 第9回 データ分析法の検討および分析処理
- 第10回 データ分析処理（続）  
および結果の検討（解釈）
- 第11回 報告書作成（「結果」「考察」）
- 第12回 報告書作成（続）  
（「結果」「考察」下書き提出）
- 第13回 報告書作成（修正）
- 第14回 臨床面接法について（その1）
- 第15回 臨床面接法について（その2）  
（グループ研究の進み具合で14、15の内容が変更されることもある）

### 【評価方法】

成績評価はグループレポートの出来による。その他、個人のグループへの参加態度や欠点を考慮する。

### 【テキスト】

使用テキストなし。



## コミュニケーション研究法実習3 (実験法)

清水 遵 吉崎一人 川上正浩 赤嶺亜紀

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生理心理学、認知心理学の2つの領域で扱われる心理学実験の手法を学習する。生理心理学では、ヒトの心理的機能と生理的機能との間の対応関係を理解するために、中枢神経系及び自律神経系の活動を種々の心理状態で測定分析する。具体的には、外界の刺激に対して変化する脳活動を事象関連電位を指標として分析する。また、情動変化を観察するために心電図等の自律神経指標を用いた虚偽検出(ウソ発見)実験を行う。認知心理学では、記憶研究等の基礎的な実験を通じて実験の計画、実施、結果のまとめ方、分析を学ぶ。実験の刺激はパーソナルコンピュータを使って提示される。実験の実施、データの分析にプログラミングの知識が必要となるため、前期の「プログラミング言語」を受講することが必須となる。

### 【授業計画】

実習は小グループ単位でローテーションしながら行い、総実習回数のうち半数を生理心理学、残りの半数を認知心理学の学習に充てる。生理心理学では更に事象関連電位と自律神経ブリグラフに分かれて実習する。

### 【評価方法】

生理心理学、認知心理学のそれぞれでレポートの課題が与えられる。それらレポートの評点に遅刻、欠席等を考慮した総合的評価を行う。

### 【テキスト】

使用しない。

## コミュニケーション研究法実習4 (観察法)

中藤 淳 松尾貴司 佐々木政司

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

コミュニケーション行動に関する実証的研究を行う場合、さまざまな種類の資料・データを集めて分析を進めていくことになる。その研究法の一つである観察法の基礎技法を実習する。更に、問題設定、データ収集、分析、報告書作成といった一連の研究プロセスをグループ単位で学ぶ。

- ①授業全体のオリエンテーション、諸注意、研究法概説
- ②観察法概説
- ③観察法基礎実習
- ④問題設定とデータ収集法の検討
- ⑤データ収集
- ⑥データ分析
- ⑦報告書の作成と研究発表

### 【授業計画】

前半は、観察法の基礎技法を広く学習する。後半はグループ単位に分かれ、具体的なテーマに沿って個別研究を行い、その中で観察法の実際について理解を深める。グループで取り組む実習なので、遅刻・欠席はしないこと。必要に応じてビデオなどの視聴覚機器の使用法の実習を行ったり、コンピュータを使用しての分析を行ったりする。

### 【評価方法】

授業への参加態度とレポート(4本)による。

### 【テキスト】

使用せず。

## プログラム言語

吉崎一人 廣岡秀一

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

コンピュータプログラミングの習得、特に心理学実験において刺激呈示並びに、結果を集計するための技法を習得する。

### 【授業計画】

- 1) Windowsの復習
- 2) PRINT、INPUTと画面制御
- 3) 繰り返し処理
- 4) 条件分岐
- 5) データの読み込み、書き込み
- 6) 配列の使い方

### 【評価方法】

宿題の提出状況とレポートによって評価される。

### 【テキスト】

使用するが未定。

## 記号コミュニケーション論1a

別府哲

集中 2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人間は、記号の一つとしての言葉、そして言葉につながるものとしてのさまざまなコミュニケーション能力を発達の中で獲得していく。しかし、さまざまな障害があるがゆえに、そのコミュニケーションがうまくとれない子ども達の存在が指摘されている。今回は、そういった障害を持つ子どもを取り上げ、その発達と障害について考えていきたい。

### 【授業計画】

- ア. 通常学級にいるちょっと気になる子どもたち
  - イ. ADHDの子どもたちの発達と障害
  - ウ. LD（学習障害）の子どもたちの発達と障害
  - エ. アスペルガー症候群の子どもたちの発達と障害
  - オ. 自閉症の子どもたちの発達と障害
- (註) いずれも順不同・また内容に変更がある場合もあります。

### 【評価方法】

授業後の感想（数回）と最後のレポートで評価します。

### 【テキスト】

使用せず。プリント教材を配布します。

### 【参考書籍】

授業中に随時提示します。



## 記号コミュニケーション論1b

別府悦子

集中 2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

自閉性障害や多動性障害などの発達障害があって、コミュニケーションに困難を抱える子どもの発達をどう理解するかについて検討する。さらに、発達や障害の理解に基づいた保育や教育の方法について考えていく。

### 【授業計画】

1. 障害とは何か：障害児・者の発達保障の歴史と障害観の変遷
  2. 障害の理解：自閉症、知的障害、学習障害、注意欠陥／多動性障害など
  3. 障害児の発達診断と心理教育アセスメント
  4. 障害別の発達の特徴（コミュニケーションを中心に）と保育・教育の留意点
  5. 問題行動の理解とその対応：偏食、飛び出し行動、自傷行為など
  6. 障害児・保育の実際：コミュニケーションを図るための方法
  7. 障害児とのコミュニケーションを助ける補助的手段：サウンド・アンド・シンボルズなど
- これらの内容について、視聴覚教材等を用いながら、発達障害児とのコミュニケーションや教育・保育を自分ならどう行っていくかを、検討していきたい。

### 【評価方法】

毎回提出する感想文と最終日に行う試験によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

授業中に文献を紹介するが、下記の文献を参考図書としてあげる。

別冊発達22号「発達理解と発達援助」（前川喜平・三宅和夫編 ミネルヴァ書房）

シリーズ障害を知る本（茂木俊彦監修 大月書店）

統合保育で子どもは育つか（茂木俊彦監修 大月書店）

## 記号コミュニケーション論2a・b（空間理解）

加藤義信

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

人と人との間のコミュニケーションが成り立つためには、何らかの表現が相互に交わされなければなりません。表現と言えば、ことばによって行われる表現がまず第一に考えられるでしょう。しかし、人がことばを交わし合うその背後には、ことば以外の、通常は意識の範囲外にある広大な表現領域が広がっていることを忘れてはなりません。

この授業では、ことば以外のこうした表現領域がどのように重要な意味をもっているか、現実生活の中でどのように機能しているか、という問題を考えていきます。とくに、身体表現や絵画的表現の諸問題を、「空間」をキーワードとして解き明かしていくことをめざします。

<前期>

メイン・テーマ：非言語コミュニケーションの諸問題

- 1) 伝え合うとはどういうことか？
- 2) コミュニケーション過程の構造について考える
- 3) 非言語コミュニケーションにはどんな種類があるか
- 4) 対人距離とコミュニケーション
- 5) 非言語コミュニケーションの個人差、文化差とは？

<後期>

メイン・テーマ：絵画的表現の諸問題—発生的視点から考える—

- 1) 絵は何を表現するか？
- 2) 「子どもの絵」研究の4つのアプローチ
- 3) 絵画的表現の発達に関する理論
- 4) 人物画表現の発達について
- 5) 絵画的表現の個人差、文化差とは？

### 【授業計画】

参考文献と併せて、講義の進展に沿ってその都度、資料を配布します。また、講義の中では、現実生活の隠れた次元が明るみにでるようなデモンストレーションをできるだけ行うようにしたいと考えています。

### 【評価方法】

前期は、講義内容の理解度をみる小テストと、映画を題材にしたコミュニケーションに関するレポートによって評価。後期は、同じく小テストと絵画的表現に関するレポートによって評価する予定。

## 記号コミュニケーション論3a・b (言語行動)

二宮 昭

2年後期 3年前期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

コミュニケーションを成立させるために用いられる記号には様々なものがあるが、我々人間にとって最も重要なものとなっているのは「ことば(言語)」である。本講義では、「ことば」がもつ特性や機能、その発達や障害ということについて、実証的な研究に基づきながら論じていくことにする。

### 【授業計画】

<2年後期>

第1～6回 「ことば」とは何か

- 1) 人間の「ことば」と動物の「ことば」
- 2) 「ことば」のもつ特性—二重分節について
- 3) 「ことば」の恣意性

第7～12回 日常の言語行動の分析

- 1) 「ことば」を数える
- 2) 日常の使用語彙
- 3) 「ことば」の機能—伝言板のメッセージ分析

第13回 試験

<3年前期>

第1～8回 「ことば」の発達

- 1) シンボル機能および語彙の発達
- 2) 文の発達
- 3) 言語的現実の自覚の発達—3歳児はなぜしりとりができないのか
- 4) 外言と内言

第9～12回 「ことば」の障害

- 1) 障害の原因と実態
- 2) 改善のための働きかけ

第13回 試験

### 【評価方法】

各学期末に行う筆記試験による。

### 【テキスト】

使用しない。適時参考資料を配付する。

## 文化社会学

丸山 哲央

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人間にとって「文化」とは何か。個人の生活や社会の構造と「文化」はどのようにかかわっているのか。そして、現代のグローバル化現象下における人類共通の文化は存在するのか、さらに日本固有の文化システムとは何か、ということについて社会的に考察する。

「文化」という言葉は日常よく用いられるが、必ずしもその意味が正確に理解されているとはいえない。「文化」には、普段の生活習慣や流行といったものから、哲学、宗教等の高度に抽象的な意味体系に至るまで、広い意味が含まれている。「文化社会学」とは、人間に特徴的な文化現象を社会的に解明していく学問である。この講義では、社会学における個人(パーソナリティ)や社会集団といった概念を明らかにしてゆくなかで、人間の文化とは何かという問題を論理的に考察してゆきたい。そのうえで、現代のグローバル化現象下における人類共通の文化について、さらに日本社会の文化システムについて考えてみたい。

### 【授業計画】

社会学という学問の文脈で、系統だてて文化について論ずるので、最低限の社会的知識が必要であり、テキスト(『社会学の理論』)に即して講義を進めてゆく。この中で、社会学という学問の考え方、視点等についても概略が理解できるように話してゆきたい。

### 【評価方法】

レポート又はペーパー・テスト。

### 【テキスト】

社会学の理論(碓井・丸山・大野・橋本編著、有斐閣、2,800円/4月刊行)

### 【参考書籍】

新しい世紀の社会学中辞典(N.アバークロンビー他 ミネルヴァ書房 4,800円)



## スピーチ・コミュニケーション

松本雄子

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

“文化の違う人はコミュニケーションの方法が違う”とよく言われるが、どのように違うのか？

ここでは「異文化間コミュニケーション」の基礎知識と、文化がどのようにコミュニケーションに影響しているのか等を講義する。

最初は「コミュニケーション学」の基礎知識に重点を置いて授業を進め、後半は文化とコミュニケーションについて講義する。

### 【授業計画】

講義だけではなく、ビデオやグループディスカッション等を取り入れて授業を進める。

### 【評価方法】

テスト。

### 【テキスト】

異文化コミュニケーション（古田暁監修 石井敏・岡部 郎一・久米昭元著 有斐閣）

## ノンバーバル・コミュニケーション

松尾貴司

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

コミュニケーションにおいて言語以外の伝達手段がもつ重要性は、様々な分野で関心が持たれるようになってきている。このノンバーバルなコミュニケーションの諸相について、心理学的な知見ばかりでなく、行動学的なアプローチを含む幅広い観点から概観していく。

- 1) コミュニケーションへの行動学的アプローチ
- 2) 動物のコミュニケーションの特徴と実際
- 3) ジェスチャーの分類と文化的変異
- 4) 表出としての表情と制御された表情
- 5) 視線の機能と規定因
- 6) パーソナルスペースと空間行動

### 【授業計画】

通常の講義形式で行う。

### 【評価方法】

学期末に行う筆記試験により評価する。レポートの提出を課した場合は、これを加算する。授業への出席状況、態度不良者は減点する。

### 【テキスト】

特に使用しないが、授業の中で随時参考書籍を紹介していく。

## ジェンダー心理学

小倉千加子

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

心理学研究において新たに発明されたジェンダーという概念を中心に取り上げる。幅広い領域にわたって問題提起を行い、短期間に蓄積された膨大な研究結果を概観する。

### 【授業計画】

1. 心理学におけるジェンダー概念の登場
2. ジェンダー・パラダイムとジェンダー・イデオロギ-の歴史
3. 性差研究とジェンダーロール・ステレオタイプ
4. ジェンダー・アイデンティティ -発達と幼児期経験
5. ジェンダー・アイデンティティ -青年期の自己同一性との関係
6. 能力・学力・動機づけ
7. 女性とコミュニケーション
8. ジェンダーと精神病理
9. セクシュアリティの発達
10. 性同一性障害

### 【評価方法】

出席状況と試験により評価。

### 【テキスト】

使用せず。

## 社会コミュニケーション論1a・b (家族・地域・福祉)

植村勝彦

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

いじめ問題にせよ、高齢者の在宅介護問題にせよ、今日ほど家族と地域が福祉の問題と密接に関わり合っている時代はない。現代社会の問題を「福祉社会心理学」の視点から考察することをテーマとする。

### 【授業計画】

前期 (a) : 家族と福祉の心理学

1. 導入
2. 今日の社会と子ども  
・社会化の場としての地域社会/家庭と子ども/  
学校と子ども/近隣社会の中の子ども
3. 高齢化社会と老人  
・高齢化社会の到来とその影響/高齢者と家族/  
高齢者の社会参加と幸福な老い/高齢者の地域ケ  
アと在宅介護
4. 障害者およびその家族と地域社会  
・障害者とは/障害者に対する人々の知識と態度/  
知的障害者に対する人々の態度/知的障害者をも  
つ家族の世間観/地域社会の中でのよりよい家族  
の姿を求めて

後期 (b) : 地域と福祉の心理学

1. 導入
2. ボランティア活動  
・ボランティアとは/生涯学習社会におけるボラン  
ティア活動/青少年の活動への参加と満足度/  
参加・不参加態度の構造
3. 援助行動  
・援助行動とは何か/援助と抑制/援助の成立過程  
モデル/日常場面における援助行動
4. 地域社会の現状とコミュニティ形成  
・地域社会の今昔/地域社会への無関心と冷淡/  
近隣コミュニケーションの現実/コミュニティ形  
成とコミュニティ意識

### 【評価方法】

学期末の単位認定試験による。

### 【テキスト】

毎回配布するプリントにより講義・解説する。



## 社会コミュニケーション論2 a・b (対人行動)

斎藤和志

2年後期 3年前期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

現実の人間関係、集団間関係にはさまざまな問題が存在する。それらの中にみられる共通した特徴や法則性を、社会心理学的観点から考察する。2年後期aでは、さまざまな出来事の原因を推論するプロセス、他者の理解の仕方、社会的な事象に対する態度の形成とその変容の問題などを、3年後期bでは、社会の中の個人がもっている欲求や動機、対人関係の開始、継続、終結と関わる対人的相互作用のプロセスの問題などを取り上げる。講義を行うが、必要に応じてレポートを課す場合がある。また、調査や実験の被験者としての体験も重視する。

### 【授業計画】

- a : 1. 行動科学としての社会心理学  
2. 帰属とは  
3～5. 原因の帰属、成功・失敗の帰属、個人差  
6. 社会的認知  
7. 対人認知  
8. 対人関係の認知  
9. 社会的態度とは  
10～12. 社会的態度の形成、変容、そして説得  
13. 試験
- b : 1. 行動科学としての社会心理学  
2. 社会的欲求・動機とは  
3・4. 達成動機、親和動機とその研究  
5～7. 対人魅力の諸要因  
8. 対人魅力と社会的交換理論  
9. 対人的相互作用の捉え方  
10. 協同・競争と社会的交換理論  
11. 実験ゲームと社会的交換理論  
12. 衡平・公正と社会的交換理論  
13. 試験

### 【評価方法】

試験による。レポートや調査・実験の被験者体験を成績に加味する場合には事前に通告する。

### 【テキスト】

社会心理学—個人と集団の理解— (吉田俊和・松原敏浩編 ナカニシヤ出版)

## 社会コミュニケーション論3 a・b (情報メディア史)

遠藤雄久

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

「マルチメディア」に代表される今日のメディアの変容の源流は、19世紀末から20世紀初頭にかけての電気(電子)メディアの社会的形成と受容の過程のなかに見出すことができる。本講は、その歴史的過程を文化社会学的視点からとらえかえそうとするものである。

前期では、蓄音機、電話、ラジオに代表される音響メディアを、後期では写真、映画など映像メディアを以下の内容で順を追って扱う。

前期—①音響メディアの出現と展開の概況②1830年代以前以降の音楽会③エジソンの蓄音機発明④アレクザンダー・グラハム・ベルの生涯⑤電信と電話⑥初期の電話⑦電話のネットワーク⑧無線電話からラジオへ⑨マルコーニとアメリカズ・カップ、タイタニック号遭難⑩最初のラジオ局KDKA⑪ジャズ・エイジのアメリカとラジオ放送⑫国家の声としてのラジオ

参考図書：マクルハン『メディア論』オング『声の文化と文字の文化』吉見俊哉『声の資本主義』水越伸『メディアの生成』ベンヤミン『複製技術時代の芸術』

後期—①ヴィジュアル・コミュニケーションの考古学②ダ・ヴィンチと線遠近法③カメラオブスクラ④「見る」ということの意味⑤ダゲールの写真術⑥肖像画と肖像写真⑦映画の三要素⑧映画の考古学⑨映画の生みの親⑩映画の魔術師⑪ハリウッド!ハリウッド!⑫映像社会と映画の未来

参考図書：稲葉三千男『コミュニケーション発達史』アイヴィンス『ヴィジュアル・コミュニケーションの歴史』スクラー『アメリカ映画の文化史』

### 【授業計画】

毎回の講義内容に関連する映像資料(ビデオなど)とプリント資料を使いながら進めていく。

### 【評価方法】

定期試験期間に小論文形式のテストを行う。

### 【テキスト】

使用せず。

**【授業の概要】**

この講義の題目は、「普及学的観点からみた異文化コミュニケーション論」である。普及学の最先端理論の一つが「異文化屈折理論」であるが、この講義では、この理論が捉えた異文化コミュニケーションのメカニズムを探究する。

最初に、イノベーションの普及過程を多角的に、かつ歴史的に究明する新しい学問分野である「普及学」について、その概略を説明したのちに、たとえば、つぎのような屈折的諸現象を検討する。

○Sit down please. (お座り下さい) という文章の発音をカタカナで、「シットダウンプリーズ」と書くと、この発音に相当する英語はShit down please. (そこにしゃがんで大便をして下さい) という意味になって、アメリカ人をびっくりさせる。

○カメラのニコン (NIKON) や自動車のダットサン (DATSUN) をアメリカ人は、NIKON→ナイコン、DATSUN→ダッツンと発音する。

○ドラキュラといえば、吸血鬼と思っている人が多いが、本当はルーマニアの国を救った英雄であった。

○アメリカ人の愛犬家に対して、「私も犬が好きです」といったつもりで「I like dog, too.」とdogの前の冠詞や後の複数形を省略すると、「私も犬の肉が好きです」というような意味になって、その愛犬家に怒鳴られることになる。

○一般に外国書の日本語訳の本の内容はその原書の内容とずいぶん違っていることが多いが、アメリカの週刊誌「News Week」の日本語版「ニューズウィーク」を読んで、元の英語版もその通りに書いてあると思うと大違いであって、表紙の写真も中身も表現もずいぶん違っていて、そのことを知らないと、国際的誤解を無意識のうちに助長していることになる。

その他多くの異文化コミュニケーションの屈折のメカニズムを検討し、異文化理解と国際コミュニケーションの健全なあり方を探る。

**【授業計画】**

講義時間の最初に説明する。

**【評価方法】**

毎時間のテスト結果の総合評価によって行う。

**【テキスト】**

異文化間ビジネス戦略 ―あらかじめ屈折の視点 (榎博文 同文館)

普及学講義 (宇野善康著 有斐閣)

**【授業の概要】**

家族を社会学的な研究のレベルで理解する。従来の日本の社会学での家族研究は、制度的レベルから構造的な把握へ、さらに関係なレベルへと展開しているが、本授業では、そうした研究史の展開に応じて、その時々を経験的研究の代表的な文献を挙げながら論議を進めたい。

1. 社会学の立場からの家族理解
2. 家族の概念・定義・分類・類型
3. 「核家族」の意味理解とその批判的論議／日本における「核家族」論の展開
4. 日本家族の研究史、制度論的接近／「家」研究の展開
5. 構造論としての家族研究／地域社会の変容と家族／産業化、都市化と家族／地域政策と家族
6. 経験的日常的な対象としての家族とその問題性／家族問題の所在

**【授業計画】**

テキストを使用し、できるだけその内容に従う予定だが、時間的にはテキストの総ての範囲をカバーしきれないかも知れない。講義は、論述の形で行う。

質問は、授業時でも受けつけるので積極的にしてほしい。

**【評価方法】**

学期末の試験による。出席は評価の材料にならないが、出席することは当然である。

**【テキスト】**

現代家族の社会学 (石川実編 有斐閣)



## 老年社会学

西下彰俊

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

「老い」(エイジング)の光と影を社会的に分析する!

これまで高齢者問題は老人福祉として論じられることが多かった。高齢者は社会学の客体として位置づけられてきたのである。しかし、すべての高齢者が介護の必要な福祉の対象になっているわけではない。我々の周り的高齢者を見ればそれは明かである。本講では、社会の主体としての高齢者にも着目し、そうした高齢者が家族、友人、地域社会とどのような社会関係、コミュニケーション関係を形成しているのか、社会学の方法論を駆使しながら分析する。いわば、高齢者の光(プラス)と影(マイナス)の両面にせまり、理解を深めることが目的である。さらに、老人問題を自らの老後の問題として、言い換えれば、エイジング(加齢=老いつつある過程)を現在進行中のプロセスとして感得できる「柔らかないセンス」をお互いに養っていきたい。

#### 1. 高齢者福祉

在宅福祉 施設福祉

新ゴールドプラン 公的介護保険の概要

公的介護保険の問題点 スウェーデンのヒューマンサービス

#### 2. 老年社会学

主要な社会学概念 友人ネットワーク

家族ネットワーク ビデオ「二人だけで生きたかった」の鑑賞

社会参加と生きがい 幸福感と自殺率

新しい老後問題—タイプA型老人—

### 【授業計画】

教科書とハンドメイドのプリントを併用する。

### 【評価方法】

テスト80点、平常点が20点の合計100点で評価を行う。平常点は、出席点と授業態度の合計である。適宜、出席の有無を確認する。

### 【テキスト】

改訂版 老人福祉論(浅野仁・西下彰俊編 川島書店 2,300円)

## キャリア発達

金井篤子

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

大学を卒業後、多くの人は何らかの職業に就くことになるが、その職業選択はこれからの自分の生涯をどのように生きるかということを念頭に行われるべきである。なぜなら、職業は人生の大部分を占め、その影響は甚大であるからである。

本授業では、職業選択を含めたキャリア発達について、その理論とそこから得られる知見を中心に、今後の自分の人生におけるキャリア・パースペクティブ(キャリアの見通し)を持つことを目標として進める予定である。以下の項目について、講義、討議を行う予定である。

キャリアとは何か。

ライフ・キャリア。

キャリア発達の理論。

キャリア選択。

キャリア・パースペクティブ。

キャリア・カウンセリング。

キャリア発達の促進要因と阻害要因。

### 【授業計画】

講義形式をとるが、参加者の討議などを組み込み、全体の理解を深める。

### 【評価方法】

定期試験および授業への参加関与度を考慮して評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 臨床コミュニケーション論1 a・b (心理療法の基礎理論)

西出隆紀

2年後期 3年前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

心理臨床活動は実践だが、その背景には多くの理論が存在する。理論の基盤を持たない実践は心理臨床活動とは呼べない。そこで、2年後期では、心理臨床の各学派の発達論、治療論、症候論、人格論などを具体的な事例も交えながら紹介したい。また、3年前期では児童期までの心の問題を取り上げ、傷つき心病んだ子ども達をどう理解し、彼らにどうかかわっていくかを考えたい。

### 【授業計画】

< 3年前期 (児童臨床入門) >

1. 子どもと症状・問題行動
2. 発達障害 自閉症、学習障害、精神発達遅滞
3. 情緒障害 不登校、神経性習癖、非社会的行動、心身症、反社会的行動
4. 児童精神病 (子どもの抑鬱を含む)
5. 遊戯療法について (その1) Klein, M.の遊戯分析、Freud, A.の児童分析
6. 遊戯療法について (その2) Axline, V.M.の児童中心療法、Allen, F.の関係療法、Moustakas, C.E.の制限設定

< 2年後期 (心理療法の基礎知識) >

1. 心理臨床入門 心理臨床とは、心理臨床と人間関係
2. 古典的精神分析 精神分析以前、無意識の発見、夢、心的構造論、精神性発達論、神経症総論、治療論
3. 対象関係論 Klein, M.の早期対象関係論、Fairbairn, W.R.D.のパーソナリティ構造論、Guntrip, H.のシンドローム論、Winnicott, D.W.の理論、Bion, W.R.の考え
4. 自我心理学 自我の適応、防衛機制、分離個体化
5. 自己心理学 (Kohut, H.の理論)
6. 現象学的人間学派 Rogers, C.R.の来談者中心療法、Gendlin, E.T.の体験過程療法
7. 家族療法 家族システム論、Erickson, M.の影響、二重拘束理論、構造派、戦略的家族療法、解決志向型短期療法

### 【評価方法】

成績は出欠を考慮してテストで評価する。テストは手書きのノートのみ持ち込み可 (コピーを持ち込んだ場合は失格) とするので、毎回出席しないとテストの時に慌てることになる。

## 臨床コミュニケーション論2 a・b (分析心理学)

江口昇勇

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

ユングの分析心理学を紹介することを目的としている。前期は無意識を実感するための様々な工夫と、精神分析学に関する基礎理論や専門用語を解説する。無意識の働きをエゴグラムを媒体にして自分の様々な側面を見ることで自己理解を深める。後期は分析心理学を理解するため、人間のタイプ論に始まり、元型論を展開する。最後は分析心理学を体験的に味わってもらうために、グリム童話を用いながら、そこに臨床的知見を盛り込んで解説していきたい。

### 【授業計画】

前期1) 自己探求は臨床心理学の基本、2) ~ 3) エゴグラムによる自己理解、4) ~ 5) 精神分析の基本的考え方、6) ~ 7) projectionを体験的に味わう、8) ~ 9) イメージ療法を体験する、10) 心理療法の実際、11) ~ 12) 心理療法をコミュニティへ展開させる、13) 現代社会における臨床家の役割

後期1) ~ 4) ころの構造とタイプ論、5) ~ 8) 元型論: 普遍的無意識という考え方とグレートマザー、ウロボロス、父元型、トリックスター、影、アニマ・アニムス、永遠の少年と老賢者 (婦人)、障害者元型、9) ~ 11) グリム童話からの臨床知見: グリムにみる女性性の発達、共依存の構造、思春期との出会い、12) シンボルと夢の働き: 無意識のメッセージをどう読みとるか、13) 夢分析の体験: ころを耕すこと、駄目な自分をこそ受け入れることの苦しさ (悟りの心理学)

### 【評価方法】

前期・後期ともにレポート課題を出し、その成績で評価する。課題とするレポート以外に講義に関するレポートやコメントを自発的に提出する受講生が例年見受けられるが、それらは積極的受講態度として評価しており、さらにその内容のレベルが高いものは講義で紹介する。

### 【テキスト】

岩波文庫グリム童話集 (金田鬼一訳 岩波書店)

### 【参考書籍】

ユングの心理学の世界 (樋口和彦著 創元社)  
昔話の深層 (河合隼雄著 福音館書店)



## 臨床コミュニケーション論3 a・b (精神医学)

古井 景

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

人と人との関係に於いて、互いに関わりを持つことの難しさについて考える。他者を意識し、二者関係さらに三者関係へと関係が進展する過程に目を向け、“関係”に対する理解を深める。

不登校・摂食障害・職場不適応、ストレス関連疾患といった、近年の重要課題に目を向け、臨床心理学的理解と対策・対応について、事例を呈示して学んでいく。

### 【授業計画】

資料配付により講義をすすめる。

(前期)

- ・精神力動とストレス
- ・意識的行動と無意識的行動、身体症状化
- ・自我機能と防衛機制
- ・乳幼児期の母子関係、父親の関わり(分離個体化理論)
- ・錯覚と脱錯覚：空想と現実
- ・前エディプス期からエディプス期へ  
(二者関係から三者関係へ)

(後期)

- ・幼児期不適応：夜尿、夜驚、自家中毒、チック
- ・学校生活不適応：不登校、心因性視力障害・頭痛腹痛
- ・家庭内暴力
- ・摂食障害：拒食症・過食症
- ・児童虐待：虐待する母親、される子供
- ・職場不適応：長期欠勤、鬱病
- ・薬物依存：有機溶剤、麻薬・覚醒剤、アルコール
- ・役割と責任を考える：  
    女兒として・女性として・妻として・母親として  
    男兒として・男性として・夫として・父親として

### 【評価方法】

学期末の試験、または、レポート提出によって判定する。資料・参考図書などをそのまま写したものは評価に値しない。授業を通して理解した、知識に基づき自分の言葉で文章を作成すること。レポートに関しては厳しく評価し、内容が不十分な者に対しては再提出を課す。

### 【テキスト】

使用せず。参考図書はその都度提示する。

## カウンセリング

古井 景

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

まず、力動精神医学の立場から、心の働き(自我機能)に目を向け、“適応”についての認識を深めていく。その上で、“適応困難(不適応)”となった者への臨床心理面接のあり方について学んでいく。

特に、不安や悩みを訴えている者に対しての、単なる個人的興味からの対応、個人的生活経験からの対応、無責任な対応など、世間でよくみられる“安易な関わり”がいかに危険なものであるかを学び、そこに存在する“誤解”を解いていく。

### 【授業計画】

以下の項目を中心として、資料配付により講義をすすめていく。

#### I. counselingとpsychotherapy

#### II. 精神力動

自我の構造モデルと自我機能・防衛機制  
人格構造  
情緒発達理論

#### III. 心理面接

アセスメント  
(初回面接と見たて)  
治療契約と治療構造  
治療過程の諸問題  
治療終結

#### IV. 事例検討・治療の実際

児童の遊戯療法と親面接  
思春期・青年期の適応障害  
その他

### 【評価方法】

各学期末の試験、または、レポートによって判定する。

### 【テキスト】

使用せず。参考図書はその都度提示する。

## コミュニケーションの精神病理

北畑英樹

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

- ①やさしい精神医学入門
  - ②こころの豊かさを求めて
- ①コミュニケーションとは、つまるところ対人関係であり、一方、精神医学で取り扱う疾患も、その症状の中心は対人関係の障害である。それ故に、そこには我々健常者(?)の中に時折みられるコミュニケーションのゆがみの先鋭化したものが認められる。そこで、ノイローゼ、うつ病、精神分裂症などの疾患について、やさしくかつ具体例をあげて解説する。
- ②現代科学の進歩は、テレビをはじめとするマス・メディア、コンピューター、インターネットなど無機質なコミュニケーションの発達をうながした。しかし、それが進めば進むほど、こころの豊かさに基づいた人間的なコミュニケーションの価値がますます高まる時代になるであろう。そこで、こころ豊かに生きるための精神科医からのアドバイスやヒントを提供する。

### 【授業計画】

“おもしろくて、役にたつ”をモットーに、①②に関した読みやすい書籍を紹介したり、受講生の質問に答えながら授業を進めたい。

### 【評価方法】

レポート提出による。

### 【テキスト】

使用せず。

## パーソナリティ論

松田 惺

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

パーソナリティとは何か、パーソナリティについての心理学研究はどのように行われているか、代表的なパーソナリティ理論は何か、パーソナリティはどのように発達するか、パーソナリティの発達に影響する要因は何か、そして自分のパーソナリティをどのように把握するか、などについて講義する。

パーソナリティのとらえ方、性格や気質との対応関係、研究方法について、具体的なパーソナリティ測定・診断のための方法を紹介しながら検討を進める。

パーソナリティ理論についても、従来の精神分析理論や認知理論、学習理論に加えて、帰属理論やモデリング理論などとの関連、文化の問題、個性的あり方の問題などについても考察したい。

また、自我像、自尊心、自己効力感など、自分自身とのかかわりの中で、パーソナリティというものを再吟味することの意味を考えたい。

### 【授業計画】

主として講義になるが、できるだけ講義でとりあげたパーソナリティ調査・検査等を、自分自身について実施し、自己理解を深める一助にする。

### 【評価方法】

テストを行う。

### 【テキスト】

性格心理学への招待（訖摩武俊他著 サイエンス社 2,060円）



## 個人コミュニケーション論1 a・b (認知心理学)

吉崎一人

2年後期 3年前期 選択 各2単位

### 【授業の概要】 a

外界の情報を人間がどのように処理しているのかを解説する。具体的には、人間の記憶の仕組み、注意と意識のしくみ、日常生活での記憶、推論過程等である。

### 【授業計画】 a

1. 記憶のボックスモデル① (短期記憶と長期記憶)
2. 記憶のボックスモデル② (リハーサル)
3. 処理水準と情報の精緻化
4. 符号化と検索の関係
5. 知識と表象① (意味記憶の構造と語の処理)
6. 知識と表象② (スキーマとスクリプト)
7. 潜在記憶と顕在記憶
8. 注意と自動制御
9. 日常生活の認知①
10. 日常生活の認知②
11. 日常生活の認知③

### 【授業の概要】 b

人間の認知活動と脳機能の関連性について解説する。ヒトを情報処理的な観点でとらえる立場をとる。その視点から、脳の部位と機能との対応関係を論じる。

### 【授業計画】 b

認知を支える生理学的基礎

1. 神経心理学の研究法
2. ラテラルティ
3. 物体認知と脳
4. 記憶機能と脳
5. 言語機能と脳
6. 注意機能と脳
7. 情動と脳
8. 脳機能の発達と可塑性

### 【評価方法】

期末テスト、中間テスト (またはレポート) さらには実験への参加 (被験者) 回数によって行われる。

### 【テキスト】

使用せず。授業ごとにプリント (A4) を配布する。

## 個人コミュニケーション論2 a・b (脳とコミュニケーション)

杉本助男

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

前期：脳の生涯発達にともなう人間行動の変容や脳における情報の伝達・処理様式等について講義する。

後期：中枢神経系及び自律神経系の電気活動にみられる刺激の受容、伝達、処理過程の分析方法について具体例をあげて講義する。

<前期>

4月：脳の発達過程と行動について

1. 胎児の脳の発達と母親の心身状態との関連
2. 新生児の学習
3. 脳の生理学的、解剖学的基礎
- 5月：脳の機能局在と行動について
4. 左右半球と行動、皮質機能局在と行動
5. 大脳扁緑系と情動行動

6月：脳波を指標とした行動研究について

6. 脳波による研究法
7. アルファ波を指標とした行動研究
8. 睡眠時の脳波と行動

7月：自律神経系と情動反応に関する研究について

9. ストレスや不安の自律神経系反応
10. ポリグラフによる研究法
11. まばたきによる行動研究

<後期>

10月、11月：脳誘発電位による脳の情報処理過程、並びに個人差に関する研究について

11. 脳誘発電位による研究法
12. 感覚遮断環境の人に及ぼす影響
13. 香りの心理効果

12月、1月：生体リズム、脳障害、老人性痴呆に関する神経心理学的研究について

14. サーカディアンリズムとウルトラディアンリズム
15. 左脳、右脳障害と行動
16. 脳の老化と行動

### 【授業計画】

毎回プリントを配布して解説する。

### 【評価方法】

学期末試験と講義途中でのレポートによって評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。

## 【授業の概要】

行動の諸側面を神経系の構造と機能とに対応づけて考察することで、心理的側面（こころ）と生理的側面（身体）間の相互関係の理解をめざす。

## 【授業計画】

各テーマに関するプリントを配布し、それに添って講義を行う。

前期：神経系の構造と機能および生理学的指標に関して概説する。

1. 精神生理学と生理心理学
2. 中枢神経系の構造と機能
3. 自律神経系の構造と機能
4. ニューロンとグリアの構造変化
5. ニューロンの電氣的伝導と化学伝達
6. 中枢神経系の精神生理学的指標  
自発脳波 事象関連電位
7. 末梢神経系の精神生理学的指標  
心電図 皮膚電気活動 脈波 呼吸 眼電図 筋電図

後期：情動（感情）およびストレスをテーマとして取りあげ概説し、これらの問題に対する精神生理学的アプローチについて論ずる。

1. 情動とは  
情動体験 情動表出
2. 顔面表情と感情
3. 声と感情
4. 身体動作と感情
5. 情動性自律反応
6. ストレスとは  
ストレス認知モデル ストレスと対処行動 ストレスの生物学的基盤
7. ストレスに関する動物実験
8. ストレスの精神生理学的測定
9. ストレス・マネジメント  
バイオフィードバック
10. まとめ

## 【評価方法】

定期試験の評点に基づき評価する。

## 【テキスト】

配布プリント。

## 【授業の概要】

人間の情報処理活動における記憶と感情に焦点をあて、それらに関して提起されているモデルを概観し、それによって人間についての理解を深めることを目的とする。私たちは、「何を見ても何かを思い出す」。その際に、思い出される対象は、言葉であったり、特定の状況や場面であったり、あるいはそれらに付随する感情であったりする。このように思い出すという現象そのものは、通常考えられている以上に多岐にわたるにも関わらず、思い出すという行為自体が、日常的に極めて自然に行えるために、想起を実現しているメカニズムの不思議さに気づくことは希である。

同様に文字を見て、私たちは、語の読みや意味を想起できるが、その想起の過程を意識することは、希である。本講義では、日常的な記憶と感情に関わる事例をとりあげ、それらの背後に潜む人間の情報処理活動のメカニズムに注目する。具体的には、講義の前半では人間の知的な処理活動として「読み（reading）」に焦点をあて、後半では感性や感情の関わる処理活動として「思い出」に焦点をあてる。そして、これらの情報処理活動の過程を説明するために提起されているモデルを通じて、心的活動のモデルについて再考を促す。

講義全体を通じて、具体的には 実験・調査の計画立案、データの処理、結果の解釈、モデル提起の必要性を説き、人間の知識の「つながりと広がり」、及びその「運用と意義」について考えることの重要性に触れる。

## 【授業計画】

講義は、実験や調査のデモンストレーションとそれによって得られるデータに基づいて、具体的事例やデータを参考に進める。このために、講義と、その理解を促すためのデモンストレーションとを講義内で併用する。

## 【評価方法】

デモンストレーションへの参加、講義内での課題提出など、複数の項目を総合的に評価し成績の査定を行う。

## 【テキスト】

参考図書を授業時間に随時指示する。

語彙と辞書 言語の科学 第3巻（岩波書店 1997）



## 比較行動論

石井 澄

集中 4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

ヒトの行動はどこまで動物的であり、また逆に動物にはどこまでヒトに近い能力があるのか。異なる種の生得的あるいは習得的な行動の特質を分析し、それらを比較することによって、ヒトという種が進化の過程においてどのように位置づけられるかを考える。

1. 比較行動研究の歴史：ヒトと動物の行動に関する視点の変遷
2. 生得的な行動の特質：種に特殊な行動の機構と機能
3. 学習行動の特質：ヒトのモデルとしての動物行動の研究
4. 動物の知的行動：比較認知科学の発展
5. ヒトの本能的行動：ヒューマン・エソロジー
6. 行動の可塑性と動物の「ころろ」

### 【授業計画】

行動の特徴は視覚的に示すことによってもっともよく理解できる。そこで、重要な行動については OHP あるいは VTR を用いて解説する。

### 【評価方法】

最後の時間に筆記試験を行なう。

### 【テキスト】

使用しない。

## 文章と産出

小原朱美

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

私達は日常生活の中で、当然のように言語を用い、人と交流し、様々な情報をやりとりしている。しかし、一歩踏み込んで考えてみると、ことばの使用には一筋縄ではいかない側面が多くある。レポートが書けない、教科書の内容が単語は理解できるのに全体がわからない、気持ちをことばにできない、その他、言葉に関するトラブルは多い。それらの問題へのアプローチとして、ことばを「単語」「文」のレベルでなく、一塊の「文章」のレベルで考える。言葉の理解・産出のシステムに関する問題を提示していくので、一人一人がそれについて考えて欲しい。全体の流れは以下のようなものです。

1. 文章表現とは
2. 物語る枠組み
  - 1) ストーリーの図式
  - 2) こどもが語り始めるとき
  - 3) 物語る工夫
3. わかり易い文章
  - 1) よい文章の条件
  - 2) 語る文・伝える文
  - 3) 文章を磨くプロセス
4. 今日的な諸問題  
漫画の文法・マニュアル文法・メール上での表現etc.
5. まとめ

### 【授業計画】

講義中心だが、実際に文章を聞いたり書いたりする課題が随時出される。

### 【評価方法】

学期末の試験が評価の中心。補助的に上記の課題の結果を用いる。課題の結果は12月頃一括で提出。

### 【テキスト】

なし。

## 広告・広報メディア論

大脇錠一

4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

普段日常生活の中で、毎日多くの広告に接しているにもかかわらず、大部分の諸君はその広告に関して殆ど無意識に過ごしてきたと思われる。しかし、広告は企業のコミュニケーション（CC）活動の一環として重要な役割を担っており、企業のマーケティング活動の中核的機能を果たしている。また、パブリック・リレーションズ（PR）としての広報・広聴活動も広告とともに企業コミュニケーションの両輪を形成している。これらの関係を講義によって理解させる。

### 【授業計画】

<前期>

第1講 企業コミュニケーション（CC）とは

- 2 CCの種類
- 3 PRと広告の違い
- 4 PRと広報の関係
- 5 広告の歴史
- 6 わが国におけるPRの歴史
- 7 CCメディアの種類
- 8 新聞・雑誌メディアの特性
- 9 ラジオ・テレビメディアの特性
- 10 その他のCCメディアの特性
- 11 パブリシティについて
- 12 受け手に与える影響
- 13 広告・広報の効果測定
- 14 今後のCCについて

\*期中に一度、予告なしでペーパーテストを実施する。

### 【評価方法】

出席率を30%、期中のペーパーテスト20%（実施時期は予告しない）、期末のペーパーテスト50%の割合で評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

## ジャーナリズム論

五十川仁達

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

通信技術の進歩であらゆる分野の情報量が爆発的に増大、世界の政治・経済・社会のシステムに大きな変化をもたらしている。こうした激変する情報化社会の中で、自己を確立、自らが進むべき方向を見いだしていくためには、情報を取捨選択し、それを生かす力を身につけなければならない。37年余に及ぶ編集一筋の新聞記者としての経験を踏まえ、取材と編集、企画・キャンペーンの立て方、誤報・虚報、プライバシーと報道など具体的なジャーナリズムの世界を講義する。

具体的テーマは

- ①通信技術の進歩とマスメディア
- ②新聞小史と現状、新聞社の舞台裏・記者クラブ、報道協定、黒板協定、記者生活
- ③紙面編集 編集局の構成、新聞文章と紙面構成、用字・用語
- ④企画、キャンペーン、インタビューの実際
- ⑤時事問題、その裏にある民族・宗教の歴史
- ⑥テレビ 放送メディアの変容、多チャンネル化
- ⑦異文化間コミュニケーション
- ⑧事実報道と問題点：誤報・虚報
- ⑨報道の倫理：報道とプライバシー
- ⑩情報化社会の問題点ーなど

### 【授業計画】

講義が中心。人は、多くの問題に直面、その問題を判断し、自分で選び取って行かなければならない。情報化社会が進展、世界の出来事が私たちの日常生活にかかわってくる。このため、問題を大枠でとらえ、基本的な問題点を知り、全体的な視野で考えなければならない。基本となる問題とアプローチの仕方の一端を伝えたい。なお、時間的余裕があれば、文章の作成、校正などの実際も取り入れたい。

### 【評価方法】

受講態度とレポート。欠出席は調査。

### 【テキスト】

テキストは使用せず、必要に応じてコピーなどを配布する。参考図書などはテーマに応じて紹介。



## 放送メディア論

遠藤雄久

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

多メディア化、多チャンネル化、更には国際化の趨勢のなかで、放送システムとりわけテレビ放送の地位は大きく揺らぎ、新しい対応を迫られている。本講義は、日本の放送の「過去・現在・未来」を具体的な事実、データに基づいて考察し、情報化社会のなかでの放送の新しい可能性を探る。

- ①日本の放送の現状
- ②日本の放送制度（ヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国との比較）
- ③放送デジタル化をめぐる（その問題点）
- ④国民国家とは何か（ベネディクト・アンダーソンの論議を中心に）
- ⑤国民国家のイデオロギー装置としての日本の放送
- ⑥戦時下のラジオ放送
- ⑦占領期の放送民主化の経過
- ⑧民間商業放送の開始
- ⑨テレビは何を放送してきたのか（テレビ番組論）
- ⑩メディア・リテラシーを考える
- ⑪主体的なオーディエンスを目指して
- ⑫放送の未来を展望する

### 【授業計画】

随時、講義のレジメと関連する参考資料を配付する。また、ビデオなど映像資料を見ながら進める。参考図書もその都度紹介する。

### 【評価方法】

学期末の所定のテスト期間に論文形式のテストを行う。

### 【テキスト】

使用しない。

## 視聴覚論

東浦信博

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

主として視覚における知覚と認知のメカニズムを考察し、視覚を媒介とするコミュニケーションの特性を考える。併せて、この目で見るものの確かさを検討する。

1. 序論
  - a. 人の感覚について
  - b. 「みる、みえる」とは
2. 視覚の生理学
  - a. 眼球の解剖学的知見
  - b. 視神経のしくみ
  - c. 脳との関わり
3. 視覚認知
  - a. 視覚認知
  - b. 視覚の情報処理
  - c. パターン認知のモデル
4. 視覚の原理
  - a. 図と地
  - b. 群化の法則
  - c. 錯覚
  - d. 奥行き知覚
  - e. 恒常現象
5. 映像の客観性と主観性
  - a. 報道写真の見方
  - b. 基本原則
  - c. ウソ写真の作られ方
  - d. 映像のデジタル化
  - e. バーチャル・リアリティ
6. 聴覚について
  - a. 耳の解剖学的知見
  - b. 神経・脳との関わり
  - c. 錯聴・幻聴

### 【授業計画】

多数の資料を OHP で見ながら話を進める。

### 【評価方法】

論述式定期試験（ノート持ち込み可）。

### 【テキスト】

なし。

# 情報システム論

西荒井学

3年 後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

情報ファイルの設計ならびに管理の問題、特に電子化されていく情報ファイルの問題に焦点を当てて学習していく。

- 1) ガイダンス
- 2) システム開発工程
- 3) 電子ファイリング・システムの必要性
- 4) 電子ファイリング・システムの機能と特徴
- 5) 画像イメージと記録媒体
- 6) 電子ファイリング・システムの適用分野
- 7) 開発実習
- 8) 開発実習（個人別課題）
- 9) 開発実習（グループ別課題）
- 10) まとめ

## 【授業計画】

前半では、システム開発全般に関する問題について講義を実施する。後半では、受講者をグループに分け、簡単なファイリング・システムを実際に開発する。

## 【評価方法】

出席状況、課題レポート、実習課題の成果、ならびに学期末試験にて評価する。

## 【テキスト】

テキスト使用せず（プリント配布）。

# 尺度構成法

斎藤和志 石田靖彦

3年 前期 選択 2単位

## 【授業の概要】

心理学の領域では質問紙によってデータを収集することが少なくない。社会的態度や性格を測定するための尺度は、ある概念をまとめた複数の項目によって測定するような1つの物差しと考えることができる。高い信頼性と妥当性をもつ尺度を作成する際には、測定しようとする概念の心理学的な検討が必要であると同時に、作成の手続きや統計的分析などと関連する技術の習得も必要となってくる。本講は、テーマを設定し、実際に尺度を作成する手続きを習得することを目的とする。基本的な事項の講義に加えて、参加者が積極的に参加することが必須である。演習・実習はグループで行う。基礎統計法、基礎実習、研究法実習をふまえての演習である。授業時間以外にも調査、実習を行う可能性が大きいので、覚悟の上履修すること（途中放棄厳禁）。なお、利用可能なコンピュータの台数や指導の都合から受講者を30名までとし、受講希望者が多い場合は抽選とするので、掲示等の連絡に注意すること。

## 【授業計画】

1. 心理学的尺度とは
2. 尺度構成の手続き
3. 尺度構成の技法
4. 尺度構成の実際
  - 1) 測定する概念の検討
  - 2) 項目の収集と予備調査
  - 3) 項目の分析とその評価
  - 4) 最終尺度の作成
  - 5) 尺度の実施とその評価
5. レポートの作成

## 【評価方法】

最終的なレポートに加えて、通常の参加態度等を含めて全体的に評価する。

## 【テキスト】

未定（おそらく使用しない。資料を配布する）。



## 心理検査法

西出隆紀 山口智子 坪井さとみ

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各種の心理検査についての基礎知識と実施方法を学び、実際に検査を実施して結果を解釈し、報告書（クリニカル・レポート）を作成することで心理診断の基礎を築く。基本的には、病院の心理士や児童相談所・精神薄弱者更生相談所等の心理判定員に就職したと仮定した場合に全く心理検査を知らないで冷や汗をかくようなことがない程度、という水準を目指している。

### 【授業計画】

全体的オリエンテーションと心理検査の基礎について講義した後、以下の検査について学ぶ。3グループのローテーションで指導するため、以下に示した順番通りに進まないグループもある。

1. 知能検査 (1) 知能の概念と知能検査の歴史についての講義の後、WAIS-R知能検査についての基礎知識と実施方法を学び、検査を実施して報告書を作成する。
2. 知能検査 (2) 知能検査の問題点に関して講義した後、全訂版田中ビネー式知能検査についての基礎知識と実施方法を学び、検査を実施して報告書を作成する。
3. 人格（性格）検査 (1) MMPI（ミネソタ多面人格目録）についての基礎知識と実施方法を学び、自らも被検査者になり、また他者にも検査を実施して報告書を作成する。
4. 人格（性格）検査 (2) PFスタディ、YG性格検査についての基礎知識と実施方法を学び、自らを被検査者として報告書を作成する。
5. 精神作業検査 内田クレペリン精神作業検査についての基礎知識と実施方法を学び、自らも被検査者になり、また他者にも検査を実施して報告書を作成する。
6. 発達検査 津守・稲毛乳幼児発達診断検査、遠城寺式乳幼児分析的発達検査法についての基礎知識と実施方法を学ぶ。乳幼児の発達検査に関して報告書を作成する。

### 【評価方法】

出欠・授業態度とレポートで成績評価する。レポートは各検査毎に提出しなければならない。また、1回でも欠席したりレポート提出を怠ったりした場合は単位を認めない。しかも、ペアの関係があるので、たとえ単位を断念したとしても、出席し続けなければならない。

## データ解析

廣岡秀一

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

心理学研究において収集するデータの特徴を知るとともに、統計学の基本的な考え方を理解することによって、意味ある情報を引き出すための適切な解析法が利用できるようになることをめざす。

1. データとその性質
2. 質的データと量的データ
3. 分布
4. 平均と分散
5. 分布の中の相対位置
6. 相関関係
7. 統計的仮説検定の考え方
8. 平均値の検定（検定、分散分析法）
9. 多変量解析の考え方

### 【授業計画】

基本的には講義となるが、受講生の理解を促すために課題の提出を求めることが多々あろう。しかし、受講生の統計に対する理解度に応じてフレキシブルに内容を構成していくスタンスをとる。したがって、数回、小テストおよび小レポートを課することになる。

### 【評価方法】

随時行われる小テストと簡単なレポート課題。その結果と、定期試験の結果とを総合し、成績評価とする。

### 【テキスト】

心理学のためのデータ解析テクニカルブック（森敏昭・吉田寿夫編著 北大路書房 3,700円）

## コミュニケーション専門演習1

植村勝彦

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

家族、地域社会、福祉状況の今日的課題や問題を「人間の実存の問題」として、また「自分の問題」として捉え、その状況把握と改善へ向けての方策を真剣に考える姿勢を養うこと。そしてそれを、自ら実証的方法によって検討できるようにすること、を課題と目標とする。

上記の課題と目標が達成できるようにするために、まずは社会心理学の研究法および質問紙調査法を正確に理解し、また家族や地域社会、福祉に関する心理学的・社会学的研究を扱った概説書を読むことを通して、今日の問題の全体像を視野に収めること（前期）、各自が関心を持つ卒論テーマを見つけて確定するとともに、卒論のデータ解析に欠かすことのできない多変量解析の諸種法を実際の調査データによって学習すること（後期）、を通年の内容とする。領域は、「社会コミュニケーション論1a・b」で扱った内容を中心に、その他家族心理学、環境心理学、生涯発達心理学、福祉心理学、コミュニティ心理学の各関連領域とする。

### 【授業計画】

前期：①教科書「心理学マニュアル：質問紙法」を解説する。これにより、質問紙調査の実際を理解する。

②個人研究発表。各自の関心テーマについて、著書・論文を読んでまとめた上で発表する。

後期：①教科書「多変量解析ガイド」を用いて各種の技法を解説するとともに、実際に調査を実施して得られたデータを用いて各自が体験的に理解する。

②個人研究発表。前期に引き続き、卒論に向けての発表を行う。

### 【評価方法】

毎回分担の個人発表や宿題が課せられ、レポートや発表レジュメの提出が求められるので、それらにより総合評価する。

### 【テキスト】

心理学マニュアル：質問紙法（鎌原雅彦他編 北大路書房）

数学が苦手な人のための多変量解析ガイド（古屋野亘著 川島書店）

## コミュニケーション専門演習1

宇野善康

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

この専門演習では、宇野研究会のメンバーの卒論作製指導をおこなう。

卒業論文の作製の仕方、科学的な表現方法、実証的な研究方法、文献の参考や引用における注意事項などにわたって説明しますが、くわしくは、研究会所属のメンバーの学習水準に応じて、指導内容や指導水準を適宜、選択して指導をおこなう。

宇野研究会の既卒業生の卒業論文の輪読もあわせておこない、その批評や検討の上に、希望があれば今日までの宇野研究会の伝統的な研究の積み重ねをベースにして、各自の特定テーマのより深い研究を期したい。

4年生時のコミュニケーション専門演習2においては各自の研究テーマにしたがって卒業論文構想の進歩振りや論文作製上の諸問題について報告していただくもので、そのための準備をこの3年生時のコミュニケーション専門演習1において完了されることを期している。

### 【授業計画】

### 【評価方法】

成績評価は卒業論文の準備の達成度とその内容の水準を見て評価する予定。

### 【テキスト】

講義の最初の時間に相談の上、決定する。



## コミュニケーション専門演習1

江口昇勇

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

演習の目標は臨床心理士を育てることであり、訓練の場と位置づけている。3年生は互いを知り合うための自己紹介を体験する。ここでは恥ずかしさとの直面化と、内面をさらけ出すときに生じる不安を深く味わい、ゼミのイニシエーションを受けることになる。その後は感受性訓練を丁寧に体験し尽くし、後期では、エゴグラムと円枠家族描画法により家族力動を診断し、次に言語連想検査によりコンプレックスを探る。また同時に自分史作成の課題が出されており、それらの資料が揃ったところで個人分析が後期の後半からスタートする。

### 【授業計画】

＜前期＞ 1) ゼミ進行のオリエンテーション、2)～5) 様々な状況を設定しての自己紹介、6)～10) 感受性訓練、11)～13) F-C-C-Dを通じて家族力動を探る、  
＜後期＞ 1)～2) 言語連想検査の実践、3)～8) 言語連想検査と自分史を媒体に個々人のコンプレックスを探求する個人分析、9)～13) 特定されたコンプレックスを球体アクティブ・イメージーションによって探求する。

授業概要から明らかなように、ほとんどが実践的授業である。扱う内容が多義に渡るために学生はゼミの時間以外に予備学習や補習、実技の実践が必要となる。まとめの時間も膨大であると思われるので、時間的にかなりの余裕のある方しか参加は困難と思われる。それと自己と向き合う自我の強さも必要となる。

### 【評価方法】

ゼミでの積極的な参加態度、その都度のレポートの内容、自己に向かう姿勢、等を考慮する。何より自己に向かう姿勢は必ずと外に現れるものであり、自分に甘くなれば当然見えてくるものも見えなくなるので、成績評価は教員によるばかりでなく、むしろ自己申告する形となる場合が多い。

### 【テキスト】

その都度、指示する。

### 【参考書籍】

なし。

## コミュニケーション専門演習1

遠藤雄久

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

- ①まず、各人がこれまでのメディアとの関わりを「自分史」風に（例：「私とテレビ」）まとめて発表しあう。そのことによって、これまで漫然と接してきたメディアとの関係を反省的に見つめ直し、個人的なメディアとの関わりを社会的文脈のもとに置き直してみる。
- ②次に、指定の教科書の購読を通じて、メディアとは何か、メディアに関する理論、研究領域、研究方法などを概観する。
- ③次いで、具体的なメディア内容（テレビ番組・ドラマ、ニュース、ワイドショーなど。新聞記事、雑誌記事、インターネットのHPなど）の分析を行い、メディア・テキストの内容・構造分析の技法に習熟するようにする。
- ④随時、メディアに関するトピックスを様々な角度から議論する。取り上げる話題は学生が輪番で提案することにする。そのためには、メディア関連のニュースに常に敏感であるように心がける。
- ⑤以上を通じて学年末には卒業論文の研究テーマを確定できるようにする。

### 【授業計画】

前期は教科書中心に進めるが、後期は学生のイニシエーションを徹底的に尊重する。そのため、関心領域別に班分けをすることも考える（たとえば新聞班、テレビ班、広告班など）。

### 【評価方法】

平常点を基準にする。発想の豊かさ、情熱、協調性などを考慮する。

### 【テキスト】

メディア・コミュニケーション論（竹内郁郎他編 北樹出版）

## コミュニケーション専門演習1

斎藤和志

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

私たちの対人行動や集団行動に焦点を当て、社会心理学的観点から考察していく。研究の対象となる行動が私たちの身近な問題であるだけに、自己を客観的に見つめ、他者を冷静に観察することが必要となる。そのためには、社会心理学におけるさまざまな考え方、モデル、理論などを理解し、データを客観的に分析する技法を習得しておくことが必須である。問題を明確化し、研究計画を立てることで、卒業論文への方向づけを行う。

ゼミ形式で行う。前半は、社会心理学における考え方、モデル、理論に関連する文献と、実験社会心理学研究、社会心理学研究等の研究論文の講読を中心に行う。後半は各人の問題意識の明確化と卒業論文に向けての予備実験、予備調査を目指し、具体的な問題を扱うことによって、研究の流れを把握することにつとめる。また、受講生は、3年次開講の「尺度構成法」にエントリーし、「データ解析」の単位を取得することが必須である。学生の自主性を尊重する。

### 【授業計画】

- ①社会心理学的研究法
- ②社会的認知対人認知、帰属過程、ステレオタイプの判断など
- ③態度の形成と変容社会的態度、対人的態度、説得的コミュニケーションなど
- ④対人的相互作用対人関係、対人感情、対人行動など
- ⑤研究計画の立案・実施

### 【評価方法】

ゼミ形式で行うので、授業への参加が必須である。与えられた課題・レポートおよび参加態度などを考慮した総合的評価を行う。

### 【テキスト】

使用せず。使用する場合は、事前に連絡する。

## コミュニケーション専門演習1

清水 道

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

生体内外の情報のコミュニケーション過程で生じる様々な反応のうち、我々の行動に直接変化をもたらす感情的プロセスを精神生理学的観点から検討する。

### 【授業計画】

前期は、精神生理学に関する基礎的知識の習熟のため配布プリントに添って解説をする。また、われわれの感情体験と深く関係したトピックスについて内外の文献も広く講読する。

後期は、講読文献に基づいて各自が選択した研究テーマとそれに関する内外の論文についてレポーター形式で発表、討論を重ねる中で、最終的に自己の研究テーマを決定し、生理学的手法を取り入れた実験計画を立てる。

### 【評価方法】

レポートの評点で評価する。

### 【テキスト】

適宜プリントを配布する。



## コミュニケーション専門演習1

杉本助男

3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

下記テーマに関する研究論文の何れかを選択し、各自が読み、発表し、お互いに討論する。また、英語論文の輪読も併せて行う。この過程で自分の興味のもてる研究課題を選ぶ。

1. 誘発電位の個人差と行動特性
2. コーヒー、香りなどの鎮静、覚醒効果に関する生理心理学的研究
3. 感情と顔面表情との関係に関するポリグラフ研究
4. 対人同調のポリグラフ研究
5. 睡眠や生体リズムに関する生理心理学的研究
6. 脳障害部位と行動特性に関する臨床神経心理学的研究
7. 脳の老化と行動特性に関する臨床神経心理学的研究

### 【授業計画】

毎時間2名が発表し、討論する。最終的に研究計画を立てその吟味を行う。

### 【評価方法】

毎時間の発表、討論内容等から評価する。

## コミュニケーション専門演習1

西出隆紀

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

家族に関わる臨床的テーマを取り上げ、それらについての論文や事例の講読演習とロールプレイング等による体験学習を行う。これにより心理臨床の実践のベースとなる体験の獲得と卒業論文作成の土台作りを目指す。また、後期に情緒障害児短期治療施設での臨床実習を行う予定である。臨床現場の厳しさを肌で感じ、1人の子どもの生き方に真剣に関わり、それを考え、ケースレポートをまとめてケースカンファレンスに臨む。それによって、心理臨床の本当の難しさを体験することになる。

### 【授業計画】

<前期>

1. オリエンテーション 対人関係の経験（運動場で実施）
2. 事例研究論文講読 2名ずつのペアで、神経症、不登校、摂食障害、自閉症、精神分裂病などの症例の論文を読んでレジュメにまとめ、レポーター形式で討論する。各症例の発症メカニズムや治療方針を検討することにより、心理臨床実践に対する理解を深める。
3. 体験実習 箱庭療法体験、コラージュ療法体験、催眠療法体験などを通じて、クライアントの立場に立って理解を進める態度を養うと同時に、心理臨床実践への体験的理解を深める。

2, 3の内容は毎週交互に行われる。箱庭療法体験などは授業時間外にも箱庭作成等のための時間が必要となる。

<後期>

1. 論文講読 「Family Process」等の家族心理学関係の研究誌に掲載された論文を中心に、広く家族心理学・家族臨床に関わる論文にふれ、研究論文の読み方・書き方を学ぶ。
2. 体験実習 ミニ試行カウンセリング、解決志向型短期療法のロールプレイ等を行い、体験的に心理療法を理解していく。
3. 家族臨床実践の検討 事例報告を講読、もしくは担当者らの家族療法のビデオなどを視聴し、事例検討を行う。以上1～3の内容を概ね週変わりて扱っていく。

情緒障害児短期治療施設実習とその事前学習（夏期休業中に実施）がこれに加わる。

### 【評価方法】

出欠と授業態度を中心にして成績評価する。

## コミュニケーション専門演習1

古井 景

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

『いい子』とは、『相手にとって都合の“いい子”』のこと。『いい人』とは、『人がいい“お人好し”』のこと。『これはこうに決まっている』という人』とは、『選択肢を一つしか持っていない人』のこと。『精神的に能力の高い人』とは、根性で物事を押し通すのではなく、『物事に対して“柔軟”に対応できる人』のこと。

このように、我々はいつの間にか多くの誤解を植え付けられている。“自分自身”にではなく、“他の誰か”にとって都合のいい理屈に支配されていることが少なくない。何故か“selfhood”すなわち“自分らしくあること”に罪悪感を感じてしまう。

こうした不自然さに目を向け討論を重ねることで、この演習に参加した学生が、『年齢相応の現実的主体性』を十分に成熟させることができるようにしていきたい。具体的な検討課題は、演習に参加する学生が個々に見つけだし、議論を深めていく。

### 【授業計画】

毎回、担当者を決め課題発表を行い、参加者全員での討論を通して、互いに知識を深めていく。

### 【評価方法】

知識の深さ、理論の構築能力、言語的表現力など総合的に評価する。

### 【テキスト】

使用せず。参考図書はその都度提示する。

## コミュニケーション専門演習1

吉崎一人

3年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

認知神経心理学に関する研究方法全般を学習する。研究論文の検索、実験器具の使い方、プログラムの使用方法、データの整理、分析方法、レポートの書き方をグループでの実験を通じて学ぶ。

実験の実施と並行して研究論文を購読し、最近の認知神経心理学の動向について学習する。

### 【授業計画】

<前期>

4月～6月 研究論文の購読

5月～7月 実験計画の立案、実施、分析。

<後期>

10月～11月 実験の結果のまとめ（ホームページへの掲載）

10月～1月 研究論文購読並びに卒業研究テーマの決定

1月～3月 卒業研究計画の発表並びに予備実験実施

### 【評価方法】

レポーター（プレゼンテーション）の授業計画と授業へ取り組み姿勢を総合的に評価する。

### 【テキスト】

「心理学実験・研究レポートの書き方」 B・フィンドレイ著（細江・細越 訳） 北大路書房 ¥1,300



## コミュニケーション専門演習2

植村勝彦

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

3年次の「コミュニケーション特殊演習1」をふまえて、調査法、面接法などの、データを直接収集・分析するという実証的研究法により、卒業論文を作成することが課題と目標である。

### 【授業計画】

3年次末までに確定した各自のテーマに従って、調査や面接の項目を作成し、対象者を得て、実施・分析・論文作成に至るまでの全過程について、指導・助言する。

前期は、毎回個人発表を行い、進捗状況に応じての助言・指導をする。とくに調査票の完成までの段階に全力を注ぐ。

夏休み前から後期授業の開始時期にかけて調査を実施する。

後期は、各自のデータに基づく、解析の方法の解説と実践の個別指導を中心に進める。11月上旬に中間発表会を行い、12月上旬に下書きを提出してもらい、添削する。

### 【評価方法】

毎回の個人発表、および作成された論文によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## コミュニケーション専門演習2

宇野善康

4年 通年 選択 2単位

この授業は、コミュニケーション専門演習1に準じてすすめます。

## コミュニケーション専門演習2

江口昇勇

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

4年では、ゼミを時間的に便宜上、自己探求を行うグループと臨床心理学研究を行うグループとに分けて行う。自己探求グループでは3年の延長として自己の問題に直面化し、自分が取り組むべきコンプレックスとの格闘を行う。その際、個々人の中心となるシンボルを球体アクティブ・イマジネーション体験によって拡充、あるいは直接的に扱うことで発展させる。その他にも、夢の分析やコラージュ療法、描画法、箱庭療法を用いる場合もある。臨床心理学研究を行うグループでは、これまでには3年から継続している養護施設や障害児（者）施設における利用者とのボランティアのかかわり、あるいは絵画グループでのかかわり等でであったクライアントに対して事例研究法的に接近を試みる者、調査法と臨床面接法を併用しながら臨床的テーマ（摂食障害、女性性の問題、心身症の問題等）に接近する者、実験的な手法でカウンセリング場面での治療的人間関係や転移・逆転移に焦点づけた研究を行う者等がいた。

### 【授業計画】

毎時間、発表者を決めて自己探求、対象研究の進行状況を報告する。事例研究の場合には、ゼミの時間がグループ・スーパービジョンの場となるし、主観性の濃い研究においては、ゼミの場でグループ検討することで客観性に近づく作業を行うことになる。なお、毎年、ゼミの時間だけでは足りなくなるので、合宿を行ったり、日曜日に登校して不足分を補うことが必ずあるので、時間の余裕を持ってない人はゼミを選ばない方が無難である。卒業論文のゼミでのメ切は12月1日となっている。

### 【評価方法】

ゼミでの積極的な参加態度、その都度のレポートの内容、自己に向かう姿勢、等を考慮する。何より自己に向かう姿勢は自ずと外に現れるものであり、自分に甘くなれば当然見えてくるものも見えなくなるので、成績評価は教員によるばかりでなく、むしろ自己申告する形となる場合が多い。

### 【テキスト】

その都度、指示する。

## コミュニケーション専門演習2

遠藤雄久

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

前期中は各自の卒業研究についての発表を中心に進める。発表は前週に作成し配布したレジュメにもとづいて行う。レジュメの作成、発表の技法にも習熟するよう努める。後期は、論文完成のための個人指導を行う。

### 【授業計画】

### 【評価方法】

### 【テキスト】

使用せず。



## コミュニケーション専門演習2

加藤義信

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

学生が各自設定した研究テーマに沿って、文献の講読、実験や観察の指導を行い、研究論文にふさわしい卒業論文の完成をめざします。

その過程で、心理学が蓄積してきた方法論についても学びますが、既存の方法の厳密な適用によってつまらない現象を正確に知ることよりも、新鮮な視点から現象を見ることによって、一つでも自分にとっての新しい発見がなされることを重視します。

空間イメージ（大規模空間表象の個人差、空間移動ストラテジーの分析、移動時のコミュニケーションの分析など）、子どもの描画発達、身ぶりと表象、認知発達全般が指導できる範囲の研究テーマです。学生はこうした領域の中から具体的なテーマを選び、1年間かけて本格的な研究論文を仕上げます。アプローチの方法は観察と実験が中心となり、臨床的アプローチや調査を手段とする研究は指導の対象外となりますので、注意してください。

### 【授業計画】

毎回、担当者を決め、卒業論文の内容を全員で検討すると同時に、個別に時間をとって論文指導を行います。

### 【評価方法】

課題発表の内容、形式の水準によって評価します。  
試験は行いません。

### 【テキスト】

使用しません。

## コミュニケーション専門演習2

斎藤和志

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

3年次の「コミュニケーション専門演習1」で計画立案した卒業研究を実行に移し、対人行動に関する研究知見を卒業論文としてまとめあげることが最終的な目標とする。各学生は、明確な問題意識と自覚をもって自主的に研究活動に取り組まなくてはならない。

各学生の進度に応じて進める。学生の自主性を尊重する。

### 【授業計画】

- ①問題意識の明確化と目的の具体化および研究方法の検討
- ②データの収集およびその分析
- ③結果の考察と卒業論文の作成

### 【評価方法】

卒業論文作成の過程と成果によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## コミュニケーション専門演習2

清水 遵

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

3年次に計画した実験について発表、討論を行い、卒業論文完成のための指導をする。

実験では、脳波、心電図、呼吸、筋電図、皮膚電気活動、血圧などの電気生理学的指標を用いるが、これに加え、本年は、心理学の分野でも注目されてきている精神内分泌物質（ホルモン等）を指標として用いる。

### 【授業計画】

以下の研究テーマのうち、同領域のテーマをもつ2～3人を1グループとし、グループ単位で研究指導する。

1. 環境の快適性に関する研究  
香りの感情に及ぼす影響  
音（音楽）の感情に及ぼす影響  
色（照明）の感情に及ぼす影響
2. アニマルセラピーが高齢者の感情コントロールに及ぼす効果
3. オーディオ・ビジュアル通信コミュニケーションにおける信号遅延の影響

### 【評価方法】

研究に取り組む姿勢および卒業論文で評価する。

### 【テキスト】

使用しない。

## コミュニケーション専門演習2

杉本助男

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒業研究のための実験計画を立て、同時に関連論文を購読する。卒業論文のテーマは下記から選択する。

1. 誘発電位の個人差と行動特性
2. コーヒー、香りなどの鎮静、覚醒効果に関する生理心理学的研究
3. 感情と顔面表情との関係に関するポリグラフ研究
4. 対人同調のポリグラフ研究
5. 睡眠や生体リズムに関する生理心理学的研究
6. 脳障害部位と行動特性に関する臨床神経心理学的研究
7. 脳の老化と行動特性に関する臨床神経心理学的研究

### 【授業計画】

上記テーマについての実験を遂行し、その結果の分析を行い、卒業論文へとつなげていく。

### 【評価方法】

実験計画、結果の分析等から評価する。



## コミュニケーション専門演習2

西出隆紀

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

3年次の内容を更に発展させて、心理臨床に必要な知識と技術を身につける。

また、卒業論文を作成するために、文献収集や研究方法などの基礎を学び、実際にデータを収集して分析・考察をする。

### 【授業計画】

<前期>

#### 1. 卒業論文指導

卒業論文の作成に向けて、各人が興味を持つ内容に関する論文をレポーター形式で発表してもらい、討論をする。

#### 2. 体験実習

投影法を中心に心理臨床、特に病院臨床分野で必要な検査の実習を行う。

<後期>

#### 1. 卒業論文指導

各自が卒業論文作成の進行状況をまとめて報告し、参加者全員で問題点などを討議しつつ、よりよい論文作成を目指す。おおよそ各自の発表は以下の過程をたどることになる。

1. 問題意識と研究目的の検討
2. 研究方法の検討
3. 結果と考察の検討
4. 論文提出前の全体的検討
5. 執筆した卒業論文の発表

### 【評価方法】

出欠と授業態度を中心に成績評価する。

### 【テキスト】

その都度指定。

## コミュニケーション専門演習2

吉崎一人

4年 通年 選択 2単位

### 【授業の概要】

卒業研究完成を目指す。

各自自分のテーマにそって、実験を実施し分析する。自分の研究に関連する文献を購読し、発表する。

### 【授業計画】

各自卒業研究の進行状況並びに、関連論文の紹介を行う。

### 【評価方法】

授業への出席状況、卒業研究論文、卒業研究に取り組む姿勢、研究結果のプレゼンテーション（発表会・ホームページ）を総合的に評価する。

### 【テキスト】

なし。

## コミュニケーション特殊講義1

加藤雄一

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

精神病理学上の基礎的な病態・今日的な精神的諸問題・アプローチの方法論などについての知識を与えるような諸項目を含んだ講義を行う。

以下に講義の項目をあげておく。

- ◇ 精神病理学の意味と方法論
- ◇ 基礎的な病態：神経症、心身症、気分障害、人格障害、児童・青年期の精神障害、精神分裂病など
- ◇ 今日的な諸問題：心的外傷後ストレス障害、アダルトチルドレン、多重人格、性同一性障害、テクノ依存症（インターネット中毒）、ターミナルケア、老年期の不安、エイズ不安など
- ◇ その他：精神分析学ABCなど

### 【授業計画】

精神病理学で問題にすることは、結局コミュニケーションの歪みについてでもある。コミュニケーション上の問題として、出来るだけ講師が経験した事例をあげて、分かりやすく説明する。

### 【評価方法】

授業の最終日に筆記試験を行う。

### 【テキスト】

毎回講義についての刷り物を渡す。全部で一冊のテキストとなる。

## コミュニケーション特殊講義2

二宮克美

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生涯発達心理学の観点から、重要なキーワードを50選定し、解説していく。発達心理学の基礎的事項を一通り学んだ学生諸君が、さらに理解を深めるために計画されたものである。発達心理学を違った角度から見られるようになることが主たるねらいである。また、人前で発表するという経験をする中で、プレゼンテーションの技術の修得も目的の1つである。

### 【授業計画】

- I. 発達心理学の研究法：コーホート分析、比較分化的研究法など9項目
- II. 発達の理論的諸問題：社会化、熟達化、児童観など14項目
- III. 誕生から幼児期まで：一語文、ファンタジー、愛他的行動など9項目
- IV. 児童期から思春期まで：リテラシー、ニューメラーシ、プラン能力など7項目
- V. 青年期：職業選択、配偶者選択、同一性の危機など6項目
- VI. 成人期から老年期まで：加齢、孤独、幸福など5項目

### 【評価方法】

授業への貢献度、レポートや授業の出席状況など、総合的に加味して評価する。

### 【テキスト】

キーワードコレクション発達心理学（子安増生編著 新曜社）



## コミュニケーション特殊講義3

加藤義信

集中 3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

私たちが日々生活している環境空間のイメージに関する諸問題を考えます。環境のイメージには、環境の物理的広がりをどう人間がとらえているかに関する認知的イメージと、環境に対する美的な感受性や、快適度の判断に関する評価的イメージの2つがありますが、この両者をともに視野に入れた講義を展開します。

- 1) 環境のイメージの種類
- 2) 環境の認知的イメージの形成
- 3) 大規模空間の経路表象の個人差に関わる問題の検討—方向感覚とは何か—
- 4) 環境の評価的イメージ—都市景観の知覚—
- 5) 風景論をめぐる問題

### 【授業計画】

参考文献と併せて、講義の進展に沿ってその都度、資料を配布します。また、ビジュアルな教材の利用を心がけた講義にしたいと思っています。

### 【評価方法】

学期末の試験の成績によって評価します。

### 【テキスト】

空間に生きる—空間認知の発達の研究—（北大路書房 1995年 3,296円）

## コミュニケーション特殊講義4

植村勝彦

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代人の最新の関心事となっている「ストレス」について、心理学の立場からの研究成果の概要を講述する。コミュニケーション行動との関連については、コミュニケーション行動そのものがストレスを引き起こすストレス源（ストレス源）になる場合もあれば、ストレスをもつ人へのソーシャル・サポート（社会的支援）として、コミュニケーション行動を有効に用いることも可能である。

### 【授業計画】

第1講 序. 導入

第2講 1. ストレス研究の歴史

1) 医学におけるストレスの概念

第3講 2) 心理学におけるストレスの概念

第4講 2. 心理的ストレスの測定

1) 生活ストレスの研究

第5講 2) 生活ストレスの測定

第6講 3) 心理的ストレス反応の測定

第7講 3. ストレス対処行動

1) 対処行動とは

2) 対処行動の分類と測定

第8講 3) 対処の規定因

4) タイプA行動とストレス対処

第9講 4. ソーシャル・サポート

1) ソーシャル・サポートとは

第10講 2) ソーシャル・サポートの測定

第11講 3) ストレスとソーシャル・サポート

第12講 5. ストレス・マネジメント

1) パーンアウト現象

第13講 2) ストレス・マネジメント

### 【評価方法】

学期末の単位認定試験により評価する。

### 【テキスト】

毎回配布するプリントにより講義・解説する。

### 【参考書籍】

「ストレス」の肖像（林 峻一郎著 中公新書）

## 応用コミュニケーション1

斎藤和志

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

対人行動について、コミュニケーション学科在籍4年間で学びとったことを、「小論文」という形にまとめあげることがこの演習の目的である。各学生は、自覚をもって自主的に研究活動に取り組みなくてはならない。

各学生の進度に応じて進める。受講生は、3年次開講の「データ解析」の単位を取得することが必須である。学生の自主性を尊重する。

### 【授業計画】

- ①問題意識の明確化と小論文の方針決定
- ②資料データの収集とその整理・分析
- ③全体的考察と小論文の作成

### 【評価方法】

小論文作成の過程と成果によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 応用コミュニケーション2

遠藤雄久

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

メディアを批判的に読み解くー「メディア・リテラシー」ーを身につけることを目的とする。テキスト『新版 現代文化を学ぶ人のために』の講読を中心に各自の研究テーマを確定するよう指導する。

### 【授業計画】

- テキスト『新版 現代文化を学ぶ人のために』の
- 第6章 ジャーナリズムのまなざしー客観報道と好奇心
  - 第7章 映像化社会の成立と映画の変容
  - 第9章 ポピュラー音楽へのアプローチ
  - 第12章 「私らしさ」の神話ーファッションという制度ー
  - 第13章 スポーツと日常生活に見る滑走感覚
  - 第15章 愛と性をめぐる文化
- 以上の六つの章のうち各自の関心のあるものを選んで熟読し、それぞれレジメを作成する。レジメをもとに発表を行う。これを通じて小論文のテーマを確定するよう指導する。

また、その時々メディアに関連したトピックスを資料に作成し配布し、メディア論的視点から解説を加え全員で論議を深める。

### 【評価方法】

小論文の内容で評価する。

### 【テキスト】

新版 現代文化を学ぶ人のために（井上俊編 世界思想社）



## 応用コミュニケーション3

西出隆紀

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

各自のテーマに基づいた小論文作成のための指導を行う。

各自関心のある心理学的テーマを取り上げ、小論文にまとめる。毎週数名が発表者となり、参加者全員の討議でその小論文がより良いものになることを目指す。

### 【授業計画】

演習形式で進める。小論文作成に関わるので、欠席は殆ど許されないと考えてほしい。

おおよそ各自の発表は以下の過程をたどることになる。

1. 関連論文の紹介
2. 問題意識と研究目的の検討
3. 研究方法の検討
4. 結果と考察の検討
5. 執筆した小論文の発表

### 【評価方法】

出欠・授業態度と小論文の出来で評価する。従って受講は小論文の指導を受けようとする学生に限る。

### 【テキスト】

その都度指定。

## 応用コミュニケーション4

江口昇勇

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

自己探求を目的とし様々な臨床心理学的接近を試みる。この授業は江口小ゼミにおける自己探求の総仕上げの場として位置づけられている。小ゼミでは自主ゼミながら3年次と4年前期までに様々な状況を想定しての自己紹介、感受性訓練、F-C-C-D（円枠家族描画法）による家族力動の解明、言語連想検査と自分史による個人分析を行ってきており、この授業だけを単独で受講すると理解しづらいことがあるので承知しておくこと。この授業ではこれまでの作業で明らかになっている個人のコンプレックスの解消、あるいは克服に向けた作業が球体アクティブ・イマジネーション体験を用いて行うことになる。授業の一部で、ドリーム・ワーク＝（夢に参加メンバーで共有する作業）を行う予定であるので、受講生には夢の記録が義務づけられている。

### 【授業計画】

ここでは3年からの一連の作業を紹介する。授業では最後の部分を実践することになる。①ゼミのオリエンテーション、②様々な状況を設定しての自己紹介、③感受性訓練、④F-C-C-D（円枠家族描画法）を通じて家族力動を探る、⑤言語連想検査によりコンプレックスを探る、⑥自分史により個人分析を行う、⑦球体アクティブ・イマジネーション体験によるコンプレックスの克服、離脱をさぐる。実践中心の講義であるため、欠席が続くと自分の居場所がなくなり、参加しにくくなる。自己理解という作業は「苦労した分だけ自分のものになる」ということが鉄則である。逃げたり、手を抜けばどこまでもそれは可能であるが、それでは意味を失うだけで時間の無駄となる。

### 【評価方法】

ディスカッションにおける発言内容、応答における積極的姿勢、レポート課題によって評価する。

### 【テキスト】

テキスト使用せず。必要なものはコピーを配布する。

### 【参考書籍】

なし。

## 応用コミュニケーション5

吉崎一人

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

小論文の完成を目指す。

### 【授業計画】

自分の研究に関連する研究の論文を購読する。  
実験計画、実施の指導、小論文執筆指導を個別に行う。

### 【評価方法】

小論文と卒業研究に取り組む姿勢で評価する。

### 【テキスト】

「心理学 実験・研究レポートの書き方」B・フィン  
レイ著（細江・細越訳） 北大路書房 ¥1,300

## 応用コミュニケーション6

杉本助男

4年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

情動表出と認知、情動刺激の学習等に及ぼす効果などの論文を購読し、以下のようなテーマについて、実験研究、質問紙研究、または文献研究を行い、小論文を作成、提出する。

1. 顔の非対称と行動特性や感情に関する研究
2. 香りの人に及ぼす効果の生理心理学的研究
3. 睡眠と行動特性に関する生理心理学的研究
4. 生体リズムに関する生理心理学的研究
5. 脳と人間行動に関する文献研究

### 【授業計画】

各自の選んだテーマに関する論文を購読し、そのテーマに関して具体的研究計画を立て、研究を遂行する。

### 【評価方法】

論文購読、研究計画、小論文の内容等から評価する。



# 応用コミュニケーション7

清水 遼

4年 後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

複雑で激変する現代社会にあって、われわれが如何に安定した生活を営んでゆくかの問題をストレスに焦点を当て論じ、小論文完成のための指導をする。

## 【授業計画】

授業を前半と後半に分け、前半講義したテーマの論文を宿題と課し、後半はそれらに関して各人にレポーター形式で発表させ、討論することで小論文のテーマを決定する。

1. ストレスの仕組み  
生理的メカニズム  
心理的メカニズム
2. ストレスの反応と対応  
生理的ストレス反応の測定法  
心理的ストレス反応の測定法
3. 生活とストレス  
家族のストレス  
学校のストレス  
職場のストレス

## 【評価方法】

小論文で評価する。

## 【テキスト】

配布プリント。

# 法律学概論

尾崎良康

3年 後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

分かりやすい法学入門

- 1) 法と日常生活（やさしい法律、弁護士さんへのお礼、権利の濫用等）
- 2) 法と常識（内縁問題、一厘事件等）
- 3) 法と社会規範（社会規範とは何か、社会規範の種類）
- 4) 法と道徳（正義とは何か、平等に関する裁判例、法と道徳の適用範囲、法と道徳の区別）
- 5) 法と裁判（紛争解決の方法、音の裁判の話、法廷の構造と刑事裁判の流れ、法の解釈 等）

なお、時間に余裕があれば、民法と刑法について、要点を補足して説明したい。

## 【授業計画】

“やさしい法律”等のプリントや新聞の記事のコピー、「法学教材」所収の具体的裁判事件等を通じて、法とは何かということを出来るだけ興味深く説明してみたい。

## 【評価方法】

試験によって評価する。

## 【テキスト】

法学教材（尾崎良康著 自費出版）

## 国際法概論

岡田 泉

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現代の国際法の生きた姿を知るために、海洋、宇宙、南極などの空間に関する法、外国人や国民の基本的人権に関する法、武力紛争（戦争）や軍縮に関する法に焦点をあてて、さまざまな事件を取り上げながら、解説する。

### 【授業計画】

- 第1回 講義の概要と計画の説明
- 第2回 領域とは何か、日本と海洋法
- 第3回 宇宙の平和利用、南極制度
- 第4回 日本の領土問題
- 第5回 外国人の人権——その1（市民的自由）
- 第6回 外国人の人権——その2（帰国の権利）
- 第7回 戦後補償の問題
- 第8回 国連と人権保障
- 第9回 戦争の放棄と国際法
- 第10回 安全保障の問題
- 第11回 核兵器と軍縮
- 第12回 国際人道法
- 第13回 国連の平和維持活動

### 【評価方法】

受講状況（出席、受講姿勢、質問）、中間レポート、期末試験。以上を総合評価する。

### 【テキスト】

使用しない。随時、講義資料を配布する。

## 政治学概論 a・b（国際政治を含む）

西尾林太郎

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

政治体制や政治制度との関わりで政治の動態をマクロ的に捉える能力を涵養すると共に、戦後日本の政治・外交を国際的視野で考察することを講義の目的とする。また、政治との絡みではあるが、時事的な問題についても積極的に取り上げていく。特に、立法過程や外国為替の政治・経済的メカニズム、および政治指導者について重点的に取り上げたい。

### 【授業計画】

プロローグ：「政治」とは何か。

#### 1. 国際社会の政治

- ①戦後の国際政治の流れはいかなるものか。
- ②戦後世界における国際関係と日本の内政と外交
- ③トランス・ナショナル現象、相互依存性の増大

#### 2. 市民社会と大衆社会

- ①現代社会、古典的デモクラシー
- ②大衆社会、マス・デモクラシー
- ③立法国家と行政国家

#### 3. 政治制度と政治過程

- ①大統領制と議院内閣制
- ②議会、政党、利益団体、官僚、選挙、マスメディア
- ③立法過程

#### 4. 55年体制の成立とその崩壊

- ①高度経済成長と55年体制の展開
- ②日本の政治風土—田中角栄の場合—
- ③連立政権の時代

#### 5. 政治権力

- ①権力とは何か
- ②社会契約説、政治的自由
- ③リーダーシップ、象徴、民衆の権力観

### 【評価方法】

試験と出席状況とによる。なお、試験の際、自筆ノートとテキストの持込みを許可する。

### 【テキスト】

現代政治学の基礎 増補改訂版（西尾林太郎 早稲田経営出版 2,000円）



## 社会学概論 a・b

長濱一夫

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

社会学というのは、社会的存在としての人間について様々な角度から考察する学問です。ここでは、私たちの暮らしに関連の深い問題に目を向け、それについて考えることを通して社会的な思考法を学んでほしい。

以下のそれぞれのテーマを主たる切り口として（順序は入れ替わることがあります）、私たちの社会生活について考えを深めていきたい。

### 【授業計画】

<前期>

- (1) 社会学とはどんな学問か
- (2) 都市と農村―地域社会の変容  
(戦後～現代までの社会・経済的展開)
- (3) 「出稼ぎ」という就労形態について考える
- (4) 現代社会における「豊かさ」と「貧困」について考える・I

<後期>

- (1) 現代の「家族」について考える
- (2) 「男」と「女」（社会化のメカニズム）について考える
- (3) 「社会福祉」について考える
- (4) 現代社会における「豊かさ」と「貧困」について考える・II

授業は講義形式で行いますが、VTRなども随時、利用していきます。また、人数によっては、意見・感想を求めたり、ディスカッションしてもらうこともあります。

### 【評価方法】

・試験（レポートor筆記）および出席状況、平常点によって評価します。

### 【テキスト】

使用しません。

## 経済学概論

石田好江

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

本講は、日本経済及び国際経済を考える上で必要と思われる基礎理論（考え方）を学ぶことを目的としている。別の言い方をすれば、経済学を学ぶ意義は（あるいは面白さは）、マスコミ等が流す俗説、通説に惑わされず、自分の頭で経済現象を理解する能力を身につけることにあると言える。したがって、現実の経済現象を経済理論でどう説明できるかを常に念頭に置きながらすすめていきたい。

1. 経済学とは何か
2. マクロ経済学の基本概念：国民所得 三面等価の法則
3. 有効需要の理論（その1）：国民所得はどう決まるか
4. 有効需要の理論（その2）：貯蓄と投資
5. 貨幣と信用創造
6. 貨幣の需要・供給と利子率：利子率はどう決まるか
7. 財政・金融政策のメカニズム：IS-LM分析
8. 消費者の行動：限界効用
9. 消費者の行動：無差別曲線
10. 企業の行動：供給曲線
11. 企業の行動：費用のしくみ
12. 市場の取引と市場の失敗

### 【授業計画】

講義では、フィードバックシートを使用する。一つのテーマが終了した授業の最後に紙を配って、授業についての感想、質問、要望などを自由に書いてもらうものである。

### 【評価方法】

前半（マクロ経済学部分）、後半（ミクロ経済学部分）の最後に授業内試験を行い、試験答案回収後すぐに回答についての説明を行う。成績は2回の試験の結果で評価する。

### 【テキスト】

『入門 経済学』（伊藤元重 日本評論社）

## 国際経済論

村主英雄

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

現在世界経済のグローバル化の一層の進展とともに、各国経済の相互依存関係が深まり一国の経済改革も他国への影響を顧慮せずには実行できない。このような展開を把握するためには、国際経済を動かす基本モデルを正しく理解する必要がある。そのひとつは、国際マクロ経済の分野でGNPなど国民所得の概念とその開放経済体制のメカニズムであり、ふたつ目は比較優位に代表される国際貿易論である。本講義ではこれら二つに重点をおいて授業を行う。

#### 1. 国民所得の諸概念

マクロの需給均衡とGNPの決定  
貯蓄・投資バランス  
国際収支表の構成原理  
国際通貨制度  
為替レートの決定

#### 2. 国際貿易の基礎理論

比較優位と国際貿易  
国際貿易の利益  
生産要素の賦存と国際貿易  
製品差別化と独占的競争

#### 3. 貿易政策の理論

自由貿易主義と保護貿易主義  
消費者余剰と生産者余剰

#### 4. 国際貿易システムと地域経済統合

GATTからWTOへの発展  
地域経済統合の動き

### 【授業計画】

基本的にテキストによるが、テーマに応じ随時プリントを配布して補う。

### 【評価方法】

期末テストおよび出席による。定期試験は穴埋めの形式および択一式併用。

### 【テキスト】

改訂 現代国際経済論 (I) (II) (村主英雄著 自費出版 各分冊400円 計800円)

## 哲学概論 a・b

河邑光夫

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

哲学を一つの専門学科として限定してみるのではなく、ソクラテスのフィロソフィーの精神をうけ、時代を生きながら真理を探究することと解したい。哲学とは隣人との、時代との真摯な対話である。しかし同時に哲学はプラトン、アリストテレスなどのすぐれた原典をもっている。哲学の原典の根本にあるものを説明するが、受講者はそこに人間に共通なものを見出し、ともに考えるようにしてもらいたい。つまりプラトンを通して現代を生きる道を探りたい。

#### 1. ガイダンス

日本の最初の哲学者西周を話し、東洋の日本人が西洋のフィロソフィーを学ぶことの意味を考えたい。

#### 2. ギリシア哲学の立場

古代ギリシア文化を世界史的立場で捉え、インドの宗教や中国の儒教と比較する。

#### 3. ギリシアの自然の哲学とソクラテス

#### 4. プラトンとアリストテレスの哲学

この二大哲学にその後の哲学の原型をみる。

#### 5. アウグスティヌスのキリスト教哲学

#### 6. デカルトの哲学革命

ガリレイ以来の科学革命とデカルト哲学についてべる。

#### 7. カントとヘーゲルの哲学

#### 8. ヘーゲル以後の、現代の哲学

### 【授業計画】

講義はノートを取りながら聞いてほしい。前期にギリシアを終えたいと思って始めるのですが、プラトンやアリストテレスを現代の我々とつなげて話すようにしているのでつい後期までずれこみ、計画通り進まないことが多い。この点は御容赦ねがいたい。

### 【評価方法】

哲学は自分で考えないところには存在しない。だから試験はあらかじめ問題を出しておきます。自分で勉強して下さい。哲学的にみてよく書けているかをみます。

### 【テキスト】

西洋哲学史 (岩崎武雄 有斐閣 1,845円)



下記の科目は、本年度開講しません。

**コミュニケーション概論 a・b**

**コミュニケーション基礎実習1 (研究法)**

**基礎統計法**

**応用コミュニケーション 8**

**心理学概論 a・b**

# 教育心理学

富安玲子

3年 前期 必修 2単位

## 【授業の概要】

教育という働きかけによって人はどのように変わっていくのだろうか。具体的な実践例を通して、教育を受けるものと教育するものとの相互の人間関係の中で展開される「教育」という営みを考えていく。心理学的知見についての理解を深めるとともに、それらを教育の実践の中に生かし、理論的背景をもった実践ができることを目指したい。

## 【授業計画】

テキストと配付する補助資料を中心に講義を行う。

1. 教育心理学を学ぶということ  
教育の機能と教育心理学の位置づけ  
教育を必要とする人間
2. 学びのメカニズム  
学びの基礎メカニズム  
「わかる」こと「わからない」こと  
学び方・学ばせ方の工夫
3. 学ぶ意欲を育てる  
学ぶ意欲の心理学的理解 ほめ方・叱り方  
学習意欲をひき出す
4. 集団を通して個を生かす  
学級の力 学級の診断と評価  
人間関係を基礎にした授業づくり
5. 教師の影響過程  
教師による生徒認知 リーダーとしての教師  
教師期待効果

## 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

## 【テキスト】

『発達と教育の心理学』神谷・酒井・杉江・富安編 協同出版

## 【参考書籍】

授業の中で紹介する。

# 教育心理学

西出隆紀

3年 前期 必修 2単位

## 【授業の概要】

教育心理学は教育目標・教育方法・教育内容の検討や、教育対象である児童・生徒の理解、教師の理解、教育環境における対人関係の理解などに貢献する学問である。そして、もう少し広く「教育場面」ととらえれば、人と人とかかわる状況全てが教育に関係してくることになり、そういう意味では「人と人のかかわり」の心理学であるとも言える。そこで今回は「人と人のかかわり」を中心テーマに、教育に携わる者として最低限必要な心理学的知識の獲得を目指す。

この講義は後期の発達心理学とリンクしているので、より深く理解したい方はそちらも受講することが望ましい。

## 【授業計画】

1. 教育と教育心理学 教育心理学の課題、教育心理学の歴史、教育心理学の研究手法
2. 学習と学習指導 学習理論、学習の要因、学習指導法、教科の心理学
3. 人格形成 人格の定義と理論、人格形成の規定因、人格の査定
4. 学級における人間関係 学級集団の形成、学級内の対人関係、集団学習と人間関係
5. 教育と測定・評価 教育測定・評価の歴史と領域、心理測定の特徴、教育評価の視点、的機能の測定・評価
6. 教育における精神保健 精神保健の意義と歴史、精神的不適応発見のための技術、精神的不適応の治療、教師の精神保健

## 【評価方法】

成績は出欠を考慮してテストで評価する。テストは手書きのノートのみ持ち込み可（コピーを持ち込んだ場合は失格）とするので、毎回出席しないとテストの時に慌てることになる。

## 【テキスト】

未定（おそらく使用しない）。



## 発達心理学

富安玲子

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

前期の教育心理学に続き、本講では、教育の対象者への理解を深めていくことを目的としたい。教職課程の中で発達心理学を学ぶ意味を通して、人間を発達可能性をもつ存在として捉える視点を学ぶ。認知の発達と自我意識の発達を中心に乳幼児期からのプロセスを辿り、それぞれの段階での心理的特徴と発達課題について考えていきたい。

### 【授業計画】〈月曜日1時限〉

テキストと配付する補助資料を中心に講義を行う。

1. 教職課程の中での発達心理学  
ー発達心理学を学ぶ／発達心理学から学ぶー  
教育の対象者への理解  
教育対象の理解から自己理解へ  
発達可能性への信頼
2. 「発達」を考える ー生涯発達の視点からー  
発達の意味と発達課題 発達を規定する要因  
成熟と学習 発達の個人差 発達と教育
3. 認知の発達  
乳児期から青年期までの知的発達の各段階の特徴を把握し、教育的働きかけとの関わりを考える。
4. 自我意識の発達  
自我形成過程を乳幼児期の自我のめばえから青年期のアイデンティティの確立、そしてその後の自我の統合へと辿り、各段階での特徴と発達課題を学ぶ。そして、自我形成のあり方と教育的働きかけの関わりを考え、今日の問題への理解を深める。

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

『発達と教育の心理学』神谷・酒井・杉江・富安編 協同出版

### 【参考書籍】

授業の中で紹介する。

## 発達心理学

西出隆紀

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

発達心理学とは、加齢に伴う心身の形態・機能の変化を見つめていく学問である。発達に関する理論は様々な立場から様々な領域について論じられているが、今回はまず、それらの理論のいくつかを紹介することから始めて、次に乳幼児期から老年期までの各発達期について細かく見ていきたい。教職を志す者にとって人間発達の知識は特に重要であり、児童・生徒の正しい理解につながる内容にしていきたいと考えている。

### 【授業計画】

1. 成長と発達  
「発達」とは、発達の規定因、発達の段階、発達課題
2. 発達の理論  
Freud, S. の精神性発達理論  
Erikson, E. H. の心理社会的発達論  
Piaget, J. の認知発達論
3. 乳幼児期の発達
4. 児童期の発達
5. 青年期
6. 成人・老年期
7. 発達上の問題  
発達の障害、精神発達遅滞、広汎性発達障害、特異性発達障害、情緒障害  
講義形式で進める。適宜質問を受け付け、興味深い内容について掘り下げる場合もある。

### 【評価方法】

成績は出欠を考慮してテストで評価する。テストは手書きのノートのみ持ち込み可（コピーを持ち込んだ場合は失格）とするので、毎回出席しないとテストの時に慌てることになる。

### 【テキスト】

未定（おそらく使用しない）。

## 教科教育法 a・b (国語)

佐々木亜紀子

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

高等学校学習指導要領には、「国語」の教科目標として、「国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。」とある。この目標を正しく理解して、高等学校あるいは中学校生徒にいかにか教えるかを考え、実践する授業にしたい。具体的には、教材研究の方法、学習指導案の作成方法、板書方法、授業の進め方、評価の方法などを学び、教育現場に対応し得る力を養う。

### 【授業計画】

- 1 導入  
国語科教育の概観  
新・学習指導要領における国語科教育の目標
- 2 「理解」の学習指導 (1)  
(教材研究・指導案・授業・評価などの方法)  
説明・論説文の学習指導  
小説の学習指導  
韻文の学習指導
- 3 「表現」の学習指導  
作文の学習指導
- 4 「言語事項」の学習指導  
文法の学習指導  
語彙の学習指導
- 5 「理解」の学習指導 (2)  
古文の学習指導  
漢文の学習指導

### 【評価方法】

授業への参加態度と課題の内容との平常点、及び単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

実践的国語科教育法—新・学習指導要領準拠— (原國人編 新典社 2,000円)

### 【参考書籍】

高等学校学習指導要領解説 国語編  
中学校指導書 国語編

## 教科教育法 a (英語)

松本青也

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

学校教育としての英語教育を考える。  
今や英語は国際共通語とさえ言われ、極めて便利で、何をするにも不可欠な言語とされている。しかし「英語教育」を考えると、英語の効果的な教育方法を考えるだけで終わってはならない。日本人にとって「英語」がどんな意味を持っているか、そして学校「教育」の中で、それはどんな内容を期待されるのかまでを含めて考える必要がある。受験科目の一つとしてほとんど無意識に学んできた「英語」を、今度は教える立場から、しげしげと眺めてみたいものである。

### 【授業計画】

1. 目的論：問題提起。コミュニケーション能力
2. 学習指導要領。学校英語教育の目標
3. 異文化と国際理解
4. 機能論：Sound
5. Listening
6. Speaking
7. Reading & Writing
8. 方法論：教授法の歴史 (日本)
9. 教授法の歴史 (外国)
10. 外国語教授理論
11. 新しい教授法
12. マルチメディア利用の可能性と課題
13. <模擬授業> 指導過程の構成
14. まとめ：これからの英語教育
15. テスト

### 【評価方法】

テストの成績、学習態度、出席状況等による総合評価。

### 【テキスト】

青木昭六編『英語科教育の理論と実践—理論編』現代教育出版社。



## 教科教育法 b (英語)

宮田 修

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

前期の英語教育理論に続いて、後期では、その実践面を取り扱う。新学習指導要領の趣旨に沿って、コミュニケーション能力を育成するためには、日本の中学校及び高等学校ではどのような授業を行えばよいのか、その具体的な指導法を研究する。

4時間：教員採用試験の実態とその対策法、日本の英語教授法の流れとCommunicative Language Teaching、学習指導要領の解説、外国語（英語）学習指導案の書き方（英文、和文）指導。

1時間：中学校および高等学校の授業の進め方、テクニックをビデオを用いて研究。

9～10時間：班ごとに模擬授業を行い、コミュニケーション能力を育成する授業をどのように行えばよいのか研究する。

### 【授業計画】

一番大切な部分は模擬授業である。数名で一つの班を構成し、中学校または高等学校の教科書の中から適切な教材を選び出し、50分の授業を行う。準備は言語材料選びから始まり、各班ごとに授業の進め方を研究し、Teaching Planを作成する。授業実践のあと授業を批評しあい、よりよい授業を工夫していく。教育実習の練習ではなく、コミュニケーション能力育成のための理想的な授業作りを追求することを目的とする。

### 【評価方法】

出席状況、模擬授業の取り組み方、研究態度を大きく評価する。さらにレポートを課し、Teaching Planの作成、授業研究を評価する。試験は実施しない。

### 【テキスト】

中学校学習指導要領解説－外国語編－（文部省 東京書籍）

高等学校学習指導要領解説 外国語（英語）編（文部省）

## 教科教育法 a・b (公民)

小林春治

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

わが国における公民教育の意義と歩みを、諸外国の現状とも比較しながら概観し、公民教育についての重要性の理解を深める。また、高等学校における公民科の学習指導要領に基づく授業内容と学習指導案の作成を通して、公民教育の在り方を探求する。

前期 a

1. 公民教育とは何か
  - (1) 「公民」の概念と「公民的資質」
  - (2) 公民教育における中学校・高等学校との関連
  - (3) 公民教育と道徳との関連
2. 公民教育と諸外国の現状
  - (1) 戦前における公民教育
  - (2) 学習指導要領の変遷と公民教育
  - (3) 諸外国の公民教育
3. 公民科の年間指導計画と学習指導案の作成
  - (1) 中学校社会科の公民分野と高等学校公民科の性格と目標
  - (2) 公民科の年間指導計画と学習指導案の作成

後期 b

1. 学習指導の工夫
  - (1) 学習資料の作成
  - (2) メディアの活用
2. 公民教育の新しい課題
  - (1) 平和教育、人権教育、環境教育
3. 各自が作成した学習指導案に基づく研究授業

### 【授業計画】

前期 a：講義と学習指導案の作成を基本とする。

後期 b：講義と各自作成の学習指導案に基づく、研究授業を中心とする。

### 【評価方法】

小テスト、学習指導案、研究授業の評価及び出席率を総合する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説 公民編（文部省 実教出版 予価 230円）・現代社会（高等学校教科書 実教出版 予価 715円）

## 教育実習

小木曾通男 富安玲子 加藤文子

4年 通年 必修 2単位

### 【授業の概要】

教科に関する専門科目及び教職に関する専門科目で学習した成果を実践し、検証する機会である。

実習校での2週間の教育実習を通じて、教員という専門職としての自覚と誇りを高めるとともに、生徒から親愛と信頼の念をもって迎えられる実習生となるよう、努力と工夫をして3年間の成果を存分に発揮してほしい。

### 【授業計画】

それぞれの実習校において、教員としての仕事を行う。

#### (1) 学級担任、ホームルーム担任として

朝の打合せ、STの諸連絡と生徒観察にはじまり、帰りの清掃指導にいたるまでの仕事内容を理解し、生徒指導にあたる。

また、学級（ホームルーム）事務を担当する。

#### (2) 教科担任として

前半においては、指導教員の授業参観と授業案の作成及び教材の準備を行う。

後半においては、授業案にもとづいて授業を実施し、指導教員の指導と助言をえて、授業をより充実させるよう努める。

#### (3) 特別活動として

学校行事、生徒会活動、H.R活動、クラブ・部活動に積極的に参加する。

### 【評価方法】

実習校の評価（生徒指導、学習指導、実習態度）に基づいて評価する。

### 【テキスト】

「教育実習指導」の授業時に配付の『教育実習記録』

## 教育実習指導

加藤文子

4年 前期 必修 1単位

### 【授業の概要】

教育実習事前指導を通して教育実習生としての心構え教育実習内容の明確化、実習記録の記入等事務的処理能力を学ぶ。また学校教育全般にわたる基本的理解並びに指導技術を体得し、実習後には実習体験をもとに特殊教育の理解をもふかめる。

### 【授業計画】

#### 1 教育実習の意義と目的

- ・前年度実習者のアンケート内容
- ・「先輩からの一言」

#### 2 教育実習の内容と方法

- ・教育実習の領域
- ・教育実習の方法

#### 3 教育実習記録

- ・記録することの意義
- ・記録の仕方

#### 4 研究授業

- ・よい発問
- ・よい板書
- ・教材・教具の準備

#### 5 教育実習への諸注意

#### 6 特殊教育の理解

#### 7 まとめ・アンケート実施

### 【評価方法】

毎時間の授業態度、課したレポート内容、期末試験の結果（実習校の評価を参考）で総合的に評価する。

### 【テキスト】

テキストは使用せず。

必要に応じて資料を配布する。



## 教職特別演習

小木曾通男 富安玲子 加藤文子 佐藤実芳

集中・オムニバス 3年 後期 選択 1単位

### 【授業の概要】

既に学習した教職専門科目についての総復習をするともに、次の点を目標にする。

- (1) 教員採用試験への教職専門科目についての対策
- (2) 現在の教育の諸問題について総合的に考える契機  
教職課程の担当教員によるオムニバス方式の集中授業で実施する。

### 【授業計画】

- (1) 一般教養 (小木曾通男)  
特に教育に視点をあてて、日本及び西洋の近現代史を中心に学習
- (2) 小論文 (加藤文子)  
教員試験の小論文作成に必要な基本的事項を学習
- (3) 教職専門科目 (加藤文子・佐藤実芳)  
教育原理、教育法規、生徒指導等の基本的事項を学習
- (4) 教育相談 (富安玲子)  
教育心理学、発達心理学の基本的事項をふまえて教育相談の基本を学習
- (5) 適性検査 (富安玲子)  
クレペリン、MMPI、YG等の検査について学習
- (6) 教員採用試験合格者による体験発表

### 【評価方法】

出席及び小レポートにより評価する。

### 【テキスト】

プリントを配付する。

## 教職入門

小木曾通男

1年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

本講義は、教育という職業がどのような意義を持っているのか、学校での教師の職務と役割がどのようなものであるかを、学生の被教育体験を生かしながら具体的に解説する。職務の個々の内容について、現在の中学高校の実体を踏まえて詳説する。その上で、今日の学校が抱えている問題解決の方途を、中教審、教課審の答申を学び、求められている教師像を明らかにすることによって教職につくかどうか、自らの適性を見極めて決定する情報と機会を提供したい。

### 【授業計画】

1. 東西の優れた教育者を取りあげ、教育とは何か、教育者とは何かを考える契機とする。
2. 近代市民社会の教育需用の増大と教育養成についてイギリス、アメリカにおける教員養成の概要及び日本における教員養成を歴史的に概観する。
3. 社会構造の変化の著しい現代社会における教員への期待について地域構造、家族構造、職業構造等の変化に伴い教員の役割の変化と多様化・個性化した保護者・生徒の教員への期待と変化とその対応を考える。
4. 中学校、高等学校における望ましい教員像とは何かを学級担任、教科担任、部活顧問、進路指導、生徒指導において各人の体験をもとに考えてみたい。
5. 信頼される教員とはどんな教員か、生徒の人間性の尊重とは何か、生徒との望ましいコミュニケーションのあり方を考えてみたい。
6. 21世紀の教育を担う教員の在り方を求め、社会の進歩と変化に対応する不断の研修と教育技術の開発により、常に新鮮な教育を行う努力を教員にとって不可欠であることを理解する。

### 【評価方法】

授業中にテキストに添付した用紙に記載する感想文とレポートによる総合評価とする。

### 【テキスト】

「教職入門」200円

### 【参考書籍】

授業時に紹介する。

## 教育原理

佐藤実芳

1年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

高等教育機関への高い進学率を誇っている日本では、教育といえば学校教育を思いうかべることが多いであろう。しかし学校教育を受けるのは、人生の一時期にしかすぎない。しかも学校教育をめぐる様々な問題が生じている今日、学校とは何か、教育とは何か、そのあるべき姿を真剣に考える必要がある。本講義では、教育の本質と目的を中心に教育とは何かを考察していく。

### 【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 教育とは何か
- 第3～5回 人間と教育
  - ・動物学からみた人間の特殊性
  - ・人間の成長と環境
  - ・教育の重要性
  - ・人間形成の場
- 第6回 教育の本質
  - ・注入主義
  - ・開発主義
- 第7～10回 教育の目的
  - ・教育目的とは
  - ・教育目的の歴史の変遷
- 第11回～ 現代の教育

### 【評価方法】

定期試験、受講態度により総合的に評価する。

### 【テキスト】

教育原理－教育の目的・方法・制度－（教師養成研究会編著 学芸図書出版）

## 教育思想史

梅村敏郎

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

教育は、人間の本質的な営みの一つであって、既に古代から哲学者や思想家の考察の対象となってきた。これらの思想は、思想家たちが生きた時代や文化の主要な潮流や思想家自身の思考方法の特徴によって極めて多様な思想や理論が形成された。

この授業では、古代から現代まで各時代を代表するような偉大な教育思想を時代順に辿るのではなくて、現代の教育についての基本的な考え方や主要な概念に直接的な影響を与え、そのため現代教育と直接的なつながりを持つと思われる17世紀のコメニウスを出発点として、それ以後今日に至るまで最も重要と考えられてきた教育者たちの思想を取り上げる。

その際、学生はそれらの思想についての他人の解釈や解説を聴くことも必要ではあるが、むしろそれらの思想と直接に対決することがより大切である。

専門的な研究者にとっては、それらの思想はそれが書かれた元の言語で読まれるべきであろうが、初歩の学生は先ずそれらの書物の良い日本語訳によって、これらの思想に直接触れることが必要である。

### 【授業計画】

- 1 教育思想史を勉強することの意義
- 2 コメニウスと『大教授学』
- 3 ルソーと『エミール』
- 4 ベスタロッチと『ゲルトルートはいかにその子を教えるか』
- 5 フレーベルと『人間の教育』
- 6 デューイと『民主主義と教育』

### 【評価方法】

評価はレポートの提出による。

### 【テキスト】

授業で最初に取り上げられる、コメニウスの『大教授学』1・2（明治図書）を教科書販売時に購入すること。



## 欧米教育文化史

江藤恭二

2・3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

欧米教育文化史における「近代化」とは具体的に何を意味するのか、という点に焦点をあて、欧米教育・文化の全体的・構造的な変遷過程に着目しつつ、比較教育史的なアプローチを試みる。

1. 欧米教育文化史の視点と課題
2. 中世後期の欧米教育・文化
3. ルネサンスと宗教改革
4. 近代教育・文化の生誕と展開
5. 啓蒙思想と教育
6. 市民革命期の教育思想

### 【授業計画】

講義方式、時折、欧米文化に関するVideo教材を用いる。

### 【評価方法】

テスト

### 【テキスト】

西洋近代教育史（江藤他編 学文社 2,300円）

## 教育心理学Ⅰ

富安玲子

2年 前・後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

中学・高校生についての理解を深めるために乳幼児期から青年期までの発達を概観し、発達課題について考えると共に、障害児への理解を通して発達の可能性について考えていく。その上で、教育を受ける側と教育する側との相互の人間関係の中で展開される「教育」の営みについて、学習のメカニズムや動機づけの理論を通して考え、心理学的知見を実践の中に生かしていくことを目的としたい。

### 【授業計画】 <前期：言文><後期：国文、英文、コミ、図情>

テキストと配付する補助資料によって講義を行う。

1. 教育心理学を学ぶということ
  - ・教育の機能と教育心理学の位置づけ
  - ・教育心理学を学ぶ／教育心理学から学ぶ
2. 発達について考える
  - ・生涯発達の視点
  - 一生のストーリーとしての発達
  - ・障害の意味と発達可能性
  - ・発達段階と発達課題
  - ・認知の発達を中心に
3. 学習の過程を考える
  - ・学びとりのメカニズム
  - ・学ぶ意欲を育てる
4. 集団を通して個を生かす
  - ・学級集団の理解
  - ・学級における人間関係
  - ・教師の影響過程

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

『発達と教育の心理学』 神谷・酒井・杉江・富安編、協同出版

### 【参考書籍】

授業の中で紹介する。

# 障害児の教育

加藤文子

2・3年 前・後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

心身障害児についての基本的理解をし、その対策の実状を理解する。(教育的環境・福祉施設の役割)

また就学指導の仕組みを理解し、特殊教育の現状・課題を認識するとともに、基本的には人間尊重の精神を涵養する。

## 【授業計画】

- 1 心身障害児をもつ親の相談事例
  - ・視覚障害児の場合
  - ・聴覚障害児の場合
  - ・病弱・虚弱児の場合
- 2 心身障害の発生原因と早期教育の必要性
  - ・心身障害児とは
  - ・早期教育はなぜ必要か
- 3 心身障害児の教育環境
  - ・就学指導の仕組み
  - ・特殊教育諸学校の教育計画
  - ・福祉施設の役割
- 4 心身障害児(者)教育の歴史
  - ・心身障害児(者)教育を開拓した人々
  - ・それぞれの時代と社会の歴史的状況で成立してきた過程
- 5 心身障害児とのかかわり
  - ・教育診断の在り方
  - ・心身障害児とのかかわり
- 6 まとめ

## 【評価方法】

出席状況・授業態度・レポート・期末試験の成績により総合的に評価する。

## 【テキスト】

テキストは使用せず。

障害児の教育ノートとして資料を配布する。

# 教育制度

佐藤実芳

1年 後期 必修 2単位

## 【授業の概要】

社会の変化にともなう学校の誕生や変化に基づき、社会において学校教育が果たしてきた役割について考えるとともに、学校教育制度の類型的比較及び学校教育制度の歴史の変遷から、学校教育制度の基本的な事項を理解する。さらに、学校経営や教育行政に関する規定がある教育法規を取り上げ、現在の日本の教育制度の特徴を考察していく。

## 【授業計画】

- 第1回 教育制度の意義
- 第2～3回 現代学校教育制度の起源
  - ・大学の成立
  - ・中等学校の成立
  - ・初等学校の成立
- 第4回 学校教育制度の類型
- 第5～6回 外国の学校教育制度
- 第7～9回 日本の学校教育制度
- 第10回～ 教育法規
  - ・教育法規とは
  - ・日本国憲法
  - ・教育基本法
  - ・学校教育法
  - ・学校教育法施行令
  - ・学校教育法施行規則
  - ・その他

## 【評価方法】

定期試験、平常点などにより総合的に評価する。

## 【テキスト】

教育原理－教育の目的・方法・制度－(教師養成研究会編著 学芸図書出版)



## 教育課程

小木曾通男

2年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

特定の発達段階にいる子どもを対象として、各レベルの学校がその教育目的・目標を十分に達成するために、子どもにどの種の教科・教材をどのように学習させるか、またどの種の活動をどう体験させるかについての全体的な教育計画である教育課程(カリキュラム)を学習する。

なお、各学校が教育課程を編成する場合に、広範な人間の文化領域のなかから、子どもが学習・体験すべき教育内容を選択し組織化する原理が何であるかという問題に焦点をあてて教育課程について考察する。

### 【授業計画】

1. 教育課程についての考え方を歴史的に考察する。
  - (1) ヨーロッパにおける教育課程の歴史的概観
  - (2) 日本の江戸時代における教育課程の概観
  - (3) 明治以降の日本の近代教育における教育課程の概観
2. 現代の欧米諸国における教育課程の概観
3. 第2次世界大戦後の日本の教育課程の変遷の概観
4. 現在の日本の教育課程の考え方
  - (1) 中学校の教育課程の構造と教育目標
  - (2) 高等学校の教育課程の構造と教育目標
5. 生きた授業のための望ましい教育課程の展開

### 【評価方法】

授業中にテキストに添付した用紙に記載する感想文と最終レポートによる総合評価とする。

### 【テキスト】

「教職課程」200円

### 【参考書籍】

「中学校学習指導要領」文部省  
「高等学校学習指導要領」文部省

## 国語科教育法 I

佐々木亜紀子

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中学校学習指導要領には、「国語」の教科目標として、「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。」とある。この目標を正しく理解して、高等学校あるいは中学校生徒にいかにか教えるかを考える授業にしたい。具体的には、教材研究の方法、学習指導案の作成方法、板書方法、授業の進め方、評価の方法などを学び、教育現場に対応し得る力を養う。

### 【授業計画】

- 1 導入  
国語科教育の概観  
新・学習指導要領における国語科教育の目標
- 2 学習指導案の作成方法
- 3 「読むこと」の学習指導  
(教材研究・指導案・授業・評価などの方法)
- 4 「書くこと」の学習指導  
(同上)
- 5 「話すこと・聞くこと」の学習指導  
(同上)
- 6 「総合的な学習」と「国語」

### 【評価方法】

授業への参加態度と課題の内容との平常点、及び単位認定試験の成績によって総合的に評価する。

### 【テキスト】

実践的国語科教育法—新・学習指導要領準拠—(原國人編 新典社 2,000円)

### 【参考書籍】

高等学校学習指導要領解説 国語編  
中学校指導書 国語編

## 英語科教育法 I

宮田 修

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

中学校及び高等学校の学習指導要領に準拠し、英語科教育法について目的論、技能論、方法論を中心にして、日本における英語教育の歴史、諸外国における言語政策と英語教育、マルチメディアを活用した英語教育等の話題を含めて、英語教育の在り方を考察する。

### 【授業計画】

- 1 日本の英語教育の目的と現状
- 2 日本における英語教育の歴史
- 3 言語習得の原理と各種教授法
- 4 学習指導要領と英語科教育法
- 5 諸外国の言語政策と英語教育
- 6 マルチメディア活用の可能性と課題
- 7 Listening と Speaking の指導
- 8 Reading と Writing の指導
- 9 Team-teaching
- 10 英語評価
- 11 学習指導案における指導過程の構成
- 12 中学校の英語授業と学習指導案の書き方
- 13 高等学校の英語授業と学習指導案の書き方
- 14 教育実習の意義

### 【評価方法】

出席状況、授業態度を厳しく評価する。定期試験を実施する。

### 【テキスト】

英語科教育の理論と実践－理論編（青木昭六編著 現代教育社）

中学校学習指導要領解説－外国語編－（文部省 東京書籍）

高等学校学習指導要領解説 外国語（英語）編（文部省）

## 道徳指導法

加藤文子

1年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

道徳の基本原理を学ぶとともに、わが国における今日の道徳教育の在り方に至るまでの変遷を理解し、道徳教育の重要性を認識する。

また学校教育における道徳授業の指導の実際をVTR視聴、模擬授業により体得する。

授業は講義法で進める。授業内容を道徳教育ノートとして配布する。中一種免取得には必修である。

### 【授業計画】

- 1 道徳と道徳教育
- 2 児童・生徒を生かす道徳教育
- 3 公教育における道徳教育の歴史
  - ・ 明治5年学制公布から明治23年教育勅語発布までの過程
  - ・ 戦後の道徳教育の変遷
- 4 道徳性の発達と学校道徳教育
- 5 学校における道徳教育の実際
  - ・ 道徳教育の目標
  - ・ 道徳教育の内容
  - ・ 「道徳の時間」の指導計画、指導案の作成
  - ・ 模擬授業
  - ・ まとめ

### 【評価方法】

期末試験の成績に、毎時間の出席状況、授業中の態度、課したレポート内容を加味して総合的に評価する。

### 【テキスト】

テキストは使用せず。

必要に応じて資料を配布する。



## 特別活動指導法

小林春治

1年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

中学校・高等学校の特別活動の変遷とその具体的な活動として学級活動、ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事についての指導法を考察する。

そのなかで望ましい人間関係、基本的な生活習慣の形成を通して個人及び社会の一員としての在り方、生き方に関する指導の充実を図ることを学習目標とする。

#### 1. 教育課程の位置と目標

特別活動は、各教科、道徳とともに教育課程を構成する領域の一つであり、これらそれぞれの充実と相まって、中学校・高等学校の教育目標を達成することができることを学習する。

#### 2. 戦後の教育状況と教育改革

敗戦直後の教育状況と教育基本法・学校教育法の施行（六・三・三制の実施）にいたる大要を、GHQのとった教育政策にも注目しながら学習する。

#### 3. 特別活動の変遷

特別活動の変遷を中学校・高等学校の学習指導要領を通じて論じ、その社会的背景についても具体的な資料に基づいて学習する。また、平成12年度から移行措置がとられている新しい学習指導要領にも言及する。

#### 4. 特別活動の基本となる指導法

中学校の学級生活、高等学校のホームルーム活動が、生徒会活動、クラブ活動、学校行事などと相互に関連していることの学習を通して、これらの集団生活の在り方、心身ともに健康で安全な生活習慣の形成などを基本にした指導法を、現状にも注目しながら考察する。

### 【授業計画】

必要に応じて資料を配付する。また、より理解を深めて欲しい内容についてレポートの提出を求める。

### 【評価方法】

期末試験の成績とレポートの評価及び出席率を総合する。

### 【テキスト】

高等学校学習指導要領解説 特別活動編（文部省 東洋館出版 予価 200円）

## 教育方法

霜田一敏

2年 前・後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

今日親も教師も子どもの本当の姿が見えなくなり、確かな指導の手だてが見出せず苦悩している。この現状を打破するためには、一人一人の子ども理解を深め、子どもの立場に立って教材を開発し教育課程を組み、授業を構想して実践できる力量が求められている。そのような力量を培う教育方法を解明する。

I. 人間回復の学力と教師のあり方を学力論と教師論の検討から具体的に明らかにする。更に、II. 子どもの思考の発展をめざす授業 III. 自主的な学習を育てる学習指導 IV. 子どもの側に立つ指導技術 V. メディアの進歩と新しいリテラシーの育成 VI. 個を生かす学習集団等について学習者の立場に立って、幅広く教育方法を究明したい。

### 【授業計画】

テキストを中心に、ビデオ教材や学生同士の討議を入れた参加型授業形態で行う。学生からのミニレポートによる授業評価を生かしながら講義を進めたい。

### 【評価方法】

学生の積極的な授業参加と毎時提出するミニレポート、期末に行う論文試験等によって評価する。

### 【テキスト】

子どもの側に立つ授業論（霜田一敏著 明治図書 2,370円）

## 教育方法

東浦信博

2年 前・後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

前半では、教育方法を歴史的に概観するとともに、学習指導の様々な形態を学ぶ。また、学力や教育評価についてもふれる。後半では、視聴覚教育の手法を学ぶ。

#### 1. 教育方法の歴史的概観

- ①古代ギリシャの教育
- ②古代ローマの教育
- ③中世ヨーロッパの教育
- ④近世から現代の教育

#### 2. 学習指導の原理

- ①教育課程・学習指導要領
- ②学力

#### 3. 教育評価

- ①教育評価の意義・目的・歴史的概観
- ②学習評価の方法・種類

#### 4. 視聴覚教育

- ①戦前の視聴覚教育と戦後の視聴覚教育
- ②教育工学の手法
- ③ニューメディアと教育
- ④視聴覚教育メディア各論
- ⑤放送教育
- ⑥コンピュータと教育

### 【授業計画】

講義中心。OHP・ビデオ等AVメディア使用。

### 【評価方法】

資料持込不可の論述式定期試験。

### 【テキスト】

教育の方法、技術を学ぶ。(福村出版 ¥1,700)

## 学習メディア論

東浦信博

2・3年 前・後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

わが国の教育においても、従来の視聴覚教育機器からマルチメディア教育機器やネットワークメディア利用の学習まで多様なメディアが活用されている。主要な教育メディアや教育技術の新展開について、その背景となる学習理論やメディア自体のメカニズム・特性、ときには学習事例などもあげて学ぶ。

1. 学習とは (学習とは何か、学習の定義、学習理論、学習条件、主体的学習など)

2. 学習とメディア (学習者-学習素材・教材のコミュニケーションメディア)

3. メディア各論 (集団学習と個別学習、音声・映像・音声映像・コンピュータ・マルチメディア)

4. 遠隔地とのコミュニケーション (通信ネットワーク [=インターネット] による学習)

5. メディアリテラシー (21世紀におけるメディア活用の技術は人間生活の基本技術となる。この技術の欠如は文盲にたとえられる時代がくる。)

### 【授業計画】

講義中心であるが、可能な限り実物を用意する。OHP、ビデオを多用する。

### 【評価方法】

テキスト・ノート持ち込み可による論述式定期試験。

### 【テキスト】

なし。



## 生徒指導（進路指導を含む）

小林春治 加納篤憲

2年 前・後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

生徒指導を生徒の管理監督、青少年非行の防止といった消極的な視点からとらえるのではなく、正しい人間観（生徒観）に基づいて生徒の健全な育成、個人の尊厳と人格を尊重した生徒指導を基本とする。なかでも進路指導については、その理念及び目的を、学習指導要領に基づいて具体的に学習する。こうした学習をとおして生徒に接する教師の在り方についても具体例を示して指導する。

1. 旧約聖書・新約聖書における人間観（アダムとイブなど）、カントの人格主義における人間観、法然・親鸞はじめその他先哲の人間観を学習する。
2. 戦前の「修身・教育勅語」、昭和初期にはじまる「軍国主義教育」の生徒指導と戦後の「民主主義教育」による生徒指導に視点をあて、その歩みを概観する。
3. 現代社会における社会構造の変化に注目し、社会的視点から新しい教育観と社会集団のもつ教育機能の変質のなかで、生徒指導が果たす役割を青少年非行の矯正教育の現状にも注目しながら、中学校・高等学校における教育の現状と問題点を考える。
4. 進路指導の基本理念及び目的と内容を学習するなかで、中学校・高等学校における進路指導の現状と問題点に触れながら教師の在り方を、教育相談・カウンセリング・進路情報・言葉遣いなどを通して、具体的に学習する。

### 【授業計画】

授業においては、中学校・高等学校時代の生活体験を生きた教材として、具体的に学習する。

### 【評価方法】

期末試験の成績と小テスト・レポートの評価及び出席率を総合する。

### 【テキスト】

生徒指導講義ノート（小木曾通男編 250円）

## 教育相談（カウンセリングを含む）

富安玲子

2年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

教育相談の役割が認識されるようになった背景からその必要性を考え、教育相談への理解を深めて実践につなげていきたい。教育相談は生徒一人ひとりに関心をもつところから始まる。そこで生徒理解のあり方や不応行動への対応について先ず考えたい。次に傾聴の大切さを中心にして情報提供や助言の仕方なども含めた面接の進め方を学び、カウンセリングの基礎知識も併せて学んでいく。

### 【授業計画】〈英文、言文、コミ対象〉

テキストと配付する補助資料による講義を中心とする。

1. 今、なぜ「教育相談」「カウンセリング」か
2. 教師と生徒の人間関係
  - ・人間関係を考えるに当たって  
「自分」は他者との関係の中で育つ  
対人認知の過程
  - ・教師－生徒の相互影響過程
  - ・生徒理解
3. 教育相談
  - ・学校における教育相談  
教育相談の位置づけ  
教育相談の特質
  - ・教育相談の進め方  
カウンセリングの基礎
4. 学校という生活環境と適応
  - ・適応と不適応
  - ・問題行動のとらえ方とその対応
5. 教育相談の実際

### 【評価方法】

期末試験によるが、授業への参加関与度を考慮する。

### 【テキスト】

『発達と教育の心理学』 神谷・酒井・杉江・富安編、協同出版

### 【参考書籍】

授業の中で紹介する。

# 教育相談（カウンセリングを含む）

坪井さとみ

2年 前・後期 必修 2単位

## 【授業の概要】

教育相談の役割が認識されるようになった背景からその必要性を考え、教育相談への理解を深めて実践につなげていきたい。教育相談は生徒一人ひとりに関心をもつところから始まる。そこで生徒理解のあり方や不適応行動への対応について先ず考えたい。次に傾聴の大切さを中心にして情報提供や助言の仕方なども含めた面接の進め方を学び、カウンセリングの基礎知識も併せて学んでいく。

## 【授業計画】

<国文（前期）、国情・現社（後期）対象>

1. 教育相談とは
  - (1) 教育相談の概念・ねらい
  - (2) 教育相談が扱う問題
2. 児童・生徒の理解
  - (1) 児童期・思春期・青年期の発達課題
  - (2) 理解の方法（行動観察、本人の面接、親面接、心理検査法より）
3. 児童・生徒の問題行動とそれらへの援助
  - (1) 登校拒否
  - (2) いじめ・暴力
  - (3) 非行
  - (4) 精神病圏、神経症的な問題など
4. 教育相談の進め方
  - (1) 学校における相談体制の確立
  - (2) カウンセリングの理論と基本的な技法（傾聴、受容、共感、くり返し、明確化、支持など）
  - (3) カウンセリングの過程（導入から終結まで）
  - (4) 地域・専門機関との連携、協力
  - (5) 教育相談の学び方

## 【評価方法】

定期試験の成績を中心に、出席状況を加味して総合的に評価する。

## 【テキスト】

適宜プリントを配布する。



## 生涯学習概論

古野有隣

集中 3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

生涯学習という言葉は最近かなり知名度が高くなってきているが、その意味や意義については必ずしも正確に理解されているとはかぎらない。

この講義では生涯学習の意味するところを、その理念の提唱時からの推移の説明をまじえて、理解を深めることをねらいとしたい。また、先の長い人生を持っている自分にとって生涯学習とは何なのかを考える契機となればとも思っている。

1. 生涯教育の理念～推移を含めて～  
ユネスコ以降わが国における推移  
生涯教育のめざすもの  
生涯教育と生涯学習の関係
2. 生涯教育と社会教育・学校教育との関係  
生涯教育と社会教育  
生涯教育と学校教育
3. 社会教育の内容・方法・形態  
行政社会教育の主要領域  
社会教育の内容・方法・形態
4. 生涯学習関連施設の現状と展望  
生涯学習関連施設の範囲  
社会教育施設の種類と現状
5. 生涯学習指導者  
生涯学習指導者の範囲  
生涯学習指導者の役割

### 【授業計画】

講義。

### 【評価方法】

テスト。

### 【テキスト】

資料集（予価500～700円）を開始時に頒布。

## 図書館情報学概論 a・b

村主朋英

1年 前・後期 必修 各2単位

### 【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。前半は、図書館情報学における基本的な考え方や分野の特徴について概説する。後半は、図書館・情報サービスの実践に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

### 【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野
2. 情報の概念
3. 情報の流通過程
4. 図書館の機能と構造
5. 情報流通の実践
6. 情報サービスと人間
7. まとめ：人とメディアのつくる宇宙の中で

### 【評価方法】

前期：定期試験

後期：定期試験と夏休みレポート

※なお「図書館情報学概論 a」の単位を取得済でない学生については、「同 b」の単位は認定しない。また、前期末に夏休みレポート課題を提示するので、今年度「同 b」のみ履修予定の学生は問い合わせること。

### 【テキスト】

『図書館情報学用語辞典』日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 約3,800円

## 図書館経営論

山本 進

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

図書館の技術的な面－分類・目録等－資料組織とは別に、図書館運営上の諸問題－司書の専門職制の問題・図書館と地域サービスと図書館網計画、図書館経営評価と見直し等を図書館経営論として論述する。

0. オリエンテーション・図書館経営論の意義 1回

1. 図書館館種別の経営上の問題点と管理原則 1回

2. 図書館学の五法則と図書館員のかかわり 1回

3. 図書館の自由に関する宣言 2回

4. 図書館員の倫理綱領 2回

5. 図書館員と労働基準法解説 1回

6. 図書館法規と基準の解説 1回

7. 図書館サービスの測定と評価

(実例課題によるレポート提出) 1回

8. 図書館計画の立案と実例解説 2回

9. 生涯学習と図書館及び利用者教育 2回

講義の中から関心のある事項について2～3回レポート提出。

### 【授業計画】

### 【評価方法】

期末テスト実施 記述式 2～3問。

及び提出レポートの査読と記述式試験の採点と併せて総合評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 情報サービス基礎論 a・b

逸村 裕

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

図書館で行われる情報サービスには幅広いものがある。また、これらのサービスはその対象、館種、主題、規模ごとに多くの特徴を持つ。さらに今日、伝統的な図書館サービスに加え、情報技術の普及発展に伴う新たな対応を迫られている。

これら図書館情報サービスの紹介と評価の視点から講義を行なう。

前後期は連続する内容である。

1. この講義の対象と範囲

2. パブリック・サービス（奉仕－直接サービス）

A. 貸出閲覧

B. レファレンス

C. 相互協力

D. 視聴覚資料

E. パブリックサービスの今後

3. テクニカル・サービス（資料組織－間接サービス）

A. 選書

B. 収書

C. 整理

D. 雑誌

E. テクニカルサービスの今後

4. 評価の視点から見た情報サービス

A. 蔵書

B. 人的サービス

C. その他のサービス

### 【授業計画】

講義中心に行なう。適宜、小テスト、レポートを課す。

### 【評価方法】

小テスト、レポート、期末試験による評価。詳細は初回講義の際に説明する。

### 【テキスト】

使用せず。



## レファレンスサービス論

長澤雅男

2年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

図書館における情報サービスという広い視点から問題を解説するが、とりわけレファレンスサービスを重点的に取り上げ、レファレンスコレクションの構築、レファレンス質問からその回答にいたる一連のレファレンスプロセスのあり方について理解を深めることを主な目的とする。この科目は、後期の「レファレンスメディア論」と相互に補完するものとして扱う。

1. 情報ニーズに応える情報サービス
2. レファレンスサービスから情報サービスへ
3. レファレンス機能に基づくレファレンス業務
4. レファレンスサービスのための情報源
5. レファレンスプロセス
6. 質問の受付から内容の確認へ
7. 質問内容の分析から探索の実行へ
8. 質問回答とレファレンスプロセスの終結
9. レファレンスサービスの組織と運営

### 【授業計画】

講義を中心に進める。

### 【評価方法】

期末試験（多肢択一式問題）を予定しているが、出題形式については、試験日の1、2週間前に改めて説明する。

### 【テキスト】

レファレンスサービス－図書館における情報サービス  
(長澤雅男 丸善 2,369円)

## レファレンスメディア論

長澤雅男

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

レファレンス質問の処理に役立つ情報源の種類とその特性を理解し、情報と文献の探索技術を習得できるようにするため、各種の参考図書、データベース等、探索ツールとしての印刷メディアと電子メディアの特性を解説したうえで、質問事例を用いて情報および文献の探索方法について演習を行う。

1. レファレンスサービスにおける情報源／問題解決と情報源／記録メディア／参考図書とデータベース
2. 参考図書・データベース関係の情報源／参考図書の解題書誌／書誌の書誌／データベースディレクトリ
3. 図書・叢書関係の情報源／書誌／目録（所蔵目録、総合目録）／叢書合集索引
4. 逐次刊行物関係の情報源／逐次刊行物リスト／新聞雑誌記事索引／抄録誌
5. 人物・団体関係の情報源／人名事典／名鑑／人物文献索引
6. 歴史関係の情報源／歴史事典／年表／年鑑類
7. 地理関係の情報源／地名事典／地図帳／地名索引
8. 事物・事象関係の情報源／事典／便覧類／図鑑類
9. 言語・文字関係の情報源／国語辞書／特殊辞書・諺語辞書／用語索引・詩歌索引

### 【授業計画】

講義と演習（主として時間外に問題回答演習を行い、レポートを提出）。

### 【評価方法】

レポート、期末試験（出題形式は試験日の1、2週間前に説明する）。

### 【テキスト】

情報と文献の探索 第3版（長澤雅男 丸善 3,296円）

## 情報検索演習 I

逸村 裕

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。また、索引語の付与と抄録の作成による書誌レコード作成過程も習得する。さらに、検索効率やユーザー・インタフェースの検討とともに、各自の情報ニーズに基づくテーマ検索の結果も検討し、システムの評価方法を学ぶ。

#### 1. 情報検索とは

蓄積と検索/索引作業/検索効率/探索コマンドの標準化

#### 2. オンライン情報検索システムとCD-ROM

各種データベースの特徴/検索方法(メニューとコマンド)

#### 3. DIALOGの検索(その1)

通信方法/デモンストレーション(DIALOG)/論理演算子/基本的な検索コマンド

#### 4. DIALOGの検索(その2)

トランケーション/近接演算子/ストップワード/二次検索/フィールド指定子

#### 5. DIALOGの検索(その3) 検索語の列挙/著者名検索

#### 6. JOISの検索

#### 7. 索引・抄録作成作業

索引語の付与とシソーラス/抄録作成の基準(SIST-01)

#### 8. システム評価(DIALOGとJOISの比較)

#### 9. テーマ検索(DIALOGとJOISの活用)

#### 10. 各種システムとDBのデモンストレーション

STN-International/PATOLIS/日経ニューステレコン/MEDLINE/各種CD-ROM

### 【授業計画】

8号棟情報検索室で実習を中心に進める。実習助手も指導に加わり、受講生の理解度を確認しながら進める。

### 【評価方法】

サブテーマごとに小テストを行う。また各自のテーマ検索での結果をまとめたレポートも評価の対象とする。

### 【テキスト】

なし(プリント配布)。

## 情報検索演習B

逸村 裕

2年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

オンライン情報検索システムの活用に必要な知識と技術を習得することを目的とする。また、索引語の付与と抄録の作成による書誌レコード作成過程も習得する。さらに、検索効率やユーザー・インタフェースの検討とともに、各自の情報ニーズに基づくテーマ検索の結果も検討し、システムの評価方法を学ぶ。

#### 1. 情報検索とは

蓄積と検索/索引作業/検索効率/探索コマンドの標準化

#### 2. オンライン情報検索システムとCD-ROM

各種データベースの特徴/検索方法(メニューとコマンド)

#### 3. DIALOGの検索(その1)

通信方法/デモンストレーション(DIALOG)/論理演算子/基本的な検索コマンド

#### 4. DIALOGの検索(その2)

トランケーション/近接演算子/ストップワード/二次検索/フィールド指定子

#### 5. DIALOGの検索(その3) 検索語の列挙/著者名検索

#### 6. JOISの検索

#### 7. 索引・抄録作成作業

索引語の付与とシソーラス/抄録作成の基準(SIST-01)

#### 8. システム評価(DIALOGとJOISの比較)

#### 9. テーマ検索(DIALOGとJOISの活用)

#### 10. 各種システムとDBのデモンストレーション

STN-International/PATOLIS/日経ニューステレコン/MEDLINE/各種CD-ROM

### 【授業計画】

8号棟情報検索室で実習を中心に進める。実習助手も指導に加わり、受講生の理解度を確認しながら進める。

### 【評価方法】

サブテーマごとに小テストを行う。また各自のテーマ検索での結果をまとめたレポートも評価の対象とする。

### 【テキスト】

なし(プリント配布)。



## 情報メディア基礎論 a・b

菅野育子

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

情報流通における情報メディアの役割について論じる。各種メディアの生産から流通までを対象に、その過程での問題点を考え、より効果的な情報流通のための情報メディアのあり方を検討する。

#### 1. 情報流通と情報メディア

学術情報の生産のメカニズム／学術情報の流通モデル

#### 2. 情報メディアの分類と種類

#### 3. 情報メディアの階層化

物理的階層／書誌的階層／機能的階層

#### 4. 情報メディア 一次情報のためのメディア

図書（定義／出版流通過程と関連する制度／学術図書の機能）

雑誌（定義／学術雑誌の機能／雑誌論文の構成）

テクニカルレポート（定義、NTIS）

特許資料（各国の特許制度／特許情報の流過程）

規格資料（国際規格／国内規格／標準化活動）

#### 5. 情報メディア 二次情報のためのメディア

情報の加工（代替、編集、濃縮）／書誌／索引／抄録／百科事典

#### 6. データベース（DB）

DBシステムの歴史／DBの種類と内容／オンライン情報検索とCD-ROMの利用

#### 7. 情報メディアの分析とビブリオメトリックス

ビブリオメトリックスの定義／引用分析

#### 8. 情報流通における標準化と情報メディア

ISBN, ISSN, ISMN／SGMLタグと論理構造

#### 9. 情報の電子化と情報メディア

電子編集と電子出版／電子雑誌／電子図書

### 【授業計画】

前期はテキストを用い、後期はテキストと配布資料を用いて講義を行なう。

### 【評価方法】

出席回数と定期試験の成績で評価する。

### 【テキスト】

『情報の発生と伝達』（上田修一・倉田敬子 勁草書房）

## 情報メディア論Ⅳ（人文社会情報メディア）

菅野育子

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人文・社会科学分野における情報メディアの特徴から、学問分野における学術情報の生産と利用について検討することを目的とする。

### 【授業計画】

#### 1 学問分野と情報メディア

#### 2 自然科学分野と人文・社会科学分野

#### 3 人文・社会情報メディア

#### 3. 1 美術分野

#### 3. 2 音楽分野

#### 3. 3 文学

#### 3. 4 ビジネス分野

#### 3. 5 法律分野

#### 3. 6 心理学

#### 3. 7 図書館情報学

#### 4 情報メディアからみた情報の生産と利用

### 【評価方法】

レポートと出席度によって評価する。

### 【テキスト】

使用せず。

## 情報メディア論V (科学技術情報メディア)

山崎茂明

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

自然科学領域における二次情報源としての文献データベースと一次情報源である学術雑誌を中心に解説します。文献データベースの理解は、情報サービス専門家に欠かせない知識です。また、学術雑誌を理解するポイントは、図書館資料としての狭い枠組みでなく、研究活動と科学コミュニケーションのなかで、その役割や問題を知ることにあります。

1. 文献情報の世界
2. 文献調査
3. 医学情報へのアプローチ
4. 文献データベースの世界
5. 産領域のデータベース
6. 引用索引データベース
7. 学術雑誌の歴史と生態
8. 総合科学雑誌とはにか
9. レビュー誌とレター誌の重要性
10. 電子ジャーナルと電子出版
11. 電子情報環境と電子メディア (データベース、一次雑誌)

参考資料:

Lambert, J. 『電子時代の学術雑誌』日本図書館協会  
Thompson, J.W. 『出版産業の起源と発達』出版同人  
中山茂 『歴史としての学問』中央公論社  
山崎茂明 『生命科学論文投稿ガイド』中外医学社

### 【授業計画】

講義を中心に行う。教科書はできるだけ事前に読んでもらいたい。講義内容に関係する資料を随時配付する。

### 【評価方法】

期末レポート、小レポート (授業時間内)。

### 【テキスト】

山崎茂明 『医学文献サーチガイド』第2版、日本医書出版協会

## 資料組織論

山本 進

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

図書館利用者が、どんな手がかりから図書館資料を求めても、図書館は速やかに的確に提供する義務がある。そのためには、個々の図書資料を一定のシステムに基づいて組織化・分類・目録・装備・配架および各種の目録を編成する。これら一連の組織過程を論述する。図書資料の分類と資料の配架、及び目録の編成。

### 【授業計画】

0. オリエンテーション・図書資料組織化の過程1回
  1. 書架上の図書配列法・書架分類と書誌分類1回
  2. 分類と図書の分類2回
  3. 図書分類の特異性・図書分類表・分類記号1回
  4. 日本十進分類法 (NDC) と主題の把握・分類規定等
  5. 分類作業1回
- 以上分類と資料配架
6. 目録法総論1回
  7. 目録の種別と目録の編成1回
  8. 図書館目録の変遷と現在に至った経過1回
  9. 著者名、タイトルからアプローチ1回
  10. 集中・共同目録作業とオンライン目録2回

### 【評価方法】

期末テスト実施、記述式及び穴埋め問題4～5問。

### 【テキスト】

資料組織法 第Ⅲ版 (木原通夫他 第一法規)



## 資料組織演習

山本 進

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

個々の図書の内容を把握し、それに最も適切な分類記号を与える分類作業及び検索に必要な目録作業について実例演習を行う。

分類課題 分類演習プリント10枚程度

目録課題 カード目録の作成演習と課題レポート3～4  
回出題

### 【授業計画】

0. オリエンテーション、分類法総論・目録法総論 1回
1. 分類と目録との関係
  - 1.1 NDCとNCR 2回
2. 分類演習（課題20題の事例演習）2回
  - 2.1 分類規程・特殊分類規程 1回
3. 目録作成の意義と書誌情報標準化の経過 1回
  - 3.1 西洋における目録と目録規則
  - 3.2 日本における目録と目録規制 1回
  - 3.3 目録規制による（カード目録作成演習）2回
4. 目録作業における集中・共同目録作業の意義 1回
  - 4.1 「書誌ユーティリティー」利用の分担目録作業 1回
5. 目録に関する課題レポート

### 【評価方法】

期末テストは実施せず、3回の分類演習と、3回の目録に関する課題レポートにより評価する。

### 【テキスト】

資料組織論 前期使用の『資料組織法 第Ⅲ版』を使用。

## 資料組織演習

岡澤和世

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

人間が他の動物と決定的に異なる点は、人間が時間と空間を越えて、情報を蓄積して、必要な時に再現する能力を持っていることである。それを体内（脳）だけでなく、体外の貯蔵庫（図書館）に蓄えることを学んだことである。もう一つ特筆すべき人間の知恵は、その体外貯蔵庫の中身を簡単に再現できるように整理したことである。人間のインテリジェンスの始まりであり、専門職としてのライブラリアンの誕生である。本講義では演習問題を中心に、分類と目録の目的・機能を明らかにし、現在使われている分類・目録の問題点を通して図書の実態に即した分類法を与える。

### 【授業計画】

オリエンテーション 図書館における図書の分類  
前期の講義についての復習テスト

1. 分類とは何か（2回）
  1. 1 基本用語の整理
  1. 2 分類と図書の歴史
2. 図書分類とその基本的条件（2回）
  2. 1 分類表の種類とその特性
  2. 2 基本的条件
3. 特殊分類法（3回）
  3. 1 十進分類法
  3. 2 ファセット分類法
  3. 3 その他
4. 目録とは何か（2回）
  4. 1 目録の機能
  4. 2 目録作業
5. 現代図書館と情報サービス（2回）
  5. 1 自動目録
  5. 2 図書の検索法

オリエンテーション後に基本的な知識を確認するテストを各授業毎に実施し、NDC、UDCその他の分類法を使っての出題を出し翌週回収し、問題点を解明する。目録作業を最初の授業時から指示し毎週各自の興味のある図書の目録（10枚）を作成し、最終的に100枚の目録カードを提出する。

### 【評価方法】

試験は行わない。各週毎の宿題及び作成した目録カード、小テスト、レポートで評価する。

### 【テキスト】

プリント。

### 【参考書籍】

情報学講義ノート〈1〉（岡澤和世著 敬文堂）1987。  
情報学講義ノート〈2〉（岡澤和世著 敬文堂）1989。  
情報検索理論の基礎（中村幸雄著 共立出版株式会社）1998。  
目録と分類（L.M.チャン上田修一他訳 勁草書房）1987。  
図書館のサービスの再構築（M.K.バックランド 高山正也他訳 勁草書房 1994。

## 資料組織演習

渡辺智山

3年 後期 選択 2単位

### 【授業の概要】

必要な情報へ安易にアクセスできるためには、常に「組織化」とはどうあるべきかを考える必要がある。本演習では、図書館における分類・目録作業をとおり、実際の資料組織の技法を理解してもらう。『日本目録規則』『日本十進分類法』などを利用し、組織化の演習を行なうが、組織化という行為自体、コンピュータとも深く関連（情報検索、データベース等）することから、「資料の組織化とコンピュータ処理のあり方」をも考察することにする。

### 【授業計画】

1. オリエンテーション
  2. 目録規則と分類法
  3. 『日本十進分類法』新訂9版を用いた図書分類の実習
  4. 『日本目録規則』1987年改訂版を用いた目録作成の実習
  5. 『基本件名標目表』第3版と『国立国会図書館件名標目表』第5版を用いた件名標目作成の実習
  6. 資料と主題分析（シソーラス）
  7. 書誌コントロールと書誌ユーティリティ（NACSIS-CAT、NACSIS-WEBCAT、OCLCなど）
  8. その他の『分類法』『標目表』を用いた実習
  9. 簡易データベースと目録データ（実習）
- 分類法・目録法など、資料組織に関する復習を踏まえた上で（講義）、実際に分類・目録の演習をしてもらう（実習）。

### 【評価方法】

平常点（出席・レポート・臨時試験等）で「総合評価」する。

### 【テキスト】

使用せず。適宜、資料を配布する。

### 【参考書籍】

適宜、提示する。

## 図書館学特殊Ⅲ（児童サービス論）

岩崎れい

集中 4年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

1. 児童サービスの理念及び基本的な事項をしっかりと把握する。
2. 児童サービスに深く関連する子どもの心理、子どもの読書、子ども観の移り変わり、児童書などについても併せて学ぶ。
3. ブックトークやストーリーテリングなど児童サービスにおける重要なサービスを学ぶ。

### 【授業計画】

1. 児童サービス概論
2. 児童サービスにおける業務と技術
3. 児童資料論
4. 児童書選択
5. 子どもと読書

### 【評価方法】

平常点及び筆記試験。

### 【テキスト】

『児童図書館サービス論』（赤星隆子・荒井督子編著 理想社・新図書館情報学シリーズ12）

### 【参考書籍】

- ライオネル・R・マッコルビン著『児童のための図書館奉仕』日本図書館協会 1973
- ハリエット・G・ロンク著『児童図書館への道』日本図書館協会 1966
- ポール・アザール著『本・子ども・大人』紀伊國屋書店 1957
- リリアン・H・スミス著『児童文学論』岩波書店 1964
- 全国SLAブックトーク委員会編『物故トークー理論と実践』全国学校図書館協議会 1990
- 日本図書館協会図書館の自由に関する調査委員会編『子どもの権利と読む自由－図書館と自由第13集』日本図書館協会 1994
- 児童図書館研究会編『年報こどもの図書館1992-1997 1998年版』日本図書館協会 1998
- ※上記以外は授業中に紹介



## 情報学Ⅱ a・b (図書館と情報検索の歴史)

村主朋英

2年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

図書館サービスと情報検索サービスの発達過程を中心に図書館情報学分野に関わる歴史を概観する。

### 【授業計画】

0. オリエンテーション 歴史を学ぶ意義／情報化社会論と情報史
1. 図書館・情報サービスの起源と学術情報
  1. 1 古代・中世の知識と図書館
  1. 2 近代における学術情報流通システム
  1. 3 近代公共図書館と図書館界の成立
  1. 4 図書館学とドキュメンテーション
2. 現代の図書館・情報サービス
  2. 1 ドキュメンテーション運動その後
  2. 2 情報技術の起源
  2. 3 情報検索サービスの成立
  2. 4 情報学の成立
  2. 5 図書館情報学の環境の変化
3. 理想の情報検索システムを求めて  
Vannevar BushとそのMemex構想／Memex, World Brain, インターネット
4. 総括  
情報学と情報サービスの今後

### 【評価方法】

定期試験。※穴埋め・訂正問題、論述問題。

### 【テキスト】

『図書及び図書館史』新現代図書館学講座13、東京書籍  
『図書館情報学用語辞典』日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 約3,800円

## 個人コミュニケーション論1 a・b (認知心理学)

吉崎一人

2年後期 3年前期 選択 2単位

### 【授業の概要】 a

外界の情報を人間がどのように処理しているのかを解説する。具体的には、人間の記憶の仕組み、注意と意識のしくみ、日常生活での記憶、推論過程等である。

### 【授業計画】 a

1. 記憶のボックスモデル① (短期記憶と長期記憶)
2. 記憶のボックスモデル② (リハーサル)
3. 処理水準と情報の精緻化
4. 符号化と検索の関係
5. 知識と表象① (意味記憶の構造と語の処理)
6. 知識と表象② (スキーマとスクリプト)
7. 潜在記憶と顕在記憶
8. 注意と自動制御
9. 日常生活の認知①
10. 日常生活の認知②
11. 日常生活の認知③

### 【授業の概要】 b

人間の認知活動と脳機能の関連性について解説する。ヒトを情報処理的な観点でとらえる立場をとる。その視点から、脳の部位と機能との対応関係を論じる。

### 【授業計画】 b

認知を支える生理学的基礎

1. 神経心理学の研究法
2. ラテラルリティ
3. 物体認知と脳
4. 記憶機能と脳
5. 言語機能と脳
6. 注意機能と脳
7. 情動と脳
8. 脳機能の発達と可塑性

### 【評価方法】

期末テスト、中間テスト (またはレポート) さらには実験への参加 (被験者) 回数によって行われる。

### 【テキスト】

使用せず。授業ごとにプリント (A4) を配布する。

## 情報メディア論 I a・b (通信・マルチメディア)

東浦信博

3年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

司書・学芸員の資格取得に必要な視聴覚教育メディア論を主として I a (前期) で、図書館情報学科の学生にとって必要と思われる情報通信のメディアと仕組みの概観を I b (後期) で扱う。

1. 視聴覚教育メディアの意義・目的

① 図書館・博物館とメディア ② コミュニケーションとメディア

③ 具象的記号としての視聴覚教育メディア ④ 視聴覚教育メディアのもつ特性

2. 視聴覚教育メディア各論

① 領域と種類 ② 音声メディア

③ 映像メディア ④ 音声映像メディア

3. マルチメディア

① マルチメディアとは ② 要素技術

③ アナログとデジタル

④ レーザー光線と光ファイバー

⑤ デジタル通信のメリット

4. 情報通信のメディアとシステム

① 電気通信事業 (情報産業) ② VAN (付加価値の意味等)

③ CATV (初期の意義、現在の意義) ④ 衛星通信・衛星放送

⑤ HDTV ⑥ 移動体通信

⑦ 情報ハイウェイ ⑧ マルチメディア

### 【授業計画】

図・表を多用する。主として OHP を用いて授業を進める。

### 【評価方法】

論述式定期試験 (テキスト・ノート持ち込み可)。

### 【テキスト】

新訂視聴覚教育 (学芸図書 ¥1,800)

情報通信とマルチメディア (共立出版 ¥2,835)



# 博物館概論

長谷川鏗治

2年 前期 必修 2単位

## 【授業の概要】

博物館とは何かからはじめて、その発達の歴史をたどり、日本と世界の博物館を概観する。

- ア はじめに…学芸員の資格、博物館学とは何かなど学習の基礎となる事項を説明する。
- イ 博物館の定義…ICOMの定義、博物館法の定義を中心に「博物館」とは何かを考えていく。
- ウ 博物館の始原…博物館の歴史を概観するにあたって、その始原をたずねてみる。
- エ 博物館の萌芽…ルネサンス期からの人々の文芸に対する態度の探求と博物館的な施設の形式を探る。
- オ 近代博物館の発元Ⅰ…王権の誇示の手段としての財宝の展示などから博物館を考える。
- カ 近代博物館の発元Ⅱ…市民革命などの動きにあわせて市民への公開がなされていく過程を考える。
- キ ヨーロッパの博物館…近世から現代までの主要な博物館を例にとり、その特徴をまとめる。
- ク アメリカの博物館…独立から現代までをヨーロッパの博物館と対比しつつ、その特徴を探る。
- ケ 博物館の新しい波…企業博物館、エコ・ミュージアム、テーマ・パークなど、今後の博物館の形態をみすえて、新しい動きをひろってみる。
- コ 日本の博物館…日本の博物館の歴史を概観する。
  - ・大陸文化の請来から床の間の普及まで
  - ・幕末から明治期にかけての博物館の発元
  - ・国威の宣揚と博物館
  - ・通俗教育による教化と博物館
  - ・十五年戦争と博物館
  - ・戦後の再発元

## 【授業計画】

授業概要の展開順にそって講義する。

## 【評価方法】

- ・小テストと数回にわたるレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

## 【テキスト】

改訂博物館学論考（長谷川鏗治 戸谷印刷 2,000円）

# 博物館概論

早川正一

2年 前期 必修 2単位

## 【授業の概要】

「博物館概論」とは、愛知淑徳大学が文部省の認可のもとに、学芸員と呼ぶ博物館や美術館に不可欠な専門職員になるための基礎知識をカリキュラムを通じて取得させる基幹の学科目である。したがって、この養成課程の当初に受講させるので真剣に取り組まないと脱落しかねない。十分な心構えが肝要である。

次のような単元のもとに講義を展開してゆく予定である。

## 【授業計画】

- 博物館や美術館の基本概念と必要性
- 専門職員としての「学芸員」とは何か
- 博物館と美術館の発達とその時代背景
- 博物館と呼ぶ施設の機能と多様性
- 博物館の分類と現代性
- 博物館の日常的な組織と運営の局面への学芸員のかかわり方、そして館外活動への配慮
- 博物館の相互協力と情報の活用

毎時間、入念にノートをさせる。

無用な欠席は不合格につながるので、注意されたい。

長谷川鏗治『博物館学論考』（1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

## 【評価方法】

学期末の筆記試験をはじめ、毎時間の出席状況、受講態度などで総合評価する。

## 【テキスト】

未定。

## 博物館学各論 I

長谷川 銑治

2年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

博物館について、その機能、役割、組織、運営、学芸員、施設・設備、情報化、協力などにふれ、学芸員資格にかかわる基本的事項を学習する。

- ア 博物館の機能…生涯学習のための施設の一つと定義づけられていることを念頭におき、その機能について考える。
- イ 博物館の分類…種類別、設置者別、制度別などの分類わけをとおして、博物館の役割やあり方を考えていく。
- ウ 博物館の組織…公立博物館を例にとり、典型的な組織の状態をみていく。
- エ 博物館の運営…名古屋市博物館を例にとり、運営の実際を知る。
- オ 学芸員考…現在、学芸員のおかれている地位、実態などに焦点をあて、「学芸員」はいかにあるべきかを考える。外国のCURATORとも比較してみる。
- カ 予算など…博物館のマネジメントについて、予算を中心に考える。
- キ 博物館の施設・設備…人文系博物館・動物園・植物園・水族館などについて、その設置規準をもとに施設・設備についてみる。
- ク 博物館と情報…情報化社会の発展、情報技術の進歩と博物館のあり方を探ってみる。
- ケ 博物館の協力…博物館はもちろんのこと、大学・研究機関などとの連携について考える。

### 【授業計画】

授業概要の展開順によって講義する。

### 【評価方法】

- ・小テストと数回にわたるレポートの提出で評価する。
- ・出席率は重要な評価対象である。

### 【テキスト】

改訂博物館学論考（長谷川銑治 戸谷印刷 2,000円）

## 博物館学各論 I

早川 正一

2年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

愛知淑徳大学の学芸員課程委員会が計画したカリキュラムに準拠し、前段階の「博物館概論」を修得した学生に受講させる。したがって、この講義も基幹をなす学科目であるから、年次計画を考慮し、真面目に受講しないと、資格取得につながらないので、注意が肝要である。

### 【授業計画】

- 次の単元を土台として講義を展開する予定である。
- 博物館や美術館の展示と陳列構造
- 博物館がとり扱う資料の収集と保存
- 博物館と所属する学芸員のおこなう調査と研究
- 博物館や美術館のおこなう普及活動と教育
- 文化財の種類と保護にかかわる諸問題
- 生涯学習の必要性和博物館の関連事業

毎時間、入念にノートさせる。

無用な欠席は不合格につながるので、注意してほしい。

博物館学論考（長谷川銑治 1995）をはじめ、大学図書館に所蔵の関連文献を通読しておくこと。

### 【評価方法】

本学の学長の名において資格を認定する以上、定期試験を厳格に実施し、出席状況や受講態度を含めて総合評価する。

### 【テキスト】

未定。



## 博物館学各論Ⅱ

長谷川銑治

3年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

博物館は「もの」による生涯学習の機関である。そこで、博物館資料とは何かの定義づけからはじめ、資料の取扱い方を含めて学習する。また、博物館の調査・研究についても考えとともに、文化財の保護についても考察してみる。

- ア 博物館の資料…「物」が博物館資料と位置づけられるのはどのようなことかを考え、1次資料、2次資料の具体的な内容を知る。
- イ 博物館資料の実際…資料について実技を含めて具体的に学ぶ。
  - 1 資料の収集
  - 2 資料の取扱い
    - ・掛軸
    - ・古文書
    - ・和装本
    - ・茶碗
    - ・瓦など
  - 3 資料の整理・保存
  - 4 資料の保全
- ウ 資料情報の管理…資料情報の管理についてその実際と今後の方向を探る。
- エ 調査・研究…博物館における調査と研究、成果の公表などについて考えていく。
- オ 文化財の保護…わが国の文化財保護の現状、実態、問題点などについて考察する。  
あわせて世界遺産についても考えてみる。

### 【授業計画】

授業概要の展開順にそって講義し、実技も行う。

### 【評価方法】

- ・小テストと数回にわたるレポートの提出で評価する。
- ・出席率も重要な評価対象である。

### 【テキスト】

改訂博物館学論考（長谷川銑治 戸谷印刷 2,000円）

## 博物館学各論Ⅱ

秋元悦子

3年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

博物館の活動の基礎は「資料」にあり、それを有効活用することではじめて博物館と言えよう。本講座では、その収集・取り扱い・整理・保存・活用について具体的事例や実習を取り入れながら学んでいく。

### 【授業計画】

- ①博物館資料とは……「博物館資料」とは、何を指すか、理念およびその具体的種類を知る。
- ②資料収集……資料の収集に際しての、収集方針の重要性、収集方法の事例を学ぶ。
- ③資料の取り扱い……基本資料の取り扱いを実習し、習得するとともに、その構造を知り展示方法等も学ぶ。  
やきもの、和装・巻子本、掛け軸その他で実習する。
- ④資料整理……資料の整理について、分類方法やその整理登録方法を考え、資料カードの作成を実習する。
- ⑤資料情報……整理された資料の情報、二次的資料の情報の管理運営について考える。
- ⑥資料保管……資料の保管に関しての、保存条件や方法、問題点などを学ぶ。
- ⑦資料活用……資料を活用した調査研究活動の実際とその意義を知る。  
また、4年次の「博物館実習」に備えた情報や、準備について説明する。

### 【評価方法】

実習態度、小テストおよび数回のレポートで評価する。

### 【テキスト】

改訂『博物館学論考』長谷川銑治 戸谷印刷 2,000円。  
必要に応じてプリントを配布し、スライド等も利用する。

## 博物館学各論Ⅱ

川合 剛

3年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

博物館は「もの（物）」「ひと（人）」「ば（場）」という三つの要素で構成されるといわれている。この授業では、そのうちの「もの」＝博物館資料について、博物館活動のなかでの役割を考える。

博物館資料の定義、収集、整理・分類、保管・保存、調査・研究、実際の取扱いなどについて、基礎的な知識と技術を学ぶ。

### 【授業計画】

「もの」に触れる実技の時間をできるだけ多くしたい。そして、ビデオ・スライドなど視聴覚教材を用い、「もの」についての具体的なイメージを得ることができるようにする。

- (1) 博物館と資料（博物館の機能と目的、博物館資料とはなにか、資料収集の方法など）
- (2) 「もの」はどのように取扱うのか（資料を取扱う知識と技術、和本・軸物・陶磁器など）
- (3) 「もの」はどのような手続きを経て、博物館資料となるのか（資料を記録する技術、ドキュメンテーションなど）
- (4) 「もの」を守るには（資料の保管と保存、防虫・防霉対策、地震や火災などの災害対策など）
- (5) 「もの」をどのように利用するのか（資料の活用方法など）
- (6) 調査・研究と博物館
- (7) 文化財の保護と博物館

### 【評価方法】

実技をおこなうので出席状況を重視する。あわせて、レポートの提出、(時間内の)小テストの結果などにより評価をする。

### 【テキスト】

『改訂博物館学論考』（長谷川鏑治 戸谷印刷）。  
プリントを配付する。

### 【参考書籍】

『市民のなかの博物館』（伊藤寿朗 吉川弘文館）ほか、随時、紹介する。

## 博物館実習

長谷川鏑治

4年 通年 必修 3単位

### 【授業の概要】

学芸員の基本的な役割について、人文系博物館に例をとり、展示演習、博物館見学などを通して、実践的に学習する。

ア 展示論……展示とは何かからはじめて、展示についての学問的側面、実際の運びなどをみていく。

- 1 展示とは
- 2 展示のポイント  
・動線 ・視線  
・照明  
・温度 ・湿度
- 3 展示の施設
- 4 展示のプロセス
- 5 展示と保全

イ 普及・教育論……生涯学習が重要課題となっている現代社会にあって、博物館が果たす役割はどんなものかを探っていく。

ウ 博物館見学……土・日曜日に展覧会、施設見学に出かける。

エ 館務実習……夏休み中に各博物館に依頼して館務実習を行う。

オ 海外特別実習……夏休み中に希望者と海外の博物館の見学に出かけ現地で学習する。

カ 県外実習……エ、オに参加できない者は、9月に県外へ博物館の見学に出かける。

### 【授業計画】

授業概要の展開順にそって講義・実習・見学をすすめる。

### 【評価方法】

- ・実習はもちろん、学外での研修にかならず参加し、それぞれレポートを提出する。
- ・実習にあたってはすすんで学習する姿勢で臨む。
- ・その都度、提出されるレポートを中心に実習態度なども勘案して評価する。

### 【テキスト】

改訂博物館学論考（長谷川鏑治 戸谷印刷 2,000円）



## 博物館実習

秋元悦子

4年 通年 必修 3単位

### 【授業の概要】

学芸員資格を取得するにあたって、展示演習、博物館見学、博物館実習を中核に、具体的な学芸員活動を様々な観点から学習する。

### 【授業計画】

- ①展示とは……展示という手法について、その実際と未来像を考える。
- ②展示の実際……計画から、手法、条件などの展示の実際の概要を具体的な事例をふまえながら、学んでゆく。
- ③展示にかかわる事業……展示をとりまく、様々な事業（解説、広報、印刷物、講座など）の存在を知る。
- ④展示の実習……模擬展示の計画書を作成し、展示方法やその活用法を実習する。
- ⑤展示と教育普及事業……展示を通じての生涯学習機関として、博物館の今後になう役割と未来を探る。

授業以外に、

- 土曜日に、博物館の展示・施設見学を行う。
- 夏休み中に、各博物館に依頼し館務実習を行う。

### 【評価方法】

授業および学外での研修の出席、レポートで評価する。

### 【テキスト】

改訂『博物館学論考』長谷川銚治 戸谷印刷 2,000円。  
必要に応じてプリントを配布し、スライド等も利用する。

## 博物館実習

竹内弘明

4年 通年 必修 3単位

### 【授業の概要】

博物館・博物館資料と利用者を結ぶ教育普及事業の意味と、そこで学芸員が果たすべき役割について、実践的に学習する。また被災地における博物館の役割も考える。

### 【授業計画】

博物館における教育普及事業とはなにかを考えながら、主として展覧事業について具体的・実践的に学習をすすめてゆく。

- (1) 教育普及論 ①生涯学習と博物館・学芸員  
②博物館における教育普及事業
- (2) 展覧論 ①展覧会とはなにか  
②展覧会の企画  
③展示配置と動線・視線  
④照明と温湿度などの管理  
⑤展示室の位置・施設・設備  
⑥学芸員の役割と倫理
- (3) 災害と博物館 ①博物館資料及び被災文化財の保全  
②被災地における博物館の役割
- (4) 博物館見学  
土曜日に展覧会、施設見学に出かける。
- (5) 館務実習  
夏休み中に各博物館に依頼して館務実習を行なう。
- (6) 海外特別実習  
夏休み中に希望者と海外の博物館の見学に出かけ、現地で学習する。
- (7) 県外見学  
(5)(6)に参加しなかった者は、9月に県外へ博物館の見学に出かける。

### 【評価方法】

- ・見学及び実習に際してのレポートにより評価する。
- ・出席及び実習に臨む姿勢を重視する。

### 【テキスト】

- ・とくになし。
- ・『改訂博物館学論考』（長谷川銚治著）があれば持参。

### 【参考書籍】

- ・とくになし。（その都度、紹介）

## 生涯学習概論

渡辺かよ子

3年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

生涯教育ないしは生涯学習とは、従来の学校教育・家庭教育・社会教育を垂直的水平的に統合してとらえ、生涯発達を支援しようとする教育学の一分野である。本講義では、生涯教育ないしは生涯学習に関する理論、ならびに各国における生涯学習の実態と問題点の理解を通じて、人間が学ぶことの社会的意味、生涯発達と自己形成における生涯学習の意義を概説し、社会教育施設の独自の教育的役割とその可能性を論究する。

### 【授業計画】

- 第1-2講 オリエンテーション、生涯学習の理念
- 第3-5講 社会教育の伝統と生涯学習の現状(先進国、発展途上国、日本)
- 第6-7講 現代日本の学習機会と生涯学習に関する法制
- 第8-11講 生涯発達と生涯学習の内容と方法
- 第12-13講 生涯学習における教養・人権と社会改革
- 第14講 生涯学習の今後の課題、総括

### 【評価方法】

平常レポート、書評、学期末試験。

### 【テキスト】

生涯発達と生涯学習 (麻生誠・堀薫夫 放送大学教育振興会)

### 【参考書籍】

- 社会教育基礎論 (小林文人・末本誠編 国土社)
- 苦悩する先進国の生涯学習 (黒沢唯昭他編 社会評論社)
- 生涯教育 (ジェルビ 東京創元社)
- 被抑圧者の教育学 (フレイレ 亜紀書房)
- 国際成人教育論 (ポーラ 東信堂)
- 高齢者教育論 (松井政明他編 東信堂)
- 「わざ」から知る (生田久美子 東京大学出版会)
- 学びの復権 (辻本雅史 角川書店)
- 学問のすすめ (福沢諭吉 岩波文庫)
- 水と原生林のはざままで (シュヴァイツエル 岩波書店)
- 大学改革と生涯学習 (宮坂広作 明石書店)
- 消費社会の神話と構造 (ボードリヤール 紀伊国屋書店)
- ハマータウンの野郎ども (ウイリス ちくま文芸文庫)

## 生涯学習概論

古野有隣

集中 3年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

生涯学習という言葉は最近かなり知名度が高くなってきているが、その意味や意義については必ずしも正確に理解されているとはかぎらない。

この講義では生涯学習の意味するところを、その理念の提唱時からの推移の説明をまじえて、理解を深めることをねらいとした。また、先の長い人生を持っている自分にとって生涯学習とは何なのかを考える契機となればとも思っている。

1. 生涯教育の理念～推移を含めて～  
ユネスコ以降わが国における推移  
生涯教育のめざすもの  
生涯教育と生涯学習の関係
2. 生涯教育と社会教育・学校教育との関係  
生涯教育と社会教育  
生涯教育と学校教育
3. 社会教育の内容・方法・形態  
行政社会教育の主要領域  
社会教育の内容・方法・形態
4. 生涯学習関連施設の現状と展望  
生涯学習関連施設の範囲  
社会教育施設の種類と現状
5. 生涯学習指導者  
生涯学習指導者の範囲  
生涯学習指導者の役割

### 【授業計画】

講義。

### 【評価方法】

テスト。

### 【テキスト】

資料集 (予価500～700円) を開始時に頒布。



## 視聴覚教育メディア論

東浦信博

2年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

「学芸員のための」を前提としながらも幅広く視聴覚教育メディア全般の特性を検討し、最近のマルチメディアまでの各視聴覚教育メディアを論ずる。

1. 視聴覚教育の意義と効果
2. 博物館と視聴覚教育メディア（手段としてのメディア、目的物としてのメディア）
3. 視聴覚教育メディア各論

領域と種類

録音メディア（レコード・テープ・CD等）

映像メディア1（スライド・OHP等）

映像メディア2（映画・ビデオ等）

マルチメディアと情報ネットワーク

### 【授業計画】

講義中心であるが、OHP、ビデオを多用する。

### 【評価方法】

論述式定期試験（ノート持込み可）。

### 【テキスト】

新訂視聴覚教育（学芸図書 ¥1,800）

## 情報メディア論 I a

東浦信博

3年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

司書・学芸員の資格取得に必要な視聴覚教育メディア論を主としてI a（前期）で扱う。

1. 視聴覚教育メディアの意義・目的
  - ① 図書館・博物館とメディア② コミュニケーションとメディア
  - ③ 具象的記号としての視聴覚教育メディア④ 視聴覚教育メディアのもつ特性
2. 視聴覚教育メディア各論
  - ① 領域と種類② 音声メディア
  - ③ 映像メディア④ 音声映像メディア
3. マルチメディア
  - ① マルチメディアとは② 要素技術
  - ③ アナログとデジタル④ レーザー光線と光ファイバー
  - ⑤ デジタル通信のメリット

### 【授業計画】

図・表を多用する。主として OHP を用いて授業を進める。

### 【評価方法】

論述式定期試験（テキスト・ノート持込み可）。

### 【テキスト】

新訂視聴覚教育（学芸図書 ¥1,800）

情報通信とマルチメディア（共立出版 ¥2,835）

## 教育学概論M

渡辺かよ子

2年 後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

国際化多文化化の進展する現代社会は南北問題、環境問題、人権問題等、多くの問題を抱えている。文化としての教育そのものが深刻な社会問題の一つであると同時に、またこれらの社会問題に対する有効な必須の解決方法の一つでもある。本講義では、人類の普遍的文化としての教育の意義とその営みの概要の理解を促進する。そしてこれらの学習を通じて自らのこれまでの教育経験を歴史的社会的に相対化し、これからの大学内外での学びと自己形成に意欲的に取り組めるようになることを目指す。

### 【授業計画】

講義を中心に、グループ討議等も行いながら進める。

- 第1講 オリエンテーション（教育学の課題と方法）
- 第2講 教育の歴史（近代以前）
- 第3講 教育の歴史（近代以後）
- 第4講 教育制度
- 第5講 教育内容・教育課程
- 第6講 教育方法（学習指導・生活指導）
- 第7講 家庭教育
- 第8講 社会教育
- 第9講 生涯学習
- 第10講 教育組織の経営と管理
- 第11講 専門職と教育
- 第12講 人権としての教育
- 第13講 総括

### 【評価方法】

平常レポート、書評、学期末試験。

### 【テキスト】

教育への問い（天野郁夫編著 東京大学出版会）

### 【参考書籍】

現代教育の思想と構造（堀尾輝久 岩波書店）  
シリーズ 学びと文化（佐伯胖他編 東京大学出版会）  
学歴社会—新しい文明病（ドーア 岩波書店）  
脱学校の社会（イリッチ 東京創元社）  
子どもの教育の歴史（江藤恭二他編 名古屋大学出版会）

## 教育学概論

渡辺かよ子

2年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

国際化多文化化の進展する現代社会は南北問題、環境問題、人権問題等、多くの問題を抱えている。文化としての教育そのものが深刻な社会問題の一つであると同時に、またこれらの社会問題に対する有効な必須の解決方法の一つでもある。本講義では、人類の普遍的文化としての教育の意義とその営みの概要の理解を促進する。そしてこれらの学習を通じて自らのこれまでの教育経験を歴史的社会的に相対化し、これからの大学内外での学びと自己形成に意欲的に取り組めるようになることを目指す。

### 【授業計画】

講義を中心に、グループ討議等も行いながら進める。

- 第1講 オリエンテーション（教育学の課題と方法）
- 第2講 教育の歴史（近代以前）
- 第3講 教育の歴史（近代以後）
- 第4講 教育制度
- 第5講 教育内容・教育課程
- 第6講 教育方法（学習指導・生活指導）
- 第7講 家庭教育
- 第8講 社会教育
- 第9講 生涯学習
- 第10講 教育組織の経営と管理
- 第11講 専門職と教育
- 第12講 人権としての教育
- 第13講 総括

### 【評価方法】

平常レポート、書評、学期末試験。

### 【テキスト】

教育への問い（天野郁夫編著 東京大学出版会）

### 【参考書籍】

現代教育の思想と構造（堀尾輝久 岩波書店）  
シリーズ 学びと文化（佐伯胖他編 東京大学出版会）  
学歴社会—新しい文明病（ドーア 岩波書店）  
脱学校の社会（イリッチ 東京創元社）  
子どもの教育の歴史（江藤恭二他編 名古屋大学出版会）



## 民俗学

谷沢 明

2年 前・後期 必修 2単位

### 【授業の概要】

なにげなくくりかえしている日々の暮らしの中に、古い生活の投影がある。現代人の物の見方、考え方の中にも、伝統的な生活文化が反映している。民俗学においては、日本人はいかなる文化をつくりあげて今日にいたったかを、民衆の立場にたち、民衆の生活の中から、社会・経済・儀礼・信仰などの伝承をとおして具体的にみつめていきたい。また、古いものが今日の暮らしの中にどのように残存しているか、新しく変わった部分はどこで、何が新しくさせていく力になったかも考えてみたい。

### 【授業計画】

- 1、民俗学を学ぶ～方法論と調査研究法～
- 2、稲作と日本文化～伝統的文化のとらえかた～
- 3、農耕儀礼～田遊びを中心に～
- 4、年中行事～正月行事を中心に～
- 5、年中行事～盆行事を中心に～
- 6、人生儀礼～人生の折りにあたって～
- 7、暮らしの中の習俗～海に生きる人々～
- 8、暮らしの中の習俗～山に生きる人々～
- 9、庶民信仰を探る～絵馬に託された願い～
- 10、日本民俗学のあゆみ～柳田国男の役割～
- 11、日本民俗学のあゆみ～宮本常一のまなざし～

### 【評価方法】

中間レポート及び試験による。

### 【テキスト】

『フィールドワークで探る民俗と地域文化』

## 日本美術史

小池富雄

3年 前期 選択 2単位

### 【授業の概要】

学芸員が知っておくべき日本美術の内容は複雑多岐にわたっている。掛物や屏風といった絵画作品のみならず、「蒔絵」という日本独自の漆工芸品をはじめ刀剣や茶陶などの工芸品にも注目し、通史的に論じる。また単に名品の諸作品を追うのではなく背景となった社会や建築様式との関連について述べたい。展覧会の見学のしかた、作品論レポートの書き方も指導します。ビデオやスライドで各時代を代表する作品を見ます。配布プリントでは、文献史料を講読します。予習・復習をしておいて下さい。

### 【授業計画】

- 1 学芸員のための日本美術史概論 日本美術史の方法・領域など、作品論レポートの書き方を指導
- 2 原始・古代 縄文以降奈良・平安時代の美術と工芸
- 3 原始・古代 寝殿造と平安貴族の生活の中で生み出された日本独自の仮名や蒔絵の意匠
- 4 原始・古代 蒔絵の発達と調度、日本の伝統家具の祖型がなぜこの時期に発生したのか
- 5 中世 鎌倉時代の美術、絵画、彫刻、建築、蒔絵
- 6 中世 書院造りと会所のかざり、この時代の建築、生活様式の中で生み出された室内装飾美術の諸相
- 7 中世 『君台観左右帳記』にみる 室町將軍家の部屋かざり、用いられた諸美術品
- 8 中世 海外から輸入された請来美術である唐絵（からえ）、唐物（からもの）
- 9 近世 安土桃山時代の美術と工芸
- 10 近世 近世大名婚礼調度と幸阿弥派の蒔絵
- 11 近世 菊の白露蒔絵調度、1633年加賀前田家四代光高夫人の婚礼調度
- 12 近世 初音の調度、1639年尾張徳川家二代光友夫人の婚礼調度
- 13 試験

### 【評価方法】

定期試験と作品論レポートによる。レポートは参考図書の転載では不可です。自ら考え感じた内容を評価します。量より質、あなたが何をどう見るか、を注目します。

### 【テキスト】

使用教科書：日本の国宝 81（週刊朝日百科 徳川美術館 1998年9月 朝日新聞社 560円）

# 日本考古学概論

柴垣勇夫

集中 3年 後期 選択 2単位

## 【授業の概要】

考古学は、遺跡・遺物をもとに人間の営んできた歴史を明らかにする学問である。その研究方法には、層位学や型式学、分類学などの科学的方法論がとられ、人文科学の中でもとりわけ自然科学との結びつきが強い学問でもある。そうした学問の基本を学び、考古学が明らかにしてきた日本の歴史の一面を把握する。特に、全国各地で行われている遺跡の発掘調査によって、知られるようになった最近の新しい遺構、遺物を紹介し、学際的な研究の進展を学ぶ。また遺跡調査への関心を高め、文化財の保存という現代的課題についても考える。現代に生きる我々がどのような社会を築くかを、歴史の中から学ぶ際に、考古学の果たす役割と受け継ぐべき文化遺産の重要性を認識する。

まず、考古学の方法を学び、世界の考古学研究の発展過程を眺める。次に日本の旧石器時代から近世に至る、日本考古学の研究成果を把握する。なかでも原始・古代遺跡における最近の新発見や社会構造の捉え方の変化、中世から近世の城館や都市遺跡の発掘調査から判明してきた当時の生活様式などに理解を深める。また日本考古学の研究対象が近世・近代にまで広がっていることを認識するとともに、遺跡や遺物の文化財としての保存の必要性とその活用方法についても考える。

## 【授業計画】

各時代毎の解説の後、スライド・OHPなどにより視覚的に確認し、次の時代に進める。新聞記事等最近のニュースも逐次取り入れる。旧石器時代から近世の江戸時代まで12章にて構成する。

## 【評価方法】

講義内容から出題するテスト。集中授業での欠席 1/3 を越えたものは受験資格を失うこととする。

## 【テキスト】

印刷物をテキストとして配布する。



## ドイツ語 a・b

浜田義孝

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得することを目標とする。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（あるいはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツ語圏の生活と文化に触れることもできる。

### 【授業計画】

テキストは、全12課で各課とも基本的な文法事項、練習問題、そしてドイツの学生生活をテーマにした読本（ディアローク）で構成されている。

また別冊問題集を宿題として課し、二三週毎に提出してもらい添削する。

### 【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

### 【テキスト】

いかがですか大学生生活（森田／田村／川上共著 朝日出版社）

## フランス語 a・b

清水ベアトリックス

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

この授業は初級者を対象とし、フランス語の習得だけでなく、フランスの風俗、文化、習慣も「味わいながら」学ぶことを意図する。担当講師はフランス語の授業を通じて受講者の対仏国理解を深める手助けをすることを切に望む。

#### 前期

日本で出版された平易なフランス語テキスト（CD付き）、漫画、ポップス、ビデオなどを使用する。

前期には、テキストの目次に沿って進み、フランス人講師が直接教えるので、受講者は「フランスに浸り」、「純粋な」フランス語の発音と文法の基礎を身に付ける。

できる限り前期では、下記の文法を学ぶ：

発音、名詞の『性』と『数』、冠詞、不定詞と動詞の活用：直接法現在形、疑問文：疑問代名詞と疑問形容詞、否定文、品質形容詞。

#### 後期

前期に引き続き同じテキストを使用し、より高レベルの文法・語彙を学ぶ。しかし、特にコミュニケーションに重点を置くので、「純粋なフランスの環境」の中で簡単な作文を書いたり、寸劇をすることにより、受講者自身の考えをフランス語で表現する能力を養成することを主目的とする。

後期では、下記の文法事項を学ぶ：

目的語となる人称代名と強勢形、指示形容詞、所有形容詞、冠詞の縮約、半過去、複合過去。

### 【授業計画】

毎回学んだフランス語を会話練習に積極的に使用するとともに、文法を体系的に学んだり、平易なフランス語の文章を和訳する。

### 【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

### 【テキスト】

Mini de concert (Centre Franco-Japonais d'Osaka 朝日出版社)

## ロシア語 a・b

杉本一直

1年 前・後期 選択 各2単位

### 【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができる場所は本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

### 【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- a. キリル文字と発音
- b. 大きな声であいさつしよう
- c. 買い物に行ってみよう
- d. 乗り物に乗ろう
- f. おなががすいたら...
- g. 自分について話してみよう
- h. 好きな音楽について
- i. 手紙を書こう (本当にロシアへ送るぞ！)

### 【評価方法】

定期試験の成績による。

### 【テキスト】

「パスポートロシア語辞典」(白水社)

## Intensive English 2000

デイビッド・C. ダイカス ポール・ルイス ポール・C. リンガー ジョアン・M. ウッドマン

デイビッド・レヴィ ジョナサン・E. ロング ハリー・T. ノリス

2~4年 前・後期 選択 各2単位

### 【Course Content】

This unique course is aimed at low to high intermediate students with academic as well as personal goals. The integrated skills format ensures the development of true communicative language that is authentic and natural.

Emphasis will be predominantly on the development of listening and speaking skills, but reading and writing skills-including vocabulary, comprehension, and grammar-will also be cultivated.

Teachers from The United Kingdom, North America, Canada, and Australia will be teaching on this course, providing a well-rounded perspective of the contemporary themes found in the text and encouraging critical thinking.

Students will have a choice of four two-day courses of study (see student handbook for more detailed information).

### 【Schedule】

Topics will be covered over a two or three week period and will include a variety of themes selected by the teachers.

Examples of such themes include the following:

- 1) GENDER STEREOTYPES AND WORK
- 2) THE AFFECT OF FOOD ON MOOD
- 3) VACATION SPOTS AROUND THE WORLD
- 4) STAYING HEALTHY
- 5) UNEXPLAINED PHENOMENA
- 6) OUTDOOR LEISURE ACTIVITIES

### 【Assessment】

Assessment will be continual and will be based on the following criteria:

- \* ATTENDANCE
- \* CLASS PARTICIPATION/EFFORT
- \* HOMEWORK AND ASSIGNMENTS
- \* END OF SEMESTER REPORT

### 【Textbooks】

TO BE ANNOUNCED.



## 英語コミュニケーション10

ダグラス・L. ドイル

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【Course Content】

The objective of this course is to revise and augment students' knowledge of English vocabulary and non-verbal features, as well as developing their speaking, listening, reading and writing skills. Students who opt for this course will be expected to be able and highly motivated. Students who are less able will be expected to be extra-highly motivated.

### 【Assessment】

Assessment will be based on a combination of the following: general classroom performance (continually assessed) general standard of homework (continually assessed) and by examination.

### 【Textbooks】

Text: To be advised.

## 英語コミュニケーション11

ジョナサン・E. ロング

1～4年 前・後期 選択 2単位

### 【Course Content】

Students who meet the prerequisites will in the class have to meet the challenges of reading scripts in English, watching the videos without subtitles, discussing them in English and writing reaction papers about them.

Usually, three weeks will be allowed for each video:

Week 1 : script

Week 2 : video

Week 3 : discussion; homework: reaction paper

### 【Assessment】

Assessment will be based on attendance, class participation using English and the reaction papers.

### 【Textbooks】

none.

# 英語コミュニケーション12

ディビッド・C. ダイカス

1～4年 前・後期 選択 2単位

## 【Course Content】

This course will focus on skills and techniques needed for informative and persuasive writing and presentations, especially for business purposes. An important focus will be on recognizing and understanding the differences in rhetorical patterns between Japanese and English. Students will study how to gather, evaluate, and organize information, and assignments will include writing informative and persuasive essays and making presentations and speeches based on the information gathered.

The course be topic/theme oriented. Students will read about, discuss, research and write about these topics. Written work will provide the basis for presentations. Writing practice will include the study of paragraph organization and effective presentation and support of ideas in written English. Once this level of writing is mastered, we will move on to longer pieces of writing. Presentation skills will be studied as well. These will include techniques for public speaking and the effective use of visual aids.

## 【Schedule】

As described above, the course will move from basic organization and presentation of ideas in short pieces of writing to essays and presentations based on their content.

## 【Assessment】

Grading will be based on attendance and participation, homework assignments, and in-class presentations.

## 【Textbooks】

To be announced



## 英語海外セミナー

石橋千鶴子 ジョナサン・E. ロング

2年 前期 必修 2単位

### 【授業の概要】

ウエスト・バージニア大学が本学のために用意する英語研修プログラム。現地キャンパスにおいて実施される。ESL専門教員が担当する約4週間の集中授業のほかに、小旅行、ホームステイ、在学生との交流などが用意されている。すべてを終了すれば、本学の単位が与えられる。本年は、8月下旬から9月下旬の約1ヶ月間を予定している。定員は約40名。

### 【評価方法】

ウエスト・バージニア大学授業担当者の評価による。